

LEVANCIO
レバンシオ

取扱説明書

－ 基本編 －

第6版

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書をよくお読みになったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

本書を紛失または損傷したときは、お買い求めの販売店でお買い求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

	長年にわたってご使用いただく場合、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがありますので、定期的な点検をおすすめいたします。
---	---

- 標準使用期間として10年が目安になります。
- 標準使用期間は、弊社が自主的に設定した条件にて算出した、製造した年から安全上支障なく使用できる標準的な期間です。
標準使用期間は、設計上の目安であり、設置状況・環境、使用頻度によっては、より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがありますので、定期的な点検をおすすめします。
- 標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものではありません。
- 機器の製造年月の表示は、例えば2010年12月製造の場合、以下に示す例1～例6があります。

【例1】製造年月 2010.12 【例2】LOT 2010.12
【例3】 2010.12 【例4】LOT 10.12
【例5】 10.12 【例6】LOT 10. L (Lの読替えは下表参照)

略記号	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
製造月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

注意

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

(VCCI-A)

本商品のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機がご不要となった場合は、NTT（局番なしの116番）にご連絡いただければ、「機器使用料金」は、不要となります。

- この電話機システムは日本国内用に設計されておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音、通話料金管理、FAX通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店等へお申しつけください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 警告

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用を続けると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーの配線をショートさせないように接続端子からはずしてください。電話機などの端末機器は、（電源スイッチのあるものは切り、電源プラグをコンセントから抜き）モジュラケーブルをはずすか、接続ケーブルを接続端子からはずしてください。その上で煙がでなくなるのを確認して、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、主装置が倒れて破損した場合は、主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。電話機などの端末機器を落として破損した場合は、（電源スイッチのあるものは切り、電源プラグをコンセントから抜き）モジュラケーブルをはずすか、配線を接続端子からはずして、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 主装置から異常音がしたり、主装置キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。
- 主装置や電話機などをぬれた手でさわったり、水をかけないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
- 主装置や、電話機などの端末機器の通風口などの開口部から装置内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。万一、主装置や電話機などの端末機器に異物が入った場合は、装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、モジュラケーブルをはずすか、配線を接続端子からはずして、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、主装置内部に水などの液体が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 主装置や電話機などを分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・清掃・修理はお買い求めの販売店にご依頼ください（分解、改造された主装置や電話機などは修理に応じられない場合があります）。
- 主装置や電話機などのそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

警告

- AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 主装置からの電源コードおよび電話機などの配線を傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードおよび電話機までの配線が破損し、火災・感電の原因となります。電源コードおよび電話機などの配線が傷んだら、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
- めれた手で電源プラグや電話機などのモジュラケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
- お客さまによる主装置の工事・修理などは危険ですから絶対におやめください。主装置の工事・修理などを行うときは、お買い求めの販売店にご依頼ください。
- 主装置の電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。
- 動いている機械の近くでヘッドセットを使用している場合は、コード類の機械への巻き込みに十分注意してください。大怪我の原因になります。
- 故障したまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、差し込みプラグを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 付属の「ACアダプタ」「充電器」以外を使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。
- 主装置や電話機などはぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、主装置や電話機などの上に重いものを乗せないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 万一、電話機などの内部に水などの液体が入った場合は、すぐに電話機などを電話機コードから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 注意

- 主装置は直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 主装置や電話機などを調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電話機などを壁掛用に取り付ける場合は、電話機などの重みにより落下しないよう堅固に取り付け、設置してください。落下してけがの原因となることがあります。
- 電話機底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
- 主装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。主装置キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 主装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと主装置の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・主装置を仰向けや横倒し、逆さまにする。
 - ・主装置を収納棚や本箱などの風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - ・主装置をじゅうたんや布団の上に置く。
 - ・主装置にテーブルクロスなどをかける。
- 長時間で使用にならないときは、安全のため必ず主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電話機パネルの取り外しには先のとがったものを利用してください。指や爪で行うとけがをするおそれがあります。
- 主装置を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、配線など外部の接続線ははずしたことを確認のうえ行ってください。また、電話機などの端末機器を移動させる場合は、電源コードのあるものは電源プラグをコンセントから抜き、モジュラケーブルや配線などを接続端子からはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 本機から送話をするときは、受話器を上げ、発信操作後に耳を近づけてください。
- 電話機などをお手入れされる場合は、安全のためモジュラケーブルを抜いてから行ってください。呼出音で衝撃を受けることがあります。
- 電話機などに水滴が付いた場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- 指定外のACアダプタは使用しないでください。火災や故障の原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 受話音量増幅スイッチを「NH」に切り換えている場合は、標準ハンドセットは絶対に使用しないでください。受話器から過大音量が発生して耳に衝撃を受ける場合があります。

お願い

- 主装置や電話機などをぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。主装置や電話機などの変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



- 電話機などを落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

- 電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

- 停電中に主装置の電源スイッチを切らないでください。停電復旧時に使用できなくなります。

- 停電のときは、停電用電話機を使用してください。

- ・他の内線電話機は使えません。
- ・ドアホンは使えません。

- 故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください。

- ・製氷倉庫など特に温度が下がる場所。
- ・塵・ほこり・鉄粉・有害ガスなどが発生する場所。

- 電気製品・AV機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、主装置や電話機などの設置場所を移動してみてください。

- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、主装置や電話機などの寿命が短くなることがあります。

- 電話機などは平らな面に置いてお使いください。

個人情報の取り扱いについて

- 本商品を廃棄、譲渡、返却される場合は、発信履歴や着信履歴、および個人電話帳などの重要な個人情報が盗まれることのないよう、必ず個人情報を削除してください。

概要

安全にお使いいただくために必ずお読みください

1章 はじめに

機器構成、本取扱説明書の読み方、マーク／表記等について。

▶1-2ページ

2章 お使いいただく前に

各部名称、ボタンの割り付け、角度調整、システム電話機（親機）の確認方法等について。▶2-2ページ

3章 多機能電話機 基本設定編

時刻設定、電話帳登録、音量調整、着信音調整等について。

▶3-2ページ

4章 多機能電話機 基本操作編

発信・着信・応答・保留・転送等について。

▶4-2ページ

5章 多機能電話機 応用操作／応用機能編

より便利にお使いになるには。

▶5-2ページ

6章 DSS電話機 基本操作編

発信・着信・応答・保留・転送等について。

▶6-2ページ

7章 回線機能編

INSサービスを利用するには。

▶7-2ページ

8章 IP関連機能編

IP機能を利用するには。

▶8-2ページ

9章 単独電話機 基本操作編

発信・着信・応答・保留・転送等について。

▶9-2ページ

10章 オプション編

オプション機能を利用するには。

▶10-2ページ

11章 管理者編

FAQ、アフターサービスを受けるには。

▶11-2ページ

索引

▶索引-1ページ

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください

概要	8
----	---

1. はじめに

本システムの構成機器と取扱説明書について	1-2
本取扱説明書の読み方	1-4
マーク／表記について	1-5

2. お使いいただく前に

多機能電話機	2-2
各部の名称とはたらき	2-2
電話機の角度を調整する	2-7
キーシートをセットする	2-8
システム電話機の確認方法／電話機番号表示	2-9
「メニュー」ボタンの操作方法／操作一覧	2-10
「機能」ボタンの使い方	2-12
フレキシブルボタンについて	2-13
割り当て内容の確認方法	2-13
割り当て可能な機能一覧	2-14
はじめに割り当てられている機能について	2-17

3. 多機能電話機 基本設定編

日時を設定する	3-2
日時調整	3-2
時刻を設定する	3-3
時刻調整	3-3
画面コントラストを調整する	3-4
音の調整	3-5
キータッチトーン	3-5
電話機ごとの着信音を設定する	3-6
音量調整をする	3-9
多機能電話機の音について	3-15
保留音	3-18
外部保留音（オプション）	3-19
BGM	3-19
電話帳を登録する	3-20
新規に登録する	3-21
発信履歴から登録する	3-26
着信履歴から登録する	3-27
登録内容を編集する	3-28
登録内容を削除する	3-29

文字の入力方法	3-30
入力モードを切り替える	3-30
文字を入力する	3-31
液晶表示部の説明	3-35
カレンダー／時刻表示	3-35
ダイヤルモニタ	3-35
内線相手番号表示	3-35
通話時間／料金表示	3-36
不在メッセージ表示	3-37
LCD表示切り替え	3-38

4. 多機能電話機 基本操作編

外線へかける	4-2
受話器を上げてかける〈オフフックダイヤル〉	4-2
受話器を置いたままかけるとき〈オンフックダイヤル〉	4-2
ダイヤル途中で電話番号を間違えたとき〈ロングフラッシュ〉	4-3
最後に電話した相手に再びかけ直すとき〈ラストナンバリダイヤル〉	4-3
電話番号をディスプレイで確認してから電話をかける〈プリセットダイヤル〉	4-4
短縮ダイヤルを利用する	4-5
応答しない相手に何度もかけ直すとき〈オートリピートダイヤル〉	4-8
電話帳に登録した電話番号にかける	4-9
発信履歴／着信履歴からかける	4-15
発信履歴を操作する	4-17
着信履歴を操作する	4-20
呼び返し発信	4-25
外線を受ける	4-26
内線へかける	4-27
内線呼び出し、呼び出しモード変更（トーン／音声）	4-27
ダイヤル途中で内線番号を間違えたとき〈ロングフラッシュ〉	4-27
呼び出したい部署の空いている電話機を呼び出すとき〈内線代表呼び出し〉	4-28
呼び出した相手の応答がなく、続けて別の内線を呼び出すとき〈クリアコール／シフトコール〉	4-28
内線を受ける	4-30
受話器を取り上げて受ける〈内線自動応答〉	4-30
受話器を上げずに受ける〈内線ハンズフリー通話〉	4-30
保留・転送する	4-31
外線を保留する／再応答する	4-31
内線を保留する／再応答する	4-31
保留した外線を他の人が受けないようにする〈外線自己保留〉	4-32
「外線」ボタンを選択せずに自動的に応答する方法〈保留外線自動応答〉	4-32
近くのひとに外線を転送する	4-33
特定のひとに外線を転送する〈自動転送／キャンプオン〉	4-33

目次

5. 多機能電話機 応用操作／応用機能編

外線発信関連	5-2
簡単に発信操作をする〈クイックオペレーション〉	5-2
外線グループ発信	5-3
ダイヤル回線でプッシュ信号を送る〈ダイヤルリバース〉	5-4
空外線自動捕捉	5-5
指定時間後に外線を予約するとき〈タイムドトランクキューイング〉	5-6
使用中の外線が空になったときにお知らせを受ける〈トランクキューイング〉	5-7
外線自動発信	5-8
内線発信関連	5-9
空内線自動捕捉	5-9
内線ホットライン	5-10
応答しない内線電話機を強制的に呼び出す〈オーバーライド〉	5-11
着信関連	5-12
話中着信	5-12
外線着信自動応答	5-12
着信代理応答	5-13
内線ハンズフリー応答	5-14
秘書応答	5-15
外線着信グループ応答	5-16
手が離せない場合にお待たせするメッセージを流す〈手動お待たせメッセージ〉	5-17
優先して応答したい相手から着信したことを知らせる〈優先着信表示〉	5-17
ペアコードレス	5-18
保留・転送関連	5-20
外線・内線を特定ボタンに保留する／再応答する〈個別パーク保留〉〈グループパーク保留〉	5-20
不在転送／話中転送／未応答転送	5-23
外線への自動転送	5-25
外線への手動転送	5-26
通話中の内線を他の電話機に強制的に転送する〈内線キャンブオン〉	5-27
保留した外線を特定内線に自動転送する方法	5-28
固定不在転送	5-28
会議関連	5-29
外線会議通話	5-29
複数外線会議通話	5-30
外線間会議通話	5-32
内線会議通話	5-33
その他システム機能関連	5-34
電話にでられないときに着信を拒否する〈ドント・ディスターブ〉	5-34
他の電話機の通話内容を聞く〈通話モニタ〉	5-35
他のお話しに割り込む〈バージ・イン〉	5-36
今かけている相手の電話番号を登録させる〈セーブナンバリダイヤル〉	5-37
外線通話中に別の電話番号を記録する〈メモダイヤル〉	5-38
受話器を上げる前に外線または内線を予約する〈プリセクション〉	5-39
電話機パスワード	5-40
モーニングコール	5-41
タイムコール	5-42
応答できない相手に連絡がほしい事を伝える〈メッセージウェイト〉	5-43

電話に出られないときに不在理由を表示する〈不在メッセージ〉	5-45
相手の通話が終了したことを知らせる〈コールバック〉	5-46
秘話／秘話解除	5-47
ハウラ音送出	5-48
エコモード	5-48
電話機毎エコモード	5-48

6. DSS 電話機 基本操作編

DSSユニットの概要	6-2
DSSユニットの「機能」ボタンに登録されているもの	6-2
DSSユニットの「機能」ボタンに登録できるもの	6-2
外からの電話に应答／転送する〈外線着信／転送〉	6-3
外からの電話を受けるとき〈外線着信〉	6-3
通話を特定の内線電話機に回すとき〈保留した外線の自動転送／外線キャンプオン〉	6-3
内部からの呼び出しに应答／転送する〈内線着信／転送〉	6-4
内線からの呼び出しを受けるとき〈内線应答〉	6-4
通話を特定の内線電話機に回すとき	6-4
外線に発信する〈外線発信〉	6-5
内線または専用線からの依頼で外に電話するとき〈スルーダイヤリング〉	6-5
短縮ダイヤルでかけるとき〈スクロール発信〉	6-5
内部の人を呼び出す〈内線呼び出し〉	6-7
内部の人にダイヤルするとき〈内線発信〉	6-7
应答しない相手（着信拒否、話中呼び出し禁止、オフフックかスピーカオン中）を強制的に呼び出すとき 〈内線強制呼び出し〉	6-7
外線／内線に共通な機能	6-8
自動自己保留	6-8
コールリリース	6-8
アテンダントリコール	6-8
一斉呼び出し／グループ呼び出し／ページング呼び出し①	6-9
一斉呼び出し／グループ呼び出し／ページング呼び出し②	6-10
台間転送	6-10
オーバーフロー転送	6-11
中継台インターセプト	6-12
着信音停止	6-12
内線に関する機能	6-13
クリアコール／シフトコール	6-13
DSSのランプ表示	6-13
メッセージウェイトコントロール	6-14
外線に関する機能	6-15
シリアルコール	6-15
DSSユニットからシステムの機能进行操作する	6-16
夜間切り替え／分散切り替え	6-16
内線サービスクラス切り替え	6-17
外線アクセス使用禁止制御	6-18
電話機パスワード	6-19
外線自動应答レベル切り替え（オプション）	6-20
音声案内（オプション）	6-21

目 次

音声案内登録（オプション）	6-22
短縮ダイヤル登録①	6-23
短縮ダイヤル登録②	6-24
ナンバー・ディスプレイ登録	6-26
コールフォワード強制解放	6-27
トランク強制解放	6-28
ステーション強制解放	6-29
DSSユニットのシステムに関するその他の機能	6-30
モーニングコール	6-30
グループモーニングコール	6-31
ホテル在室表示	6-34
通話料金使用率表示	6-35
通話料金集計	6-36

7. 回線機能編

LEVANCIOでご利用になれる回線	7-2
ISDN回線	7-3
基本サービス	7-3
ISDN機器の接続	7-4
付加サービス	7-4
着信転送	7-5
通話中転送	7-6
三者通話	7-7
INSボイスワープ	7-8
ナンバー・ディスプレイ	7-10
I・ナンバー	7-11
NTTダイヤルイン	7-11
ダイレクトインワードシステムアクセス〈DISA〉	7-14
一般のアクセス方法	7-14
外出先から内線電話機の一斉呼び出し、グループ呼び出し、ページング呼び出し方法	7-15
内線電話機を介して外線発信またはグループ外線発信方法	7-16
DISA外線から転送電話を登録する方法	7-17
Bizモバイルリンク（システム機能アクセス）	7-18
内線電話機を呼び出す	7-18
内線電話機の一斉呼び出し、グループ呼び出し、ページング呼び出しを行う	7-18
外線発信またはグループ外線発信を行う	7-19
外線短縮発信を行う	7-19
着信代理応答を行う	7-20
グループパーク保留応答を行う	7-20
専用線に関する機能	7-21
LD/SR（OD）専用線（オプション）	7-21
専用線タンデム接続（オプション）	7-21
閉番号方式（オプション）	7-21
特定の回線の着信を外線に転送する〈転送電話〉	7-23
転送先の登録方法	7-23
転送先電話番号の確認方法	7-24
転送電話の取り消し方法	7-24

ダイヤルインの着番号に従って着信を外線に転送する〈着番号毎転送〉	7-25
転送先の登録方法	7-25
転送先電話番号の確認方法	7-25
転送先電話番号の取り消し方法	7-26
転送の一時解除方法	7-26
転送の開始方法	7-27
外出先から転送先変更／登録方法	7-28
外出先から転送先の取り消し方法	7-29
外出先から転送の一時解除方法	7-29
外出先から転送の開始方法	7-30
ナンバー・ディスプレイ	7-31
相手先の電話番号の登録方法	7-31
相手先名の登録方法	7-32
迷惑電話防止	7-33
迷惑電話の登録方法	7-33
迷惑電話の確認方法	7-33
迷惑電話の取り消し方法	7-34
迷惑電話の上書き方法	7-34
擬似話中返し	7-35
擬似話中の登録方法	7-35
擬似話中の解除方法	7-35
ダイヤルイン回線擬似話中	7-36
ダイヤルイン回線の擬似話中の登録方法	7-36
ダイヤルイン回線擬似話中の解除	7-36
オフフックトランクキューイング	7-37
プライムステーション	7-37
外線着信鳴音指定／外線代表着信／スライド着信	7-38
外線着信方式	7-39
着信鳴音優先順位	7-39
簡易着信呼均等分配（簡易ACD）	7-40
夜間切り替え／分散切り替え	7-41
夜間切り替え方法	7-41
分散切り替え方法	7-41
ワン切りコールバック（システム機能アクセス）	7-42
内線電話機を呼び出す	7-42
内線電話機の一斉呼び出し、グループ呼び出し、ページング呼び出しを行う	7-43
外線発信またはグループ外線発信を行う	7-44
外線短縮発信を行う	7-45
着信代理応答を行う	7-46
グループパーク保留応答を行う	7-47
音声応答自動振分機能（IVR）（オプション）	7-48
音声応答自動振分機能（IVR）概要	7-48
IVRの動作例	7-49
IVR可変ガイダンス	7-50
可変ガイダンスを登録する	7-51
IVRサービスを開始／停止する	7-53
発信者が選択したシナリオを確認する	7-54

目 次

8. IP 関連機能編

IP機器について（オプション）	8-2
ご利用いただく前に	8-2
VoIP機能（オプション）	8-3
IP電話サービス	8-3
IWATSU NET	8-3
ピア・ツー・ピア	8-3
IPNET	8-4
IP多機能電話機	8-4
システム情報を確認する	8-4

9. 単独電話機 基本操作編

外へ電話をかける〈内線専用機の外線発信〉	9-2
外線発信／グループ外線発信でかけるとき〈外線発信／グループ外線発信〉	9-2
短縮ダイヤルでかけるとき〈短縮ダイヤル発信〉	9-2
短縮ダイヤルを登録／変更するとき〈短縮ダイヤル登録〉	9-3
外からの電話を受ける〈外線着信〉	9-4
外からの電話を受けるとき〈外線着信指定応答〉	9-4
内部の人を呼び出す〈内線発信〉	9-5
内線呼び出し、呼び出しモード変更（トーン／音声）	9-5
呼び出したい部署の空いている電話機を呼び出すとき〈内線代表呼び出し〉	9-5
相手が通話中か応答がなく続けて別の内線を呼び出すとき〈クリアコール／シフトコール〉	9-6
内部からの呼び出しを受ける〈内線応答〉	9-7
受話器を取り上げて応答するとき〈内線自動応答〉	9-7
お待ちいただくとき／再びお話しするとき〈保留／応答〉	9-8
外線の保留／再びお話しするとき〈外線保留／応答〉	9-8
内線の保留／再びお話しするとき〈内線保留／応答〉	9-9
保留した電話を他の人が受け付けないようにするとき〈個別パーク保留〉	9-10
内線グループで保留した電話を他のグループの電話機で応答できないようにするとき〈グループパーク保留〉	9-11
通話を他の人に回す〈外線転送〉	9-12
特定の内線電話機に回すとき〈外線自動転送／外線キャンブオン〉	9-12
機能特番の使い方	9-13
機能特番をダイヤルするとき	9-13
外線／内線に共通な機能	9-14
話中着信	9-14
ドント・ディスターブ（DND）	9-14
外線会議通話	9-15
複数外線会議通話	9-15
外線間会議通話	9-16
応答保留	9-16
外線に関する機能	9-17
空外線自動捕捉	9-17
外線着信自動応答	9-17
ラストナンバリダイヤル	9-18
トランクキューイング	9-19

タイムドトランクキューイング	9-20
外線自動発信	9-21
外線別着信音色指定	9-22
着信代理応答	9-22
外線着信グループ応答	9-23
内線に関する機能	9-24
空内線自動捕捉	9-24
一斉呼び出し／グループ呼び出し／ページング呼び出し	9-24
外部スピーカからの呼び出しに应答する〈ミート・ミー応答〉	9-25
内線ホットライン	9-25
内線コールバック	9-26
オーバーライド	9-27
不在転送／話中転送／未応答転送	9-27
内線キャンプオン	9-29
内線フラッシュ	9-29
内線会議通話	9-30
ナンバーディスプレイ対応 電話機収容	9-31
外線着信を受ける	9-31
内線着信を受ける	9-31
その他の機能	9-32
プレシグナル	9-32
モーニングコール	9-32
メッセージウェイト	9-33
電話機パスワード	9-34
ドアホン接続	9-34
ドアホングループ呼び出し	9-35
単独電話機の音について	9-36
単独電話機で受話器から聞こえる音	9-36
単独電話機の鳴る音	9-36

10. オプション編

W-VPNサービス対応	10-2
W-VPNサービス対応（オプション）	10-2
KDDIビジネスコールダイレクト対応	10-2
KDDIビジネスコールダイレクト対応（オプション）	10-2
NTT docomoオフィスリンク対応	10-3
NTT docomoオフィスリンク対応（オプション）	10-3
ヘッドセット接続（オプション）	10-4
ドアホン接続（オプション）	10-5
ドアホングループ呼び出し	10-5
ナースコールシステム機能	10-6
ナースコールシステム（オプション）	10-6
センサーで検知して多機能電話機のスピーカから一斉放送を聞く〈センサー検知一斉放送〉（オプション）	10-8
外部スイッチを動かす〈リレーコントロール〉（オプション）	10-9
構内放送	10-10
一斉呼び出し／グループ呼び出し／ページング呼び出し（オプション）	10-10

目次

外部スピーカからの呼び出しに電話機で応答する〈ミート・ミー応答〉	10-11
ビルトインスピーカホン（オプション）	10-12
ケータイWebリンク	10-13
SIP電話機（オプション）	10-16

11. 管理者編

システム障害に関して	11-2
システムのデータ設定に関して	11-3
リモートメンテナンス（オプション）	11-3
発信規制を行う〈Call JUDGE（発信規制ダイヤル）〉	11-4
発信規制ダイヤルの登録方法	11-4
市外発信クラス切り替え／市外発信規制	11-5
番号計画に関して〈フレキシブルナンバリングプラン〉	11-6
内線グループ分け〈内線テナント〉	11-6
内線通話規制	11-7
外線グループ分け	11-7
外線応答規制	11-8
通話料金に関する機能	11-9
通話明細出力（オプション）	11-9
課金装置接続（オプション）	11-9
予算オーバー発信規制	11-9
モーニングコール応答レポート（オプション）	11-10
通話料金集計表示	11-11
通話料金使用率表示	11-13
停電のとき	11-14
停電用専用ユニット（オプション）	11-14
主装置電源について	11-15
困ったときは	11-17
故障！とお考えになる前に	11-18
アフターサービスについて	11-20

索引

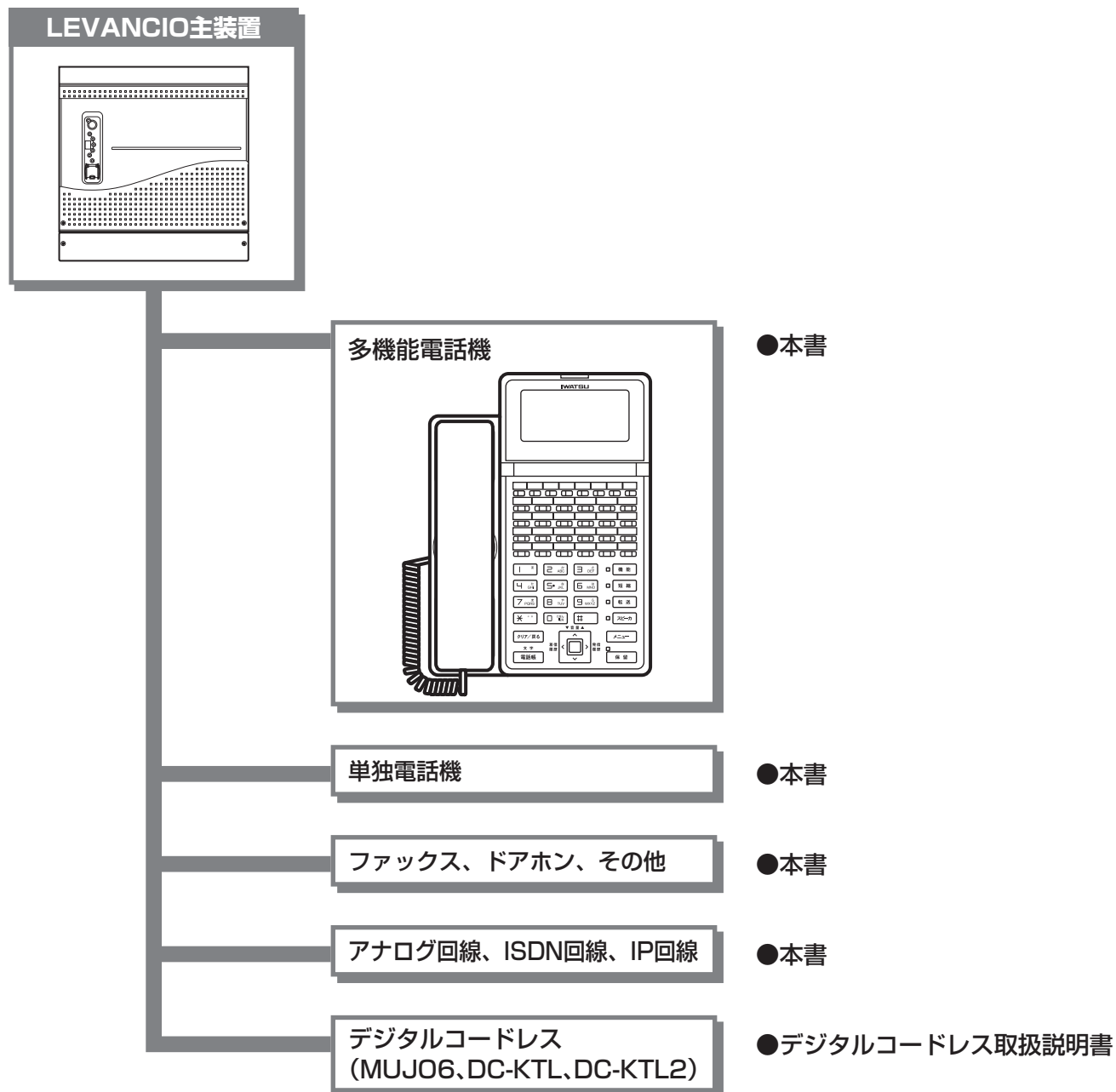
索引	索引-1
----	------

1.はじめに

本システムの構成機器と取扱説明書について

LEVANCIOには、以下の機器を接続できます。お使いになる電話機の機能に該当するページをお読みください。また、この他にも各種オプションや別売品を接続してシステムの充実を図ることもできます。詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

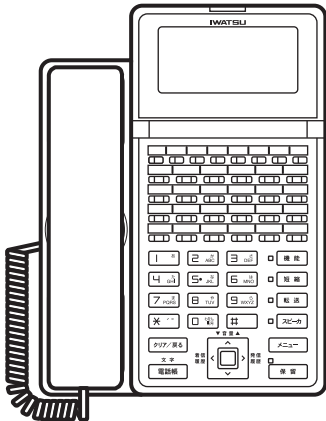
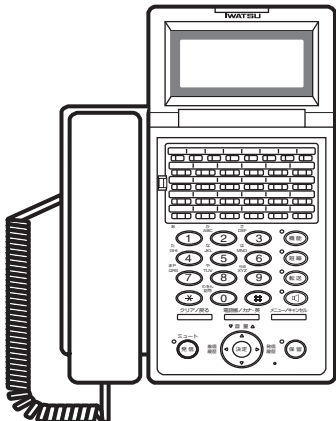
各種オプションをご利用の場合は、お使いの機器の取扱説明書も合わせてお読みください。



Note

- 本システムは、アナログ回線、ISDN回線、IP回線でご利用いただけます。

■接続できる主な機器

機器	説明	参照先
多機能電話機 (型式：IX-24KT-N/IX-12KT-N/ IX-24KTAPF-N) 	・外線や内線などの機能を24個割り付けできます。 ・1行20文字（漢字10文字）で4行のディスプレイ表示ができます。 ・ボディカラーには、ホワイトとブラックがあります。 ※IX-12KT-Nは、外線ボタン（フレキシブルファンクション）が12個になります。 ※IX-24KTAPF-Nは、アナログ回線停電対応機能を持っています。	「2.お使いいただく前に」 「3.多機能電話機 基本設定編」 「4.多機能電話機 基本操作編」 「5.多機能電話機 応用操作／応用機能編」 「7.回線機能編」 「8.IP関連機能編」
多機能電話機（型式：IX-24KTDXE） 	・外線や内線などの機能を24個割り付けできます。 ・1行20文字（漢字10文字）で4行のディスプレイ表示ができます。 ・ボディカラーには、ホワイトとブラックがあります。	「2.お使いいただく前に」～ 「8.IP関連機能編」
DSS	・1台の多機能電話機に、最大4台までDSSユニットが接続できます。 DSSユニットには、50個の「DSS」ボタンと、20個の「機能」ボタンを割り当てることが可能です。	「6.DSS電話機 基本操作編」
単独電話機	・一般単独電話機を接続できます	「9.単独電話機 基本操作編」
ファックス、ドアホン、その他	・ファックスやドアホンなどを接続できます。	「10.オプション編」
デジタルコードレス	・デジタルコードレスを利用できます。 詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。	お使いになるデジタルコードレスの取扱説明書を参照してください。

 Note

- ・本システムに接続している機器は、お客様によって異なります。システムの構成は、お客様のシステム管理者、またはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ・次のような場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
 - －システムに電話機を増設する場合
 - －オプションを追加する場合
 - －現在ご使用いただいている各種機能を追加・変更する場合
- ・各種オプションの場合は、お使いになる電話機の機能に該当するページをお読みください。また、別売品をご利用の場合は、お使いの機器の取扱説明書も合わせてお読みください。
- ・IX-24KT-N/IX-12KT-N/IX-24KTAPF-Nとデジタルコードレスとを近づけてご使用になると、通話中にノイズが混入することがあります。その場合は、離してご使用ください。

本取扱説明書の読み方

この取扱説明書に記載したディスプレイの表示などは、操作方法を説明するためのサンプルです。実際の表示と異なることがあります。

■ ページ構成

章タイトル

章ごとにタイトルが付けられています

タイトル

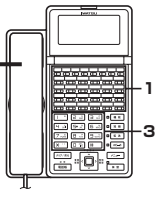
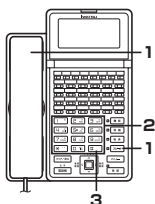
操作目的ごとにタイトルを付けています。

電話機イラスト

操作で使うボタンなどの位置を示しています。

4. 多機能電話機 基本操作編

内線へかける



内線呼び出し、呼び出しモード変更 (トーン / 音声)

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」 という内線発信音が聞こえます。

2 相手の内線番号 (1～4桁) をダイヤルします。
※ワンタッチで発信できる「DSS」ボタンに内線番号を登録できます。

3 声で呼び出す場合は、「#」ボタンを押します。
※受話器で「〇〇さん」のように呼びかけます。
※「#」をもう1度押すとトーン着信呼び出しになります。

4 相手が応答したら、お話しします。
※受話器を置いた状態の場合は、取り上げてお話しします。

Note

• 電話機の内線番号状態は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
• 外線着信時でも内線を優先して使用したい場合には、「内線」ボタンを押して使用することができます。
• 外線着信時を音声着信、トーン着信のどちらかに指定することができます。詳しくはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
• 「DSS」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
• 「#」を押すことに音声呼び出しとトーン着信を切り替えることができます。

ダイヤル途中で内線番号を間違えたとき (ロングフラッシュ)

1 そのままの状態です「フック」ボタン (または「機能」+「1」「1」ボタン) を押します。

2 発信状態に戻ります。
「ツツツツツ」 という内線発信音が聞こえます。

3 ダイヤルし直します。

Note

• 「フック」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

4-27

操作手順説明

準備や操作手順を順番に説明しています。

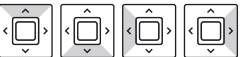
1-4

マーク／表記について

この取扱説明書で使用するマークや表記には、次のようなものがあります。

「安全にお読みいただくために必ずお読みください」(2ページ)に記載している警告マークと合わせて、内容を理解してからお使いください。

マーク	説明
 Note	注意事項、知っておいていただきたい内容、役立つ内容などを説明しています。
オプション	マークの付いている項目をご使用になるには、機器の追加が必要です。

表記例	説明
「外線」ボタン 「保留」ボタン	各種機能（外線、保留、発信、索線など）を割り当てた、フレキシブルボタンのことを示しています。
「機能」ボタン	 のことを示しています。
「電話帳」ボタン	  のことを示しています。
着信履歴ボタン	 のことを示しています。
発信履歴ボタン	 のことを示しています。
「0」「1」～「9」 「#」、「*」	ダイヤルボタン（  わかん 説明 ～  WXYZ 、  、  °° ）のことを示しています。
上下ボタン	 のことを示しています。
上下左右ボタン	 のことを示しています。
「決定」ボタン	 のことを示しています。
音量ボタン	 のことを示しています。
文字ボタン	  のことを示しています。
「機能」＋「1」「1」ボタン	 を押し、続けて  あ 、さらに続けて  あ と押すことを示しています。

■システム電話機とは

システム全体に関わる設定や登録などの操作が許可された電話機を、システム電話機と呼びます。

■フレキシブルボタンについて

多機能電話機の1から5段目キーを、フレキシブルボタンと呼びます。

あらかじめ、フレキシブルボタンに各種機能を登録・設定しておくことで、いろいろな機能をワンタッチで操作できます。

※IX-12KT-Nは、1から3段目キーを、フレキシブルボタンと呼びます。

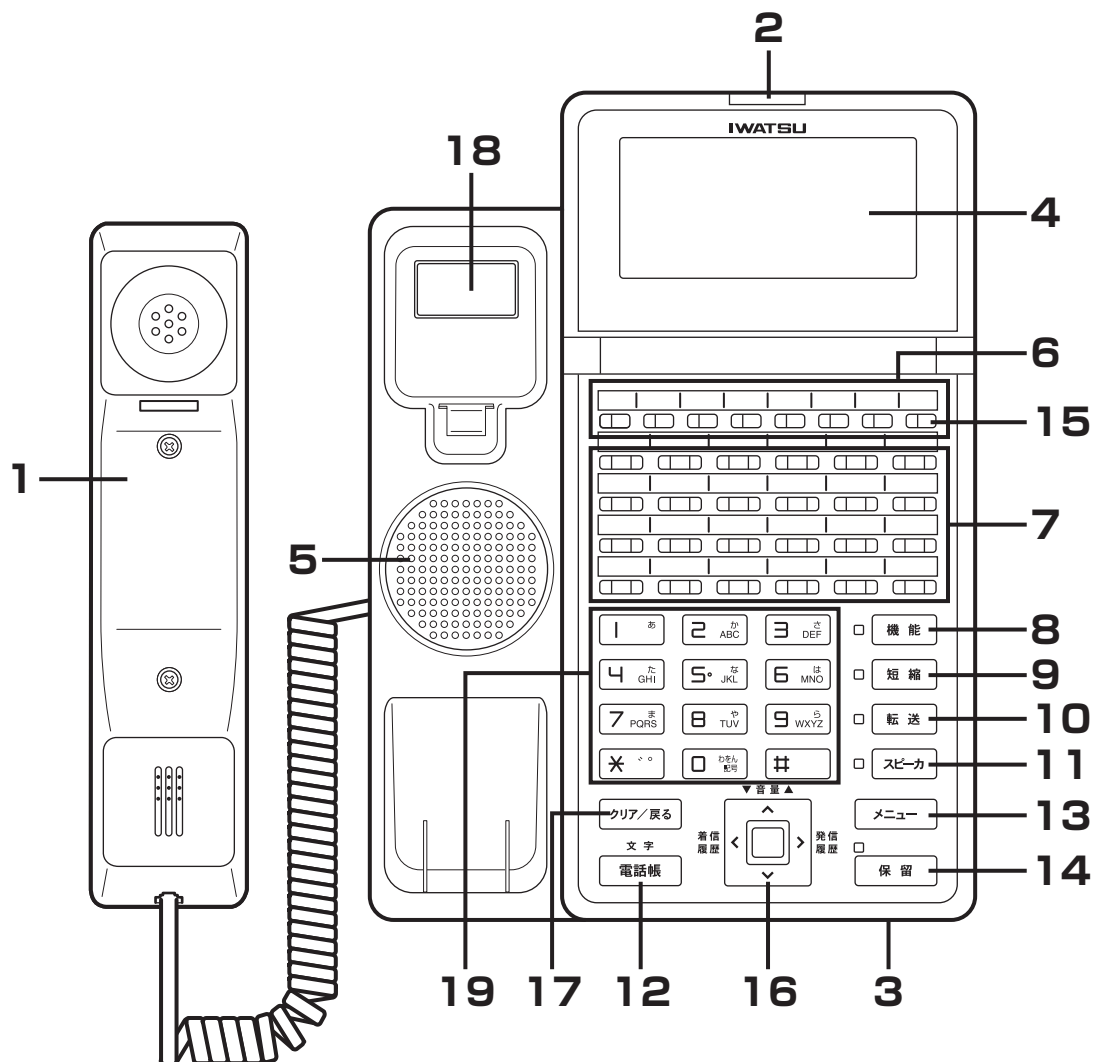
MEMO

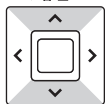
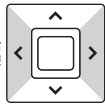
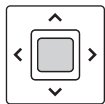
2.お使い いただく前に

多機能電話機

各部の名称とはたらき

■多機能電話機（前面）IX-24KT-N/IX-12KT-N/IX-24KTAPF-N

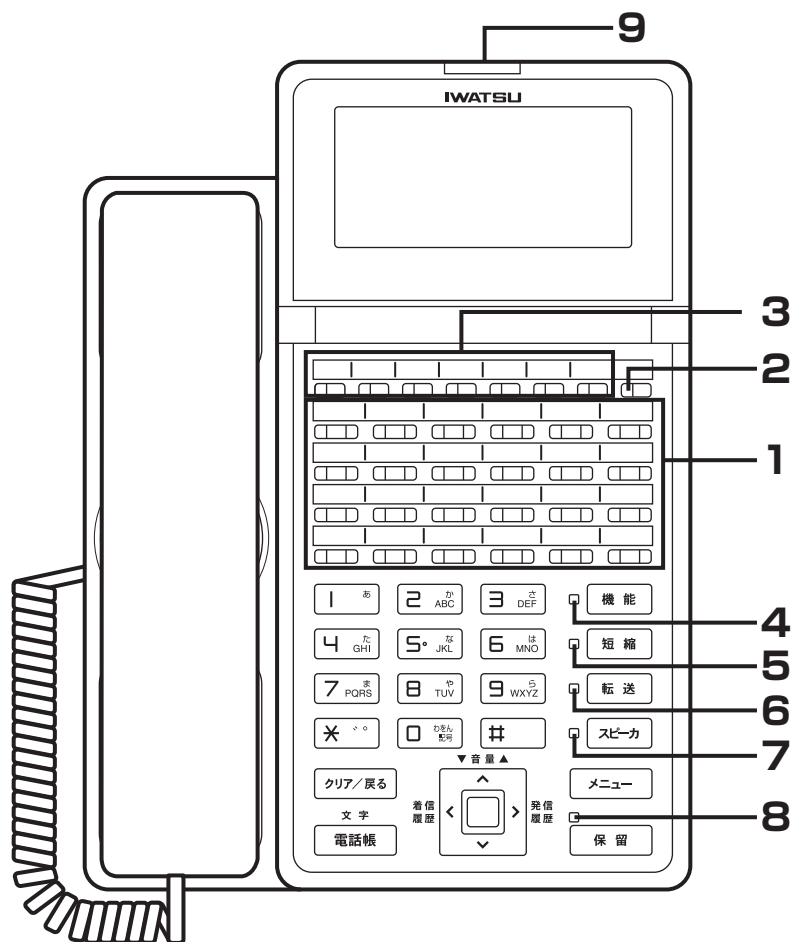


No	名称	はたらき
1	受話器（ハンドセット）	相手とお話するときに使います。
2	着信ランプ	電話がかかってきたときに点滅します。（2-5ページ）
3	マイク	ハンズフリー通話用のマイクです。
4	ディスプレイ	電話機の状態表示および、操作ガイダンス等を表示します。
5	スピーカ	スピーカボタンと連動し、相手側の音声が届きます。
6	フレキシブルファンクションボタン	システムの設定により、いろいろな機能を割り付けることができます。
7	外線ボタン （フレキシブルファンクション）	システムの設定により、いろいろな機能を割り付けることができます。 ※IX-12KT-Nは、外線ボタン（フレキシブルファンクション）が12個になります。
8	機能ボタン	ダイヤルボタンと組み合わせて、いろいろな機能を使うときに使用します。
9	短縮ボタン	短縮機能を使うときに使用します。
10	転送ボタン	転送機能を使うときに使用します。
11	スピーカボタン	相手の声などをスピーカで聞くとときや、受話器を置いたまま電話をかけるときに使用します。
12	電話帳ボタン 文字ボタン	電話帳ダイヤルを登録するとき、電話帳を使って電話をかけるときに使用します。 文字の入力モードの選択に使用します。
13	メニューボタン	メニュー機能を使うときや、メニュー機能を終了するときに使用します。
14	保留ボタン	電話を保留するときに使用します。
15	内線ボタン	内線でお話するときに使用します。
16	十字／決定ボタン	上下（音量／検索）ボタン  受話音量、外線着信音量、内線着信音量、およびスピーカ音量の調節に使います。 電話帳、発着信履歴やメニュー機能の検索に使用します。 電話帳ダイヤルの登録などでかな漢字変換を行うときに使用します。 左右（着信履歴／発信履歴）ボタン  発着信履歴の表示やカーソルを移動するときに使用します。 決定ボタン  選択した項目や入力した内容などを確定するときに使用します。
17	クリア／戻るボタン	入力した電話番号や文字を修正するときに使用します。
18	フックスイッチ	
19	ダイヤルボタン*	電話番号や文字を入力するときに使用します。

※：ダイヤルボタンの  の部分に突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方の操作を容易にするものです。

多機能電話機

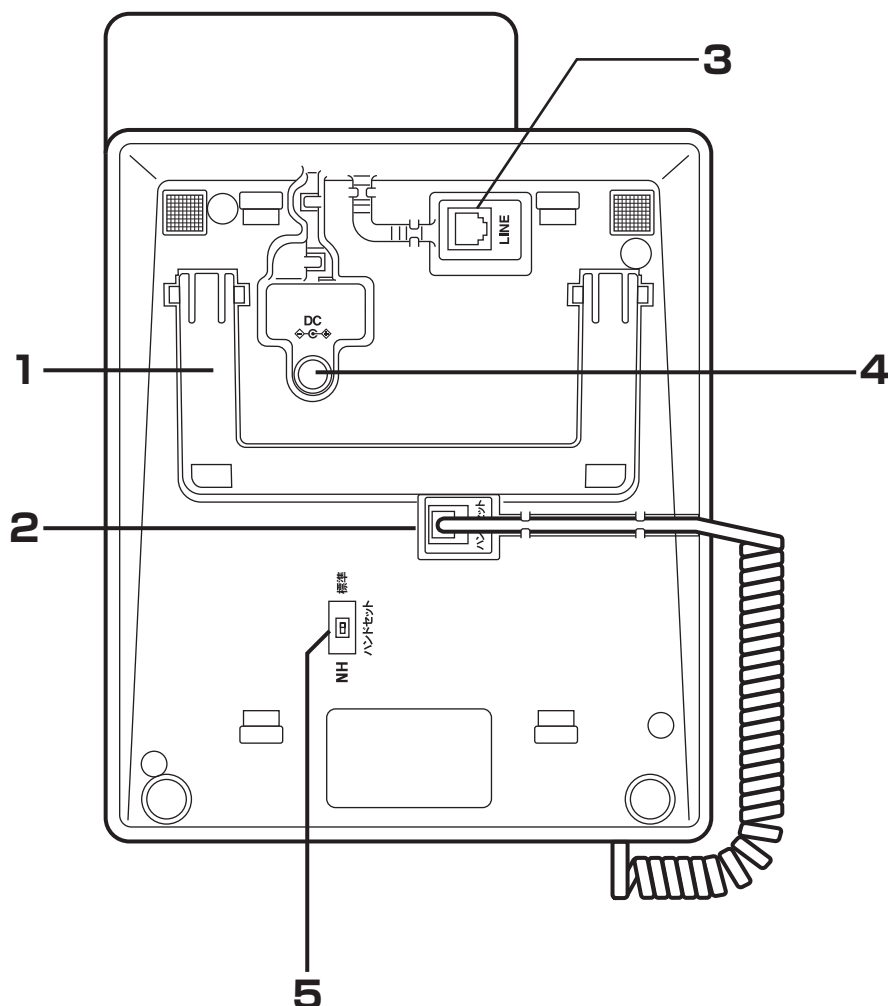
■多機能電話機（ランプ）IX-24KT-N/IX-12KT-N/IX-24KTAPF-N



No	ランプの種類	ランプのつき方	電話機の状態
1	外線ボタン（ランプ）	点灯中に2回消える（緑）	自分の電話で通話中の局線
		点灯（赤）	他の内線電話機が通話中の局線
		点滅（赤）	その局線に電話がかかってきている
		遅い点滅（赤）	他の内線電話機が保留中の局線
		遅い点滅（緑）	自分の電話機で保留中の局線
2	内線ボタン（ランプ）	点灯中に2回消える（赤）	自分の電話機が内線通話中
		点滅（赤）	自分の電話機が内線で呼び出されている
		遅い点滅（赤）	自分の電話機で内線を保留中
3	フレキシブルボタン（ランプ）	点灯（赤）	割り付ける機能により異なります。
		点滅（赤）	
		遅い点滅（赤）	
4	機能ボタン（ランプ）	点灯（赤）	機能ボタンを使った操作をしている
5	短縮ボタン（ランプ）	点灯（赤）	短縮を押した
6	転送ボタン（ランプ）	点滅（赤）	通話中に転送を押した
7	スピーカボタン（ランプ）	点滅（赤）	スピーカを使用している
8	保留ボタン（ランプ）	消灯	常時消灯
9	着信ランプ	早い点滅（赤）	自分の電話機に電話がかかってきた

多機能電話機

■多機能電話機（底面）IX-24KT-N/IX-12KT-N/IX-24KTAPF-N



No	名称	はたらき
1	角度調節脚	
2	受話器（ハンドセット）差入口	受話器（ハンドセット）のコネクタを差し込みます。
3	電話機コード差入口	電話機コードを差し込みます。
4	ACアダプタ差入口	オプションの内線延長ユニット（IX-24KT-EXT）ご利用時に、ACアダプタ（IX-59AC）のDCプラグを差し込みます。
5	受話音量増幅スイッチ	オプションの受話音量増幅／防騒音（NHHD）ハンドセットをご利用時に切り換えます。工場出荷時は標準にセットされています。

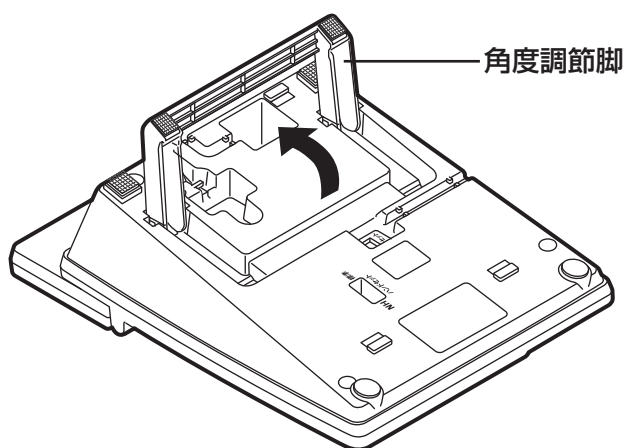
Note

⚠ 注意

- オプション品の防騒音ハンドセットを利用されない場合は、受話音量増幅スイッチを、「NH」へ切替えないでください。受話音量が「標準」に比べて、かなり大きい音になります。
- IX-24KTAPF-Nの受話音量増幅スイッチは、電話機内部に取り付けられています。受話音量増幅スイッチを切り替える場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

電話機の角度を調整する

- 1 電話機本体を裏がえします。
- 2 角度調節脚を引き起こし、操作しやすい角度に調整します。



Note



注意

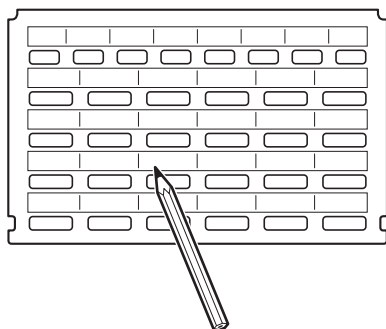
- 角度調節脚を引き起こすときは、無理な力を加えないでください。電話機本体と角度調節脚の接合部分が破損することがあります。

キーシートをセットする

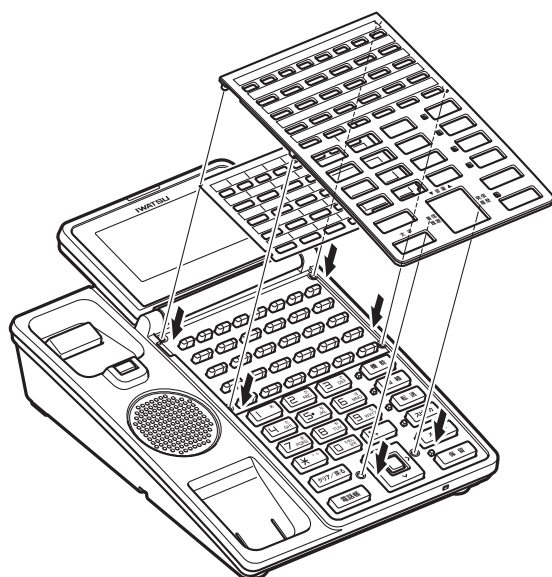
- 1 図のように①カバー上部左を指で持ち上げカバーとシートを取り外します。



- 2 キーシートにフレキシブルボタンに登録した内容などを書き込みます。



- 3 キーシートとカバーを元に戻します。カバーの突起を押して取りつけます。



Note

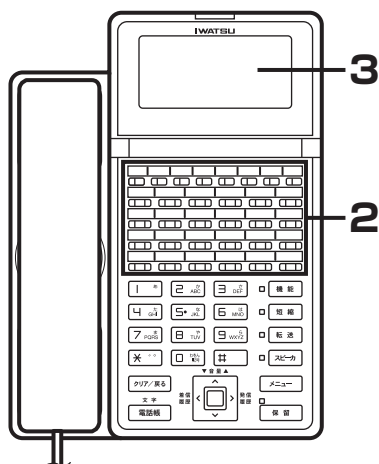
- IX-12KT-N電話機の場合は、12KT-Nに添付のキーシート／カバーをご使用ください。
- キーシートデザイナーソフトは、弊社のホームページ（<http://www.iwatsu.co.jp>）から、ダウンロードすることができます。

システム電話機の確認方法／電話機番号表示

システム電話機の確認、および、自分の電話機の内線番号を表示することができます。

Note

- システム電話機では、システム電話帳の登録、夜間切替設定などの操作ができます。
- システム全体に関わる設定や登録は、操作ミスによる誤動作や故障などを防止するために、システム管理者が行うようにしてください。
- システム電話機の内線番号は、システム工事のときに設定されます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「本システムの構成機器と取扱説明書について」(1-3ページ)にご案内した多機能電話機であれば、いずれの電話機でもシステム電話機にすることができます。



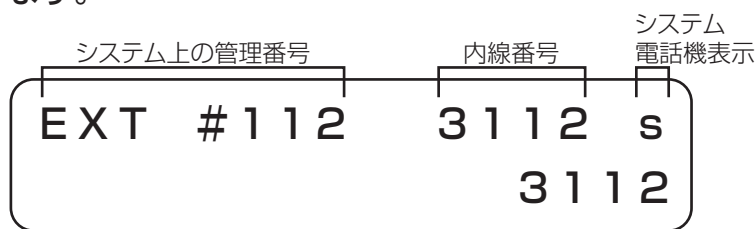
Note

- システム上の管理番号、内線番号、発信者名は、あらかじめ登録されたものです。
- 「自内線番号表示」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器は置いた状態にします。

2 「自内線番号表示」ボタン（または「機能」＋「9」「9」ボタン）を押します。

3 ディスプレイ表示が約10秒間、下の例のようになります。



※ “S” が表示される電話機はシステム電話機になります。

「メニュー」ボタンの操作方法／操作一覧

端末から「メニュー」ボタンを操作して、各種機能の設定を行うことができます。

- 1 受話器を置いた状態で、「メニュー」ボタンを押します。
- 2 上下ボタンを押して目的のメニューを表示させます。
- 3 設定する内容を選び、「決定」ボタンを押します。
- 4 メニューから抜けて、空き状態へ戻るには、再度「メニュー」ボタンを押します。



Note

- ・「決定」ボタンのかわりに「クリア／戻る」ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ることができます。
- ・メニューの表示内容一覧は下記をご覧ください。

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層
①電話機設定	①着信音	①外線着信音	—
		②外線個別着信音	—
		③内線着信音	—
	②音量調整	①外線スピーカ音量	—
		②内線スピーカ音量	—
		③受話音量	—
		④外線着信音量	—
		⑤内線着信音量	—
		⑥BGM音量	—
	③画面コントラスト調整	—	—
	④電話機名称	—	—
	⑤ケータイWebリンク設定	①携帯電話番号	—
		②ログインパスワード変更	—
②電話帳編集	※1	—	—
③不在転送設定	①転送動作	—	—
	②転送モード	—	—
	③転送先	—	—
④ボイスメール設定	①個別ボックス	①留守録応答メッセージ	—
		②留守録モニタ開始方法	—
		③留守録自動発報設定	①発報先ダイヤル
			②発報タイミング
			③定刻発報時刻1
			④定刻発報時刻2
			⑤定刻発報時刻3
			⑥定刻発報時刻4
		④メッセージ自動消去設定	—

※1 電話帳の登録、編集、削除が行なえます。
詳細については、「電話帳を登録する」(3-20ページ)をご参照ください。



第一階層	第二階層	第三階層	第四階層
④ボイスメール設定	①個別ボックス	⑤録音お知らせメール	①メール送信動作 ②宛先Eメールアドレス設定
		⑥音声ファイル添付	①自動送信メールアドレス ②手動送信メールアドレス
		⑨再生パスワード変更	—
		⑩設定パスワード変更	—
	②留守番グループボックス	①留守録応答メッセージ	—
		②留守録モニタ開始方法	—
		③留守録自動発報設定	①発報先ダイヤル
			②発報タイミング
			③定刻発報時刻1
			④定刻発報時刻2
			⑤定刻発報時刻3
			⑥定刻発報時刻4
		④メッセージ自動消去設定	—
		⑤録音お知らせメール	①メール送信動作 ②宛先Eメールアドレス設定
		⑥音声ファイル添付	①自動送信メールアドレス ②手動送信メールアドレス
		⑦留守番スケジュール	①スケジュール登録 ②スケジュール特定日設定 ③スケジュール即時適用
			—
			—
		⑨再生パスワード変更	—
		⑩設定パスワード変更	—
	③同報ボックス	①所属ボックス設定	—
		⑩設定パスワード変更	—
⑤個人情報削除	①発信着信履歴全削除	—	—
	②個別電話帳全削除	—	—
⑥キー割付設定 注1	—	—	—
⑩システム設定 注2	①SLT/FAXダイヤル種別	—	—
	②保留音	—	—
	③日付と時刻変更	—	—
	④サブシステム名称	—	—
	⑤メール基本情報設定	①折り返し電話番号	—
		②コメント	—
		③送信元Eメールアドレス	—
	⑥ケータイWebリンク設定	①ログインパスワード設定	—
		②システムパスワード	—
	⑦夜間サービス【V4.00～】	①夜間切替えスケジュール	①スケジュール登録 ②スケジュール即時適用
			—
		②分散切替えスケジュール	①スケジュール登録 ②スケジュール即時適用
			—
	⑧迷惑電話設定【V4.00～】	③スケジュール特定日設定	—
		①新規登録	—
		②一覧表示／編集	—
		③全件削除	—

注1：キー割付設定電話機のみ表示され、選択することができます。

注2：簡易中継台のみ表示され、選択することができます。

「機能」 ボタンの使い方

以下の機能は工事によって設定する必要があるものです。

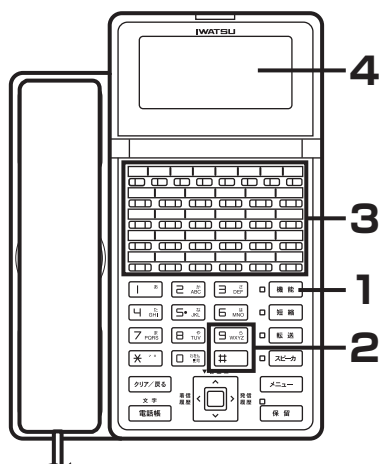
データ設定がされているかどうかは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

■多機能電話機のさらに便利な使い方

「機能」 ボタンと「0」～「9」のダイヤルボタン、「*」、「#」ボタンを組み合わせ、以下のような豊富な機能の操作ができます。主に、電話機のフレキシブルボタンに機能が登録されていない場合に使用します。

操 作	機能の名称	用 途	参照ページ
「機能」 「1」 「1」	ロングフラッシュ（フック）	ダイヤル途中でかけ直しするときに使用します	4-3、4-27
「機能」 「1」 「2」	ショートフラッシュ	ショートフラッシュ信号を送出するときに使用します	7-6
「機能」 「1」 「3」	ダイヤルリバーズ（プッシュ）	プッシュ信号を送出できます	5-4
「機能」 「1」 「4」	秘話解除	通話中の外線に割り込みができます	5-47
「機能」 「2」 「1」	セーブナンバリダイヤル	ダイヤルした番号を記憶させ、再びかけ直すことができます	5-37
「機能」 「2」 「2」	メモダイヤル	通話中に別の電話番号を記憶させ、かけ直すことができます	5-38
「機能」 「2」 「3」	外線予約（トランクキューイング）	外線の使用予約ができます	5-7
「機能」 「2」 「4」	外線時間予約 （タイムドトランクキューイング）	指定時間後の外線使用予約ができます	5-6
「機能」 「3」 「1」	グループ内代理応答	同じ内線グループの別の電話機にかかってきた電話に応答できます	5-13
「機能」 「3」 「2」	グループ外代理応答	異なる内線グループの別の電話機にかかってきた電話に応答できます	5-13
「機能」 「3」 「3」	個別代理応答	着信している電話機の番号をダイヤルして代わりに応答できます	5-13
「機能」 「3」 「4」	パーク応答（コールパークピックアップ）	パーク保留に応答するときに使用します	5-22
「機能」 「3」 「5」	ページ応答（ミート・ミー応答）	スピーカ呼び出しに応答するときに使用します	10-11
「機能」 「4」 「1」	タイムコール	設定した時刻に電話機を鳴らしてお知らせします	5-42
「機能」 「4」 「2」	モーニングコール	指定した時刻に電話機を鳴らし、メッセージを流します	5-41
「機能」 「4」 「3」	内線コールバック	通話中の内線通話が終了したことをお知らせします	5-46
「機能」 「4」 「4」	電話機パスワード	外線の発信規制ができます	5-40
「機能」 「4」 「5」	音声案内再生	音声による案内サービスを利用する場合に使用します	—
「機能」 「4」 「6」	モーニングコール	依頼されたモーニングコールの内容を相手先の内線電話機に設定します	6-30
「機能」 「4」 「7」	グループモーニングコール	モーニングコールを一斉に設定するときに使用します	6-31
「機能」 「6」 「1」	マイク	マイクのOFFからONへの切り替えを行うことができます	4-30、 5-14、10-12
「機能」 「6」 「2」	BGM	スピーカからBGMを流します	3-19
「機能」 「6」 「3」	LCD表示切り替え	ディスプレイの表示内容を切り替えることができます	3-38
「機能」 「6」 「4」	時刻調整	時刻の調整を行うことができます	3-3
「機能」 「6」 「5」	内着モード切り替え	内線着信を音声着信、トーン着信のどちらかに指定できます	4-27
「機能」 「7」 「1」	通話料金表示（前回分）	前回通話した1回分の料金を表示します	11-10
「機能」 「7」 「2」	通話料金表示（本日分）	当日分の料金を表示します	11-10
「機能」 「7」 「3」	通話料金表示（今月分）	当月分の料金を表示します	11-11
「機能」 「7」 「4」	通話料金表示（先月分）	先月分の料金を表示します	11-11
「機能」 「7」 「5」	グループ予算額設定、 グループ使用率表示	内線グループ（部署など）別の予算額に対する使用率を表示します	11-12
「機能」 「8」 「1」	エコモード	エコモード開始／終了の切り替えを行うことができます	5-48
「機能」 「9」 「1」	IPアドレスデータポート表示	IX-MCU-N（M-ST/L）の場合LAN1アドレスを表示します。IX-MCU-N（M-EX）の場合LAN6アドレスを表示します。	8-4
「機能」 「9」 「2」	IPアドレスVoIP表示	IX-MCU-N（M-ST/L）の場合LAN2アドレスを表示します。IX-MCU-N（M-EX）の場合LAN5アドレスを表示します。	8-4
「機能」 「9」 「9」	自内線番号表示	操作中の電話機の内線番号を表示します	2-9
「機能」 「#」 「9」	ボタン案内	各ボタンに何が割り当ててあるか確認できます	2-13
「機能」 「9」 「3」	リモートメンテナンス	リモートメンテナンスでの設定変更を許可します	11-3

フレキシブルボタンについて



割り当て内容の確認方法

- 1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。
- 2 「#」「9」ボタンを押します。
- 3 割り当てられている機能が、確認したいフレキシブルボタンを押します。
- 4 設定された機能内容が、約10秒間ディスプレイに表示されます。



Note

- フレキシブルボタンの初期割り当ては2-17ページをご参照ください。

フレキシブルボタンについて

割り当て可能な機能一覧

データ設定により、あらかじめ電話機のフレキシブルボタンに各種機能を登録することによって、ワンタッチ操作で豊富な機能を活用できます。

どのように登録されているか（登録内容）は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

電話機のフレキシブルボタンに割り付けることができる主な機能は、以下のものです。

ボタンに割り付く機能名	機能の名称	用 途	参照ページ
外線	外線	外線を発信するときに使用します	4-2
グループパーク	グループパーク保留	システムパーク保留を行うときに使用します	5-20
索線	索線	外線を発信するときに使用します（続けて外線グループ番号を指定します）	5-3
索線番号	索線番号	外線を発信するときに使用します	5-3
内線番号	ワンタッチ内線個別呼び出し	電話機を個別に呼び出すことができます	—
内線代表	内線代表呼び	部署などの内線グループごとにより呼び出すことができます	4-28
ページンググループ	一斉呼び出し（グループページング）	電話機を一斉に呼び出すことができます	10-10
外線応答	外線応答	外線キーを選ばずに応答できます	5-12、5-16
内線呼返し	内線コールバック	通話中の内線通話が終了したことをお知らせします	5-46
不在メッセージ	不在メッセージ	不在中の連絡事項をメッセージとして伝えることができます	5-45
会議	会議通話	3人または4人で通話できます	5-30
BGM	バックグラウンドミュージック（BGM）	スピーカからBGMを流します	3-19
外線予約	外線予約（トランクキューイング）	外線の使用予約ができます	5-7
個別代理応答	個別代理応答	着信している電話機の番号をダイヤルして、代わりに応答できます	5-13
転送電話	転送電話1～4	着信した外線を転送します	7-23
表示切替	LCD表示切り替え	ディスプレイ表示内容を切り替えることができます	3-38
機能	機能	各種機能が活用できます	2-12
不在転送	不在転送	不在中にかかってきた電話を指定した電話へ転送できます	5-23
個別短縮	個別短縮ダイヤル	電話機毎に設定された短縮ダイヤルを、ワンタッチで発信できます	4-5
共通短縮	共通短縮ダイヤル	システム共通に設定された短縮ダイヤルを、ワンタッチで発信できます	4-5
IVR	IVR	外線着信に対してIVRによる案内サービスをご利用いただけます	7-48

ボタンに割り付く機能名	機能の名称	用 途	参照ページ
フラッシュ	ロングフラッシュ（フック）	ダイヤル途中でかけ直すときに使用します	4-3
グループ外代理 応答	グループ外代理応答	他の外線グループにかかってきた電話に別の電話機で応答できます	5-13
内線	内線	内線を捕捉します	4-27
パスワード	電話機パスワード	外線の発信規制ができます	5-40
一斉	一斉呼び出し（ページング）	電話機を一斉に呼び出すことができます	10-10
モーニングコール	モーニングコール	設定した時刻に電話機を鳴らし、メッセージを流します	5-41
ページ応答	ミート・ミー応答	スピーカ呼び出しに応答するときに使用します	10-11
メモダイヤル	メモダイヤル	通話中に別の電話番号を記憶させ再びかけ直すことができます	5-38
マイク	マイク	マイクのON・OFFの切り替えを行うことができます	5-14
メッセージ ウェイト	伝言（メッセージウェイト）	不在中、または通話中の相手に折り返し連絡してほしいときに使用します	5-43
モニタ	通話モニタ	他の電話機の通話内容を聞くことができます	5-35
強制呼出	強制呼出し（オーバーライド）	応答しない電話機（着信拒否／話中）を強制的に呼び出します	5-11
個別パーク	個別パーク保留	保留した外線を他の人がとらないようにできます	5-21
グループ内代理応答	グループ内代理応答	同じ内線グループにかかってきた電話に別の電話機で応答できます	5-13
パーク応答	パーク応答（コールパークピックアップ）	パーク保留に応答するときに使用します	5-22
プッシュ	ダイヤルリバース（プッシュ）	プッシュ信号を送出できます	5-4
リピート	オートリピートダイヤル	自動的に繰り返し何度もかけ直すことができます	4-8
タイムコール	タイムコール	設定した時刻に電話機を鳴らしてお知らせします	5-42
リレー番号	リレーコントロール1～8	電話機から別のユニットの電源などをON・OFFできます	10-9
スピーカ	スピーカ	受話器を置いたまま発信・着信・応答状態になります	4-2
短縮	短縮	短縮ダイヤルがかけられます	4-5
ショート フラッシュ	ショートフラッシュ（ショートフック）	ショートフラッシュ信号を送出するときに使用します	—
セーブナンバ	セーブナンバリダイヤル	ダイヤルした番号を記憶させ再びかけ直すことができます	5-37
転送	転送	転送するときに使用します	4-33
外線時間予約	外線時間予約（タイムドランクキューイング）	指定時間後の外線使用予約ができます	5-6
内着モード切り替え	内着モード切り替え	内線着信を音声着信、トーン着信のどちらかに指定できます	4-27
秘話解除	秘話解除	通話中の外線に割り込みができます	5-47
ドント・ディスターブ	ドント・ディスターブ	着信拒否ができます	5-34
グループ予算	グループ予算額設定、グループ使用率表示	内線グループ（部署など）別の予算額に対する使用率を表示します	11-12
保留	保留	保留状態にします	4-31
前回	通話料金（前回分）	前回通話した1回分の料金を表示します	11-10
本日	通話料金（本日分）	当日分の料金を表示します	11-10
今月	通話料金（今月分）	当月分の料金を表示します	11-11
先月	通話料金（先月分）	先月分の料金を表示します	11-11
保留外線自動応答	保留外線自動応答	受話器を上げずに保留した外線に応答できます	4-32
再発信	再発信（ラストナンバリダイヤル）	最後に発信した相手に再び発信できます	4-3
通話録音	通話録音	通話録音を行う／行わないを切り替えると共に、その状態を表示します	—

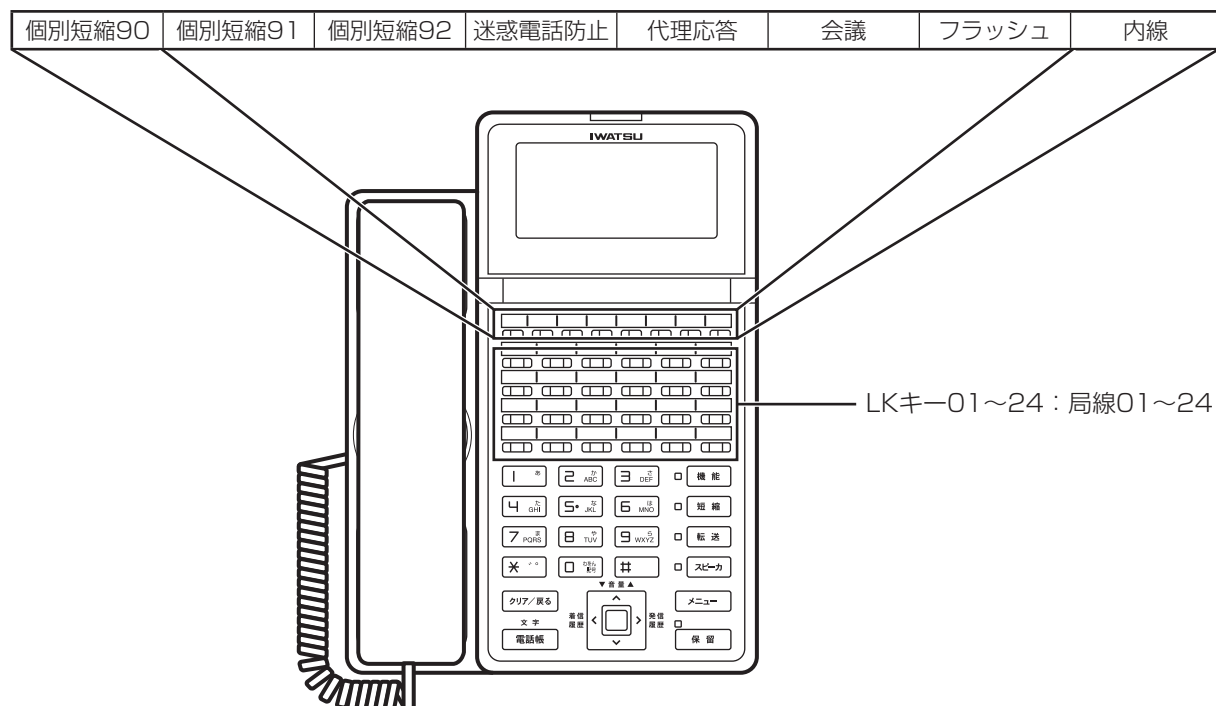
フレキシブルボタンについて

(前ページの続き)

ボタンに割り付く機能名	機能の名称	用 途	参照ページ
ボックス	ボックス	ボイスメールメッセージの再生を行うと共に、メッセージの有無を表示します	—
迷惑電話	迷惑電話防止	迷惑電話の電話番号の登録、確認、削除する時に使用します	7-33
接続	外線への手動転送	局線との通話をいったん保留して、別の局線にて発信通話を行い、その局線と保留した局線呼を接続することができます	5-26
ダイヤルイン	ダイヤルインボタンでの発信	ダイヤルイン着信時、およびダイヤルインボタンを使用した局線発信に使用します	7-12
索線ダイヤルイン	索線ダイヤルインボタンでの発信	空いているダイヤルイン局線を自動捕捉して局線発信するときに使用します	7-13
ダイヤルイングループ発信	ダイヤルイングループ発信ボタンでの発信	索線ダイヤルインと同機能で、空いているダイヤルイン局線を自動捕捉して局線発信するときに使用します	7-13
規制ダイヤル登録	Call JUDGE	発信規制ダイヤルの登録に使用します	11-3
グループモーニングコール	グループモーニングコール	モーニングコールを一斉に設定するときに使用します(続けてモーニングコールグループ番号を指定します)	6-31
グループモーニングコール番号	グループモーニングコール	モーニングコールを一斉に設定するときに使用します	6-31
エコ切り替え	エコモード	エコモード開始、終了操作を行ないます	5-48
ペア切り替え	ペアコードレス	ペア端末(親機、子機)での通話切り替えや、通話中からの保留または、空き状態からの保留応答操作を行ないます	5-18
音声案内録音	音声案内録音	音声案内メッセージを録音します	—
音声案内再生	音声案内再生	音声案内メッセージを再生します	—
電話機毎エコ	電話機毎エコモード	電話機毎エコモードを開始/終了するときに使用します	5-48

はじめに割り当てられている機能について

フレキシブルボタンの初期割り当て状態は以下の通りです。



Note

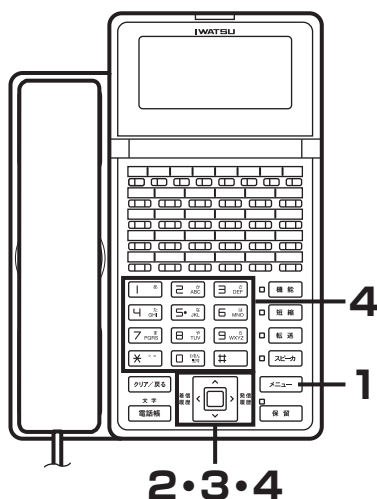
- IX-12KT-N電話機の場合は、LKキー01~12 : 局線01~12になります。

MEMO

3. 多機能電話機

基本設定編

日時を設定する



日時調整

システム電話機にてシステム内の日時を設定することができます。

● 設定方法

- 1 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

4 ホイメール設定
5 個人情報削除
0 システム設定

- 2 上下ボタンで“0 システム設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。
システム設定画面が表示されます。

1 SLT/FAXダイヤル種別
2 保留音
3 日付と時刻変更

- 3 上下ボタンで“3 日付と時刻変更”を選択し、「決定」ボタンを押します。
日付と時刻変更画面が表示されます。

日付と時刻変更¹
年 月 日 :

- 4 日時を設定します。西暦下2桁と年月および時刻(24時間表記)を入力し、「決定」ボタンを押します。

※ 電話機液晶画面表示は、2011年1月31日10時10分の場合の設定例です。

日付と時刻変更¹
11年01月31日 10:10

時刻を設定する

時刻調整

システム電話機にてシステム内の時計をセットまたは微調整ができます。

●時刻のセット方法

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「時刻調整」ボタン（または「機能」+「6」「4」ボタン）を押します。

電話機液晶表示

ジコク セッテイ hh:mm

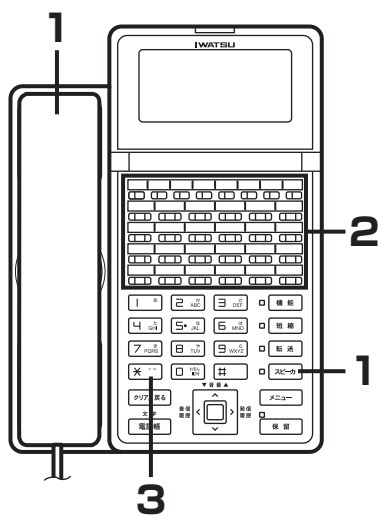
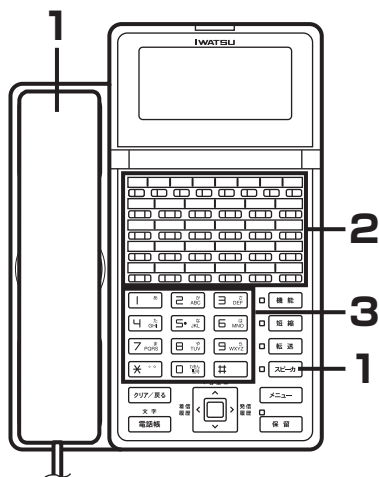
3 24時間表記で時刻を押します。
〈例〉午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」ボタンを押します。
時刻がセットされると、「プッププッ」という確認音が聞こえます。

●時刻の0秒設定

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「時刻調整」ボタン（または「機能」+「6」「4」ボタン）を押します。

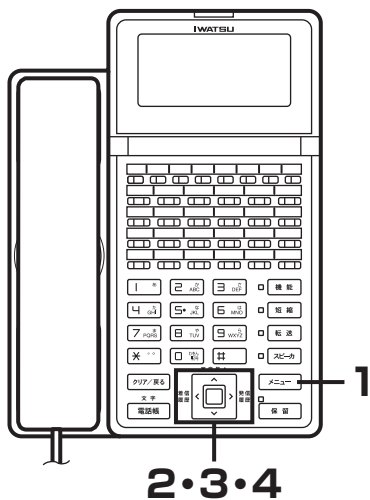
3 「*」ボタンを2回押します。



Note

- 時刻の微調整をおこなうと、その時点で秒が0秒にリセットされます。微調整をしたのが0～29秒だった場合、分はそのまま0秒になります。30～59秒だった場合、1分進んで0秒になります。
- 「時刻調整」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- システム電話機確認方法は2-9ページをご参照ください。
- 年月日の設定は、3-2ページをご参照ください。

画面コントラストを調整する



- 1** 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

↑
1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2** 上下ボタンで“1 電話機設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。
電話機設定画面が表示されます。

↑
1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

- 3** 上下ボタンで“3 画面コントラスト調整”を選択し、「決定」ボタンを押します。

画面コントラスト調整



- 4** 左右ボタンでコントラストを選択し、「決定」ボタンを押します。

音の調整

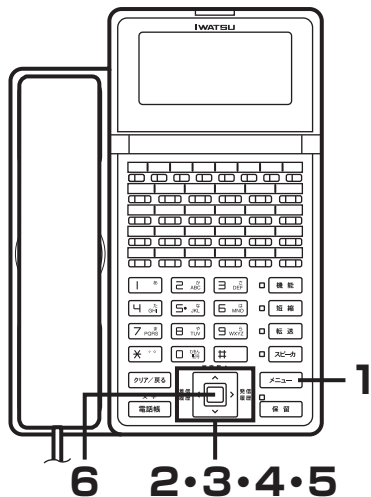
キータッチトーン

ダイヤルボタンが押されたことを音で確認できます。

※ダイヤルボタンを押すごとに、「ピッ」という音がします。キータッチトーンを使うには、あらかじめ電話機ごとに、データ設定が必要です。

音の調整

電話機ごとの着信音を設定する



Note

- 外線着信音量の調整（3-12ページ）が「オフ」設定の場合は、着信音が聞えませんが、好みの音量に調整後に、着信音設定を行ってください。
- 局線群着信とは、局線代表着信とダイヤルイン着信時の複数端末への鳴音指定を差します。局線個別着信とは、DISA、ダイヤルイン着信時の1台の端末への鳴音指定を差します。

● 外線着信音を設定する

- 1** 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2** 上下ボタンで“1 電話機設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。

電話機設定画面が表示されます。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

- 3** 上下ボタンで“1 着信音”を選択し、「決定」ボタンを押します。

1 外線着信音
2 外線個別着信音
3 内線着信音
[システム設定に従う]

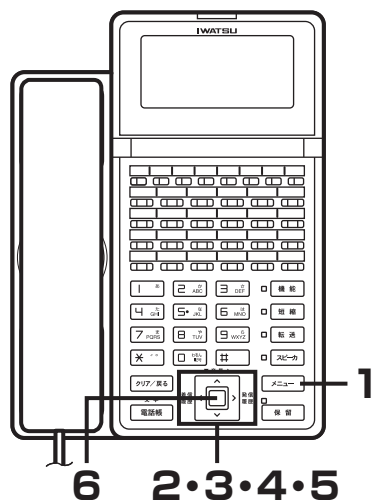
- 4** 上下ボタンで“1 外線着信音”を選択し、「決定」ボタンを押します。

外線着信音
システム設定に従う
着信音データ01
着信音データ02

- 5** 上下ボタンで“システム設定に従う”または着信音データ（1～20まで）のいずれかを選択時に、対象の着信音が送出されます。

- 6** 着信音が送出されている状態で、「決定」ボタンを押します。

電話機ごとの外線着信音が設定されます。



● 外線個別着信音を設定する

- 1** 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2** 上下ボタンで“1 電話機設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。
電話機設定画面が表示されます。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

- 3** 上下ボタンで“1 着信音”を選択し、「決定」ボタンを押します。
着信音設定画面が表示されます。

1 外線着信音
2 外線個別着信音
3 内線着信音
[システム設定に従う]

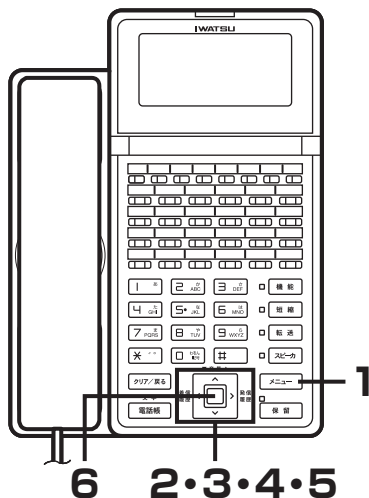
- 4** 上下ボタンで“2 外線個別着信音”を選択し、「決定」ボタンを押します。
着信音選択画面が表示されます。

外線個別着信音
システム設定に従う
着信音データ01
着信音データ02

- 5** 上下ボタンで“システム設定に従う”または着信音データ（1～20まで）のいずれかを選択時に、対象の着信音が送出されます。

- 6** 着信音が送出されている状態で、「決定」ボタンを押します。
電話機ごとの外線個別着信音が設定されます。

音の調整



Note

- 内線着信音量の調整（3-13ページ）が「オフ」設定の場合は、着信音が聞えませんが、好みの音量に調整後に、着信音設定を行ってください。

● 内線着信音を設定する

- 1 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2 上下ボタンで“1 電話機設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。
電話機設定画面が表示されます。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

- 3 上下ボタンで“1 着信音”を選択し、「決定」ボタンを押します。
着信音設定画面が表示されます。

1 外線着信音
2 外線個別着信音
3 内線着信音
[システム設定に従う]

- 4 上下ボタンで“3 内線着信音”を選択し、「決定」ボタンを押します。
着信音選択画面が表示されます。

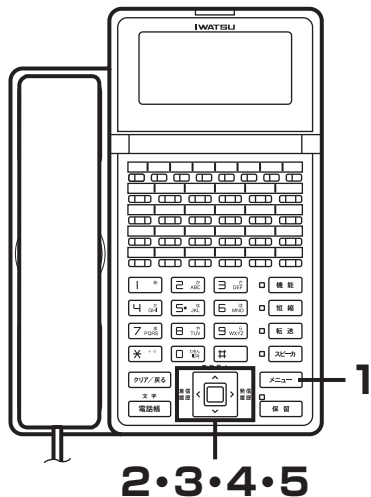
内線着信音
システム設定に従う
着信音データ01
着信音データ02

- 5 上下ボタンで“システム設定に従う”または着信音データ（1～20まで）のいずれかを選択時に、対象の着信音が送出されます。

- 6 着信音が送出されている状態で、「決定」ボタンを押します。
電話機ごとの内線着信音が設定されます。

音量調整をする

●外線で通話する時のスピーカ音量を調節する



- 1 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2 上下ボタンで“1 電話機設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。

電話機設定画面が表示されます。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

- 3 上下ボタンで“2 音量調整”を選択し、「決定」ボタンを押します。

音量調整設定画面が表示されます。

1 外線スピーカ音量
2 内線スピーカ音量
3 受話音量

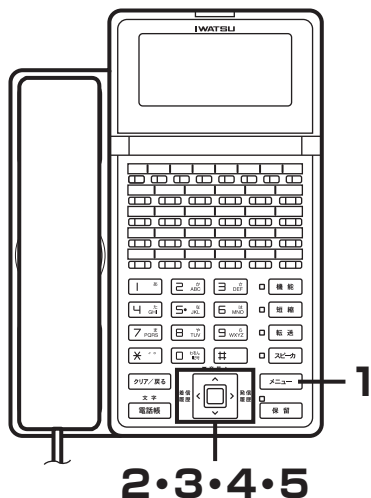
- 4 上下ボタンで“1 外線スピーカ音量”を選択し、「決定」ボタンを押します。

外線スピーカ音量

6 _■■

- 5 上下ボタンで音量（1～11まで）を選択し、「決定」ボタンを押します。

音の調整



●内線で通話する時のスピーカ音量を調節する

- 1** 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2** 上下ボタンで“1 電話機設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。
電話機設定画面が表示されます。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

- 3** 上下ボタンで“2 音量調整”を選択し、「決定」ボタンを押します。
音量調整設定画面が表示されます。

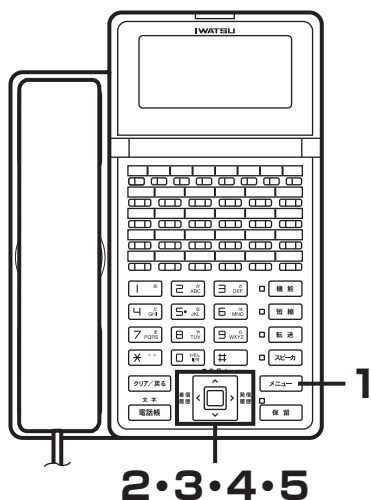
1 外線スピーカ音量
2 内線スピーカ音量
3 受話音量

- 4** 上下ボタンで“2 内線スピーカ音量”を選択し、「決定」ボタンを押します。

内線スピーカ音量

6 ▬■

- 5** 上下ボタンで音量（1～11まで）を選択し、「決定」ボタンを押します。

**Note**

- 受話音量の調整は、半固定モードへのデータ変更が必要です。設定については、お買い求めの販売店に、お問い合わせください。

● ハンドセットの受話音量を調整する

- 1** 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2** 上下ボタンで“1 電話機設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。
電話機設定画面が表示されます。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

- 3** 上下ボタンで“2 音量調整”を選択し、「決定」ボタンを押します。
音量調整設定画面が表示されます。

1 外線ループカ音量
2 内線ループカ音量
3 受話音量

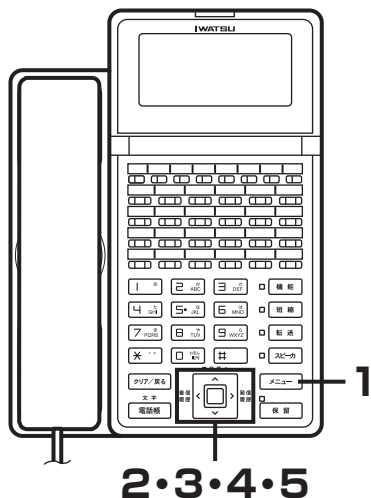
- 4** 上下ボタンで“3 受話音量”を選択し、「決定」ボタンを押します。

受話音量

--■

- 5** 上下ボタンで音量（1段階から6段階まで）を選択し、「決定」ボタンを押します。

音の調整



● 外線着信音量を調整する

- 1 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2 上下ボタンで“1 電話機設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。
電話機設定画面が表示されます。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

- 3 上下ボタンで“2 音量調整”を選択し、「決定」ボタンを押します。
音量調整画面が表示されます。

1 外線着信音量
2 内線着信音量
3 受話音量

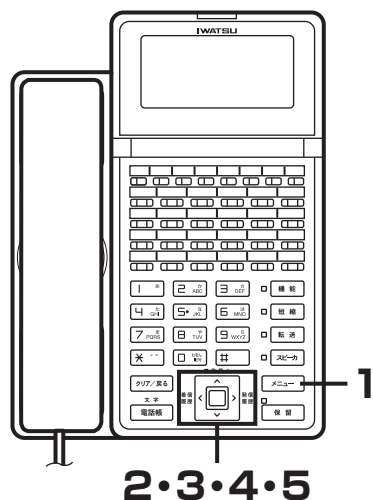
4 外線着信音量
5 内線着信音量
6 BGM音量

- 4 上下ボタンで“4 外線着信音量”を選択し、「決定」ボタンを押します。

外線着信音量

--

- 5 上下ボタンで音量（オフ、1段階から6段階まで）を選択し、「決定」ボタンを押します。



●内線着信音量を調整する

- 1** 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2** 上下ボタンで“1 電話機設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。
電話機設定画面が表示されます。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

- 3** 上下ボタンで“2 音量調整”を選択し、「決定」ボタンを押します。
音量調整画面が表示されます。

1 外線着信音量
2 内線着信音量
3 受話音量

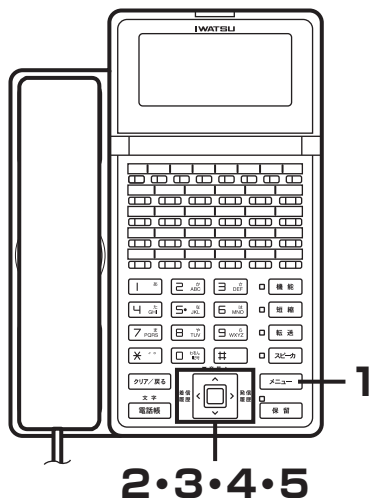
4 外線着信音量
5 内線着信音量
6 BGM音量

- 4** 上下ボタンで“5 内線着信音量”を選択し、「決定」ボタンを押します。

内線着信音量

- 5** 上下ボタンで音量（オフ、1段階から6段階まで）を選択し、「決定」ボタンを押します。

音の調整



●BGM音量を調整する

- 1 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2 上下ボタンで“1 電話機設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。
電話機設定画面が表示されます。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

- 3 上下ボタンで“2 音量調整”を選択し、「決定」ボタンを押します。
音量調整画面が表示されます。

1 外線スピーカ音量
2 内線スピーカ音量
3 受話音量

4 外線着信音量
5 内線着信音量
6 BGM音量

- 4 上下ボタンで“6 BGM音量”を選択し、「決定」ボタンを押します。

BGM音量

- 5 上下ボタンで音量（オフ、1段階から6段階まで）を選択し、「決定」ボタンを押します。

多機能電話機の音について

■多機能電話機の受話器で聞こえる音

状 態	音色 (Hz)	鳴 り 方	こんなとき聞こえます
内線発信音	400	ツツツツツツツツツツ・・・	受話器を取り上げたとき
第2ダイヤルトーン	400	ツツツツツ・・・	通話を転送するとき
内線呼出音	432/480	ブルルルル、ブルルルル、・・・	電話機を呼び出しているとき
話中音	400	ツー、ツー、ツー、・・・	呼び出した相手が話し中のとき
警告音	400	ツーツ、ツーツ、ツーツ、・・・	操作が適切でないとき
確認音	800	プッププッ、	機能が完了したとき
秘話解除音	800	プー、	外線通話中に秘話解除の操作をしたとき
転送音	800	プー、	通話の転送が完了したとき
話中呼出音	432/480	ブル、ブル、ブル、・・・	通話中に電話がかかってきたとき
バイパス音	800	プー、	通話中に他の電話機から割り込み操作が行なわれたとき
アッドオントーン	800	プー、	会議通話の用意ができたとき
検索中トーン	400	ツ、ツ、ツ、・・・	DCL検索中のとき
ハウラ音	1532	キーン・・・	受話器が長い間外れているとき
保留音	メロディIC /外部	┌──────────┐ メロディー	通話を保留したとき
リクエストトーン/ DISA着信	800	ブブ、ブブ、ブブ、・・・	外からDISA回線に着信がかかってきたとき
外線発信音	400	ツー・・・	外に電話をかけるとき
ドント・ディスターブ音	800	プーツ、プーツ、プーツ、・・・	呼び出し先が着信拒否中のとき
ウェイティングトーン	800	ブブブブブ、ブブブブブ、・・・	外線がすべて使用中のときに外線が空くのを待っているとき
不在メッセージトーン	800	プーツ、プーツ、プーツ、・・・	呼び出し先に不在メッセージが登録されているとき
インタセプトトーン	A:624 B:400	ブルブル、	優先順位の高い電話機から割り込み着信があるとき
確認音（長音）	800	プッププッ、プッププッ、・・・	登録操作が完了したとき
音声呼び出しパースト	400	ツー、	内線で呼び出したときに鳴るお知らせ音

音の調整

■多機能電話機の鳴る音

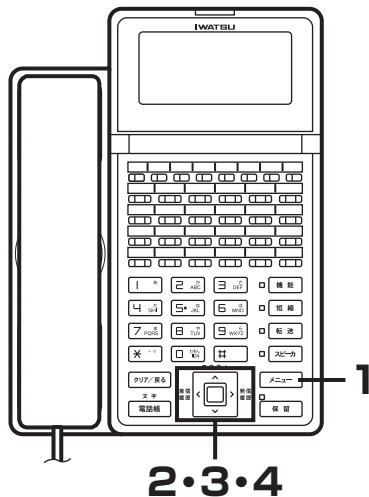
状 態	音色 (Hz)	鳴 り 方	こんなとき聞こえます
タイムコール	800 (800)	ブブブブ、・・・ブ、ブブブブ・・・	タイムコールで設定した時刻に鳴るお知らせ音
長時間通話アラーム音	(800)	ブブブブ、	一定時間お話ししたことをお知らせするアラーム音
モーニングコール	400 (400)	トゥルルルツ、トゥルルルツ、	設定時刻にシステムからのメッセージがあるとき
内線音声呼び（冒頭音）	480/624	トゥルルルル、	内線で音声呼び出したときに鳴るお知らせ音
転送保留リコール	432/624/16 (400/500)	ブブブブブ、ブブブブブ、・・・	通話の転送ができなかったとき、または転送操作を途中でやめたとき
外線保留警報	432/624/16 (400/500)	ブブブブブ、ブブブブブ、・・・	保留状態が一定時間を超えたとき
外線コールバック	432/624/16 (400/500)	ブブブブブ、ブブブブブ、・・・	外線に空きができたとき
外線キャンブオン1	400/496/16 (400/500)	ブルル、ブルル、・・・	外線通話が転送されてきたとき
外線キャンブオン2	432/480 (400/667/16)	ブルルルル、ブルルルル、・・・	外線通話が転送されてきたとき
外線キャンブオン3	432/624/16 (400/500)	トゥルルルツ、トゥルルルツ、・・・	外線通話が転送されてきたとき
外線キャンブオン4	保留音 (400/800)	┐ メロディー	外線通話が転送されてきたとき
着信警報音	480/624 (400)	ポポポポポ、ポポポポポ、・・・	設定した電話機が一定時間以上応答しないとき
外線着信1	400/496/16 (400/500)	ブルブル、ブルブル、・・・	外線に電話がかかってきたとき
外線着信2	432/480 (400/667/16)	ブルルルル、ブルルルル、・・・	外線に電話がかかってきたとき
外線着信3	432/624/16 (400/500)	トゥルルルツ、トゥルルルツ、・・・	外線に電話がかかってきたとき
外線着信4	保留音 (400/800)	┐ メロディー	外線に電話がかかってきたとき
外線着信5～12	—	IX-24KTDXE用のローカル鳴音	外線から電話がかかってきたとき
内線着信2、3	—	IX-24KTDXE用のローカル鳴音	内線から電話がかかってきたとき
外線着信5～16	—	IX-24KT-N/IX-12KT-N/IX-24KTAPF-N 用のローカル鳴音 ※内線着信音2～13と同じ音色、パターン	外線から電話がかかってきたとき
内線着信2～13	—	IX-24KT-N/IX-12KT-N/IX-24KTAPF-N 用のローカル鳴音 ※外線着信音5～16と同じ音色、パターン	内線から電話がかかってきたとき

状 態	音色 (Hz)	鳴 り 方	こんなとき聞こえます
内線リコール	480/624	ポポポポポ、ポポポポポ、...	内線通話の転送操作を途中でやめたとき
内線コールバック	480/624	ポポポポポ、ポポポポポ、...	お話し中の内線通話が終了したとき
内線キャンプオン	480/624 (400)	トゥルルルツ、トゥルルルツ、...	内線通話が転送されてきたとき
内線着信1	480/624 (400)	トゥルトゥルトゥル、トゥルトゥルトゥル、...	内線から電話がかかってきたとき
ドアホン着信1	ピンポン1 (400)	ピンポーンピンポーン、	ドアホンからの呼び出しがあったとき
ドアホン着信2	ピンポン2 (400)	ピンポンピンポンピンポン、	ドアホンからの呼び出しがあったとき
ドアホン着信3	480/624 (400)	トゥルトゥルトゥル、トゥルトゥルトゥル、...	ドアホンからの呼び出しがあったとき
ドアホン着信4	480/624 (400)	ポポポポポ、ポポポポポ、...	ドアホンからの呼び出しがあったとき
ページング	音声	┐ 音声	一斉／グループ／ページング呼び出しされているとき
ページング予告音1	528Hz 音声	ブブ、┐ 音声	一斉／グループ／ページング呼び出しされているとき
ページング予告音2	528Hz 音声	ブーブー、┐ 音声	一斉／グループ／ページング呼び出しされているとき
ページング予告音3	ピンポン2 音声	ピンポン、┐ 音声	一斉／グループ／ページング呼び出しされているとき
BGM	音声	┐ ミュージック	バックグラウンドミュージック
優先内線着信（トーン）	A:624, B:400 (667/400)	ブルブル、ツツツ、ブルブル、ツツツ、...	着信中に優先の高い割り込み着信がかかってきたとき
優先内線着信（音声）	A:624, B:400	ブルブル、 音声	着信中に優先の高い割り込み着信の音声呼び出しがあったとき

※ 多機能IX-24KT-N/IX-12KT-N/IX-24KTAPF-N電話機では、端末ごとに着信音を設定することが可能です。主装置データ設定で、外線着信5～16、内線着信2～13を設定することで、鳴り分けの範囲が広がります。

※ 多機能IX-24KTDXE電話機では、端末ごとに着信音を設定することが可能です。主装置データ設定で、外線着信5～12、内線着信2、3を設定することで、鳴り分けの範囲が広がります。

音の調整



保留音

● 保留音を変更する

- 1** 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

4 ホイスメール設定
5 個人情報削除
0 システム設定



Note

・システム設定は、システム電話機からのみ設定可能です。

- 2** 上下ボタンで“0 システム設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。
システム設定画面が表示されます。

1 SLT/FAXダイヤル種別
2 保留音
3 日付と時刻変更

- 3** 上下ボタンで“2 保留音”を選択し、「決定」ボタンを押します。
保留音選択画面が表示されます。

保留音
内部保留音1
内部保留音2
内部保留音3

- 4** 上下ボタンで内部保留音（1～6）または“外部保留音”を選択し、「決定」ボタンを押します。



Note

- ・保留音の選択はデータ設定により、あらかじめ登録することができます。
- 1 瞳がほほえむから
 - 2 HERE COMES THE SUN
 - 3 ハイ・ホー
 - 4 未来予想図Ⅱ
 - 5 I NEED TO BE IN LOVE
 - 6 パッヘルベルのカノン

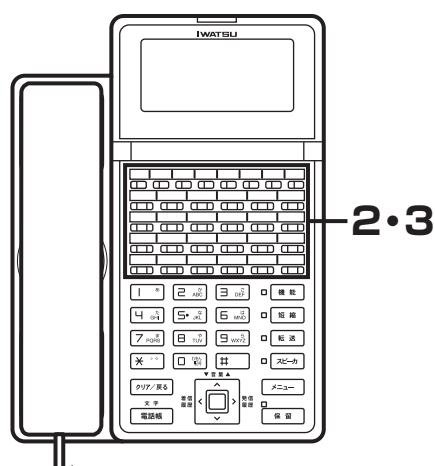
外部保留音

オプション

外線、内線、専用線の通話を保留した際、相手に外部に接続した音源の保留音を流すことができます。
※外部保留音源が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

BGM

空いている多機能電話機のスピーカ、外部スピーカから音楽を聞くことができます。



●多機能電話機のスピーカの場合

- 1 電話機が空いていることを確認します。
- 2 「BGM」ボタン（または「機能」＋「6」「2」ボタン）を押すと、BGMが聞こえます。
- 3 そのままの状態ですべて「BGM」ボタン（または「機能」＋「0」「6」「2」ボタン）を押すと、BGMが止まります。
※外部BGM音源が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。



Note

- 「BGM」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- BGMは「センサーで検知して多機能電話機のスピーカから一斉放送を開く（センサー検知一斉放送）（10-8ページ）」とは、併用できません。

●外部スピーカで音楽を流す場合

オプション

BGMアンプが必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

電話帳を登録する

システムの電話帳に、相手先の情報を登録できます。

電話帳に登録しておくと、登録した名前のスクロール検索や、発信に便利な機能（短縮発信、検索発信など）が携帯電話のような感覚で使えます。

電話帳には、システム全体で共通の電話帳、グループで共通の電話帳、電話機毎に持つ電話帳の3種類があります。それぞれの電話帳に登録できる件数は、使用する短縮番号の桁数により異なります。

電話帳の種類	最大登録件数		
	短縮番号2桁	短縮番号3桁	短縮番号4桁
システム電話帳	合計90件	合計900件	合計9000件
内線グループ電話帳（グループ全体）			
個別電話帳（電話機ごと）	10件	100件	500件

■対象（制限）電話機数

個別電話帳の対象電話機数は、以下の通りです。

電話帳件数	対象電話機数
10件	1024台
100件	300台
500件	60台

■電話帳項目

以下の内容を電話帳に設定することが出来ます。

- ・名前：一覧表示に使用する名前を登録します。
- ・ヨミガナ：検索に使用するヨミガナを登録します。
- ・発信先：発信先(外線/内線) を登録します。
- ・電話番号：外線の場合は相手先電話番号、内線の場合は内線番号を登録します。
- ・短縮番号：短縮ダイヤル発信時に使用する短縮番号を登録します。
- ・電話帳グループ：電話帳データが所属するグループを登録します。
- ・発信グループ：発信先が外線の場合、局線発信グループを登録します。



Note

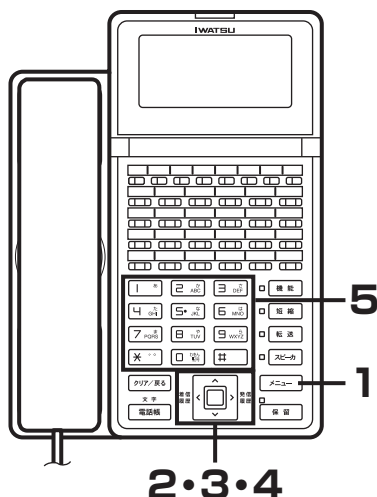
- ・システム電話帳、内線グループ電話帳は、システム電話機またはあらかじめ決められた電話機で登録が行えます。
- ・個別電話帳は、各電話機から登録が行えます。
- ・電話帳登録データと短縮ダイヤル登録データは同一のデータです。
- ・短縮番号の桁数を2桁または3桁でご使用になる場合は、あらかじめ設定が必要です。お買い求め時（初期値）の短縮番号の桁数は4桁です。
- ・検索モードの切り替えを行う場合は、「ヨミガナ」の登録が必要になります。

新規に登録する

以下の操作は、下記の内容に登録する方法について説明しています。

名前：鈴木一郎、電話番号：03-XXXX-1234、

電話帳グループ：グループ2、外線発信グループ：1



Note

- 手順（1）～（3）の代わりに、「機能」、「短縮」ボタンの順に押しても、電話帳の登録モード選択画面が表示されます。
- 登録操作を途中でキャンセルする場合は、いったん受話器を取り上げ、受話器を置いてください。
- 登録中の画面で一定時間（3分）操作を行わない場合は、電話機は空き状態になります。
- 何らかの理由で登録できない場合は、登録不可のメッセージが3秒間表示され、入力前の状態に戻ります。再度入力し直してください。
- 手順（1）～（3）で、「機能」、「短縮」ボタンの順に押して登録する場合は、あらかじめ設定が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。登録方法については、6-23ページをご参照ください。登録できる電話番号は1番号目のみです。

1 受話器を置いたまま、「メニュー」ボタンを押します。

メインメニュー画面が表示されます。

- 1 電話機設定
- 2 電話帳編集
- 3 不在転送設定

2 上下ボタンで“2 電話帳編集”を選択し、「決定」ボタンを押します。

電話帳編集画面が表示されます。

- 1 電話帳登録
- 2 個別電話帳全削除
- 3 電話帳グループ名変更

3 上下ボタンで“1 電話帳登録”を選択し、「決定」ボタンを押します。

登録モード選択画面が表示されます。

4 上下ボタンで“1 名前”を選択し、「決定」ボタンを押します。

名称の入力画面が表示されます。

名前
(全角8文字)

5 登録先の名称（姓）を入力します。

例：すすき

名前
(全角8文字)

すすき

- ①す : 「3」を3回押す
- ②す : 右ボタンを押して、右に1文字移動し、「3」を3回押す
- ③” (濁点) : 「*」を1回押す。
- ④き : 「2」を2回押す

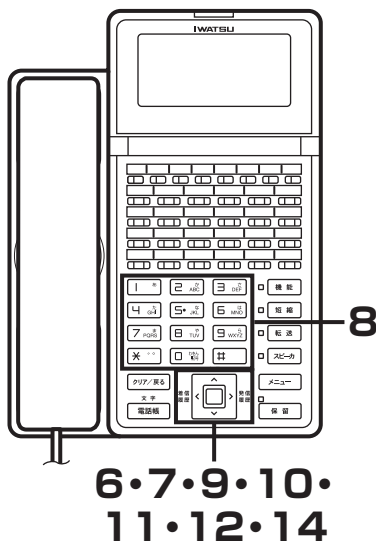
※登録先の名称（姓+名）は、ひらがな・漢字は全角8文字、カタカナ・英数字は半角16文字まで入力できます。

※文字入力の詳細については、「文字の入力方法」（3-30ページ）を参照してください。

（次ページへ続く）

電話帳を登録する

(前ページの続き)



6 上下ボタンを押します。
カーソル位置までの変換候補が表示されます。

7 上下ボタンを押し、目的の候補にカーソルを移動し、「決定」ボタンを押します。

名前
(全角8文字)
鈴木_

8 登録先の名称(名)を入力します。

名前
(全角8文字)
鈴木
いちろう

例：いちろう

い：「1」を2回押す

ち：「4」を2回押す

ろ：「9」を5回押す

う：「1」を3回押す

※文字入力の詳細については、「文字の入力方法」(3-30ページ)を参照してください。

9 上下ボタンを押します。
カーソル位置までの変換候補が表示されます。

10 上下ボタンを押し、目的の候補にカーソルを移動し、「決定」ボタンを押します。

11 「決定」ボタンを押します。
名称が確定します。

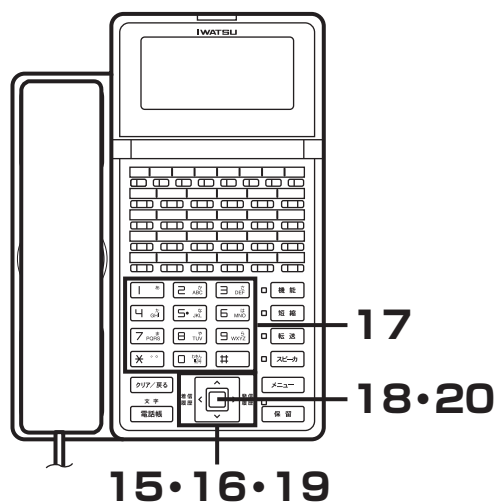
1 名前
2 ヨミガナ
3 電話番号1
[鈴木一郎] 登録

12 上下ボタンで“2 ヨミガナ”を選択し、「決定」ボタンを押します。
※名称の入力時に入力した文字が、読み仮名として表示されます。

13 読み仮名の変更が必要な場合は、修正します。
※読み仮名は、カタカナ・英数字を半角16文字まで入力できます。
※文字入力の詳細については、「文字の入力方法」(3-30ページ)を参照してください。

14 「決定」ボタンを押します。
読み仮名が確定します。

1 名前
2 ヨミガナ
3 電話番号1
[スズキイチロウ] 登録



15 上下ボタンで“3 電話番号1”を選択し、「決定」ボタンを押します。

電話番号の入力画面が表示されます。

発信先

1 外線

2 内線

※ 電話番号2・電話番号3の登録も手順15～18に従ってください。

16 上下ボタンで登録する電話番号が外線であるか内線であるかを選択し、「決定」ボタンを押します。

電話番号入力画面が表示されます。

電話番号1
(32桁)

17 電話番号(32桁以内)を入力します。

入力されたダイヤルが表示されます。

電話番号1
(32桁)

03XXXX1234

例：03XXXX1234

※ 制御コードの入力については、「文字の入力方法」(3-30ページ)を参照してください。

18 「決定」ボタンを押します。

電話番号が確定します。電話帳設定画面が表示されます。

1 名前

2 ミガナ

3 電話番号1

[03XXXX1234] 登録

19 上下ボタンで“7 電話帳グループ”を選択します。

“7 電話帳グループ” がリバー表示になります。

7 電話帳グループ

8 発信グループ

[グループなし] 登録

20 「決定」ボタンを押します。

電話帳グループ選択画面が表示されます。

電話帳グループ

グループなし

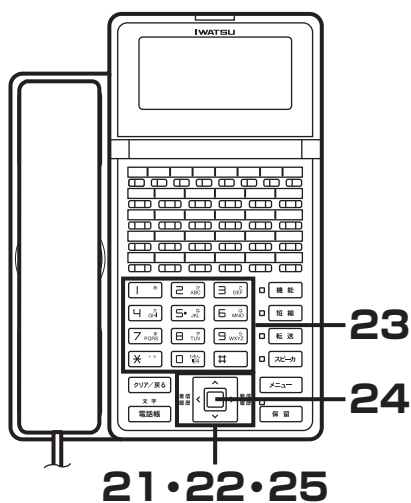
グループ01

グループ02

(次ページへ続く)

電話帳を登録する

(前ページの続き)



Note

- 登録操作を途中でキャンセルする場合は、いったん受話器を取り上げ、受話器を置いてください。
- 指定可能な短縮番号

種別	短縮番号 2桁	短縮番号 3桁	短縮番号 4桁
システム短縮ダイヤル	00～89	000～899	0000～8999
内線グループ短縮ダイヤル	00～89	000～899	0000～8999
個別短縮ダイヤル	90～99	900～999	9000～9499

- 短縮番号として、登録済みの番号を指定した場合は、以前に登録されていた内容が上書きされますのでご注意ください。
- 発信者番号毎転送グループ番号は、お買い求めの販売店にご確認ください。
- 外線発信グループ番号は、主装置がMタイプの場合「00～60」、主装置がLタイプの場合「000～250」となります。主装置のタイプについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

21 上下ボタンで、指定する電話帳グループを選択し、「決定」ボタンを押します。

7 電話帳グループ
8 発信グループ
[グループ 02] 登録

22 上下ボタンで“8 発信グループ”を選択し、「決定」ボタンを押します。

発信グループ
(0-60)
0

例：グループ02

電話帳グループの選択を確定し、外線発信グループ番号の入力画面が表示されます。

23 外線発信グループ番号（00～60）を入力します。

発信グループ
(0-60)
01

例：外線発信グループ02

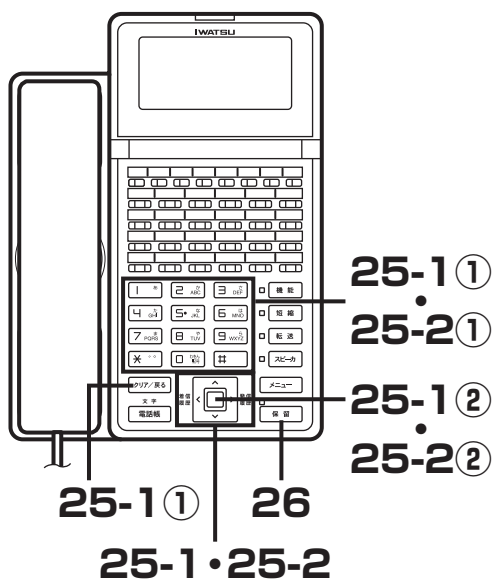
24 「決定」ボタンを押します。

7 電話帳グループ
8 発信グループ
[01] 登録

25 短縮番号の変更が必要な場合は、上下ボタンで“6 短縮番号”を選択し、「決定」ボタンを押します。

登録先選択画面が表示されます。

登録先
1 個別電話帳
2 システム電話帳



25-1

個別電話帳に登録する場合は、上下ボタンで“1 個別電話帳”を選択し、「決定」ボタンを押します。

入力画面が表示されます。

短縮番号 (90-99)	1
-----------------	---

- ① 「クリア」ボタン押し、短縮番号（90～99）をダイヤルします。

短縮番号 (90-99)	1	
		90

- ② 「決定」ボタンを押します。

4 電話番号2	↑
5 電話番号3	
6 短縮番号	
[個別=90]	Ⓢ登録

25-2

システム電話帳に登録する場合、上下ボタンで“2 システム電話帳”を選択し、「決定」ボタンを押します。

入力画面が表示されます。

短縮番号 (0000-8999)	1
---------------------	---

- ① 「クリア」ボタン押し、短縮番号（0000～8999）を入力します。

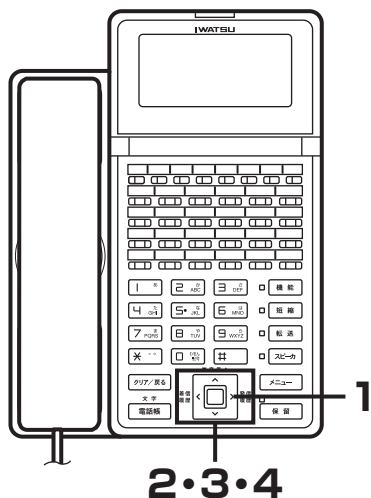
短縮番号 (0000-8999)	1	
		0001

- ② 「決定」ボタンを押します。
短縮番号が確定されます。

鈴木一郎 03XXXX1234 グループ2 システム=0001	1
--	---

- 26 「保留」ボタンを押します。
登録が完了します。

電話帳を登録する



Note

- 発信履歴リストに表示される相手先は、電話帳に登録されていれば、その名前が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、相手先の電話番号のみ表示されます。
- 既に電話帳に登録されている相手先は、電話帳に登録できません。
- 発信履歴に記録されている電話番号の桁数は、最大32桁です。
- 発信履歴リストの電話番号表示は、最大11桁です。

発信履歴から登録する

- 1 受話器を置いたまま、発信履歴ボタンを押します。
発信履歴リストが表示されます。

03XXXX5555	18:36
03XXXX2222	18:36
3001	12:55

- 2 上下ボタンで登録する発信履歴を選択し、「決定」ボタンを押します。

発信履歴詳細が表示されます。

<登録なし>	
03XXXX5555	
10年09月16日	18:36

- 3 「決定」ボタンを押します。

動作選択表示画面が表示されます。

03XXXX5555	↑
1 電話帳登録	
2 発信	
3 一件削除	

- 4 上下ボタンで“1 電話帳登録”を選択し、「決定」ボタンを押します。

電話帳の登録画面が表示されます。

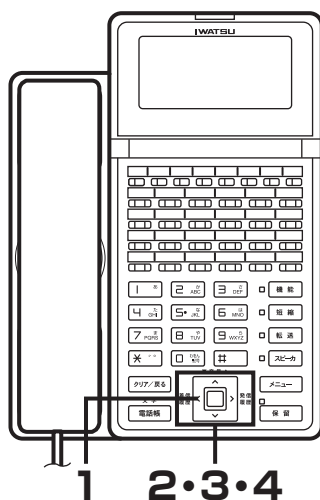
1 名前	↑
2 ヨミガナ	
3 電話番号	
[	] 登録

- 5 「新規に登録する」(3-21ページ)の手順(4)以降と同様に操作します。

Note

- 発信履歴の表示中に、3分間ダイヤル操作がない場合は、発信履歴表示を終了します。なお、着信が発生した場合は、着信状態になります。
- 発信履歴の表示中に受話器を上げる、または外線発信を行うボタンを押すと、外線発信します。

着信履歴から登録する



Note

- 着信履歴に記録されている電話番号桁数は、最大16桁です。
- 着信時にNTT等から発信者名情報が通知された場合でも、電話帳に相手先名が登録されている場合は、電話帳に登録されている相手先名が着信履歴に記録されます。
- 既に電話帳に登録されている、または非通知理由を表示している相手先は、電話帳に登録できません。

- 1 受話器を置いたまま、着信履歴ボタンを押します。
着信履歴リストが表示されます。

03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13末

- 2 上下ボタンで登録する着信履歴を選択し、「決定」ボタンを押します。

着信履歴詳細が表示されます。

<登録なし>	
03XXXX2222	
10年09月13日	15:53
他応答	3003 外

- 3 「決定」ボタンを押します。
動作選択表示画面が表示されます。

03XXXX2222	
1 電話帳登録	
2 迷惑電話防止登録	
3 発信	

- 4 上下ボタンで“1 電話帳登録”を選択し、「決定」ボタンを押します。

電話帳の登録画面が表示されます。

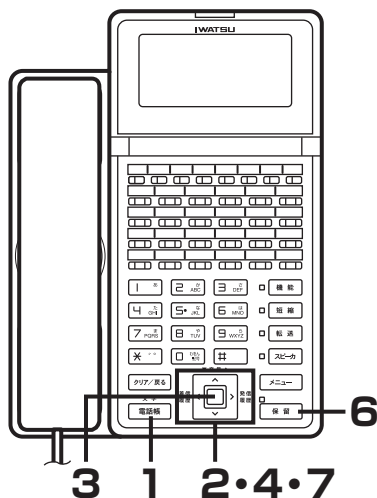
1 名前	
2 ヨミガナ	
3 電話番号	
[	] 登録

- 5 「新規に登録する」(3-21ページ)の手順(4)以降と同様に操作します。

Note

- 着信履歴の表示中に、3分間ダイヤル操作がない場合は、着信履歴表示を終了します。なお、着信が発生した場合は、着信状態になります。
- 着信履歴の表示中に受話器を上げる、または外線発信を行うボタンを押すと、外線発信します。ただし、着信履歴が非通知で保存されている相手に対しては発信できません。
- 既に電話帳に登録されている、または非通知理由を表示している相手先は、電話帳に登録できません。

電話帳を登録する


Note

- 編集操作を途中でキャンセルする場合は、いったん受話器を取り上げ、受話器を置いてください。
- 登録中や検索中の画面で一定時間（3分）操作を行わない場合は、電話機は空き状態になります。
- 何らかの理由で編集できない場合は、登録不可のメッセージが3秒間表示され、入力前の状態に戻ります。再度入力し直してください。

登録内容を編集する

ここでは、前回の検索が「50音訓検索」であった場合を例として説明しています。

前回の検索が、「読み仮名検索」であった場合は、「電話帳を検索してかける（読み仮名検索）」（4-10ページ）の手順（1）～（3）と同様な操作後に、手順（2）の操作を行ってください。

1 受話器を置いたまま、「電話帳」ボタンを押します。
電話帳一覧画面が表示されます。

2 上下左右ボタンで登録された電話番号を選択し、「決定」ボタンを押します。
登録内容が表示されます。

鈴木一郎
03XXXX1234
グループなし
個別：90

3 「決定」ボタンを押しサブメニューを表示させます。
サブメニュー画面が表示されます。

鈴木一郎
1 発信 03XXXX1234
2 編集
3 削除

Note

- 一般電話機（システム電話機以外）の場合、システム電話帳に登録した電話番号を選択したときは、「1 発信」のみ表示されます。

4 上下ボタンで“2 編集”を選択し、「決定」ボタンを押します。
名称の入力画面が表示されます。

5 電話帳の各項目を変更する。
※各項目には既存の値が入っています。必要に応じて変更してください。
※変更しない項目については、既存の値のまま「決定」ボタンを押してください。

6 「保留」ボタンを押し、変更内容の登録を行います。

短縮番号xxxxに
上書きしますか？
はい
いいえ

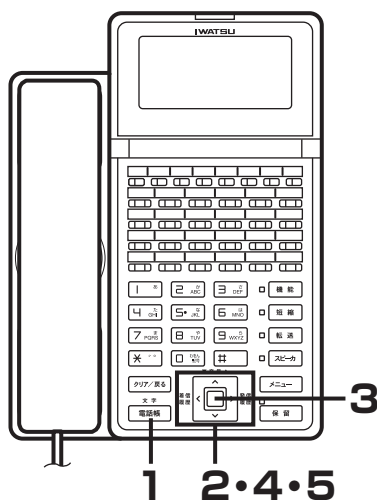
7 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。

8 電話機は空き状態に戻ります。

登録内容を削除する

ここでは、前回の検索が「50音訓検索」であった場合を例として説明しています。

前回の検索が、「読み仮名検索」であった場合は、「電話帳を検索してかける（読み仮名検索）」（4-10ページ）の手順（1）～（3）と同様な操作後に、手順（2）の操作を行ってください。



Note

- 編集操作を途中でキャンセルする場合は、いったん受話器を取り上げ、受話器を置いてください。
- 登録中や検索中の画面で一定時間（3分）操作を行わない場合は、電話機は空き状態になります。

1 受話器を置いたまま、「電話帳」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

2 上下左右ボタンで登録された電話番号を選択し、「決定」ボタンを押します。
登録内容が表示されます。

鈴木一郎
03XXXX1234
グループ：なし
個別：90

3 「決定」ボタン押しサブメニューを表示させます。
サブメニュー画面が表示されます。

鈴木一郎
1 発信 03XXXX1234
2 編集
3 削除

Note

- 一般電話機（システム電話機以外）の場合、システム電話帳に登録した電話番号を選択したときは、「1 発信」のみ表示されます。

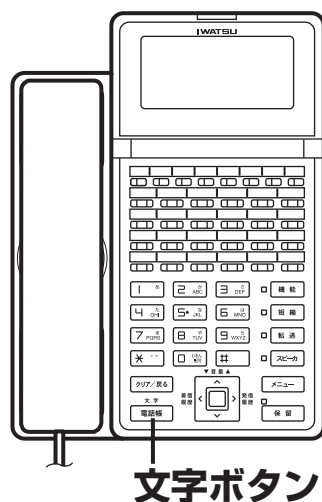
4 上下ボタンで“3 削除”を選択し、「決定」ボタンを押します。

鈴木一郎
削除しますか？
はい
いいえ

5 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。
削除が完了します。

6 電話機は空き状態に戻ります。

文字の入力方法



入力モードを切り替える

文字入力中に文字ボタンを押すと入力モードが切り替わります。
ひらがな→カタカナ（半角）→英字記号（半角）→数字（半角）
＜表示例＞

名前
(全角8文字)
—

あ ひらがなモード

名前
(全角8文字)
—

ア カタカナモード

名前
(全角8文字)
—

A 英字記号モード

名前
(全角8文字)
—

1 数字モード



Note

- 読み仮名の入力中は、ひらがなモードには切り替えられません。
- カタカナ（半角）→英字記号（半角）→数字（半角）

文字を入力する

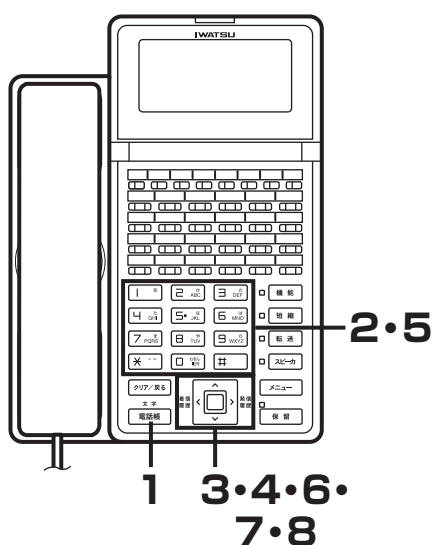


Note

- 変換できる漢字は、JIS第1水準漢字、JIS第2水準漢字です。
- 文字入力が確定すると、カーソル位置は次の行に移動します。
- すでに確定した文字の上から違う文字を入力すると、カーソルの位置に挿入されます。
- 数字モードでは、ダイヤルボタンを押した時点で、入力が確定します。

■ひらがなモードの場合

例：名前：鈴木一郎



1 文字が入力できる状態で、文字ボタンを押して入力モードを切り替えます。

この場合、ひらがなモードに切り替えます。

名前
(全角8文字)
—

2 入力したい文字が割り当てられているボタンを押します。

名前
(全角8文字)
すずき

例：すずき

- ①す : 「3」を3回押す
- ②す : 右ボタンを押して、右に1文字移動し、「3」を3回押す
- ③ゝ (濁点) : 「*」を1回押す
- ④き : 「2」を2回押す

3 上下ボタンを押します。

カーソル位置までの変換候補が表示されます。

4 上下ボタンで目的の候補（“鈴木”）を選択し、「決定」ボタンを押します。

“鈴木”が確定します。

文字の入力方法

(前ページの続き)

5 入力したい文字が割り当てられているボタンを押します。

名前
(全角8文字)
鈴木
いちろう

例：いちろう

- ①い：「1」を2回押す
- ②ち：「4」を2回押す
- ③ろ：「9」を5回押す
- ④う：「1」を3回押す

6 上下ボタンを押します。 カーソル位置までの変換候補が表示されます。

7 上下ボタンで目的の候補（“一郎”）を選択し、「決定」ボタンを押します。 “一郎”が確定します。

8 「決定」ボタンを押します。 “鈴木一郎”の入力が確定しました。

■英字記号モードの場合

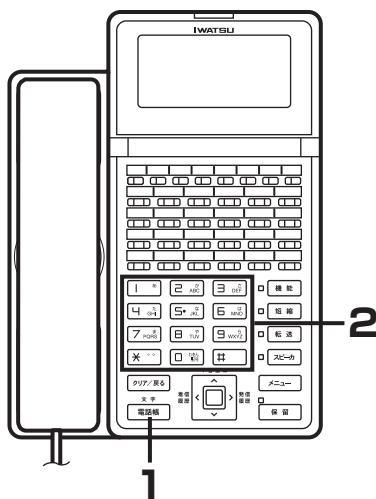
例：IWATSU

1 文字が入力できる状態で、文字ボタンを押して入力モードを切り替えます。 この場合、英字記号モードに切り替えます。

名前
(全角8文字)
—

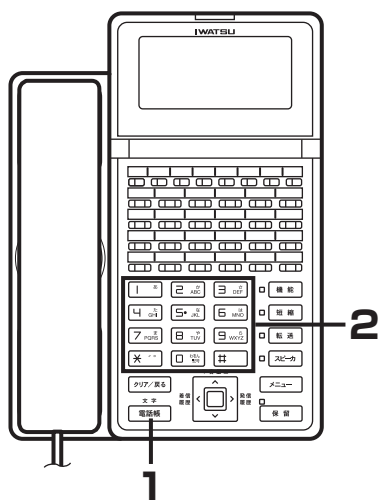
2 入力したい文字が割り当てられているボタンを押します。

- ①I：「4」を3回押す
- ②W：「9」を1回押す
- ③A：「2」を1回押す
- ④T：「8」を1回押す
- ⑤S：「7」を4回押す
- ⑥U：「8」を2回押す



■数字モードの場合

例：03XXXX1234



1 文字が入力できる状態で、文字ボタンを押して入力モードを切り替えます。

この場合、数字モードに切り替えます。

名前
(全角8文字)

—

2 入力したい文字が割り当てられているボタンを押します。

① 「0」 「3」 「X」 「X」 「X」 「X」 「1」 「2」 「3」 「4」

■制御コードの入力方法

制御コードは、電話番号2桁分に相当します。

制御コード	入力方法	ディスプレイ表示
ポーズ	「保留」ボタンを押し、続けて「1」～「9」ボタン（ポーズの秒数1～9秒）を押します。	—n ※ (n:1～9)
ダイヤルリバース (DP→PB)	「保留」ボタンを押し、続けて「✳」ボタンを押します。	T
ダイヤルリバース (PB→DP)	「保留」ボタンを押し、続けて「#」ボタンを押します。	P
ショートフラッシュ	「ショートフラッシュ」ボタン（または「保留」ボタンを押し、続けて「0」）を押します。	F



Note

- ポーズ時間は、電話帳でかけるときに、ダイヤルとダイヤルの間の時間を、ポーズ時間をあけてダイヤルします。
- ダイヤルリバースは、電話帳でかけるときに、ダイヤル信号 (DP) とプッシュ信号 (PB) の切り替えを行います。電話回線がアナログ回線の場合のみ有効です。

文字の入力方法

■入力モードごとのキー割り当て

ボタン	入力モード			
	ひらがなモード	カタカナモード	英字記号モード	数字モード
1あ	あいうえおあいうえお	アイイアイウエオ	./_@1空白	1
2かABC	かきくけこ	カキクコ	A B C a b c 2	2
3さDEF	さしすせそ	サシセソ	D E F d e f 3	3
4たGHI	たちつてとっ	タチツトツ	G H I g h i 4	4
5なJKL	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l 5	5
6はMNO	はひふへほ	ハヒフホ	M N O m n o 6	6
7まPQRS	まみむめも	マミムモ	P Q R S p q r s 7	7
8やTUV	やゆよやゆよ	ヤユヨ	T U V t u v 8	8
9らWXYZ	らりるれろ	ラリルロ	W X Y Z w x y z 9	9
0わをん記号	わをんわー、！？ 空白	ワヲンー、！？ 空白	:-_!?' " ()\$%#+*=^` ; ¥ & } < > [] 空白	0
*ゝ 。	ゝ 。	ゝ 。	未使用	*
#	未使用	未使用	メールアドレスの入力時 にのみ、定型句 ^{*1} が入力 できます	#
文字ボタン 文字 電話帳	カタカナモードに切り替 えます	英字記号モードに切り替 えます	数字モードに切り替えま す	名称の入力中は、ひらが なモードに切り替えま す。 読み仮名の入力中は、カ タカナモードに切り替え ます。
上ボタン 	入力した文字の変換候補 を選択します。	半角／全角変換を選択します。		
下ボタン 				
右ボタン 	カーソルを右に移動しま す。 変換候補の選択中は、変 換をキャンセルします。	カーソルを右に移動します。		
左ボタン 	カーソルを左に移動しま す。 変換候補の選択中は、変 換をキャンセルします。	カーソルを左に移動します。		
「決定」ボタン 	入力した文字や選択した 変換候補を確定します。	入力した文字を確定します。		名称の入力中は、入力し た文字を確定します。
「クリア」ボタン、 「戻る」ボタン クリア/戻る	短く押すと、カーソル上の1文字を消去します。 1秒以上押すと、入力した全ての文字を消去します。 ひらがなモードで、変換候補の選択中は、変換をキャンセルします。			

※1 メールアドレスの入力時にのみ、下記の定型句が入力できます。

定型句	@docomo.ne.jp	@willcom.com	.ac.jp	.net
	@ezweb.ne.jp	@?? .pdx.ne.jp	.or.jp	.biz
	@softbank.ne.jp	.co.jp	.jp	
	@?.vodafone.ne.jp	.ne.jp	.com	

液晶表示部の説明



Note

- 日、曜日、時刻はメニュー登録またはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。データ設定については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ※ 日、曜日、時刻のメニュー登録は3-2ページ、時刻の修正は3-3ページの時刻調整で行えます。



Note

- 表示はダイヤル数字が右から左へ流れていきます。
- 16桁以上になると左（先にダイヤルしたもの）が見えなくなります。
- 短縮番号など、登録されている番号でかけるときも表示されます。

カレンダー／時刻表示

- 使用していないときに年月日、時刻を表示します。

2 月 15 日（火）10:30 AM
3001

内線番号

ダイヤルモニタ

- ダイヤルした番号が表示されます。

ダイヤル番号

03XXXX5678

内線相手番号表示

- 内線で着信

- 相手の内線番号および登録されている発信者氏名が表示されます。

※ 発信者氏名は、あらかじめデータ設定により、登録されている場合に表示されます。

登録発信者名

ナイチャク 岩崎
3000

- 転送で着信（不在・話中・未応答転送）

- 発信内線番号、および転送内線番号が表示されます。

登録発信者名

ナイチャク 3011→3009
3010

- 会議通話中

- 会議に参加している内線番号が表示されます。

ナイセンカイギ
1025 2010 2020

会議参加している内線番号

液晶表示部の説明



Note

- 通話時間が100分を超えると00:00表示に戻ります。
- 通話料金が1,000,000円を超える場合でも、表示は999,999円で止まります。
- 料金表示をするには、あらかじめデータ設定が必要です。設定については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 非課金ダイヤル（0120、114などの100番系など）をダイヤルしたときは、通話時間のみ表示します。

⚠ 注意

- 表示される通話料金は、電話局の通話料金と異なることがあります。異なった場合でも、公式データとして電話局などに提出・申し立てすることはできません。
- 通話料金の改訂などに伴うプログラム変更等は有償となります。

通話時間／料金表示

100分未満の外線通話時間が表示されます。

- 国内電話、国際電話、自動車電話、船舶電話、NCC（KDDI、日本テレコム）に対する外線通話料金が表示されます。

発信外線番号

発信外線グループ番号

キョクセン #3

GP. 1

15:32

320円

不在メッセージ表示

- 登録するとディスプレイに不在メッセージが表示されます。

また、不在設定中に内線呼び出しをされると、相手の多機能電話機のディスプレイにも不在メッセージが表示されます。



Note

- 登録方法、消去方法は5-45ページをご参照ください。

- 登録できるメッセージは戻り時間、戻り日、会議終了時間、行き先電話番号の4種類です。

戻り時間

2月15日(火) 10:30 AM
13:30 マデ フザイ

戻り日

2月15日(火) 10:30 AM
15 ニチ マデ フザイ

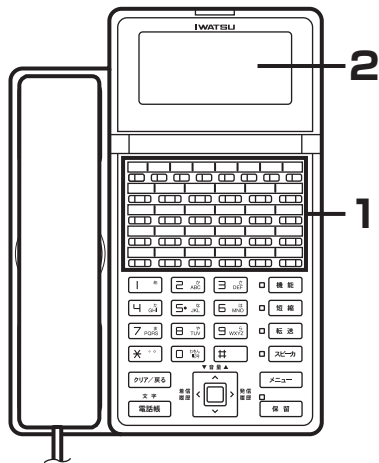
会議終了時間

2月15日(火) 10:30 AM
11:00 マデ カイギ

行き先電話番号

2月15日(火) 10:30 AM
ユキサキ→03XXXX1234

液晶表示部の説明



Note

- 「表示切り替え」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- EXT使用者の名前を表示するにはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

LCD表示切り替え

ディスプレイに表示する情報を切り替えることができます。

1 「表示切り替え」ボタン（または「機能」＋「6」「3」ボタン）を押します。

2 ディスプレイに表示される情報が切り替わります。

●表示内容の切り替えは、行ごとに行われます。ただし、該当する情報がない場合は、次のレベルの情報を繰り上げて表示します。

表示 レベル	表示内容	
	1 行	2 行
4	データ表示 ガイダンス表示 通話料金管理表示	データ表示 入力データ表示
3	外線発信捕捉 内線発信 呼状態表示	タイムコール着信 不在メッセージ
2	外線着信 内線着信	外線通話中（通話時間） {内線通話中（名前）} 注1 {内線通話中（内線識別）} 注2
1	外線通話中 {内線通話中} 注2	外線着信（外線識別・名前） {内線着信（名前）} 注1
0	時計	状態表示

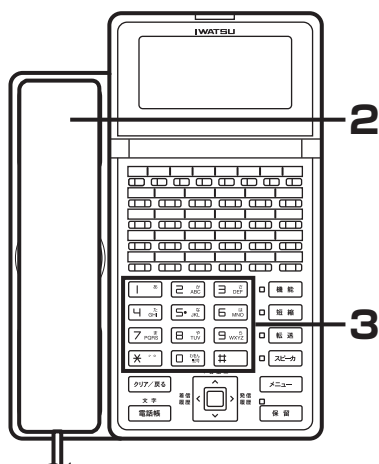
注1：EXT使用者の名前は登録されている場合のみ表示されます。

注2：EXT使用者の名前の登録がないときは2行目のレベル2のみ表示します。

4.多機能電話機

基本操作編

外線へかける



受話器を上げてかける〈オフフックダイヤル〉

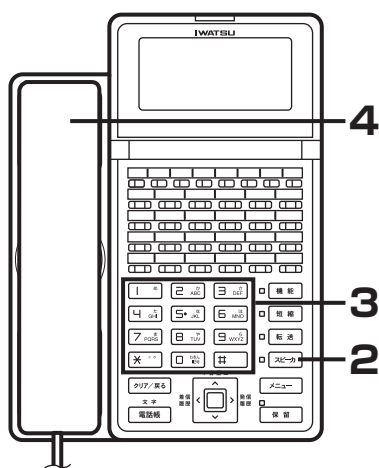
- 1 「外線」 ボタンを押します。
「外線」 ボタンが緑色に点滅します。
- 2 受話器を取り上げます。
「ツー」という発信音が聞こえます。
- 3 相手の電話番号をダイヤルします。
ディスプレイに電話番号が表示されます。
※ISDN回線、ひかり電話回線、IP電話回線のときは、最後に「#」 ボタンを押します。
- 4 相手とつながり、お話しができます。



Note

- ・アナログ回線では、ダイヤルを押すたびにダイヤル信号を送出しますが、ISDN回線ではダイヤルの最後に「#」 ボタンを押すとまとめてダイヤル送しします。
- ・「#」 ボタンを押さなかったときも、約10秒後にダイヤルが送出されます。ダイヤルを送出するまでの時間は、データ設定により変更できます。
- ・通話相手もISDN回線で、サブアドレスが設定されている電話にかけるときは、手順（3）のあとに、「*」 ボタンとサブアドレスをダイヤルし、手順（4）を行ってください。「*」 ボタンは、サブアドレスへの切り替えを意味します。
- ・「外線」 ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

受話器を置いたままかけるとき〈オンフックダイヤル〉



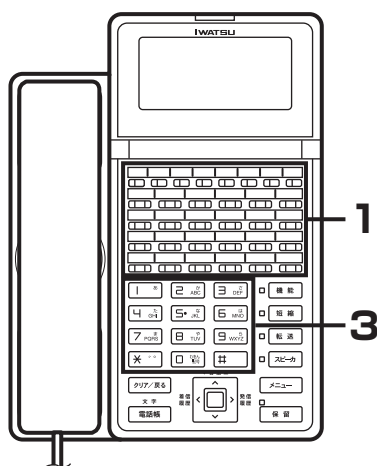
- 1 「外線」 ボタンを押します。
「外線」 ボタンが緑色に点滅します。
- 2 「スピーカ」 ボタンを押します。
電話機のスピーカから「ツー」という発信音が聞こえます。
- 3 相手の電話番号をダイヤルします。
ディスプレイに電話番号が表示されます。
※ISDN回線のときは、最後に「#」 ボタンを押します。
- 4 相手の声がスピーカから聞こえたら、受話器を取り上げお話しします。



Note

- ・国際自動即時発信外線、ファクシミリ専用外線を指定して発信することもできます。
- ・設定により外線発信ができない場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ・一般回線では、ダイヤルすることにダイヤル信号を送出するのに対して、ISDN回線では「#」 ボタンを押した時点でダイヤルをまとめて送出します。
- ・「#」 ボタンを押さなかったときは、約10秒後に自動的にそれまでのダイヤルが送出されます。ダイヤルを送出するまでの時間は、データ設定により変更できます。
- ・通話相手もISDN回線で、サブアドレスが設定されている電話にかけるときは、手順（3）のあとに、「*」 ボタンとサブアドレスをダイヤルし、手順（4）を行ってください。「*」 ボタンは、サブアドレスへの切り替えを意味します。
- ・「外線」 ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

ダイヤル途中で電話番号を間違えたとき 〈ロングフラッシュ〉



1 ダイヤルの途中で「フラッシュ」ボタン（または「機能」 + 「1」「1」ボタン）を押します。

2 発信状態に戻ります。
「ツー」という発信音が聞こえます。

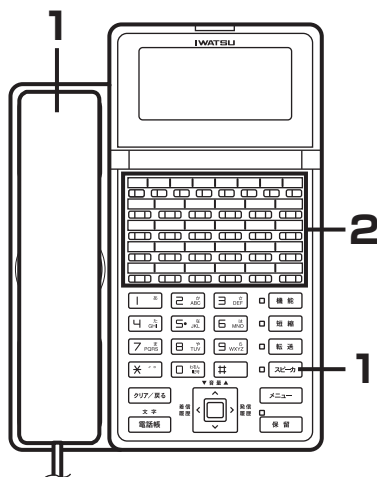
3 ダイヤルし直します。



Note

- 「フラッシュ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

最後に電話した相手に再びかけ直すとき 〈ラストナンバリダイヤル〉



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 「再発信」ボタン（または「短縮」 + 「#」ボタン）を押します（内線から外線にかける場合）。

※ 外線を指定してかける場合は「外線」、「再発信」ボタンの順に押します。

3 最後にかけた相手の電話番号が自動的にダイヤルされ、相手につながります。

ディスプレイに相手の電話番号が表示されます。



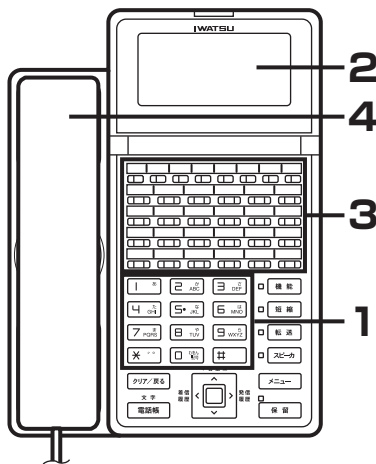
Note

- 記憶できるダイヤル桁数は48桁以内です。
- 内線発信および転送中、通話中のダイヤルは、ラストナンバリダイヤルの対象にはなりません。
- 外線を指定せずに発信し、該当する外線が使用中の場合は、「ツーツー」という話中音が聞こえます。
- 「再発信」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

外線へかける

電話番号をディスプレイで確認してから かける〈プリセットダイヤル〉

ディスプレイでダイヤル番号を確認してから電話する方法です。電話機が空き状態であることを確認してから操作してください。



Note

- プリセットダイヤルを行うためには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

1 受話器を置いた状態で、相手の電話番号をダイヤルします。

※ セットできる番号は32桁以内です。

※ 使用できるボタンは「0」～「9」、「*」、「#」ボタンのみです。

※ 外線接続のための待ち時間（ポーズ時間）も一緒に登録できます。登録は「保留」ボタンを押し、続けて該当する「1」～「9」ボタン（ポーズ時間1～9秒）を押します。

2 ディスプレイにダイヤルした番号が表示されます。

※ ダイヤルが間違えている場合は

1. 訂正箇所まで「機能」ボタンを押して戻ります。
（「機能」ボタンを押すたびに、末尾の番号が消えます）
2. ダイヤルし直します。

3 「外線」ボタンを押します。 「外線」ボタンが緑色に点滅します。

4 受話器を取り上げます。

ディスプレイに表示されている番号が自動的にダイヤルされます。

※ クイックオペレーションを使用することもできます。

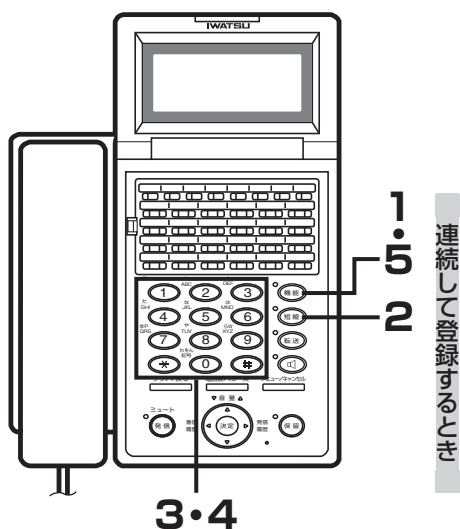
5 相手とつながったら、お話しします。

短縮ダイヤルを利用する

※本操作は、IX-24KT-N/IX-12KT-N/IX-24KTAPF-Nより前の電話機の操作方法です。

IX-24KT-N/IX-12KT-N/IX-24KTAPF-Nでの操作方は、「電話帳を登録する」(3-20 ページ)を参照ください。

●相手先の電話番号の登録方法



連続して登録するとき

- 1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。
- 2 「短縮」ボタンを押します。
- 3 登録する短縮番号(00～89、90～99)を押します。
※Noteをご参照ください。
- 4 相手の電話番号を押します。
※以下の登録もできます。

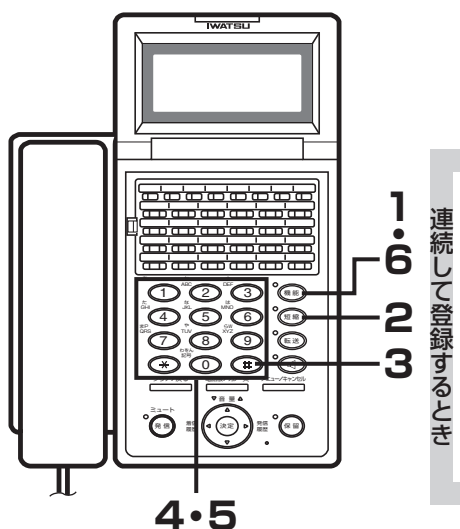
1. ダイヤルするまでの待ち時間(ポーズ時間)
「保留」ボタンを押し、続けて「1」～「9」ボタン(ポーズの秒数)を押します。
2. プッシュホンサービスの番号
「保留」、「★」ボタンを押し、続けてプッシュ番号を押します。
3. 他の短縮ダイヤル
「保留」、「短縮」ボタンを押し、続けて他の短縮番号を押します。

5 「機能」ボタンを押します。

Note

- ・システム全体の共通短縮番号を9000件(0000～8999)に拡張することが可能です。拡張するためには、データ設定によりあらかじめ登録が必要です。お問い合わせの販売店にお問い合わせください。

●外線グループ番号も含めた登録



連続して登録するとき

- 1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。
- 2 「短縮」ボタンを押します。
- 3 「#」ボタンを押します。
- 4 登録する短縮番号(00～89、90～99)を押します。
- 5 使用する外線グループ番号(001～060)を押します。
※1 外線グループ番号(41～60)は会議室グループとして使用します。
※2 外線グループ番号(001～060)の範囲で登録してください。
- 6 「機能」ボタンを押します。

Note

- ・外線発信グループ番号は、主装置がMタイプの場合「00～60」、主装置がLタイプの場合「000～230」となります。主装置のタイプについては、お問い合わせの販売店にお問い合わせください。

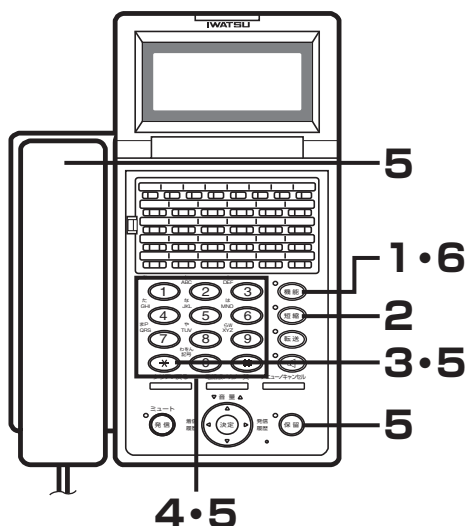
Note

- ・システム全体の共通短縮番号(000～899(初期は00～89))は、簡易中継台、システム電話機(親機)からデータ設定により、登録できます。
- ・システム電話機確認方法は2-9ページを参照してください。
- ・個別短縮番号(90～99)は、電話機ごとに登録できます。
- ・1つの短縮番号には、32桁以内のダイヤルと16桁以内の文字が登録できます。
- ・ISDN回線で短縮ダイヤルを利用するときは、相手の電話番号のあとに「#」ボタンを登録してください。

Note

- ・使用できる外線グループ番号は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お問い合わせの販売店にお問い合わせください。

外線へかける



Note

- ・システム全体の共通短縮番号（000～899（初期は00～89））は、簡易中継台、システム電話機（親機）からデータ設定により、登録できます。
- ・システム電話機確認方法は2-9ページを参照してください。
- ・個別短縮番号（90～99）、（900～999）、（9000～9499）は、システム共通短縮番号の設定により異なりますので、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ・1つの短縮番号には、32桁以内のダイヤルと16桁以内の文字が登録できます。
- ・ISDN回線で短縮ダイヤルを利用するときは、相手の電話番号のあとに「**井**」ダイヤルを登録してください。
- ・システム全体の共通短縮番号を9000件（0000～8999）に拡張することが可能です。拡張するためには、データ設定によりあらかじめ登録が必要です。
- ・相手先名を漢字登録（全角8桁）することも可能です。（対象機種：IX-24KTDW、IX-24KTDXE、IX-24KT-N、IX-12KT-N、IX-24KTAPF-N、IX-12IPKTD-E）相手先名は、データ設定によりあらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

● 相手先名の登録方法

- 1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。
- 2 「短縮」ボタンを押します。
- 3 「*」ボタンを押します。
- 4 登録する短縮番号（00～89、90～99）を押します。
※ Noteをご参照ください。
- 5 相手先名（16文字以内）を入力します。
 1. 「*」ボタンでカタカナ入力モード、英数字入力モードを選択します（最初は英数字モードになっています）。
 2. ダイヤルボタンで文字を選択し、1文字ごとに「保留」ボタンで確定します。
 3. 再度「保留」ボタンを押すと1つ前の文字が取り消されます。
※ 入力したすべての文字を取り消す場合は、受話器を上げ下げしてください。
※ 文字対応表は、下記を参照してください。
- 6 「機能」ボタンを押します。

● 登録を変更するとき

上記の「相手先名の登録方法」の手順（1）～（6）を繰り返すことで、自動的に前の登録内容が書き替えられます。

Note

- ・一度登録した内容は消去できませんので、他のダイヤルを上書きしてください。なお、消去が必要な場合はお買い求めの販売店にお問い合わせください。

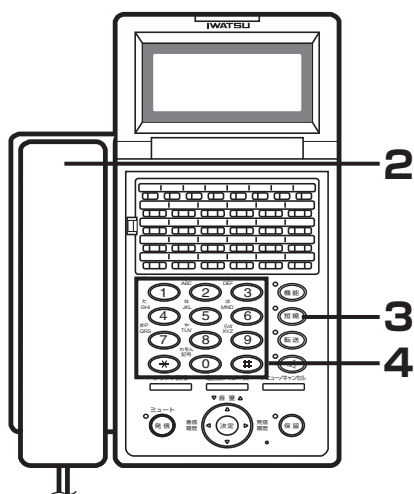
■ 文字対応表

数字（0～9）を押すごとに、対応する表示文字が変わります。例えば、英数字モードのとき「2」ボタンを押すと、「A→B→C→2」の順に、カタカナモードのとき「2」ボタンを押すと「カ→キ→ク→ケ→コ→2」の順に表示が変わります。

ABC2			
1	①	②	③ DEF3
JKL5			
GHI4	④	⑤	⑥ MNO6
TUV8			
PQRS7	⑦	⑧	⑨ WXYZ9
- ■ & 0			
カタカナモードへの切り替え	* ⑩	⑪	大文字／小文字の切り替え

カキクケコ2			
アイウエオ1	①	②	③ サシスセソ3
ナニヌネノ5			
タチツテト4	④	⑤	⑥ ハヒフヘホ6
ヤユヨ8			
マミムメモ7	⑦	⑧	⑨ ラリルレロ9
ワラン * - 0			
英数字モードへの切り替え	* ⑩	⑪	大文字／小文字（ア行イ行13）の切り替え

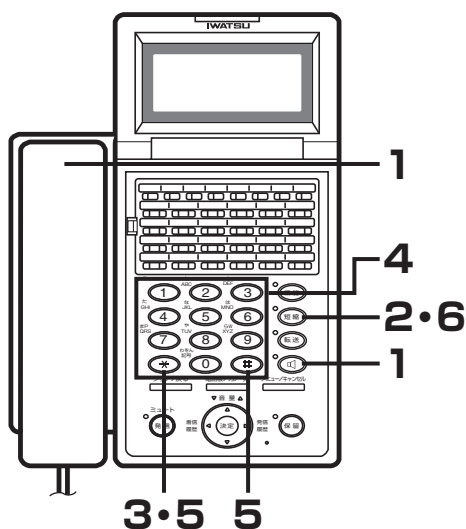
※ ■ は、スペースです。

**Note**

- システム全体の共通短縮番号（00～89）または（000～899）は簡易中継台、データ設定で登録します。
- システム電話機確認方法は2-9ページを参照してください。
- 個別短縮番号（90～99）、（900～999）、（9000～9499）は、システム共通短縮番号の設定により異なりますので、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 1つの短縮番号には32桁以内のダイヤル、16桁以内文字が登録できます。
- システム全体の共通短縮番号を9000件（0000～8999）に拡張することが可能です。拡張するためには、データ設定によりあらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「外線」ボタンは、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● かける方法

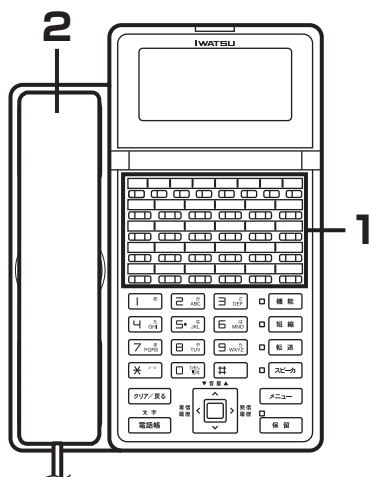
- 1 「外線」 ボタンを押します。
「外線」 ボタンが緑色に点滅します。
- 2 受話器を取り上げます。
「ツー」という発信音が聞こえます。
- 3 「短縮」 ボタンを押します。
- 4 相手の短縮番号を（00～89、90～99）ダイヤルします。
ディスプレイには登録されている電話番号と相手先名が表示されます。



● 相手先を確認してからかけるとき〈スクロール発信〉

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
- 2 「短縮」 ボタンを押します。
- 3 「*」 ボタンを押します。
- 4 登録してある短縮番号をダイヤルします。
ディスプレイには登録されている電話番号と、相手先名が表示されます。
- 5 短縮番号が間違えていたら、「*」または「#」 ボタンを押し、かけたい短縮番号を探します。
※「*」 ボタンを押すと次の短縮番号の登録内容が、「#」 ボタンを押すと1つ前の短縮番号の登録内容が表示されます。
- 6 「短縮」 ボタンを押します。
登録されている電話番号がダイヤルされます。

外線へかける



応答しない相手に何度もかけ直すとき 〈オートリピートダイヤル〉

1 相手が出ないか通話中のとき、「リピート」ボタンを押します。

オートリピートする電話番号が登録されます。

※ 記憶できるダイヤル桁数は48桁以内です。

※ 内線から外線にかけるときの外線アクセス番号、外線グループ番号も登録対象となります。

※ 記憶できる電話番号は、電話機ごとに1つです。登録操作を行うと、既存の登録番号は消去されます。

2 受話器を置きます。

3 登録された相手に再ダイヤルされます。

※ 電話機のスピーカで呼び出し状態を確認できます。



Note

- 「リピート」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。再ダイヤル間隔、呼び出し時間、再ダイヤル回数が設定できます。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

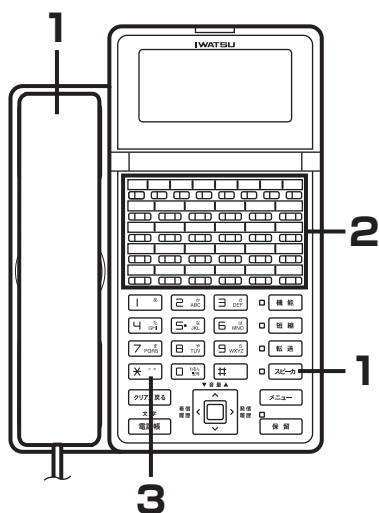
● オートリピートダイヤルの解除方法

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 内線発信状態で「リピート」ボタンを押します。

3 「*」ボタンを押します。

※ 解除が完了すると確認音が聞こえます。



さらに便利な使い方

- ダイヤル番号の確認をしてから電話をかけることができます。〈プリセットダイヤル〉 4-4ページ
- 電話をかけるときの操作を省略することができます。〈クイックオペレーション〉 5-2ページ
- 3人または4人で通話することができます。
〈外線会議通話〉〈複数外線会議通話〉〈外線間会議通話〉 5-29、5-30、5-32ページ
- 空いている外線を自動的に探すことができます。〈外線グループ発信〉〈空外線自動捕捉〉 5-3、5-5ページ
- 外線の使用予約をすることができます。
〈トランクキューイング〉〈タイムドトランクキューイング〉〈プリセクション〉 5-6、5-7、5-39ページ
- 通話中の相手に自動的にかけ直すことができます。〈セーブナンバリダイヤル〉〈メモダイヤル〉 5-37、5-38ページ
- ダイヤルしないで特定の相手先に自動的に発信できます。〈外線自動発信〉 5-8ページ
- 回転ダイヤル式回線でプッシュ信号が使えます。〈ダイヤルリバース〉 5-4ページ
- 「ダイヤル」ボタンが押されているか音で確認できます。〈キータッチトーン〉 3-5ページ
- パスワードで外線の無断使用を規制できます。〈電話機パスワード〉 5-40ページ

電話帳に登録した電話番号にかける

電話帳から相手を検索して電話をかけることができます。また、電話帳に登録している相手の短縮番号をダイヤルして電話をかけることもできます。

■検索モードと検索方法

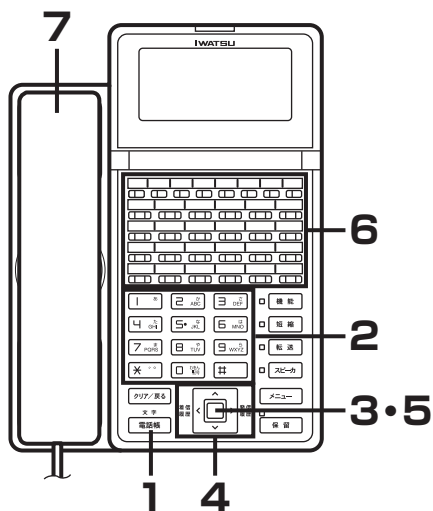
検索モード	検索内容	検索条件の入力方法	参照ページ
読み仮名検索 (ヨミガナ検索)	電話帳に登録している読み仮名と前方一致で比較し、一致した相手を表示します。	- 検索する読み仮名を入力します。 - 最大16文字 例) “カワ” と入力した場合、“カワ” で始まる相手先を表示します。	4-10
50音訓検索	電話帳に登録している読み仮名の1桁目の文字をキーに、50音順で表示します。文字の表示順は、アルファベット→数字→記号→カタカナの順になります。	入力不要です。	4-11
電話帳グループ検索	選択したグループに登録している相手先を表示します。	左右ボタンで検索するグループを選択します。	4-13
短縮番号検索	電話帳に登録している短縮番号と前方一致で比較し、一致した相手を表示します。	検索する短縮番号を入力します。 例) 短縮番号の桁数が4桁のケース “015” と入力した場合、“0150” 以降の相手先を全て表示します。	4-14



Note

- 検索モード変更時、次回の電話帳検索画面では、前回変更の検索モードで表示されます。
- 検索モードの切り替えを行う場合は、「ヨミガナ」の登録が必要になります。

外線へかける



Note

- 検索操作を途中でキャンセルする場合は、一度受話器を取り上げて戻してください。ただし、検索結果が表示されているときは、「戻る」ボタンを押してください。
- 「外線」ボタン、「外線」ボタンは、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

電話帳を検索してかける（読み仮名検索）

ここでは、前回の検索が、「読み仮名検索（ヨミガナ検索）」であった場合を例として説明しています。

1 受話器を置いたまま、「電話帳」ボタンを押します。

検索ヨミガナ入力画面が表示されます。

※ 前回の検索が、ヨミガナ検索以外の場合は、検索モード切り替え操作を行ってください。検索モード切り替え操作については、「電話帳を検索してかける（50音訓検索）」（4-11ページ）、「電話帳を検索してかける（電話帳グループ検索）」（4-13ページ）、「電話帳を検索してかける（短縮番号検索）」（4-14ページ）を参照してください。

検索ヨミガナ入力
(半角8文字)

—

2 検索対象の文字列を入力します。

例) サウ

検索ヨミガナ入力
(半角8文字)

サウ_

3 「決定」ボタンを押します。

50音訓一覧画面が表示されます。

※ 検索対象が存在しない場合は、「該当電話帳データがありません」と表示され、手順（1）の画面に戻ります。

[サ-ソ]
佐藤

4 上下ボタンで目的の電話帳を選択します。

5 「決定」ボタンを押します。

検索結果詳細画面が表示されます。

佐藤
03XXXX1234
グループなし
個別：90

6 「外線」ボタンを押します。

選択した相手先の電話番号にダイヤルされます。

※ 「外線」ボタンを押しても同様に外線を捕捉できます。

7 受話器を取り上げます。

相手先を呼び出します。

電話帳を検索してかける（50音訓検索）

ここでは、前回の検索が、「読み仮名検索（ヨミガナ検索）」であった場合を例として説明しています。

1 「電話帳を検索してかける（読み仮名検索）」（4-10ページ）の手順（1）～（3）と同様に操作します。

50音訓一覧画面が表示されます。

※ 前回の検索モードが「50音訓検索」、「電話帳グループ検索」、「短縮番号検索」の場合は、この手順の代わりに「電話帳」ボタンを2度押すことで検索モード選択画面が表示され、モードを切り替えることができます。

[サ-リ]
佐藤

2 「電話帳」 ボタンを押します。

検索モード切替画面が表示されます。

検索モード切替
1 ヨミガナ検索
2 50音訓検索
3 電話帳グループ検索

3 上下ボタンで“2 50音訓検索”を選択し、「決定」ボタンを押します。

50音訓検索へ検索モードが切り替わります。

例) 50音順検索

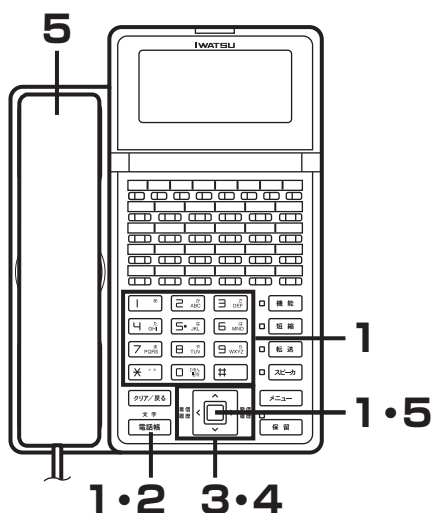
[ア-オ]
岩崎通信機

4 上下ボタンで目的の電話帳を選択します。

5 「決定」 ボタンを押します。

検索結果詳細画面が表示されます。

佐藤
03XXXX1234
グループなし
個別：90

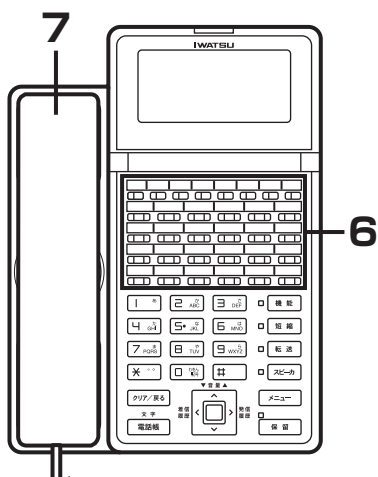


Note

- 検索操作を途中でキャンセルする場合は、一度受話器を取り上げて戻してください。ただし、検索結果が表示されているときは、「戻る」ボタンを押してください。

外線へかける

(前ページの続き)



6 「外線」 ボタンを押します。

選択した相手先の電話番号にダイヤルされます。

※「索線」 ボタンを押しても同様に外線を捕捉できます。

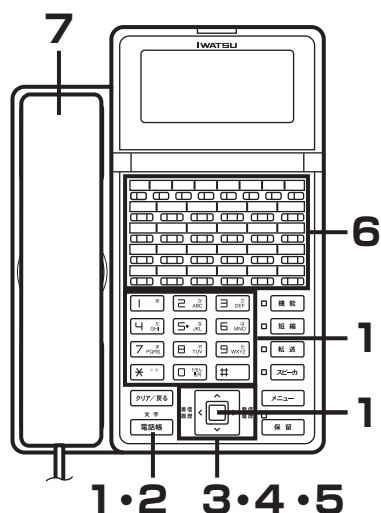
7 受話器を取り上げます。

相手先を呼び出します。



Note

- 「外線」 ボタン、「索線」 ボタンは、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



Note

- 検索操作を途中でキャンセルする場合は、一度受話器を取り上げて戻してください。ただし、検索結果が表示されているときは、「戻る」ボタンを押してください。
- 「外線」ボタン、「索線」ボタンは、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

電話帳を検索してかける(電話帳グループ検索)

ここでは、前回の検索が、「50音訓検索」であった場合を例として説明しています。

1 「電話帳を検索してかける(読み仮名検索)」(4-10ページ)の手順(1)～(3)と同様に操作します。

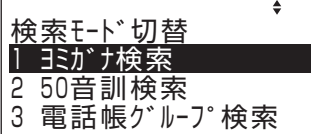
50音訓一覧画面が表示されます。

※前回の検索モードが「50音訓検索」、「電話帳グループ検索」、「短縮番号検索」の場合は、この手順の変わりに「電話帳」ボタンを2度押すことで検索モード選択画面が表示され、モードを切り替えることができます。



2 「電話帳」ボタンを押します。

検索モード切替画面が表示されます。



3 上下ボタンで“3 電話帳グループ検索”を選択し、「決定」ボタンを押します。

4 左右ボタンで検索するグループを選択します。

5 上下ボタンで目的の電話帳を選択します。

6 「外線」ボタンを押します。

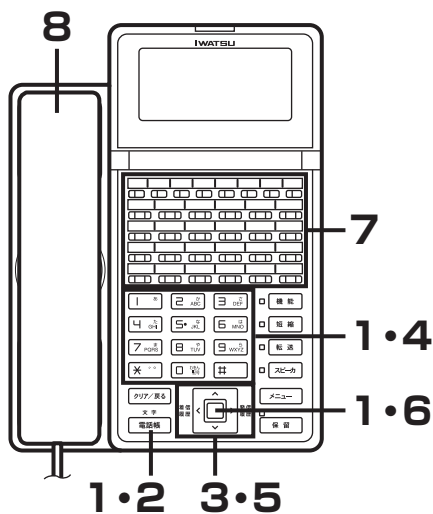
選択した相手先の電話番号にダイヤルされます。

※「索線」ボタンを押しても同様に外線を捕捉できます。

7 受話器を取り上げます。

相手先を呼び出します。

外線へかける



Note

- 検索操作を途中でキャンセルする場合は、一度受話器を取り上げて戻してください。ただし、検索結果が表示されているときは、「戻る」ボタンを押してください。
- 「外線」ボタン、「索線」ボタンは、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

電話帳を検索してかける（短縮番号検索）

ここでは、前回の検索が、「50音訓検索」であった場合を例として説明しています。

1 「電話帳を検索してかける（読み仮名検索）」（4-10ページ）の手順（1）～（3）と同様に操作します。

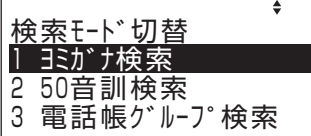
50音訓一覧画面が表示されます。

※前回の検索モードが「50音訓検索」、「電話帳グループ検索」、「短縮番号検索」の場合は、この手順の変わりに「電話帳」ボタンを2度押すことで検索モード選択画面が表示され、モードを切り替えることができます。



2 「電話帳」ボタンを押します。

検索モード切替画面が表示されます。



3 上下ボタンで“4 短縮番号検索”を選択し、「決定」ボタンを押します。

短縮番号入力画面が表示されます。

4 短縮番号を入力します。

※短縮番号の前半の一部を指定しても検索できます。

例) 短縮番号の桁数が2桁のケース

“1”と入力→“10”～“19”の範囲での、相手先を全て表示します。



5 上下ボタンで目的の電話帳を選択します。

※手順（4）で、短縮番号を全桁指定時は、手順（5）は省略可能です。

6 「決定」ボタンを押します。

7 「外線」ボタンを押します。

選択した相手先の電話番号にダイヤルされます。

※「索線」ボタンを押しても同様に外線を捕捉できます。

8 受話器を取り上げます。

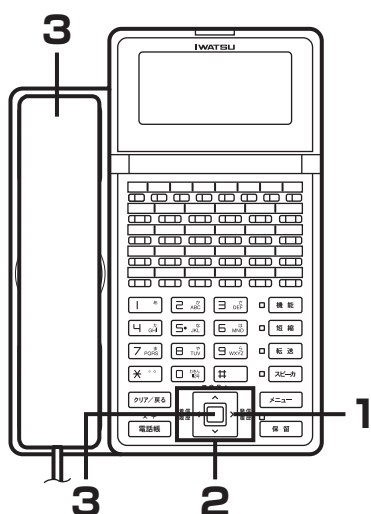
相手先を呼び出します。

発信履歴／着信履歴からかける

発信履歴／着信履歴から相手を選んで、外線に電話をかけることができます。

発信履歴からかける

過去に発信した電話番号は、発信履歴として最新の30件を記録しています。発信履歴から相手を選んで、外線に電話をかけることができます。



Note

- 発信履歴の電話番号は、1番号につき最大32桁まで記録されます。
- 発信履歴リストは、日時を表示する代わりに、相手名称を「全角8文字（半角16文字）」で表示することもできます。あらかじめ設定が必要ですので、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

1 受話器を置いたまま、発信履歴ボタンを押します。

発信履歴リストが表示されます。

※ 発信履歴リストの表示中に、「戻る」ボタンを押すと、発信履歴リストの表示を終了します。

03XXXX5555	18:36
03XXXX2222	18:36
3001	12:55
岩崎通信機	09:12

2 上下ボタンを使い、発信履歴から相手を探します。

03XXXX5555	18:36
03XXXX2222	18:36
3001	12:55
岩崎通信機	09:12

3 「決定」ボタン押し、受話器を取り上げます。または、そのまま、受話器を取り上げます。

選択した相手先の電話番号がダイヤルされます。

発信履歴詳細表示が表示されます。

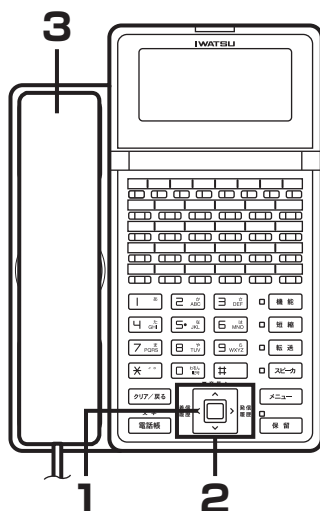
※ 発信履歴詳細表示中に、「戻る」ボタンを押すと、手順（2）の発信履歴リストの表示に戻ります。

<登録なし>	
03XXXX5555	
10年09月16日	18:36

Note

- 手順（3）は、以下の方法でも発信できます。
 - 「受話器を置いたままかけるとき<オンフックダイヤル>」（4-2ページ）
 - 「外線」ボタン、「外線番号」ボタン：「外線グループ発信」（5-3ページ）
 - 「ダイヤルイン」ボタン：「クイックオペレーション」（5-2ページ）
- 「外線」ボタン、「ダイヤルイン」ボタンは、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

外線へかける



Note

- 着信拒否（ドント・ディスタープ）中の着信は、着信履歴に記録されません。
- 着信履歴に非通知で記憶されている相手に対しては、発信できません。
- 着信履歴リストは、日時を表示する代わりに、相手名称を「全角8文字（半角16文字）」で表示することもできます。あらかじめ設定が必要ですので、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

着信履歴からかける

過去に着信した電話番号は、着信履歴として最新の50件を記録しています。着信履歴から相手を選んで、外線に電話をかけることができます。

1 受話器を置いたまま、着信履歴ボタンを押します。

着信履歴リストが表示されます。

※ 着信履歴リストの表示中に、「戻る」ボタンを押すと、着信履歴リストの表示を終了します。

03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13未

2 上下ボタンを使い、着信履歴から相手を探します。

03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13未

3 受話器を取り上げます。

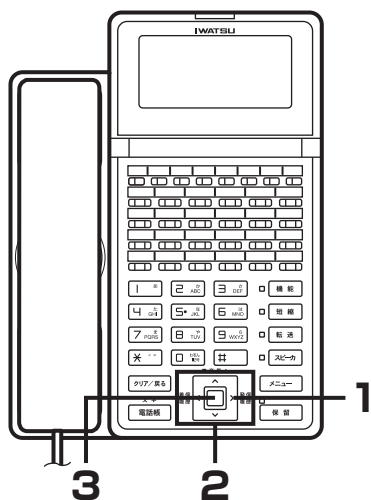
選択した相手先の電話番号にダイヤルされます。

Note

- 手順（3）は、以下の方法でも発信できます。
 - 「受話器を置いたままかけるとき<オンフックダイヤル>」（4-2ページ）
 - 「外線」ボタン、「外線番号」ボタン：「外線グループ発信」（5-3ページ）
 - 「ダイヤルイン」ボタン：「クイックオペレーション」（5-2ページ）
- 「外線」ボタン、「ダイヤルイン」ボタンは、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 発信履歴リストに表示される相手先は、電話帳に登録されていれば、その名前が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、相手先の電話番号のみ表示されます。
- 着信履歴は、応答した電話機にのみ残ります（他の電話機には着信履歴は残りません）。または、他の応答していない電話機に残すこともできます。
- 全ての電話機が応答しない着信履歴は、着信している電話機全てに蓄積されます。
- 右端には応答種別が表示されます。
未：未応答、他：他者応答、VM：ボイスメール応答、非表示：応答

発信履歴を操作する

発信履歴を表示する



- 1 受話器を置いたまま、発信履歴ボタンを押します。
発信履歴リストが表示されます。

03XXXX5555	18:36
03XXXX2222	18:36
3001	12:55

※ 発信履歴リストの表示中に、「戻る」ボタンを押すと、発信履歴リストの表示を終了します。

- 2 上下ボタンで詳細表示する発信履歴を選択します。

03XXXX5555	18:36
03XXXX2222	18:36
3001	12:55

- 3 「決定」ボタンを押します。

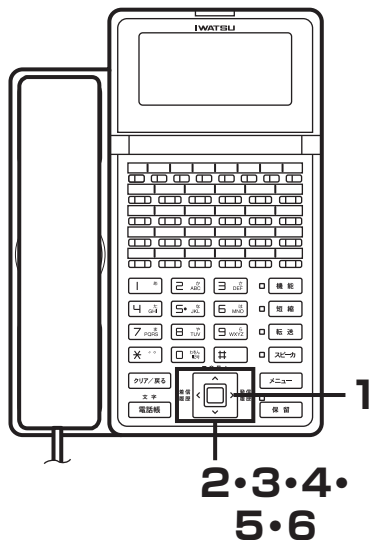
発信履歴詳細表示が表示されます。
※ 発信履歴詳細表示中に、「戻る」ボタンを押すと、手順（2）の発信履歴リストの表示に戻ります。

<登録なし>	
03XXXX5555	
10年09月16日	18:36

Note

- 発信履歴の表示中に、3分間ダイヤル操作がない場合は、発信履歴表示を終了します。
- 発信履歴の表示中に、外線着信が発生した場合は、LCD表示は変化せず、着信音が鳴動します。内線着信は発生せず、相手ビジー状態になります。
- 発信履歴に記録される時刻は、相手が応答した時、または発信を途中で放棄した時の時刻になります。
- 発信履歴の表示中に受話器を取り上げると、過去に発信した相手先（外線／内線）に発信することができます。
- 発信履歴に記録される電話番号の桁数は、最大32桁です。
- 発信履歴の中から任意の相手を選択し、電話帳に登録できます。「発信履歴から登録する」(3-26ページ)
- 発信履歴は、1件ごとまたは全件削除ができます。「発信履歴を削除する－1件ごとの削除」(4-18ページ)、「発信履歴を削除する－全件削除」(4-19ページ)

外線へかける



発信履歴を削除する-1件ごとの削除

- 1** 受話器を置いたまま、発信履歴ボタンを押します。
発信履歴リストが表示されます。

03XXXX5555	18:36
03XXXX2222	18:36
3001	12:55

※ 発信履歴リストの表示中に、「戻る」ボタンを押すと、発信履歴リストの表示を終了します。

- 2** 上下ボタンで削除する発信履歴を選択します。

03XXXX5555	18:36
03XXXX2222	18:36
3001	12:55

- 3** 「決定」ボタンを押します。
発信履歴詳細画面が表示されます。

<登録なし>	
03XXXX5555	
10年09月16日	18:36

- 4** 「決定」ボタンを押します。
動作選択表示画面が表示されます。

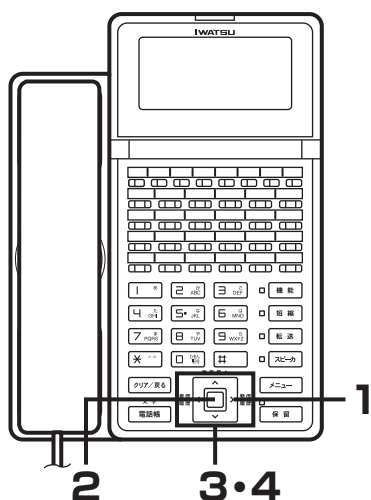
03XXXX5555	↑
1 電話帳登録	
2 発信	
3 一件削除	

- 5** 上下ボタンで“3 一件削除”を選択し、「決定」ボタンを押します。
削除確認画面が表示されます。

03XXXX5555	
削除しますか?	
はい	
いいえ	

- 6** 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。

03XXXX5555	
削除しました	



発信履歴を削除する-全件削除

- 1 受話器を置いたまま、発信履歴ボタンを押します。
発信履歴リストが表示されます。

03XXXX5555	18:36
03XXXX2222	18:36
3001	12:55

※ 発信履歴リストの表示中に、「戻る」ボタンを押すと、発信履歴リストの表示を終了します。

- 2 「決定」ボタンを、2回押します。
発信履歴詳細画面が表示されます。

<登録なし>	
03XXXX5555	
10年09月16日	18:36

動作選択表示画面が表示されます。

03XXXX5555	↑
4 全件削除	

- 3 上下ボタンで“4 全件削除”を選択し、「決定」ボタンを押します。
削除確認画面が表示されます。

全件削除
削除しますか？
はい
いいえ

- 4 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。
削除完了画面が表示されます。

全件削除
削除しました

外線へかける

着信履歴を操作する

外線を着信した履歴を最新の50件まで表示できます。



Note

- 着信履歴の表示中に、3分間ダイヤル操作がない場合は、着信履歴表示を終了します。
- なお、着信が発生した場合は、着信状態となります。
- 電話機が着信状態になると、着信履歴に記録されます。
- ドント・ディスターブ中の着信は、着信履歴に記録されません。
- 着信履歴に記録されるタイムスタンプは、着信に応答した時、または着信を途中で放棄した時になります。
- 着信履歴に記録される電話番号の桁数は、最大16桁です。
- 着信時にNTT等から発信者名情報が通知された場合でも、電話帳に相手先名が登録されている場合は、電話帳に登録されている相手先名が着信履歴に記録されます。
- 着信履歴の表示中に受話器を取り上げる、または外線発信を行うボタンを押すと、外線発信します。ただし、着信履歴が非通知で記録されている相手に対しては発信できません。

着信履歴を表示する

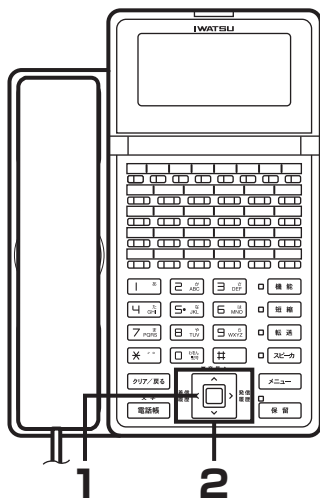
- 1 受話器を置いたまま、着信履歴ボタンを押します。
着信履歴リストが表示されます。

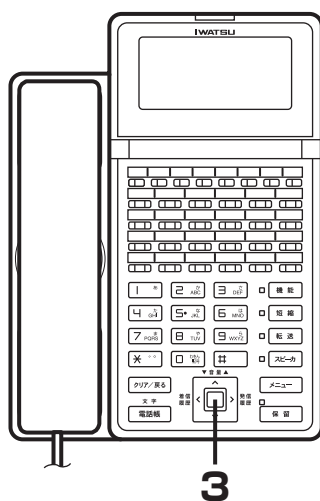
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13未

※ 着信履歴リストの表示中に、「戻る」ボタンを押すと、着信履歴リストの表示を終了します。

- 2 上下ボタンで詳細表示する着信履歴を選択します。

03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13未





3 「決定」ボタンを押します。

着信履歴詳細表示が表示されます。

※ 着信履歴詳細表示中に、「戻る」ボタンを押すと、手順（2）の着信履歴リストの表示に戻ります。

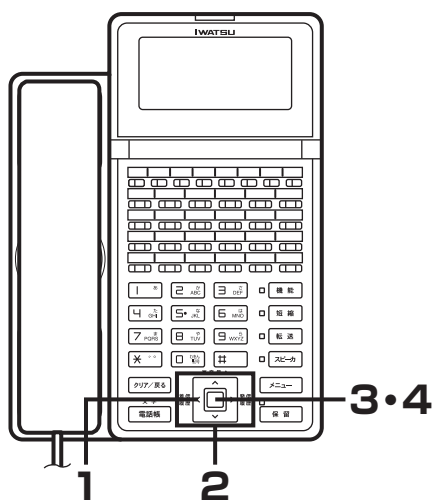
＜登録なし＞
03XXXX2222
10年09月13日 15:53
他応答 3003 外

Note

- 着信履歴の中から任意の相手を選択し、電話帳に登録できます。「着信履歴から登録する」(3-27ページ)
- 着信履歴は、1件ごとまたは全件削除ができます。「着信履歴を削除する－1件ごとの削除」(4-22ページ)、「着信履歴を削除する－全件削除」(4-24ページ)
- 相手先が不明な着信の履歴表示

非通知理由	着信履歴リスト表示時	着信履歴詳細表示時
ユーザ拒否	非通知	非通知（プライバシー）
サービス提供不可	非通知	非通知（表示圏外）
公衆電話発信	非通知	非通知（公衆電話）
サービス競合	非通知	非通知（表示圏外）

外線へかける



着信履歴を削除する-1件ごとの削除

- 1** 受話器を置いたまま、着信履歴ボタンを押します。
着信履歴リストが表示されます。

03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13末

※ 着信履歴リストの表示中に、「戻る」ボタンを押すと、着信履歴リストの表示を終了します。

- 2** 上下ボタンで削除する着信履歴を選択します。

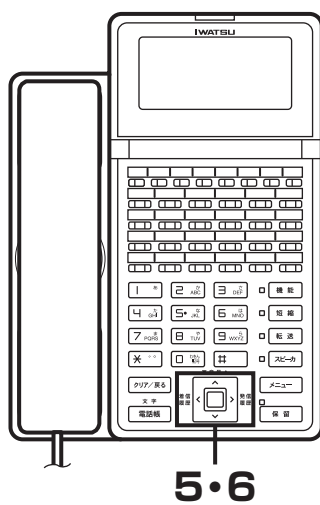
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13末

- 3** 「決定」ボタンを押します。
着信履歴詳細画面が表示されます。

<登録なし>
03XXXX2222
10年09月13日 15:53
他応答 3003 外

- 4** 「決定」ボタンを押し、続けて下ボタンを3回押します。
動作選択表示画面が表示されます。

03XXXX2222
4 一件削除
5 全件削除

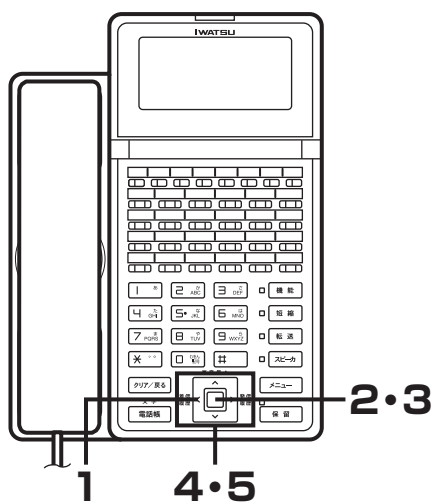


- 5** “4 一件削除” を選択し、「決定」ボタンを押します。
削除確認画面が表示されます。

03XXXX2222
削除しますか?
はい
いいえ

- 6** 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。

外線へかける



着信履歴を削除する-全件削除

- 1** 受話器を置いたまま、着信履歴ボタンを押します。
着信履歴リストが表示されます。

03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13末

※ 着信履歴リストの表示中に、「戻る」ボタンを押すと、着信履歴リストの表示を終了します。

- 2** 「決定」ボタンを押します。
着信履歴詳細画面が表示されます。

<登録なし>	
03XXXX2222	
10年09月13日 15:53	
他応答 3003	外

- 3** 「決定」ボタンを押します。
動作選択表示画面が表示されます。

03XXXX2222
4 一件削除
5 全件削除

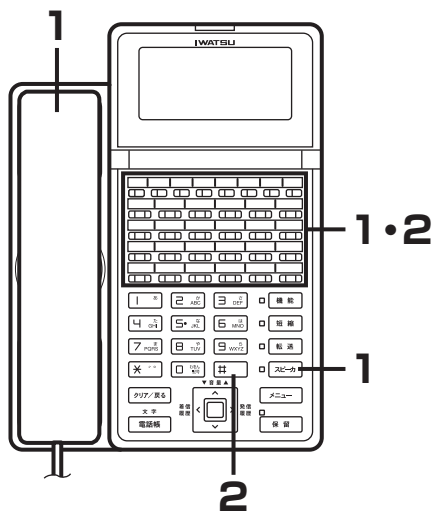
- 4** 上下ボタンで“5 全件削除”を選択し、「決定」ボタンを押します。
削除確認画面が表示されます。

全件削除
削除しますか?
はい
いいえ

- 5** 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。

呼び返し発信

外線着信通話で記録された発信者番号に対し電話をかけることができます。



1 受話器を取り上げるか、「スピーカ」、「呼び返し」ボタンの順に押します。

「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
記録された発信者番号をディスプレイで確認します。

2 「呼び返し」ボタンを押します。

相手の電話番号が自動的にダイヤルされます。
※ ISDN回線のときには、最後に「#」ボタンを押します。

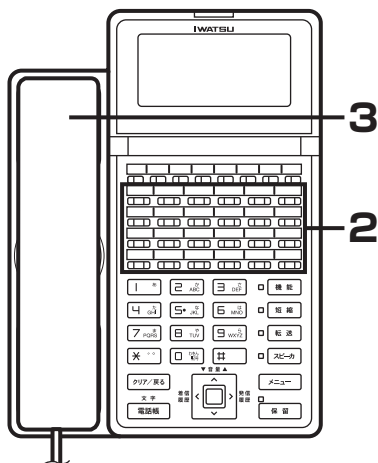
3 相手が応答したら、お話しします。



Note

- 「呼び返し」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- アナログ回線のときはNTTのナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。
- 相手が非通知発信の場合は対象になりません。
- 記録される番号は電話機ごとに1通話です。

外線を受ける



- 1 着信音が鳴ります。
着信している「外線」ボタンと着信ランプが、赤色に点滅します。
※ 着信音を止めている場合でも、「外線」ボタンは点滅します。
- 2 赤色に点滅している「外線」ボタンを押します。
「外線」ボタンが緑色に変わります。
- 3 受話器を取り上げます。
- 4 お話します。



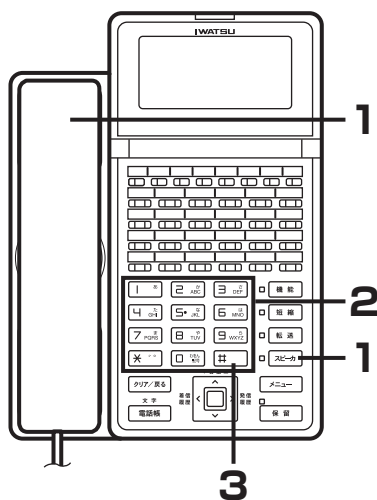
Note

- 「外線」ボタンは、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

さらに便利な使い方

- 「外線」ボタンを押さずに応答できます。〈外線着信自動応答〉…………… 5-12ページ
- 通話中でも他からの呼出音を鳴らすことができます。〈話中着信〉…………… 5-12ページ
- 鳴り方で外線を区別できます。〈外線着信信号識別／外線別着信音色指定〉…………… 3-6ページ
- 鳴音している電話機の着信を他の電話機で応答するとき。〈着信代理応答〉…………… 5-13ページ
- 着信を指定した電話機に転送できます。〈不在転送／話中転送／未応答転送〉…………… 5-23ページ
- 受話器を置いたまま外線とお話します。〈ビルトインスピーカホン〉…………… 10-12ページ
- 着信音、受話音を調節できます。…………… 3-6ページ

内線へかける



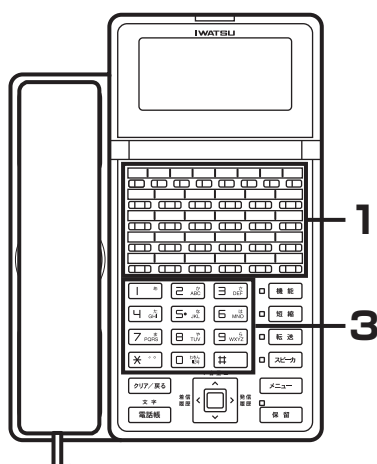
内線呼び出し、呼び出しモード変更（トーン／音声）

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 相手の内線番号（1～4桁）をダイヤルします。
※ワンタッチで発信できる「DSS」ボタンに内線番号を登録できます。
- 3 声で呼び出す場合は、「#」ボタンを押します。
※受話器で「〇〇さん」のように呼びかけます。
※「#」をもう1度押すとトーン着信呼び出しになります。
- 4 相手が応答したら、お話しします。
※受話器を置いた状態の場合は、取り上げてお話しします。

Note

- 電話機の内線番号状態は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 外線着信時でも内線を優先して使用したい場合には、「内線」ボタンを押して使用することができます。
- 内線着信を音声着信、トーン着信のどちらかに指定することができます。詳しくはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「DSS」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 「#」を押すごとに音声呼び出しとトーン着信を切り替えることができます。

ダイヤル途中で内線番号を間違えたとき〈ロングフラッシュ〉

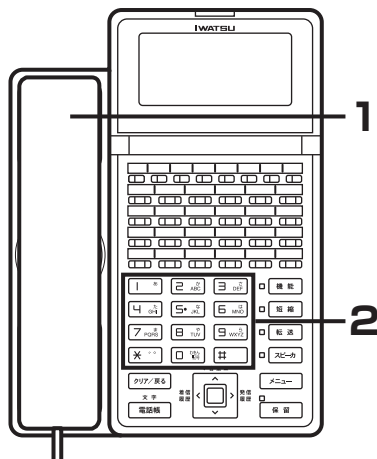


- 1 そのままの状態です「フラッシュ」ボタン（または「機能」＋「1」「1」ボタン）を押します。
- 2 発信状態に戻ります。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 3 ダイヤルし直します。

Note

- 「フラッシュ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

内線へかける



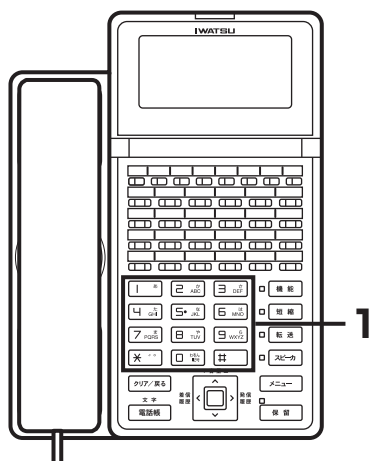
Note

- 内線グループは最大60グループ以内、1グループの電話機は最大32台以内です。
- 主装置がMタイプの場合、内線グループ番号は「最大60」、Lタイプの場合は「最大250」となります。
主装置のタイプについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- フレキシブルボタンへの登録により、ワンタッチで代表番号を発信できる「内線代表」ボタンを登録できます。

呼び出したい部署の空いている電話機を呼び出すとき〈内線代表呼び出し〉

- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 相手の内線グループ（部署など）の代表番号（1～4桁）をダイヤルします。
※ 内線グループごとの代表番号はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 3 内線グループ内の空いている電話機を呼び出します。
- 4 お話します。

呼び出した相手の応答がなく、続けて別の内線を呼び出すとき〈クリアコール／シフトコール〉



Note

- クリアコールまたはシフトコールは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- クリアコールとシフトコールは両方を登録することはできません。

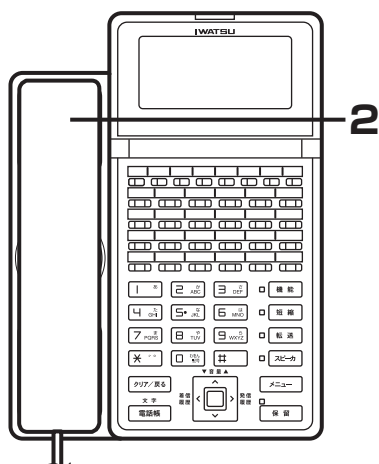
- 1 そのままの状態でご該当するボタンを押します。
 - クリアコールの場合
→ 別の内線番号（1～4桁）をダイヤルします。
 - シフトコールの場合
→ 最初にダイヤルした内線番号の下一桁をダイヤルします。

- 2 お話します。

さらに便利な使い方

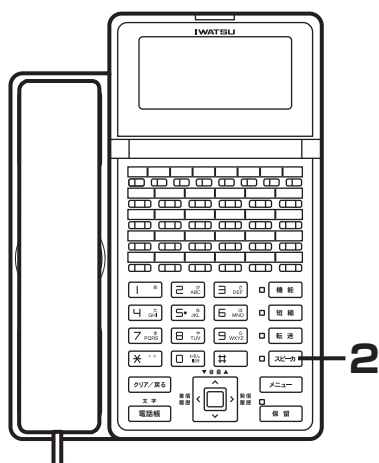
- 空いている内線を自動的に探すことができます。〈空内線自動捕捉〉 5-9ページ
- 通話中の他の電話機に割り込んで通話することができます。〈バージ・イン〉 5-36ページ
- 他の電話機の通話内容を聞くことができます。〈通話モニタ〉 5-35ページ
- 電話機、および外部スピーカ（ドアホンなど）を一斉に呼び出すことができます。〈一斉呼び出し〉 10-10ページ
- グループ分けした電話機のみを一斉に呼び出すことができます。〈グループ呼び出し〉 10-10ページ
- 外部スピーカを一斉に呼び出すことができます。〈ページング呼び出し〉 10-10ページ
- ダイヤルしないで特定の内線電話機を呼び出すことができます。〈内線ホットライン〉 5-10ページ
- 通話中の内線の、通話が終了したことを知ることができます。〈内線コールバック〉 5-46ページ
- 着信拒否や通話中の内線を強制的に呼び出すことができます。〈オーバーライド〉 5-11ページ
- 応答できない相手に連絡がほしい事を伝える。〈メッセージウェイト〉 5-43ページ
- ドアホンを呼び出すことができます。〈ドアホン接続〉 10-5ページ
- 内線同士の3人または4人で通話することができます。〈内線会議通話〉 5-33ページ

内線を受ける



受話器を取り上げて受ける〈内線自動応答〉

- 1 「トゥルトゥルトゥル」という呼出音が鳴ります。
「内線」ボタンと着信ランプが、赤色に点滅します。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話します。



受話器を上げずに受ける〈内線ハンズフリー通話〉

- 1 「トゥルトゥルトゥル」という呼出音が鳴ります。
着信している「内線」ボタンと着信ランプが、赤色に点滅します。
- 2 「スピーカ」ボタンを押します。
※あらかじめマイクをONにしておいてください。マイクのON操作は、「マイク」ボタン（または「機能」+「6」「1」ボタン）を押します。
※マイクをOFFにするには、もう一度「マイク」ボタン（または、「機能」+「0」「6」「1」ボタン）を押します。
- 3 お話します。



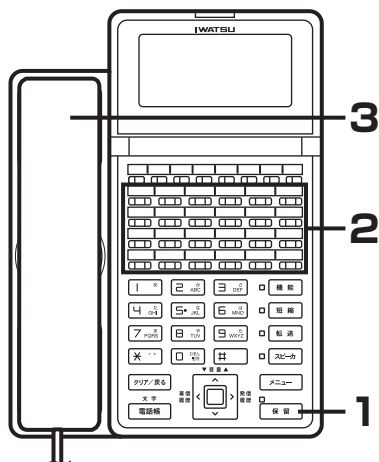
Note

- 「内線」ボタンを押さないと応答できない設定もできます。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「マイク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

さらに便利な使い方

- 電話に出られないときに着信を拒否することができます。〈ドント・ディスタープ〉 5-34ページ
- 通話中に他の電話機からの割り込みを許可することができます。〈秘話／秘話解除〉 5-47ページ
- 音声で呼ばれたとき受話器を取り上げずに応答することができます。〈内線ハンズフリー応答〉 5-14ページ
- 電話機のスピーカまたは外部スピーカの呼び出しに応答することができます。〈ミート・ミー対応〉 10-11ページ
- 不在中または通話中の場合に、指定した電話機へ転送することができます。
〈不在転送／話中転送／未応答転送〉 5-23、5-24ページ
- 設定した時刻に電話機を鳴らすことができます。〈モーニングコール〉〈タイムコール〉 5-41、5-42ページ
- 電話に出られないときに不在理由を表示することができます。〈不在メッセージ〉 5-45ページ

保留・転送する



外線を保留する／再応答する

● 外線の保留〈外線保留〉

1 そのままの状態です「保留」ボタンを押します。

2 保留状態になります。
「外線」ボタンが緑色でゆっくり点滅します。
※ 他の電話機では「外線」ボタンが赤色でゆっくり点滅します。

3 受話器を置きます。
保留中は受話器を置いても外線はつながっています。また、相手には保留音のみが聞こえます。
※ 保留警報機能がデータ設定により、あらかじめ登録されている場合は、保留状態が登録時間を超えると「ブブブブ」と警報が鳴り、ディスプレイにリコール表示されます。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



Note

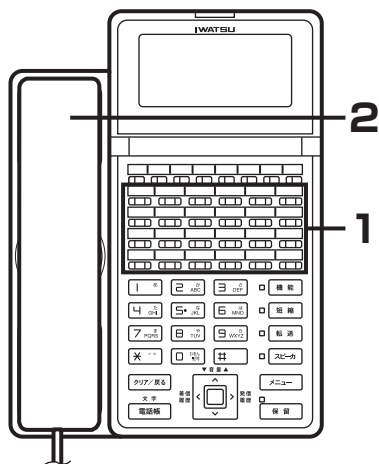
・データ設定により、保留警報時に複数の電話機に警報を鳴らすことができます。

● 保留していた外線への応答〈保留外線応答〉

1 保留中の「外線」ボタンを押します。
「外線」ボタンが緑色で、ゆっくり点滅します。
※ 他の電話機では、「外線」ボタンが赤色でゆっくり点滅します。

2 受話器を取り上げます。

3 お話します。

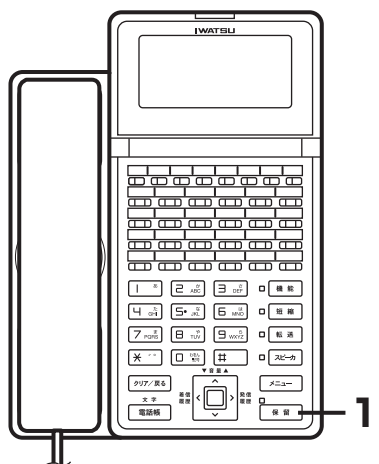


内線を保留する／再応答する

● 内線の保留〈内線保留〉

1 そのままの状態です「保留」ボタンを押します。
※ 会議通話中（3人で通話中）でも保留できます。

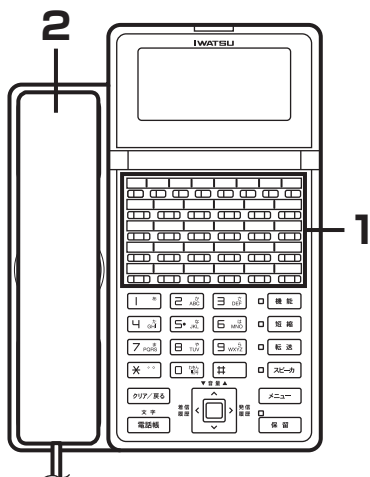
2 保留状態になります。
保留中は受話器を置いても内線はつながっています。また、相手には保留音のみが聞こえます。



(次ページへ続く)

保留・転送する

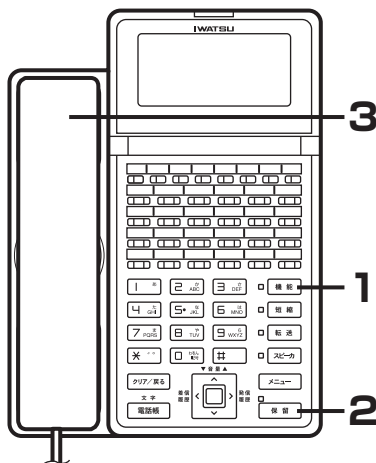
(前ページの続き)



●内線の保留応答〈内線応答〉

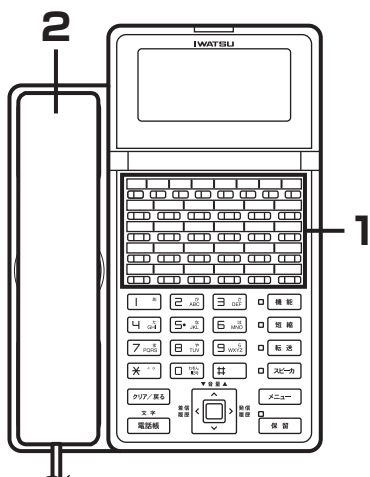
- 1 「内線」 ボタンを押します。
保留中の「内線」ボタンが赤色でゆっくり点滅します。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話します。

保留した外線を他の人が受けないようにする〈外線自己保留〉



- 1 そのままの状態です「機能」ボタンを押します。
通話中は、「外線」ボタンが緑色で点滅します。
- 2 「保留」ボタンを押します。
「外線」ボタンの緑色の点滅が、ゆっくりになります。
※ 自己保留した外線は、他の電話機では「外線」ボタンが赤色で点灯し、応答できません。
- 3 受話器を置きます。
保留中は受話器を置いていても外線はつながっています。また、相手には保留音のみが聞こえます。
※ 自己保留制限時間と保留警報機能がデータ設定により、あらかじめ登録されている場合は、保留状態が設定時間を超えると「ブブブブ」と警報が鳴ります。その後、共通保留となり、他の電話機による応答が可能となります。

「外線」ボタンを選択せずに自動的に応答する方法〈保留外線自動応答〉

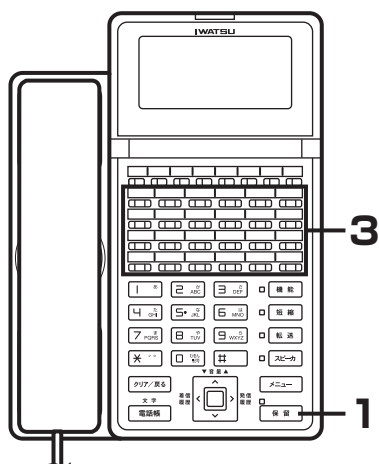


- 1 「保留外線自動応答」ボタンを押します。
最後に保留した外線が自動的に捕捉されます。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話します。



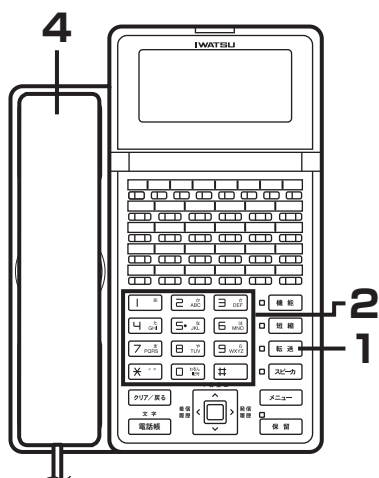
Note

- ・「保留外線自動応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



近くのひとに外線を転送する

- 1 そのままの状態で「保留」ボタンを押します。
- 2 「〇〇さん、××番に電話です」のように呼びかけます。
- 3 呼ばれた人は、該当する××番の「外線」ボタンを押し、お話しします。



特定のひとに外線を転送する〈自動転送／キャンプオン〉

- 1 そのままの状態で「転送」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音に切り替わります。
- 2 転送先の内線番号をダイヤルします。
※専用線に転送する場合は、専用線アクセス番号、転送先番号の順にダイヤルします。
※強制的に転送する場合（キャンプオン）は、そのあと受話器を置きます。転送先が別の通話をしているときは、転送を知らせる音が聞こえます。このとき該当する「外線」ボタンが、赤色で1秒間隔で点滅します。データ設定により、あらかじめ登録されているキャンプオン監視時間を経過しても、転送先が応答していない場合は、他の電話機でも応答できるようになります。
- 3 内線がつながったら、「〇〇さん、電話です」のように連絡します。
※転送できない場合は、「転送」ボタンを再び押すと、保留した外線に応答できます。

Note

- あらかじめ「DSS」ボタン、「内線代表」ボタンのどちらかが登録されている場合は、手順（1）～（3）の操作の代わりに、これらのボタンを使用できます。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- データ設定により、あらかじめ内線グループ分けで保留中の外線が外線応答規制に登録されている電話機には転送できません。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 強制的に転送した場合、一定時間内に相手が出られない時はリコール（再呼び）になります。
- 「接続」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 4 受話器を置きます。
転送された人は、そのままお話しします。
※受話器を置く代わりに「接続」ボタンを押して転送することができます。

MEMO

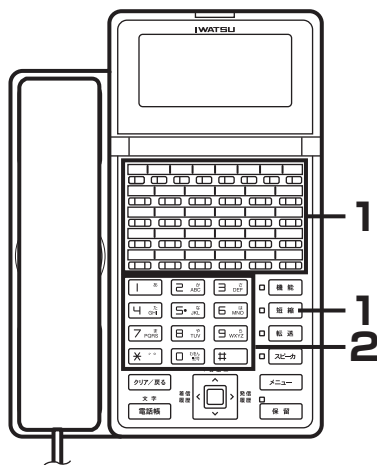
5. 多機能電話機

応用操作／応用機能編

外線発信関連

電話をかけるときの操作を省略できます。

簡単に発信操作をする〈クイックオペレーション〉



Note

- 各ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 該当するボタンを押します。

スピーカから発信音が聞こえます。

- 外線を指定する場合
→「外線」ボタンを押します。
- 空いている外線を自動捕捉する場合
→「索線」ボタンを押します。
- 内線にかける場合
→「内線」ボタンを押します。
- 短縮ダイヤルする場合
→「短縮」ボタンを押します。
- ダイヤルインボタンから外線へ発信する場合
→「ダイヤルイン」ボタンを押します。
- 空いているダイヤルイン外線を自動捕捉する場合
→「索線ダイヤルイン」ボタンを押します。

2 相手の電話番号または内線番号をダイヤルします。

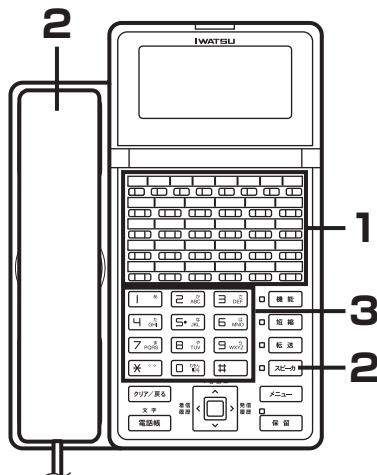
※ 短縮の場合は、短縮番号をダイヤルします。

※ 「DSS」、「内線代表」、「セーブナンバー」、「再発信」ボタンを押した場合は、自動的にダイヤルされます。

外線グループ発信

グループ（部署ごとなどで決められた発信外線）の中から空いている外線を自動的に探すことができます。

●「索線番号」ボタンによる方法



Note

- 「索線番号」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

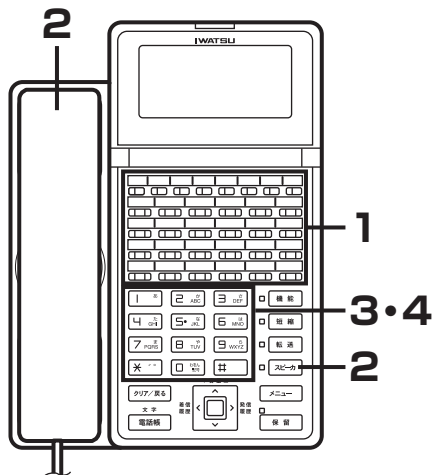
1 使用するグループの「索線番号」ボタンを押します。

2 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
空いている外線を捕捉すると「ツー」という発信音が聞こえます。
※グループ内のすべての外線が使用中の場合は、「ツーツー」という話中音が聞こえます。この場合は、しばらく待って再び、上記手順（1）から操作してください。

3 相手の電話番号をダイヤルします。
※ISDN回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。

4 お話します。

●「索線」ボタンによる方法



Note

- 「索線」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 外線グループ番号は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

1 「索線」ボタンを押します。

2 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

3 使用する外線グループ番号をダイヤルします。
空いている外線を捕捉すると「ツー」という発信音が聞こえます。
※外線グループ番号とは、グループ分けされている複数の外線全体に割り当てられる番号のことです。

4 相手の電話番号をダイヤルします。
※ISDN回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。

5 お話します。

外線発信関連

ダイヤル回線でプッシュ信号を送る〈ダイヤルリバース〉

ダイヤル式回線でプッシュ信号が使えます。

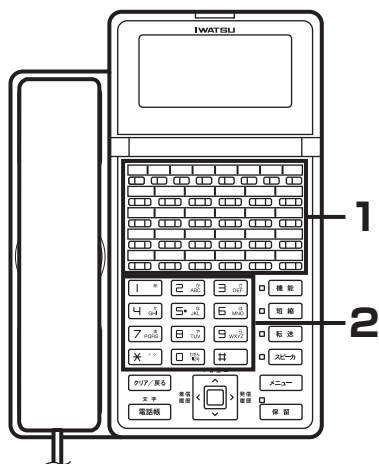
- 1 外線と通話の状態で「プッシュ」ボタン（または「機能」＋「1」「3」）を押します。
※ 再びこの操作を行うと回転ダイヤル信号に戻ります。

- 2 ダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号が出ます。



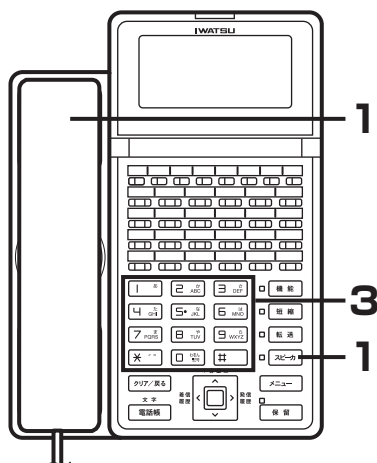
Note

- データ設定により、あらかじめ自動ダイヤルリバースモードに登録しておくと、自動的にプッシュ信号に替わります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ダイヤルリバース機能は、回線がダイヤル式のときのみ使用できます。
- 「プッシュ」ボタンは、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



空外線自動捕捉

受話器を取り上げるだけで、自動的に空いている外線を探すことができます。



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 空いている外線が自動的に捕捉されます。

「ツー」という外線発信音が聞こえます。

※すべての外線が使用中の場合は、「ツーツー」という話中音が聞こえます。

3 相手の電話番号をダイヤルします。

※ISDN回線、ひかり電話回線、IP電話回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。



Note

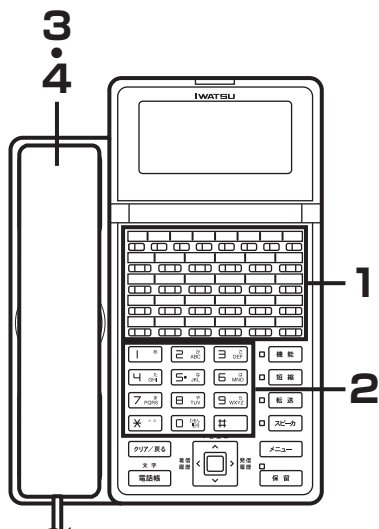
- 空外線自動捕捉機能を使用する場合は、電話機ごとに使用する外線アクセス番号、または外線グループアクセス番号の登録があらかじめ必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線発信関連

指定時間後に外線を予約するとき〈タイムドランクキューイング〉

指定時間後に外線を使用する予約ができます。

●外線時間予約方法



1 電話をかけた相手が通話の状態または応答しないとき、そのままの状態ですべて「外線時間予約」ボタン（または「機能」＋「2」「4」ボタン）を押します。

2 ダイヤルボタンを押し、何分後に外線を予約するかを入力します。（1～9分）
※ 予約が完了すると確認音が聞こえます。

3 受話器を置きます。

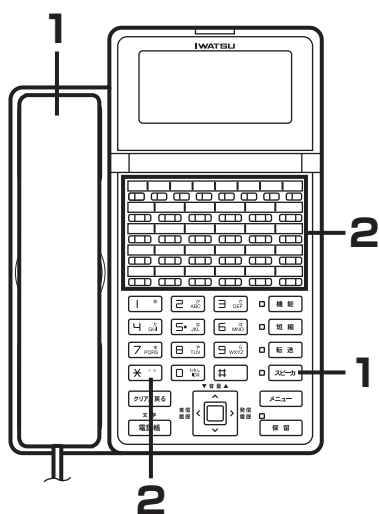
4 「ブブブブ」というお知らせ音が鳴ったら、受話器を取り上げます。電話をかけていた相手先に自動的にダイヤルされます。
※ お知らせ音は、指定した時間後に外線が空くか、外線グループに空き外線が見つかったと鳴ります。



Note

- お知らせ音が鳴ったら、一定時間に受話器を取り上げる操作がないと、予約は解除されます。
- タイムドランクキューイングは、電話機ごとに1つしかできません。
- 複数の電話機が同一外線の予約をしている場合には、データ設定により、あらかじめ登録されている電話機の優先順に、外線の空きが通知されます。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「外線時間予約」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●外線時間予約の解除方法



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「外線時間予約」、「*」ボタンの順（または「機能」＋「0」「2」「4」ボタン）に押します。
※ 解除が完了すると確認音が聞こえます。

使用中の外線が空きになったときにお知らせを受ける〈トランクキューイング〉

指定した外線が使用中のとき、または指定した外線グループ内の全ての外線が使用中のときに外線予約を行うと、その後指定した外線もしくは外線グループが使用できる状態になったときにお知らせします。

●外線予約方法

- 1 話中音またはウェーティングトーンが聞こえる状態で、「外線予約」ボタン（または「機能」＋「2」「3」ボタン）を押します。

※ 予約が完了すると確認音が聞こえます。

- 2 受話器を置きます。

- 3 「ブブブブ」というお知らせ音が鳴ったら受話器を取り上げます。

※ お知らせ音は、指定した外線が空くか、外線グループに空き外線が見つかりと鳴ります。

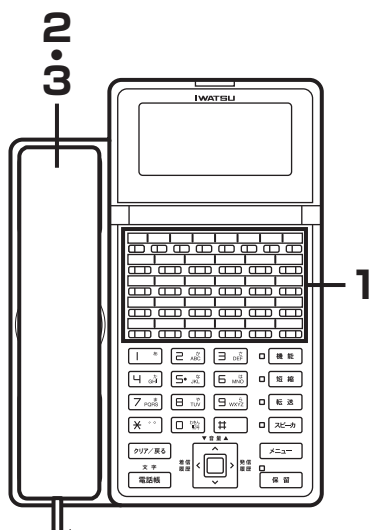
※ クイックモードで短縮発信を行い外線が空いていなかったためこの操作をした場合は、お知らせ音に回答しただけでその短縮番号を自動ダイヤルします。

●外線予約の解除方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

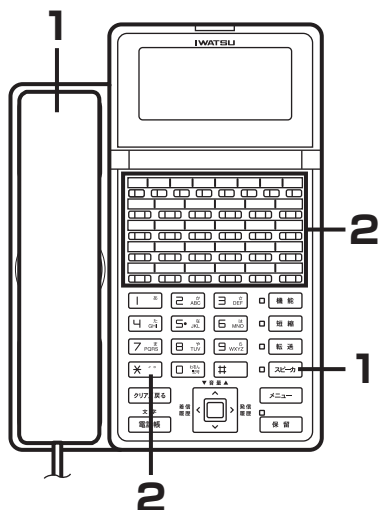
- 2 「外線予約」、「＊」ボタンの順（または「機能」＋「0」「2」「3」ボタン）に押します。

※ 解除が完了すると確認音が聞こえます。



Note

- ・「外線予約」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- ・トランクキューイングは、電話機ごとに1つしかできません。



Note

- ・お知らせ音が鳴ったら、あらかじめ登録してある時間内に応答してください。
- ・トランクキューイングは、電話機ごとに1つしかできません。
- ・複数の電話機が同一外線の予約をしている場合は、データ設定により、あらかじめ登録されている電話機の優先順に、外線の空きが通知されます。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ・「外線予約」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

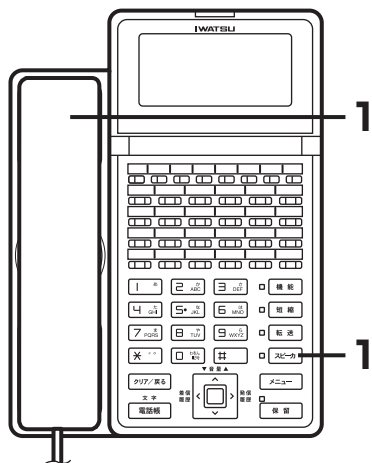
外線発信関連

外線自動発信

ダイヤルを押さずに特定の相手に自動発信するように設定することができます。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 個別短縮番号（99）に登録されている電話番号が自動的にダイヤルされます。



Note

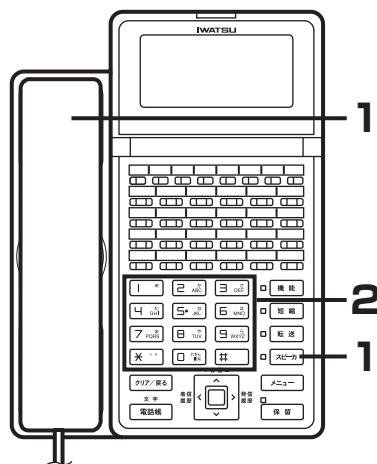
- 外線自動発信を行うには、あらかじめデータ設定による電話機ごとの設定が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

内線発信関連

空内線自動捕捉

空いている内線を自動的に捕捉することができます。

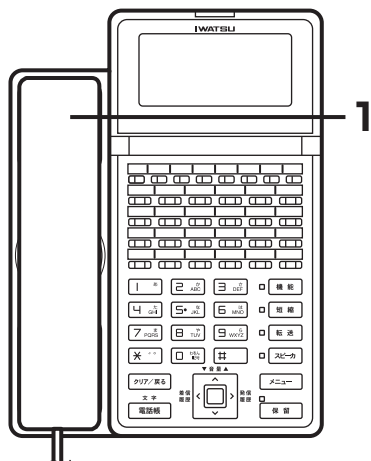
- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 内線番号をダイヤルします。



内線発信関連

内線ホットライン

受話器を取り上げるだけで特定の内線電話機を呼び出すことができます。



1 受話器を取り上げます。

2 データ設定された内線番号を自動的に呼び出します。

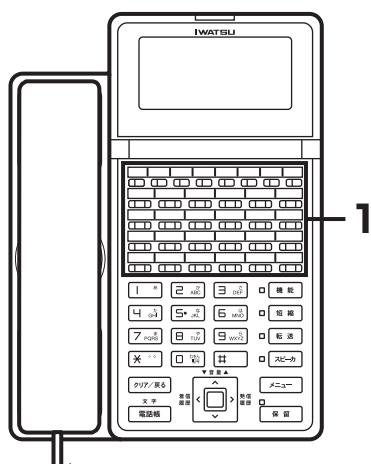


Note

- 内線ホットライン機能を使用するには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。内線番号、パイロット番号、一斉呼び出し番号、グループ呼び出し番号、ページング呼び出し番号に登録ができます。

応答しない内線電話機を強制的に呼び出す〈オーバーライド〉

応答しない内線電話機（着信拒否、通話中）を強制的に呼び出すことができます。この機能はオーバーライド可のデータ設定をされた電話機か、フレキシブルボタンに「強制呼び出し」ボタンを登録した電話機で利用できます。



Note

- 「強制呼び出し」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 呼び出し先が通話中の場合、「強制呼び出し」ボタンを押します。

※あらかじめオーバーライド可のデータ設定をしている電話機では、この操作は必要ありません。

2 相手が通話中でも呼び出しを行います。

着信関連

話中着信

通話中に他の外線に着信があったときに、「プルプルプル」という小さな着信音を鳴らすことができます。



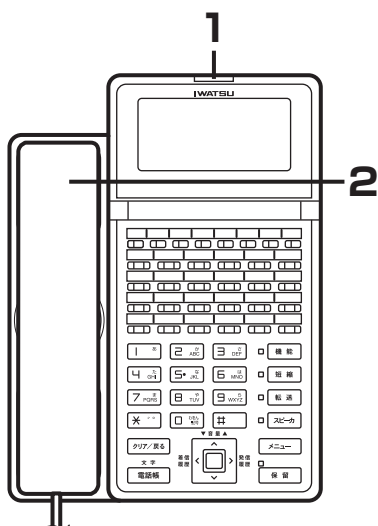
Note

- 話中着信データ設定されていない電話機では、通話中の着信音は鳴りません。
- FAX端末に対しては、話中着信のデータ設定は、行わないようにしてください。

外線着信自動応答

受話器を取り上げるだけで、自動的にかかってきた外線に应答することができます。

- 1 着信音が鳴ります。
「トゥルトゥルトゥル」という呼出音が鳴ります。
着信している「外線」ボタンと着信ランプが、赤色に点滅します。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話しします。

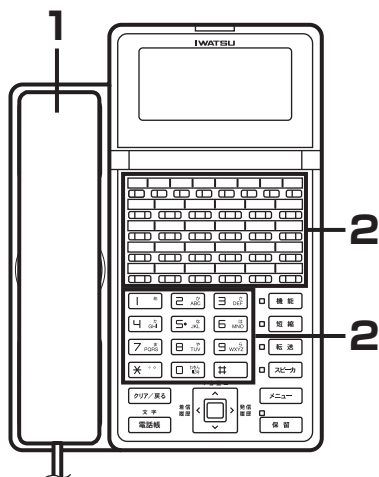


Note

- 複数の外線に対して外線着信自動応答機能が設定されているときには、応答の優先順位は着信順となります。

着信代理応答

鳴っている電話機の着信を、他の電話機で応答できます。



Note

- あらかじめ外線応答規制に登録されている外線には代理応答できません。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 代理応答を行う場合は、あらかじめ代理応答できるグループを登録する必要があります。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「グループ内代理応答」、「グループ外代理応答」、「個別代理応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を取り上げます。

2 応答する着信により、以下の操作を行います。

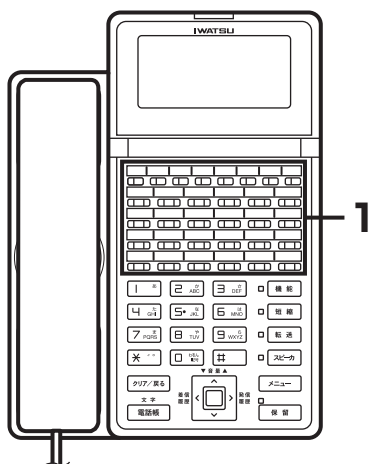
- グループ内への着信の場合
→「グループ内代理応答」ボタン（または「機能」＋「3」「1」ボタン）を押します。
- 他の内線代理応答グループ（部署など）への着信の場合
→「グループ外代理応答」ボタン（または「機能」＋「3」「2」ボタン）と、応答したい3桁のグループ番号を押します。
※「グループ外代理応答n」ボタンが割り当てられている場合は、「グループ外代理応答n」ボタンを押します。
- 着信している電話機の内線番号を指定して応答する場合
→「個別代理応答」ボタン（または「機能」＋「3」「3」ボタン）と、着信している電話機の内線番号を押します。

3 お話します。

着信関連

 Note

- 「マイク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- ハンズフリー通話のときは、電話機との距離が50cmを超えないようにしてください。マイクが音声をひろいにくなります。
- 相手側の周囲または、自分側の周囲の騒音が大きいときは、マイクが音声をひろいにくなり、通話が途切れることがあります。このときは、受話器を上げてお話ししてください。
- 通話相手と交互にお話してください。同時に話すと相手の声が途切れることがあります。



内線ハンズフリー応答

音声による内線呼び出しに対して、受話器を取り上げずに応答することができます。

● 電話機内蔵マイクON状態の場合

「マイク」ボタンが割り当てられていれば、赤点灯しています。

1 そのまま、お話しができます。

● 電話機内蔵マイクOFF状態の場合

「マイク」ボタンが割り当てられていれば、消灯しています。

1 「マイク」ボタン（または「機能」＋「6」「1」ボタン）を押します。

2 そのまま、お話しができます。

秘書応答

設定された他の電話機（例えば上司の電話機）にかかってきた着信に応答することができます。この機能は、あらかじめデータ設定された電話機で利用できます。

●他の内線電話機への着信に応答する場合

1 「秘書応答」ボタンが緑色に点滅し、秘書応答着信音が鳴ります。

※ランプが高速点滅のときは外線着信、低速点滅のときは内線着信です。

2 受話器を取り上げ「秘書応答」ボタンを押します。

3 お話します。



Note

- ・「秘書応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- ・秘書応答着信では、着信ディスプレイ表示、および着信ランプの点滅は行われません。

●設定された他の内線電話機の呼び出し

1 受話器を取り上げます。

2 「秘書応答」ボタンを押します。

3 相手が応答したら、お話できます。

※呼び出す電話機は、着信に応答する電話機（例えば上司の電話機）と同じです。



Note

- ・「秘書応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●秘書応答着信音のモードの変更

1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。

2 「秘書応答」ボタンを押します。

現在の秘書応答着信音のモードが、ランプとディスプレイで表示されます。

3 設定したいモードに該当するダイヤルボタン（1～3）を押します。

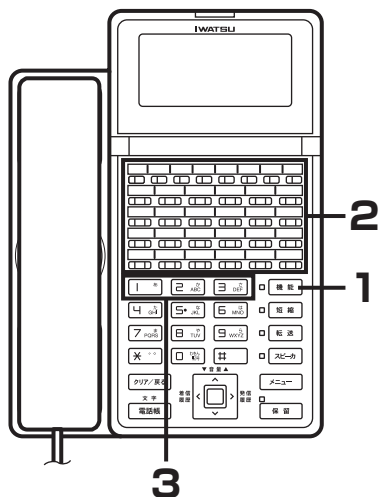
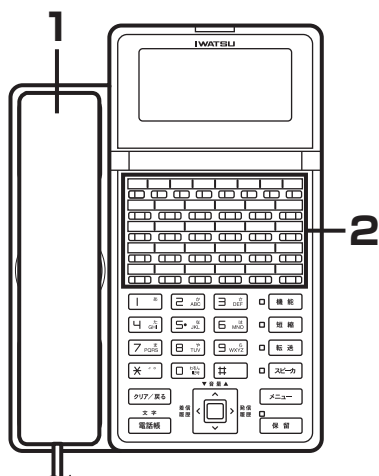
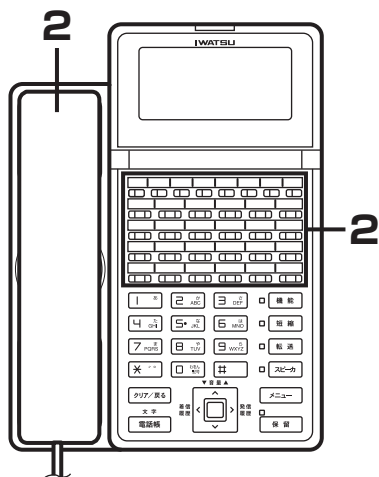
秘書応答着信音のモード即時鳴音、遅延鳴音、無鳴音の3種類があります。

- 即時鳴音 → 「1」ボタン
- 遅延鳴音 → 「2」ボタン
- 無鳴音 → 「3」ボタン



Note

- ・「秘書応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- ・遅延鳴音するまでの時間（秒）は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

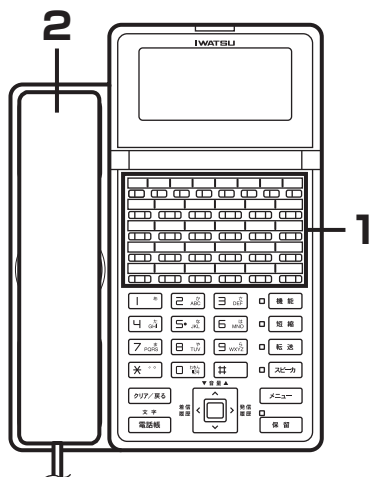


着信関連

外線着信グループ応答

他の電話機にかかってきた外線にワンタッチで応答できます。

- 1 赤で点滅している「外線応答番号」、「外線応答」ボタンの1つを押します。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話しします。

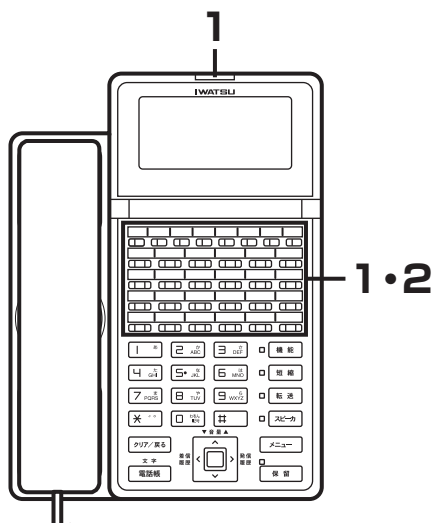


Note

- 応答する電話機の「外線応答番号」、「外線応答」ボタンに割り当てられていない外線には、応答できません。
- 「外線応答番号」、「外線応答」ボタンに複数の着信がある場合は、先着順の応答となります。
- 各ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

手が離せない場合にお待たせする メッセージを流す〈手動お待たせメッセージ〉

電話応対などで、手が離せない場合に、ボタン操作により相手にお待たせメッセージを流すことができます。



- 1 外線着信音が鳴っているときに、「お待たせ」ボタンを押します。
- 2 「お待たせ」ボタンが点滅している間に、「外線」ボタン、または「ダイヤルイン」ボタンを押します。
「お待たせ」ボタンは5秒間点滅します。
- 3 相手にお待たせメッセージが流れ、「外線」ボタン、または「ダイヤルイン」ボタンは緑色点滅となります。

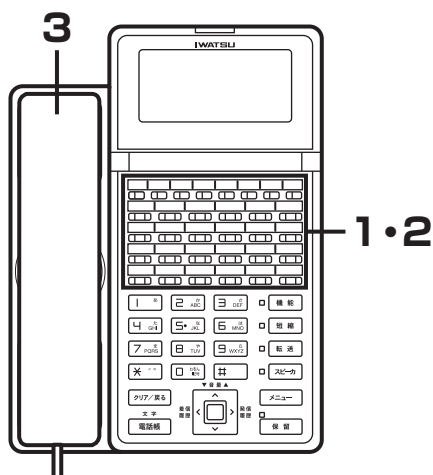


Note

- ・「お待たせ」ボタン、「外線」ボタン、「ダイヤルイン」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- ・手動お待たせメッセージを行うには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

優先して応答したい相手から着信したことを知らせる〈優先着信表示〉

外線着信が同時に発生しているとき、優先して応答することができます。



- 1 電話帳に登録されている相手から外線着信したときに、「外線」ボタン、または「ダイヤルイン」ボタンが赤色と緑色で同時に点滅します。
- 2 「外線」ボタン、または「ダイヤルイン」ボタンを押します。
ディスプレイに相手の電話番号または登録されている名称を3秒間表示して、相手先を確認することができます。
- 3 ディスプレイ表示されている間に受話器を取り上げます。
- 4 お話しします。



Note

- ・「外線」ボタン、「ダイヤルイン」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- ・優先着信表示は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

ペアコードレス

多機能電話機を親電話機、コードレス電話機をペア端末として、あらかじめデータ設定しておきます。親電話機への局線着信や内線着信に対して、ペアとなる端末が連動して鳴動します。ペア端末の通話を親電話機に転送させたり、ペア端末の保留に親電話機から応答することができます。

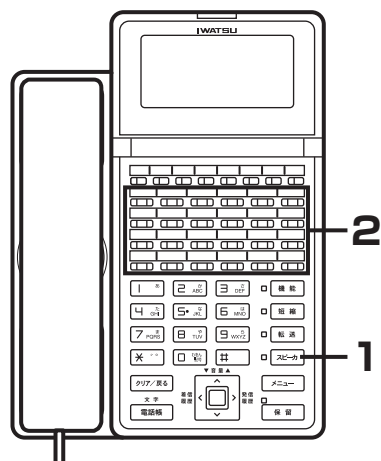


1・2

■通話の切り替え方法（親機：多機能電話機→子機：コードレス）

- 1 親電話機が通話中に、ペアとなるMujo端末の「内線」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 Mujo端末の「ペア切り替え」ボタンを押します。
親電話機の通話がMujo端末に切り替わります。
※ 親電話機は空き状態になります。

■通話の切り替え方法（子機：コードレス→親機：多機能電話機）

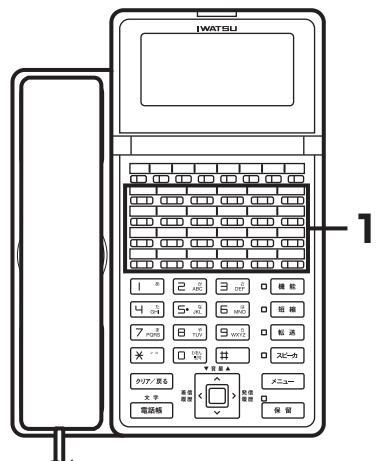


2

1

- 1 Mujo端末が通話中に、ペアとなる親電話機の受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 親電話機の「ペア切り替え」ボタンを押します。
Mujo端末の通話が親電話機に切り替わります。
※ Mujo端末は空き状態になります。

■保留方法（ペア保留）



1

- 1 親電話機またはペアとなるMujo端末で通話中に、「ペア切り替え」ボタンを押します。
親電話機またはペアMujo端末いずれかのみが応答できる保留状態になります。

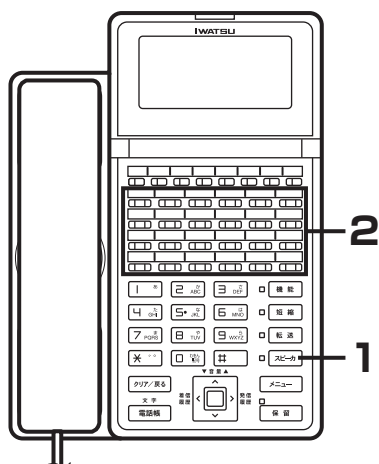


Note

- IP多機能電話機とコードレス端末をペアにすることはできません。
- 各ボタンは、データ設定によりあらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

⚠ 注意

- IX-24KT-N/IX-12KT-N/IX-24KTAPF-NとMujoとを近づけてご使用になると、通話中にノイズが混入することがあります。その場合は、離してご使用ください。



■ペア保留への応答方法

1 親電話機の受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。もしくはMujo端末の「内線」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「ペア切り替え」ボタンを押します。
ペア保留に応答できます。



Note

- IP多機能電話機とコードレス端末をペアにすることはできません。
- 各ボタンは、データ設定によりあらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

⚠ 注意

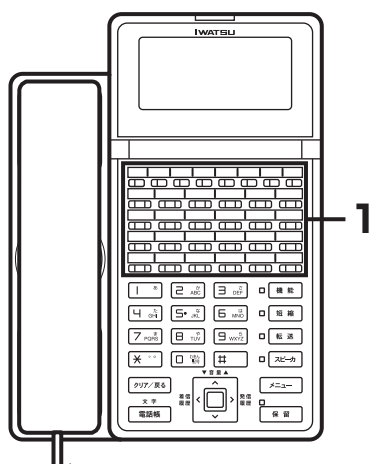
- IX-24KT-N/IX-12KT-N/IX-24KTAPF-NとMujoとを近づけてご使用になると、通話中にノイズが混入することがあります。その場合は、離してご使用ください。

保留・転送関連

外線・内線を特定ボタンに保留する／再応答する〈個別パーク保留〉〈グループパーク保留〉

● グループパーク保留を行うとき

内線グループ単位の管理で、保留した電話を他のグループの電話機で応答できないようにする方法です。



1 通話の状態で、空いている「グループパーク」ボタンを押します。

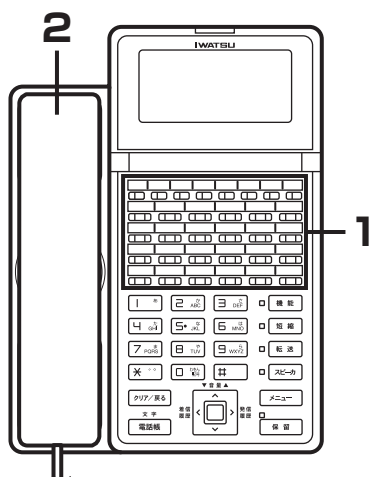
2 他のグループの電話機から応答できない状態で、通話が保留されます。

※ グループパーク保留した電話機以外の同じ内線グループ電話機では、該当する「グループパーク」ボタンが点滅しています。

**Note**

- 「グループパーク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 内線通話をグループパーク保留するときは、データ設定によりあらかじめ登録が必要です。

● 再び通話するとき



1 使用した「グループパーク」ボタンを押します。

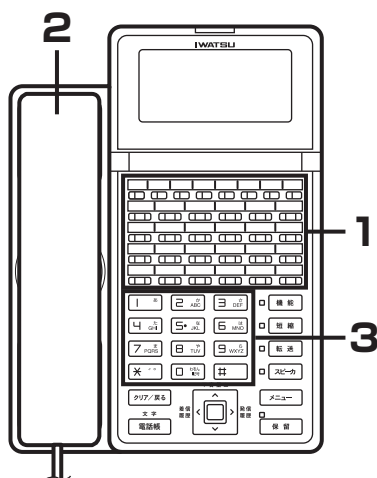
※ 他の通話中に「グループパーク」ボタンを押しても、保留応答はできません。他の通話を終わってから、操作してください。

2 受話器を取り上げます。

3 お話しします。

**Note**

- 「グループパーク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



●他のグループの電話機から「リモート応答操作」で再び通話するとき

- 1 「内線」 ボタンを押します。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 応答したい「グループパーク」ボタンに該当するパークオーバービット番号をダイヤルします。
- 4 お話します。

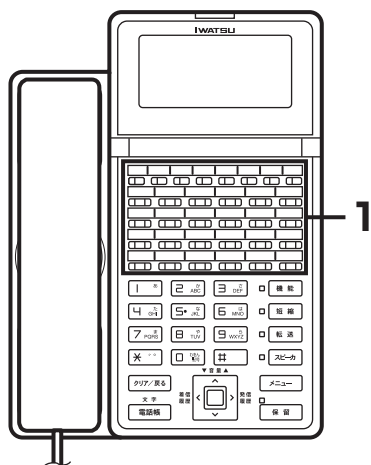


Note

- ・パークオーバービット番号は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

●個別パーク保留するとき

個別パーク保留は、保留した電話を他の電話機で応答できないようにするものです。



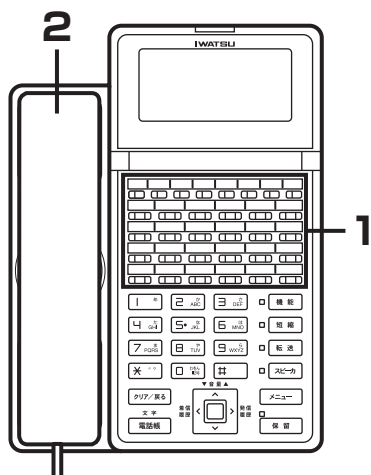
- 1 通話の状態で「個別パーク」ボタンを押します。
- 2 他の電話機から応答できない状態で、通話が保留されます。



Note

- ・1台の電話機に登録できる「個別パーク」ボタンは1つだけです。
- ・「個別パーク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●再び通話するとき



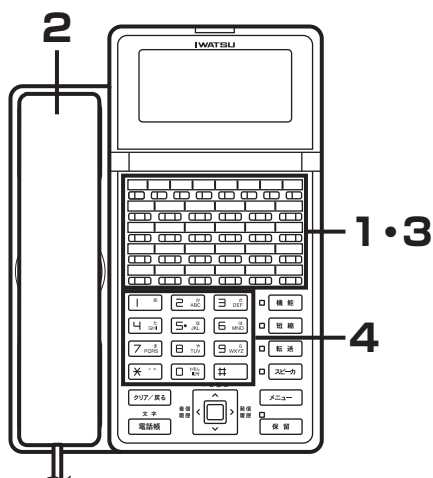
- 1 保留状態の「個別パーク」ボタンを押します。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話します。



Note

- ・「個別パーク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

保留・転送関連

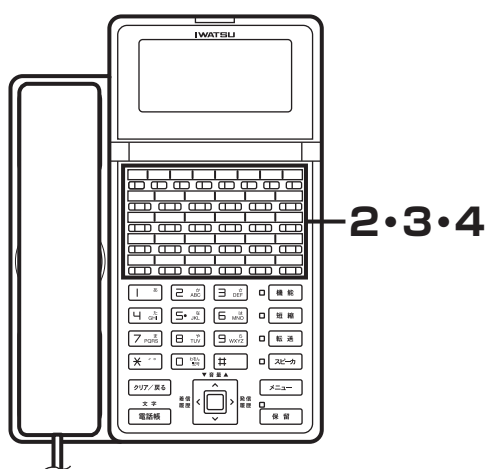


Note

- 「パーク応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●他の電話機から「リモート応答操作」で再び通話するとき

- 1 「内線」ボタンを押します。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 「パーク応答」ボタン（または「機能」＋「3」「4」ボタン）を押します。
- 4 個別パーク保留した電話機の内線番号をダイヤルします。
- 5 お話しします。



Note

- 手順（2）～（5）の操作の後、「個別パーク」ボタンを押すことにより、2つの通話相手との保留、応答が瞬時に切り替えられます。
- 「個別パーク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

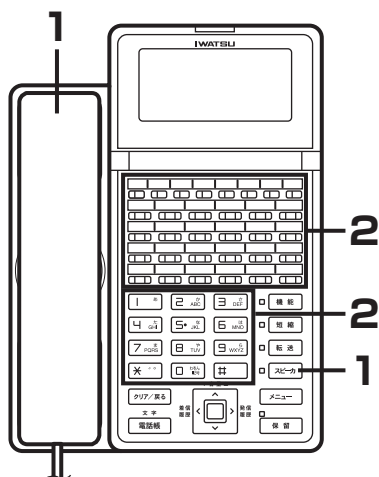
●個別パーク保留で通話相手を切り替えるとき

- 1 通話の状態ではから着信があると、「外線」ボタンまたは「内線」ボタンのランプが赤で点滅します。
- 2 「個別パーク」ボタンを押します。
通話中の外線、または内線が個別保留されます。
- 3 着信している他の「外線」または「内線」ボタンを押して応答します。
- 4 新規の相手と通話中に「個別パーク」ボタンを押します。
- 5 もとの通話相手とつながります。
新規の通話相手が個別パーク保留されます。

不在転送／話中転送／未応答転送

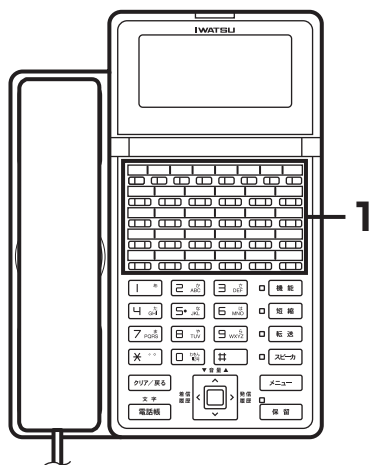
自席に不在中または通話中のときなど、かかってきた電話を指定した電話機へ自動的に転送することができます。この機能は不在転送可の設定がされた電話機で利用できます。

● 転送先の登録方法



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「不在転送」ボタンを押し、続けて転送先の内線番号を押します。
※登録が完了すると確認音が聞こえます。



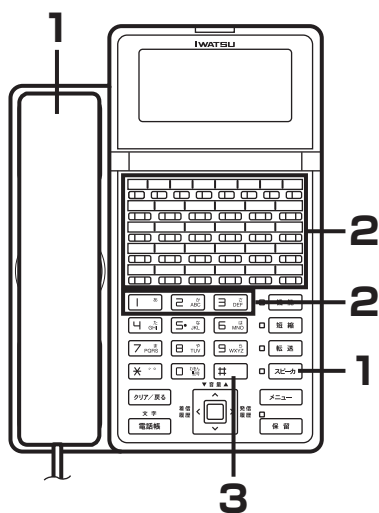
● 転送機能のON／OFF

1 「不在転送」ボタンを押すごとに、転送機能のON／OFFが切り替わります。
ONにすると、「不在転送」ボタンが赤色で点灯または点滅します。着信した外線は、登録された転送先に自動的に転送されます。



Note

- ・「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



● 転送モードの切り替え方法

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「不在転送」、「#」ボタンを2回押したあと、ダイヤルボタンでモードを選びます。

- 不在転送モード → 「1」ボタン
- 話中/未応答転送モード → 「2」ボタン
- 未応答転送モード → 「3」ボタン

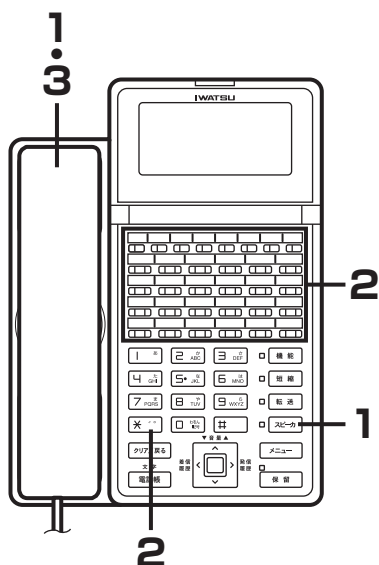
※登録が完了すると確認音が聞こえます。



Note

- ・不在転送、話中／未応答転送、未応答転送機能を使用する電話機は、不在転送可をデータ設定により、あらかじめ登録する必要があります。
- ・未応答転送機能を使用する電話機は、未応答時間をデータ設定により、あらかじめ登録する必要があります。
- ・内線通話規制されている電話機への転送はできません。

保留・転送関連



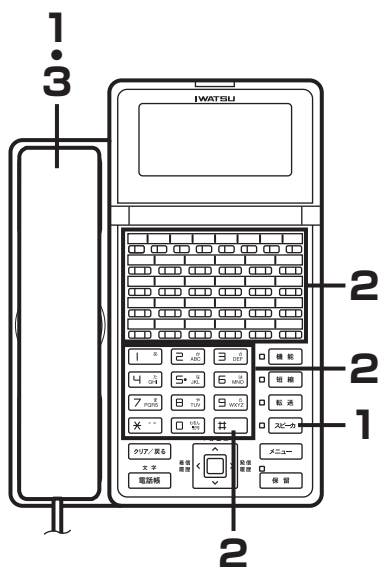
●登録内容の取り消し方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「不在転送」、「*」ボタンの順に押します。
- 3 受話器を置きます。



Note

- ・「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



●不在転送先を、操作した電話機に変更する方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「不在転送」、「#」ボタンの順に押し、続けて転送を登録している電話機の内線番号を押します。
※ 転送先を登録している電話機が転送機能を休止（OFFの状態）にしている場合は、別の電話機から転送先の変更はできません。
※ 登録が完了すると確認音が聞こえます。
- 3 受話器を置きます。
転送変更の操作を行った電話機が新しい転送先になります。



Note

- ・「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

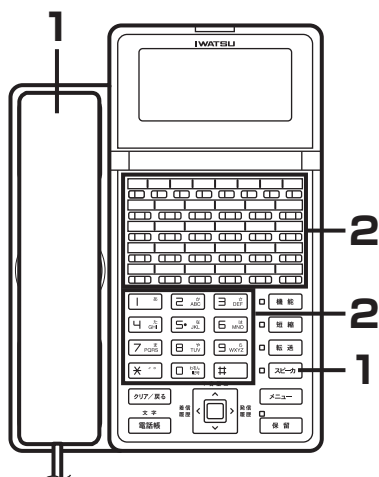
外線への自動転送

不在転送・話中・未応答・未応答転送・圏外転送の転送先の設定を、局線グループに設定することで、局線先の電話機への不在転送を行うことができます。

● 転送先の局線グループ登録方法

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「不在転送」ボタンを押し、続けて転送先局線アクセスグループ番号（4桁）を押します。
※ 登録が完了すると確認音が聞こえます。



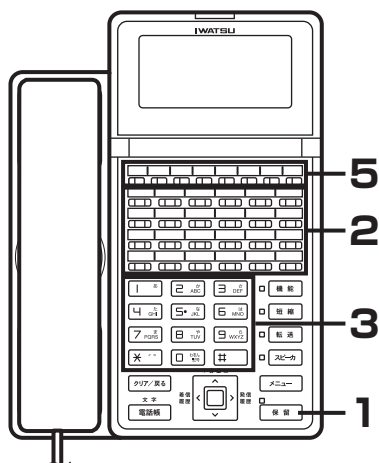
Note

- 「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 局線アクセスグループ番号は、あらかじめ登録が必要です。

● 転送先の電話番号の登録方法

1 転送対象のボタン電話機より、個別短縮番号（98）に登録します。
※ 登録方法は、通常の短縮登録と同様です。

保留・転送関連


Note

- 「接続」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

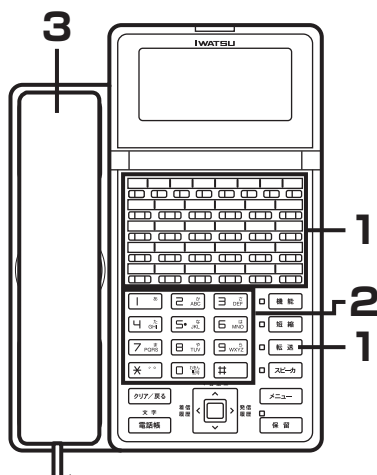
外線への手動転送

局線との通話をいったん保留して、別の局線にて発信通話を行い、その局線と保留中の通話を接続することができます。

- 1 通話の状態で「保留」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 空いている「外線」ボタンを押します。
- 3 呼び出す相手の電話番号をダイヤルします。
- 4 相手が応答した際、電話を転送する旨を伝えます。
- 5 相手応答の状態で、「接続」ボタンを押します。

通話中の内線を他の電話機に強制的に転送する〈内線キャンプオン〉

通話中の内線を、他の電話機に強制的に転送することができます。この機能は、あらかじめオンフックキャンプオンを設定された電話機で利用できます。



1 内線通話の状態です「転送」ボタン（または「保留」ボタン）を押します。

2 転送先の内線番号をダイヤルします。
※ 専用線に転送する場合は、タンデム変換ダイヤルまたは専用線アクセス番号、転送先番号の順にダイヤルします。

3 受話器を置きます。

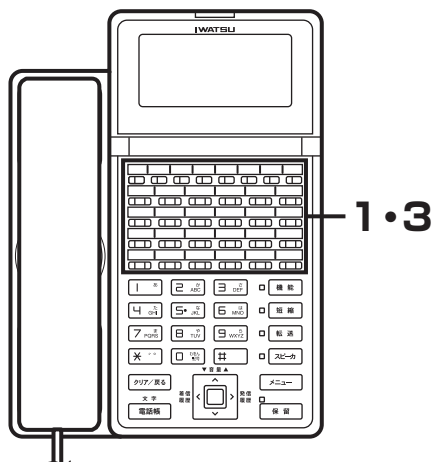
4 転送されます。



Note

- 転送先が通話中でも内線を転送することができます。
- 「転送」ボタンが赤色で点滅中のとき「転送」ボタンを押すと、保留した内線に再び応答できます。

保留・転送関連



保留した外線を特定内線に自動転送する方法

- 1 通話の状態転送先の「内線番号」ボタンを押します。
- 2 転送先の相手とつながったら「〇〇さん、××番に電話です」のように連絡します。
- 3 「接続」ボタンを押します。
転送された人は、そのまま通話を始めます。



Note

- 「内線番号」ボタン、「接続」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

固定不在転送

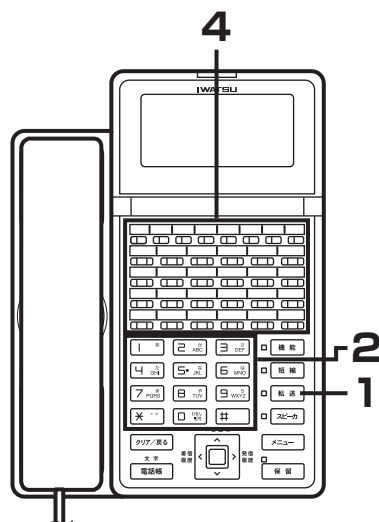
あらかじめ登録している電話機に、着信を自動的に転送することができます。



Note

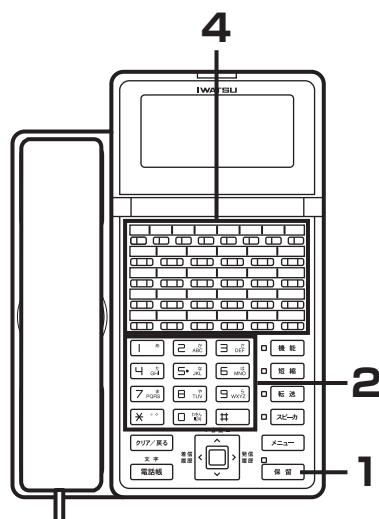
- 転送先の電話機はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 不在転送、話中／未応答転送、未応答転送の3種類の転送モードがあります。データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

会議関連



Note

- 内線グループが完全に別れている場合を除き、外線応答規制されている内線電話も会議に参加させることができます。内線グループの登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「会議」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



Note

- 内線グループが完全に別れている場合を除き、外線応答規制されている内線電話も会議に参加させることができます。内線グループの登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「秘話解除」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

外線会議通話

外線と通話中に、他の内線電話機を呼び出して3人または4人で通話することができます。

●「転送」ボタンと「会議」ボタンによる方法

- 1 通話の状態で「転送」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音に切り替わります。
- 2 会議通話に参加させたい内線電話番号をダイヤルします。
- 3 つながったら「会議通話に参加してください」のように連絡します。
※会議通話は合計4人まで参加できます。
- 4 内線通話の状態で「会議」ボタンを押します。
会議通話の準備ができると、内線に「プー」というお知らせ音が聞こえます（データ設定により、登録が必要です）。
※この状態で、さらに上記手順（1）～（4）の操作を行うと、4人での会議通話が行えます。
- 5 会議通話を始めます。
※会議通話は合計4人まで参加できます。

4人で通話するとき

●「保留」ボタンと「秘話解除」ボタンによる方法

- 1 通話の状態で「保留」ボタンを押します。
外線は共通保留になります。
- 2 会議通話に参加させたい内線電話番号をダイヤルします。
- 3 つながったら「会議通話に参加してください」のように連絡します。
- 4 内線通話の状態で「秘話解除」ボタンを押します。
会議通話の準備ができると、内線に「プー」というお知らせ音が聞こえます（データ設定により、登録が必要です）。
※この状態で、さらに上記手順（1）～（4）の操作を行うと、4人での会議通話が行えます。
- 5 会議通話を始めます。
※会議通話は合計4人まで参加できます。

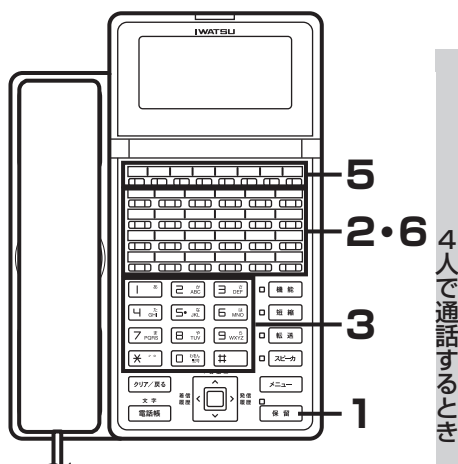
4人で通話するとき

会議関連

複数外線会議通話

外線と通話中に他の外線を呼び出して3人または4人で通話できます。

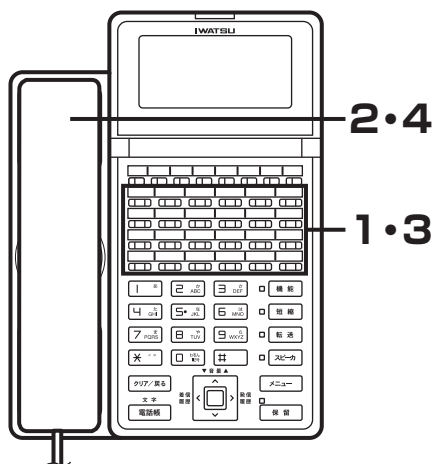
● 外線を会議通話に参加させるとき



Note

- 「外線」、「会議」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 1 通話の状態で「保留」ボタンを押します。
- 2 空いている「外線」ボタンを押します。
- 3 呼び出す相手の電話番号をダイヤルします。
- 4 つながったら「会議通話に参加してください」のように連絡します。
- 5 通話の状態で「会議」ボタンを押します。
- 6 上記手順(1)の操作で保留となった「外線」ボタンを押します。
- 7 会議通話を始めます。
 ※この状態で、さらに上記手順(1)～(6)の操作を行うと、4人での会議通話が行えます。
 ※会議中に、さらに内線を呼び出す場合は、「転送」ボタンと「会議」ボタンによる内線呼び出しを行ってください。
 ※会議通話は合計4人まで参加できます。



Note

- 2外線、2内線で4人による通話をしている場合は、特定の外線を解除することはできません。
- 「外線」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 特定の外線を会議通話から解除するとき

- 1 通話を続けたい相手の「外線」ボタンを押します。**
通話を続けたい相手の外線は保留状態になります。通話を切りたい相手の外線とは通話状態を維持します。
- 2 受話器をいったん戻します。**
通話を切りたい相手の外線が切れます。
- 3 保留中の「外線」ボタンを押します。**
※ 保留中の外線が2つある場合は、いずれか1つの「外線」ボタンを押します。
- 4 受話器を取り上げます。**
- 5 お話します。**

会議関連

外線間会議通話

会議通話終了後に外の人（外線）どうして通話していただけます。

- 1 複数外線会議通話の状態で「保留」、「個別パーク」、「グループパーク」ボタンの1つを押します。
外線どうしは通話状態のままです。

- 2 外線どうしてお話しいただきます。

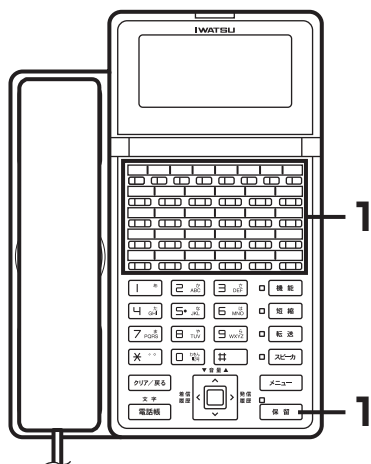
自分の電話機は保留状態になります。

※外線どうして通話中に、該当するフレキシブルボタンを押すと、再び会議に参加できます。



Note

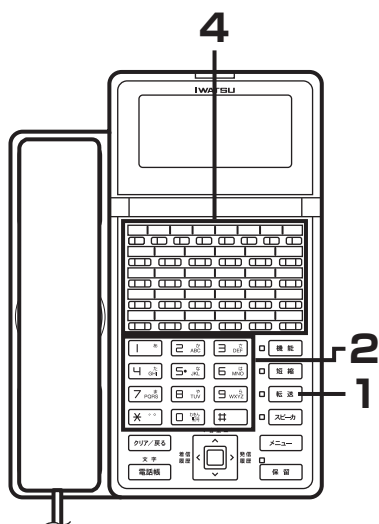
- ISDN回線でご使用になれます。
- 通話終了の信号が検出できない外線の場合は、あらかじめ通話終了を判断するための登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「個別パーク」、「グループパーク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- アナログ回線の場合は、オプションユニットが必要になります。



内線会議通話

内線通話中に他の内線を呼び出して、3人または4人で通話することができます。

●「転送」ボタンと「会議」ボタンによる方法



4人で通話するとき

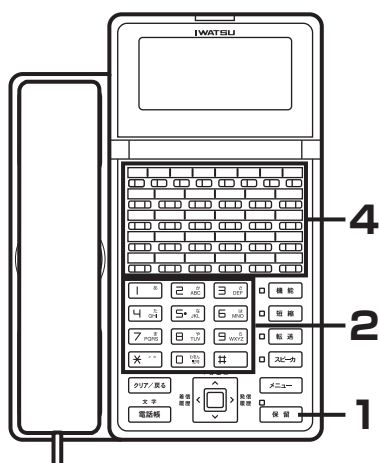
- 1 内線通話の状態ですべて「転送」ボタンを押します。
「ツツツツツツ」という内線着信音に切り替わります。
- 2 会議通話に参加させたい内線電話番号をダイヤルします。
- 3 つながったら、「会議に参加してください」のように連絡します。
- 4 そのままの状態ですべて「会議」ボタンを押します。
会議通話の準備ができると「プー」というお知らせ音が聞こえます（データ設定が必要です）。

Note

- 「会議」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 5 会議通話を始めます。
※この状態で、会議に参加している内線電話機のいずれかで、さらに上記手順（1）～（4）の操作を行うと、4人による内線会議通話が行えます。
※会議通話は、合計4人まで参加できます。

●「保留」ボタンと「秘話解除」ボタンによる方法



4人で通話するとき

- 1 内線通話の状態ですべて「保留」ボタンを押します。
内線保留になり、「ツツツツツツ」という内線発信音に切り替わります。
- 2 会議通話に参加させたい内線電話番号をダイヤルします。
- 3 つながったら、「会議に参加してください」のように連絡します。
- 4 そのままの状態ですべて「秘話解除」ボタンを押します。
会議通話の準備ができると、内線に「プー」というお知らせ音が聞こえます（データ設定が必要です）。

Note

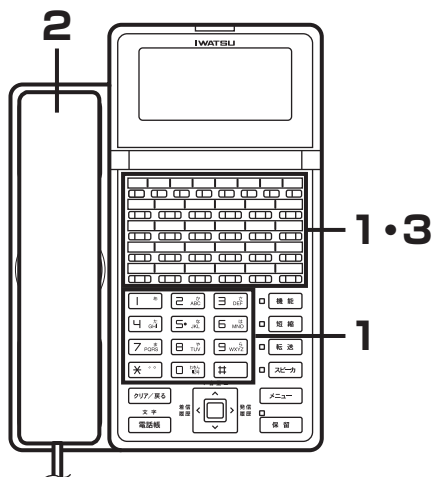
- 「秘話解除」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 5 会議通話を始めます。
※この状態で、会議に参加している内線電話機のいずれかで、さらに上記手順（1）～（4）の操作を行うと、4人による内線会議通話が行えます。
※会議通話は、合計4人まで参加できます。

#

他の電話機の通話内容を聞く〈通話モニタ〉

他の電話機の通話内容を聞くことができます。



- 1 該当する通話を選択します。
 - 外線の場合
→通話中の「外線」ボタンを押します。
 - 内線の場合
→通話中の内線番号をダイヤルします。

- 2 受話器を取り上げます。

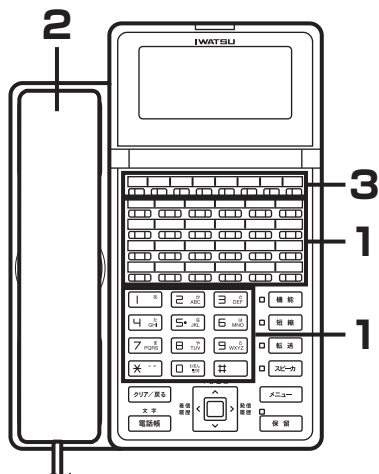
- 3 「モニタ」ボタンを押します。
通話内容を聞くことができます。



Note

- モニタしている側の声は、相手に聞こえません。
- 内線グループ分けなどで外線応答規制されている外線の通話は、モニタできません。
- データ設定で保護（プロテクト）設定されている電話機の通話は、モニタできません。
- 4人による通話（会議）中の内容はモニタできません。
- 「モニタ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

その他システム機能関連



他のお話しに割り込む〈バージ・イン〉

通話中の他の電話機に割り込んで、3人または4人で通話することができます。

1 該当する通話を選択します。

- 外線の場合
→通話中の「外線」ボタンを押します。
- 内線の場合
→通話中の内線番号をダイヤルします。

2 受話器を取り上げます。

3 「会議」ボタンを押します。

3人で通話できます。



Note

- 割り込むとき通話中の相手に、「プー」という音で知らせます（データ設定により、あらかじめ登録が必要です）。
- バージ・インは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 内線グループ分けなどで外線応答規制されている外線への割り込みはできません。
- データ設定で保護（プロテクト）設定されている電話機への割り込みはできません。
- 4人による通話（会議）中には、割り込みはできません。
- 「外線」、「会議」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

今かけている相手の電話番号を登録させる 〈セーブナンバリダイヤル〉

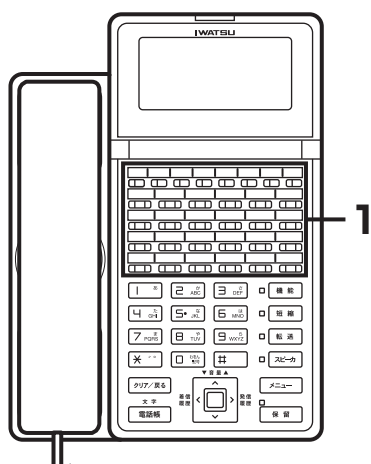
今かけている相手の電話番号を記憶させることで、再びかけ直すと自動的にダイヤルすることができます。

● 電話番号を記憶させるとき

- 1 電話番号をダイヤルしてから電話を切るまでの間に「セーブナンバ」ボタン（または「機能」＋「2」「1」ボタン）を押します。

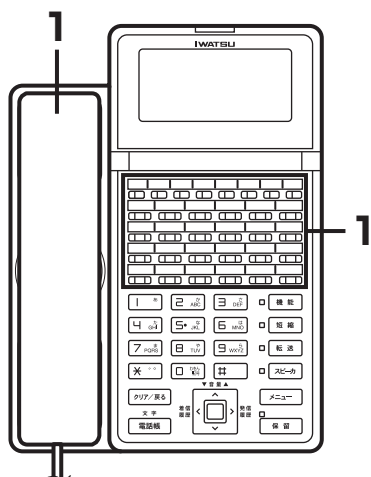
※ 記憶させる電話番号は、発信中の電話番号が対象となります。登録操作は発信中に行ってください。

- 2 ダイヤルした電話番号が記憶されます。



Note

- 「セーブナンバ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 記憶できる電話番号は電話機ごとに1つだけです。登録操作を行うと以前の登録電話番号は消去されます。



Note

- 記憶できるダイヤル桁数は48桁以内です。
- 内線から外線につなが際の外線アクセス番号、外線グループアクセス番号も登録対象となります。
- 記憶できる電話番号は電話機ごとに1つだけです。登録操作を行うと以前の登録電話番号は消去されます。
- 「セーブナンバ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 記憶させた電話番号にかけるとき

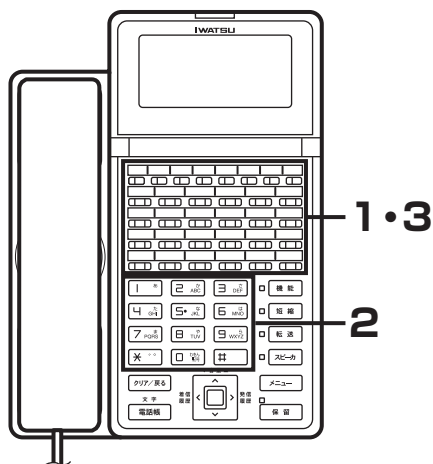
- 1 受話器を取り上げ（または「スピーカ」ボタンを押す）、「セーブナンバ」ボタン（または「機能」＋「2」「1」ボタン）を押します。

- 2 相手の電話番号が自動的にダイヤルされます。

外線通話中に別の電話番号を記録する〈メモダイヤル〉

外線と通話中に別の電話番号を記憶させ、あとでかけることができます。

●電話番号を記憶させるとき



Note

- 「メモダイヤル」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 記憶できる電話番号は電話機ごとに1つだけです。登録操作を行うと、以前の登録電話番号は消去されます。

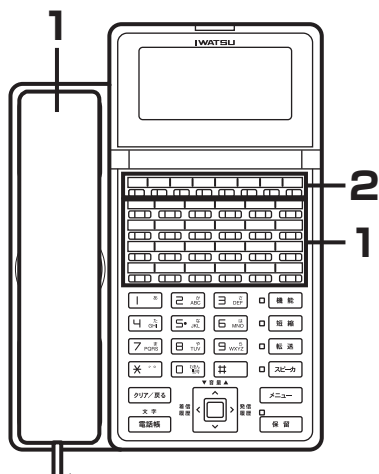
1 通話の状態で「メモダイヤル」ボタン（または「機能」+「2」「2」ボタン）を押します。

2 記憶させておきたい別の電話番号をダイヤルします。
※ 接続待ち時間（ポーズ時間／1～9秒）も一緒に登録できます。登録は「保留」ボタンを押し、続けて該当する「1」～「9」ボタン（ポーズ時間／1～9秒）を押します。

3 再び「メモダイヤル」ボタン（または「機能」ボタン）を押します。

4 ダイヤルした電話番号が記憶されます。

●記憶させた電話番号にかけるとき



Note

- 記憶できるダイヤル桁数は48桁以内です。
- 記憶できる電話番号は電話機ごとに1つだけです。登録操作を行うと、以前の登録電話番号は消去されます。
- ISDN回線でメモダイヤルを利用するときは、記憶させる相手の電話番号のあとに「#」ボタンを押して、登録してください。
- 「外線」、「メモダイヤル」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

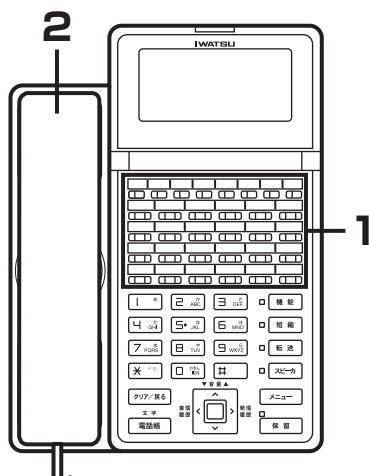
1 受話器を取り上げ（または「スピーカ」ボタンを押す）空いている「外線」ボタンを押します。

2 「メモダイヤル」ボタン（または「機能」+「2」「2」ボタン）を押します。

3 相手の電話番号が自動的にダイヤルされます。

受話器を上げる前に外線または内線を予約する〈プリセクション〉

受話器を取り上げる前に、外線または内線を予約できます。



1 フレキシブルボタンに登録してある以下のボタンの、いずれかを押します。

- 「内線番号」ボタン
- 「外線」ボタン
- 「内線」ボタン
- 「一斉」ボタン
- 「ゾーン番号」ボタン
- 「内線代表」ボタン
- 「外線」ボタン
- 「個別パーク」ボタン
- 「外線応答」ボタン
- 「内線グループ番号」ボタン
- 「グループパーク」ボタン
- 「ダイヤルイン」ボタン
- 「外線ダイヤルイン」ボタン

押したボタンが緑色で点滅し、外線、内線が予約されます。

2 10秒以内に受話器を取り上げます。

予約した外線、内線につながります。



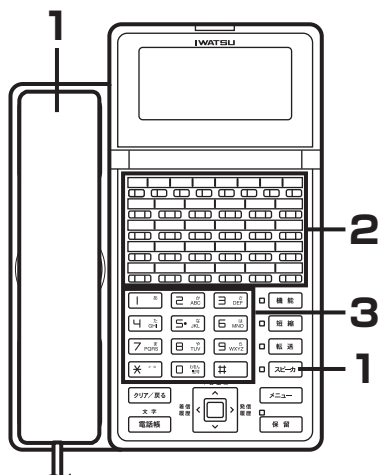
Note

- 各ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

電話機パスワード

外線の無断使用をパスワードで規制することができます。

● 外線の発信規制



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

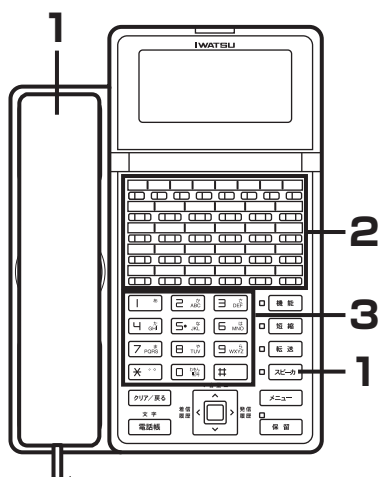
2 「パスワード」ボタン（または「機能」＋「4」「4」ボタン）を押します。

3 登録されているパスワード（最大6桁）を押します。
その電話機からは外線の発信ができなくなり、「パスワード」ボタンのランプが赤色で点灯します。



Note

- 電話機ごとのパスワード（最大6桁以内の番号）は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「パスワード」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



● 発信規制の解除方法

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「パスワード」ボタン（または「機能」＋「0」「4」「4」ボタン）を押します。

3 登録されているパスワード（最大6桁）を押します。
発信規制が解除され、「パスワード」ボタンが消灯します。その電話機からの外線発信が可能になります。



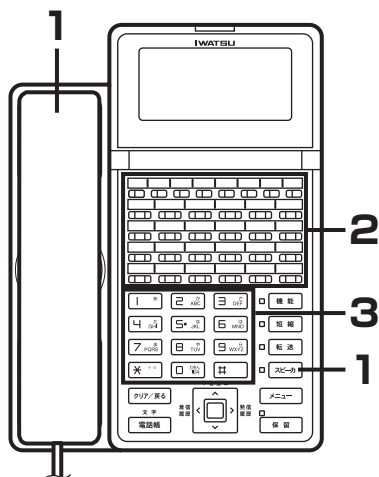
Note

- 電話機ごとのパスワード（最大6桁以内の番号）は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「パスワード」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

モーニングコール

登録した時刻に電話機を鳴らし、メッセージを流すことができます。

●時刻の設定方法



Note

- 「モーニングコール」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- モーニングコールの後、設定した時刻は消去されます。
- データ設定により、モーニングコール5分前着信を行うか、指定時刻のみの着信を行うかを選択可能です。

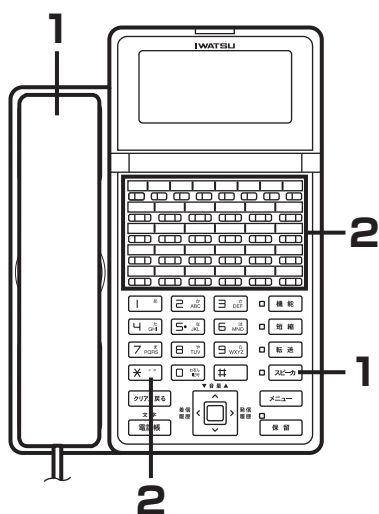
1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「モーニングコール」ボタン（または「機能」+「4」「2」ボタン）を押します。

3 24時間表記で時刻をダイヤルします。
〈例〉午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」ボタンを押します。
※ディスプレイ上で呼び出し時刻を確認できます。
※設定が完了すると確認音が聞こえます。

4 設定に合わせて着信音が鳴ります。
設定時刻の5分前に「トゥルトルトルトル」という内線着信音が鳴ります。
応答しない場合は、設定時刻に再び内線着信音が鳴ります。
※応答がない場合に着信音を鳴らしておく時間は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

●設定時刻の解除方法



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「モーニングコール」、「*」ボタンの順（または「機能」+「0」「4」「2」ボタン）に押します。
※解除が完了すると確認音が聞こえます。

Note

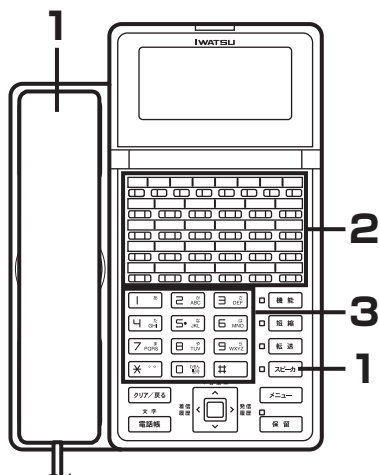
- グループモーニングコール（6-31ページ）と併用した場合は、あとから操作した機能が有効になります。

その他システム機能関連

タイムコール

登録した時刻に電話機のアラーム音を鳴らすことができます。アラーム音継続時間はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

●時刻の設定方法



Note

- 「タイムコール」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- タイムコールの後、設定した時刻は消去されます。

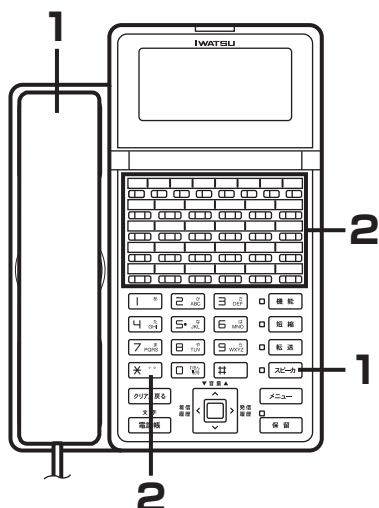
1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「タイムコール」ボタン（または「機能」＋「4」「1」ボタン）を押します。

3 アラーム音を鳴らす時刻を24時間表記で押します。
〈例〉午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」ボタンを押します。
設定が登録されると確認音が聞こえ、「タイムコール」ボタンが赤色で点灯します。

4 設定時刻に「ププププ」というアラーム音が鳴ります。

●登録時刻の解除方法



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「タイムコール」、「*」ボタンの順（または「機能」＋「0」「4」「1」ボタン）に押します。
※ 解除が完了すると確認音が聞こえ、「タイムコール」ボタンが消灯します。

応答できない相手に連絡がほしい事を伝える〈メッセージウェイト〉

不在または通話中で応答しない内線相手に、折り返し連絡してほしい旨のメッセージを伝えることができます。

●メッセージウェイトの設定方法

1 呼び出したい相手が通話中または応答しないとき、そのままの状態ですべての「メッセージウェイト」、「#」ボタンの順に押します。

2 受話器を置きます。
相手の電話機の「メッセージウェイト」ボタンが点灯します。
※ 設定が完了すると確認音が聞こえます。



Note

- 「メッセージウェイト」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●メッセージウェイトの解除方法

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「メッセージウェイト」、「*」ボタンの順に押します。

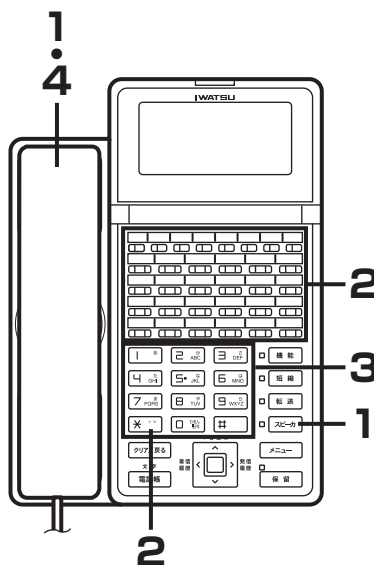
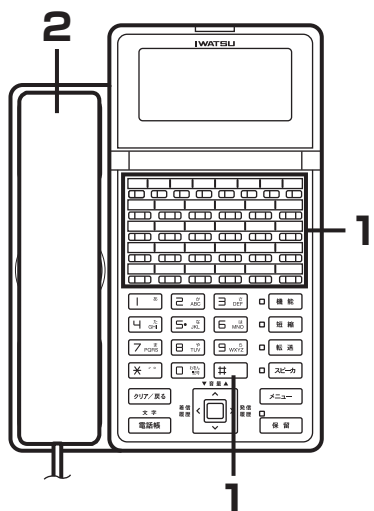
3 メッセージウェイトに登録した先の内線番号を押します。
※ 解除が完了すると確認音が聞こえます。

4 受話器を置きます。
登録が取り消され、相手の電話機の「メッセージウェイト」ボタンが消灯します。



Note

- 「メッセージウェイト」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

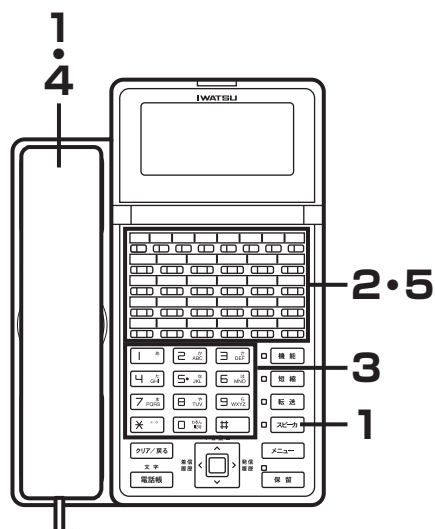


#

電話に出られないときに不在理由を表示する〈不在メッセージ〉

内線をかけてきた相手に対し、不在中の連絡事項を相手の電話機のディスプレイにメッセージとして表示することができます。

●不在メッセージの登録方法



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「不在メッセージ」ボタンを押します。

3 残したいメッセージを登録します。

※登録できる不在メッセージは1つだけです。

●戻り時間

→「1」ボタンを押し、続けて戻り時間を24時間表記で押します。

〈例〉午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」ボタンを押します。

●戻り日

→「2」ボタンを押し、続けて戻り日を2桁で押します。

〈例〉5日に戻る場合は、「0」「5」ボタンを押します。

●会議終了時間

→「3」ボタンを押し、続けて会議終了時間を24時間表記で押します。

●行き先電話番号

→「4」ボタンを押し、続けて行き先電話番号を11桁以内で押します。

11桁以内の場合は、最後に「#」ボタンを押してください。

※設定が完了すると確認音が聞こえます。

4 受話器を置きます。

5 「不在メッセージ」ボタンの点滅を確認します。

6 内線で呼び出されると、相手の電話機のディスプレイに上記手順（3）で登録したメッセージ内容が表示されます。

●不在メッセージの消去方法

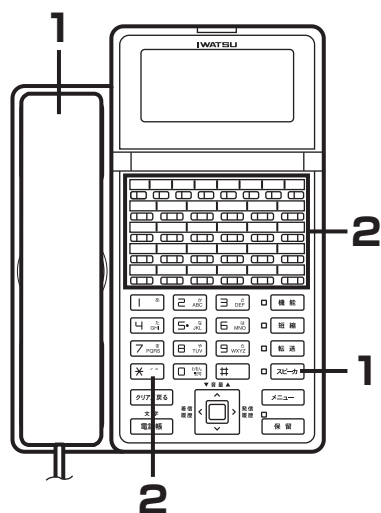
1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「不在メッセージ」、「*」ボタンの順に押します。
※消去が完了すると確認音が聞こえます。



Note

- 「不在メッセージ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



相手の通話が終了したことを知らせる〈コールバック〉

通話中の内線通話が終了したことをお知らせします。

● 設定方法

- 1 内線の相手が通話中または着信拒否をしている場合に、その状態で「内線呼び返し」ボタン（または「機能」＋「4」「3」ボタン）を押します。

※ 設定が完了すると確認音が聞こえます。

- 2 受話器を置きます。



Note

- ・「内線呼び返し」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 呼び返しがきたら

- 1 内線コールバック音が鳴ります。

- 2 受話器を取り上げます。

「ブルルルル」という呼出音に切り替わります。

※ データ設定により、あらかじめ登録された時間内に応答しないときは取り消されます。

- 3 相手とつながったら、お話しします。

● 解除方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

- 2 「内線呼び返し」、「＊」ボタンの順（または「機能」＋「0」「4」「3」ボタン）に押します。

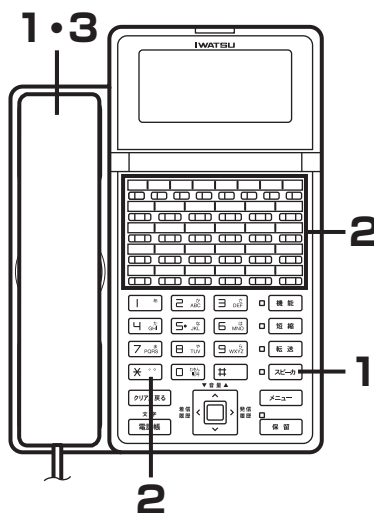
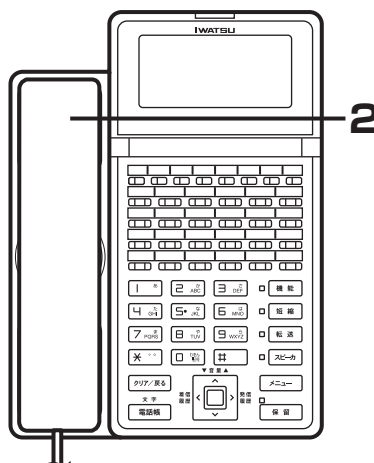
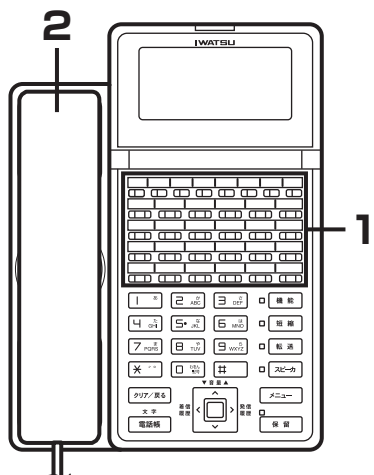
※ 解除が完了すると確認音が聞こえます。

- 3 受話器を置きます。



Note

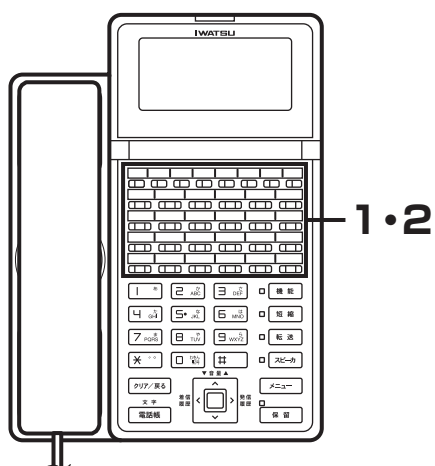
- ・「内線呼び返し」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



秘話／秘話解除

通話状態の外線に、他の電話機からの割り込みを許可できます。秘話解除状態の外線は、通話終了後に秘話設定状態に戻ります。

● 秘話解除／秘話再設定



1 外線と通話の状態で「秘話解除」ボタン（または「機能」＋「1」「4」ボタン）を押します。

秘話解除の状態となります。

2 再び「秘話解除」ボタン（または「機能」＋「1」「4」ボタン）を押します。

秘話設定の状態となります。

※「秘話解除」ボタンを押すごとに、秘話解除／秘話設定が切り替わります。



Note

- 「秘話解除」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

その他システム機能関連

ハウラ音送出

受話器が外れたままのとき、「ピー」という音を鳴らして受話器の戻し忘れを防止します。



Note

- 警告音が30秒鳴っても受話器が置かれない場合は、警告音が止まりますので受話器を戻してお使いください。

エコモード

電話機を使用しない時間帯に端末や無線基地局（IX-CS（-S））への電源供給を停止（エコモード）することで、消費電力量を削減することができます。

●エコモード開始

(1)「エコモード（ECO）」ボタンが割り付けられている場合

受話器が置かれている状態で「エコモード（ECO）」ボタンを押し、パスワードをダイヤルします。

(2)「エコモード（ECO）」ボタンが無い場合

受話器が置かれている状態で「機能」ボタンを押し、81をダイヤルします。

続けてパスワードをダイヤルします。

●エコモード終了

(1)「エコモード（ECO）」ボタンが割り付けられている場合

受話器が置かれている状態で、ランプ点滅中の「エコモード（ECO）」ボタンを押します。

(2)「エコモード（ECO）」ボタンが無い場合

受話器が置かれている状態で「機能」ボタンを押し、081をダイヤルします。



Note

- 「エコモード（ECO）」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- エコモード（ECO）のパスワードについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

電話機毎エコモード

電話機操作によって、その電話機のディスプレイのバックライトおよび各ボタンのランプを、消灯させることができます。

●電話機毎エコモード開始

受話器が置かれている状態で、「電話機毎エコ」ボタンを押します。

※ 電話機毎エコモード中は、ディスプレイに「電話機毎エコ中」と表示されます。

※ お話中やメニュー操作中など電話機を使用しているときは、電話機毎エコモードは一時的に解除されます。

●電話機毎エコモード終了

電話機毎エコモード中に、受話器が置かれている状態で、「電話機毎エコ」ボタンを押します。



Note

- 「電話機毎エコ」ボタンは、データ設定によりあらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

6.DSS電話機

基本操作編

DSSユニットの概要

- 1台の多機能電話機に、最大4台のDSSユニットを取り付けることができます。
- DSSユニットには50個の「DSS」ボタン（赤色、緑色ランプ付き）と20個の「機能」ボタン（赤色ランプ付き）があります。
- 基本的な操作に関しては、「多機能電話機 基本操作編」（4-1ページ）をご参照ください。
- 50個の「DSS」ボタンは「画面1」ボタン（1～50）、「画面2」ボタン（51～100）を押すことで合計100個のボタンとして使用することができます。
- IX-24KTDXEにDSSユニットを取り付けた場合の基本操作方法は、本章に記載の操作方法と同様です。
- IX-DSS-Nには、ディスプレイはありません。



Note

- ・システムに付けられる簡易中継台、DSSユニット、BLFは最大32台までです。
- ・IX-24KTDXEにDSSユニットを取り付ける場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

DSSユニットの「機能」ボタンに登録されているもの

20個の「機能」ボタンには以下のボタンが割り付けられています。

	「画面1」ボタン	「画面2」ボタン
	「時刻調整」ボタン	「夜間切り替え」ボタン
	「強制解放」ボタン	「分散切り替え」ボタン
	「プログラミング」ボタン	「サービスクラス切り替え」ボタン
	「メッセージウェイトコントロール」ボタン	「外線アクセス制御」ボタン
	「着信音止」ボタン	「スプリット」ボタン
	グループパーク58	「シリアルコール」ボタン
	グループパーク59	「リコール応答」ボタン
	グループパーク60	「強制呼び出し」ボタン
	「接続」ボタン	「切断」ボタン

DSSユニットの「機能」ボタンに登録できるもの

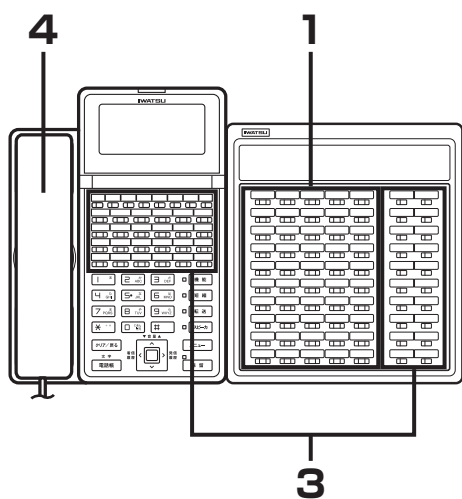
データ設定により、DSSユニットの「機能」ボタンには以下のボタンを割り付けることができます。

「接続」ボタン	「画面1」ボタン	「音声案内録音」ボタン	「メッセージウェイトコントロール」ボタン	「サービスクラス切り替え」ボタン
「応答」ボタン	「スプリット」ボタン	「画面2」ボタン	「強制解放」ボタン	「プログラミング」ボタン
「ディステーション」ボタン	「呼び監視」ボタン	「シリアルコール」ボタン	「強制呼び出し」ボタン	—
「着信音止」ボタン	「切断」ボタン	「応答メッセージ」ボタン	「モーニングコール」ボタン	—
「外線アクセス制御」ボタン	「夜間切り替え」ボタン	「リコール応答」ボタン	「ソース」ボタン	—
「時刻調整」ボタン	「パスワード」ボタン	「分散切り替え」ボタン	「グループパーク」ボタン	—

外からの電話に応答／転送する〈外線着信／転送〉

外からの電話を受けるとき〈外線着信〉

多機能電話機と同様の操作です。4-26ページをご参照ください。



 Note

- あらかじめ内線グループ分けの登録で、保留中の外線が外線応答規制されている電話機には転送できません。内線グループ分けの登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- あらかじめデータ設定されている着信応答監視時間を経過しても、転送先が応答しない場合は、「ププププ」という呼び返し音が鳴ります。
- 「内線番号」、「切断」、「接続」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

通話を特定の内線電話機に回すとき
〈保留した外線の自動転送／外線キャンプオン〉

1 通話の状態転送先の「内線番号」ボタンを押します。

2 内線とつながったら、「〇〇さん××番に電話です」のように連絡します。

※転送できない場合は、「切断」ボタンを押せば保留した外線に応答できます。

※強制的に転送する場合（外線キャンプオン）は、手順（2）の操作は省略してすぐに「接続」ボタンを押します。

3 「接続」ボタンを押します。

4 受話器を置きます。
転送された人はそのままお話しできます。

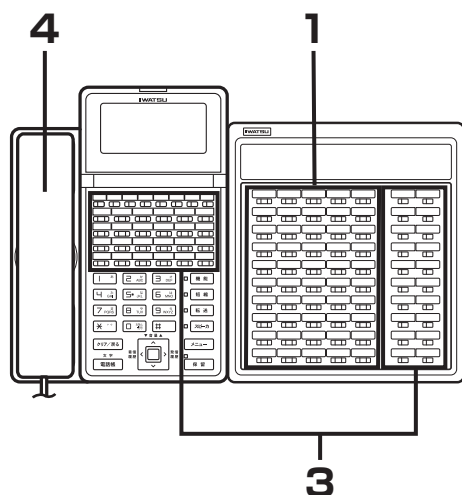
さらに便利な使い方

- 通話中でも他の着信に応答することができます。〈自動自己保留〉 6-8ページ
- 外線を他の簡易中継台に転送することができます。〈台間転送〉 6-10ページ
- 着信が多くて処理できない場合、他の電話機に着信を転送することができます。〈オーバーフロー転送〉 ... 6-11ページ
- 着信音を停止することができます。〈着信音停止〉 6-12ページ
- 転送先が転送した外線との通話を終了したあとに、再び外線と通話することができます。
〈シリアルコール〉 6-15ページ
- 昼間と夜間で着信音を鳴らす電話機を切り替えることができます。〈夜間切り替え〉〈分散切り替え〉 6-16ページ
- 休日などに流すメッセージを切り替えることができます。〈外線自動応答レベル切り替え〉 6-20ページ
- 音声案内の録音・消去を行うことができます。〈音声案内登録〉 6-22ページ

内部からの呼び出しに応答／転送する〈内線着信／転送〉

内線からの呼び出しを受けるとき〈内線応答〉

多機能電話機と同様の操作です。4-30ページをご参照ください。



通話を特定の内線電話機に回すとき

1 通話の状態転送先の「内線番号」ボタンを押します。

2 内線とつながったら、「〇〇さんから電話です」のように連絡します。

※ 転送できない場合は、「切断」ボタンを押せば保留した内線に応答できます。

※ 強制的に転送する場合（内線キャンプオン）は、手順（2）の操作は省略してすぐに「接続」ボタンを押します。

3 「接続」ボタンを押します。

4 受話器を置きます。
転送された人はそのままお話しできます。

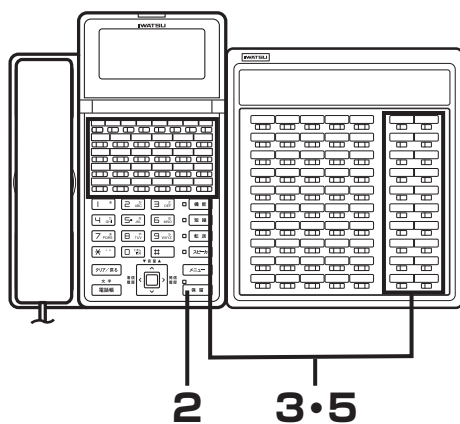
Note

- あらかじめ内線グループ分けの登録で、保留中の内線が外線応答規制されている場合でも転送できます。
- あらかじめ登録されている着信応答監視時間を経過しても、転送先が応答しない場合は、「ププププ」という呼び返し音が鳴ります。
- 「内線番号」、「切断」、「接続」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

さらに便利な使い方

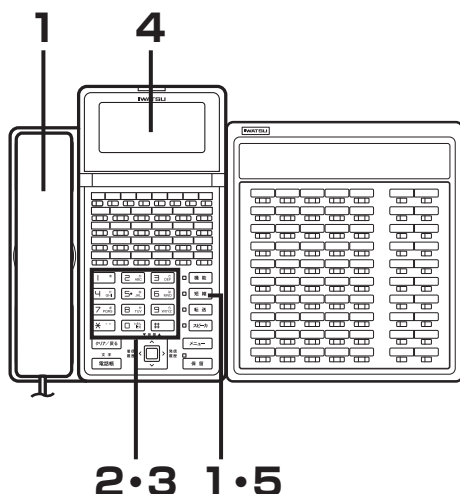
- 通話中でも他の着信に応答することができます。〈自動自己保留〉 6-8ページ
- 着信音を停止することができます。〈着信音停止〉 6-12ページ
- ランプ表示で他の電話機の状態を知ることができます。〈DSSのランプ表示〉 6-13ページ

外線に発信する〈外線発信〉



Note

- 「外線」、「外線番号」、「外線」、「接続」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



外線または専用線からの依頼で外に電話するとき〈スルーダイヤリング〉

- 1 内線の着信に応答します。
- 2 「保留」ボタンを押します。
- 3 「外線」ボタン（または、「外線番号」ボタンまたは「外線」ボタン）を押します。
- 4 「ツー」という発信音を確認します。
- 5 該当するボタンと必要な番号をダイヤルします。
 - 内線からの場合
→「接続」ボタンを押します。
 - 専用線からの依頼で外に電話する場合
→依頼された電話番号をダイヤルし「接続」ボタンを押します。
- 6 内線の依頼人に外線が自動的に回ります。

短縮ダイヤルでかけるとき〈スクロール発信〉

- 1 受話器を取り上げ、「短縮」ボタンを押します。
※「短縮」ボタンを押す前に発信外線を選択したときは、短縮番号に登録した発信グループ番号は無視されます。
- 2 「*」ボタンを押します。
- 3 短縮番号をダイヤルします。
- 4 ディスプレイに電話番号と相手先名が表示されます。
※登録内容の表示中、「*」ボタンを押すと次の短縮番号の登録内容が、「#」ボタンを押すと1つ前の短縮番号の登録内容が表示されます。
- 5 「短縮」ボタンを押します。
- 6 自動的に使用できる外線を選択して、登録されている電話番号がダイヤルされます。

(次ページへ続く)

外線に発信する〈外線発信〉

(前ページの続き)

さらに便利な使い方

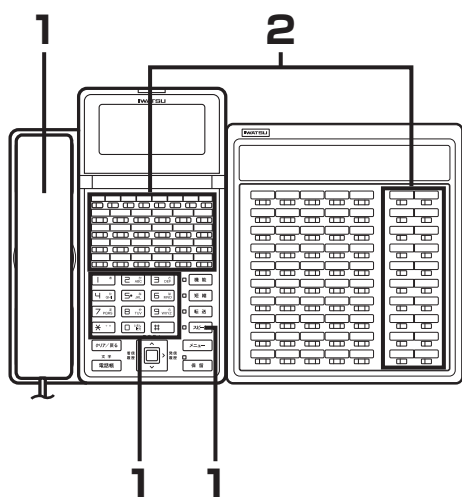
- 電話機ごと、または内線グループごとの市外発信規制を切り替えることができます。
〈内線サービスクラス切り替え〉 6-17ページ
- 電話機の外線発信を禁止することができます。〈外線アクセス使用禁止制御〉 6-18ページ
- パスワードのある電話機の外線、専用線の使用を規制することができます。〈電話機パスワード〉 6-19ページ
- 短縮ダイヤルを登録することができます。〈短縮ダイヤル登録〉 6-23ページ
- 外線を使用できる状態・できない状態に切り替えることができます。〈トランク強制解放〉 6-28ページ

内部の人を呼び出す〈内線呼び出し〉

内部の人にダイヤルするとき〈内線発信〉

多機能電話機と同様の操作です。4-27ページをご参照ください。

応答しない相手（着信拒否、話中呼び出し禁止、オフフックかスピーカオン中）を強制的に呼び出すとき〈内線強制呼び出し〉



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押し、呼び出し先の内線番号をダイヤルします。

※ 呼び出し先の電話機が登録により保護（プロテクト）されている場合は、強制呼び出しはできません。

2 「強制呼び出し」ボタンを押します。

※ すでに他の内線電話機から強制呼び出しされている場合は、この操作は無効となります。



Note

- ドアホンを呼び出すことはできません。
- 「強制呼び出し」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

さらに便利な使い方

- 電話機のスピーカおよび外部スピーカを一斉に呼び出すことができます。
〈一斉呼び出し〉〈グループ呼び出し〉〈ページング呼び出し〉 6-9ページ
- 相手が通話中または応答がない場合、続けて別の内線を呼び出すことができます。
〈クリアコール〉〈シフトコール〉 6-13ページ
- 相手が不在中または通話中の場合、折り返し連絡してもらえるようにメッセージを残せます。
〈メッセージウェイトコントロール〉 6-14ページ
- 他の電話機に登録されている不在転送や着信拒否を解除することができます。〈コールフォワード強制解放〉 ... 6-27ページ
- 他の電話機にモーニングコールを設定することができます。〈モーニングコール〉 6-30ページ
- 内線グループごとの通話料金予算額の設定と使用率表示を行うことができます。〈通話料金使用率表示〉 ... 6-35ページ
- 電話機ごとの通話料金集計額を表示することができます。〈通話料金集計〉 6-36ページ
- ホテルの在室状態表示として利用できます。〈ホテル在室表示〉 6-34ページ

外線／内線に共通な機能

自動自己保留

通話中に着信があった場合、通話を保留にして着信に応答することができます。

- 通話中に他の「外線」、「内線」、「着信応答」ボタンを押すと、通話中の外線または内線は、保留状態になります。



Note

- 「外線」、「内線」、「着信応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

コールリリース

通話中の外線または内線を切ることができます。

- 1 外線または内線（外線会議通話、複数外線会議通話または内線会議通話）で通話しています。

- 2 「切断」ボタンを押します。

通話が切れます。または会議通話から抜けます。

※ 転送保留した外線、内線がある場合は、その外線または内線通話に戻ります。



Note

- 「切断」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

アテンダントリコール

外線着信に一定時間応答しないときや、保留警報に一定時間応答しないときに、DSSユニット付き多機能電話機が呼び出されます。

- 1 「ププププ」という呼び返し音が鳴り、「リコール応答」ボタンが赤色で点滅したら、「リコール応答」ボタンを押します。

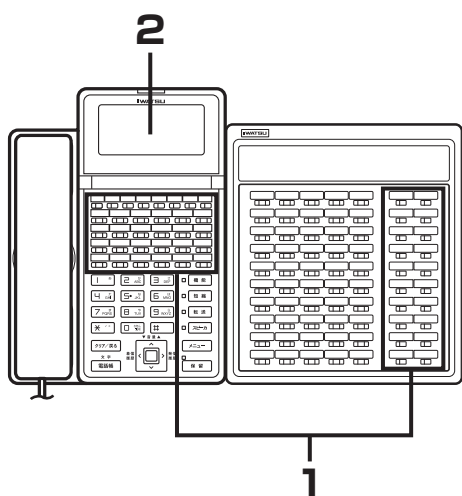
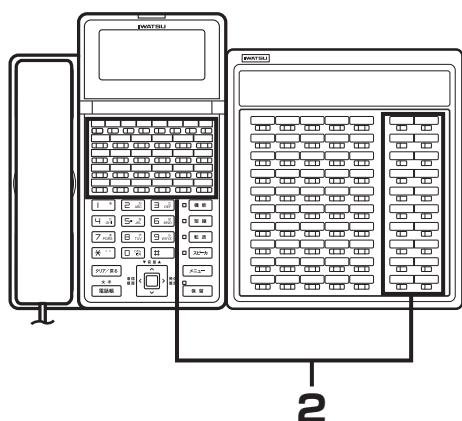
簡易中継台をリコールしている外線または内線につながります。

- 2 外線番号または内線番号がディスプレイに表示され、相手とつながったら、お話しします。



Note

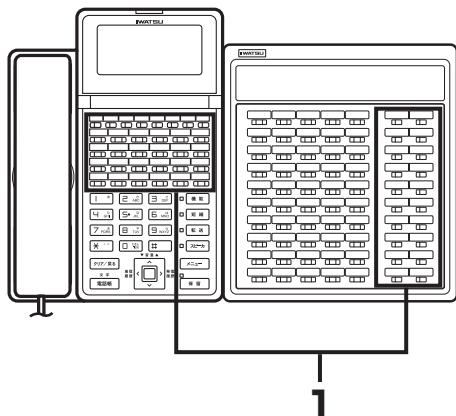
- アテンダントリコールを行うためには外線ごとに、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「リコール応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- アテンダントリコールを行うための時間は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



一斉呼び出し／グループ呼び出し／ページング呼び出し ①

多機能電話機のスピーカおよび外部スピーカに一斉に呼びかけることができます。

呼び出し対象となる多機能電話機と外部スピーカに、データ設定により選択したページング予告音を送出することができます。



●一斉に呼び出す場合〈一斉呼び出し〉

1 外線と通話の状態で「一斉」ボタン（または「ページング」ボタン）を押します。

2 「〇〇さん応答してください」のように呼びかけます。



Note

- ・「一斉」、「ページング」、「内線グループ番号」、「ゾーン番号」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- ・一斉呼び出しの対象となる電話機と外部スピーカは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

●グループ分けした電話機を対象に呼び出す場合〈グループ呼び出し〉

1 外線と通話の状態で「内線グループ番号」ボタンを押します。

2 「〇〇さん応答してください」のように呼びかけます。



Note

- ・グループ呼び出しの対象となる電話機は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。最大30グループで、1グループ当たり最大64台の電話機を登録できます。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ・主装置がMタイプの場合、内線グループ番号は「最大30」、Lタイプの場合は「最大125」となります。
主装置のタイプについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

●外部スピーカを対象に呼び出す場合

1 外線と通話の状態で「ゾーン番号」ボタンを押します。

2 「〇〇さん応答してください」のように呼びかけます。



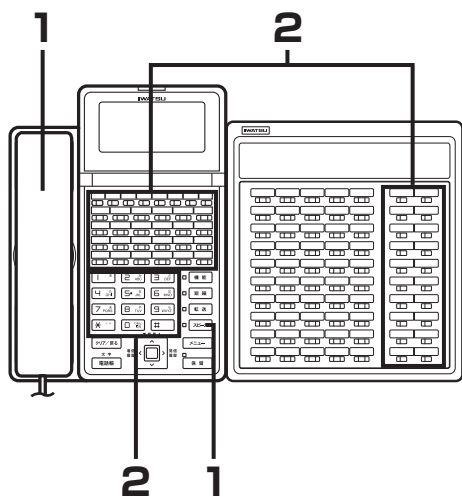
Note

- ・外線との通話中に一斉呼び出し、グループ呼び出し、ページング呼び出しを行うと通話を自動的に中継台パーク保留にすることができます。
- ・中継台パーク保留にするためには、あらかじめデータ設定が必要です。
- ・ページング呼び出しの対象となる外部スピーカは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。最大30グループで、1グループ当たり最大64のスピーカを登録できます。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ・主装置がMタイプの場合、内線グループ番号は「最大30」、Lタイプの場合は「最大125」となります。
主装置のタイプについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線／内線に共通な機能

一斉呼び出し／グループ呼び出し／ページング呼び出し ②

- 一斉呼び出し、グループ呼び出し、ゾーン呼び出しで中継台パーク保留中の外線に再接続する方法



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「コールパークピックアップ」ボタンを押し、続けて
ピックアップオービット番号をダイヤルします。
内線に接続し、ピックアップオービット番号をダイヤルします。

3 相手とつながったら、再び通話を始めてください。



Note

- ・中継台パーク保留は、グループパーク保留の一種です。
- ・「コールパークピックアップ」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

台間転送

外線または内線を、他の簡易中継台に転送できます。

- 台間転送保留方法

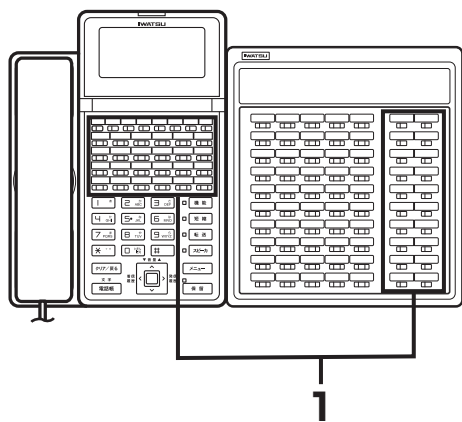
1 内線または外線と通話の状態で、「グループパーク番号」ボタンを押します。

※他簡易中継台に「グループパーク番号」ボタンが割り付けてある場合は、そのボタンが点灯します。

- 台間転送保留の応答方法

1 点灯している「グループパーク番号」ボタンを押します。

2 お話します。



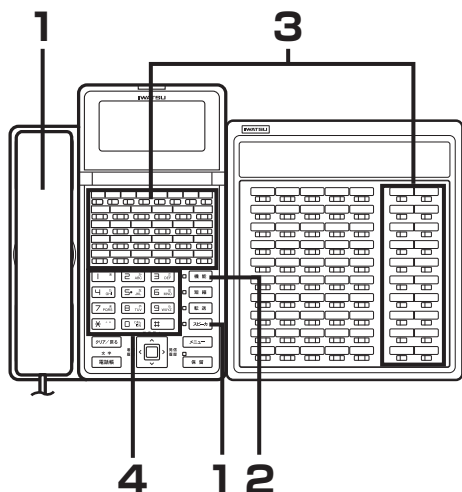
Note

- ・「グループパーク番号」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

オーバーフロー転送

着信の回線数が多くて処理できなくなったときは、他の内線電話機、または簡易中継台に着信を転送することができます。

● 転送先の登録方法



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

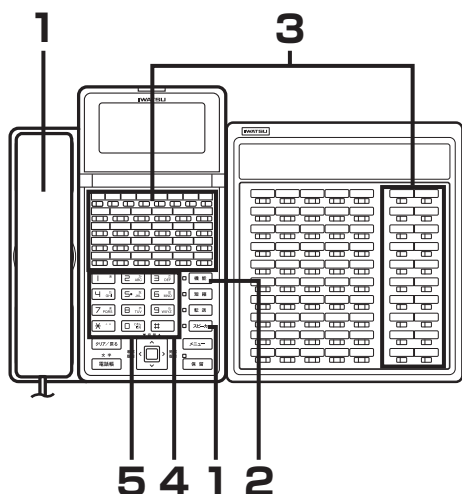
2 「機能」ボタンを押します。

3 「強制呼び出し」ボタンを押します。

4 転送先の内線番号を押します。

Note

- ・転送保留リコール、自己保留した外線のリコール、強制転送中のリコール、コールバック着信、プライベートラインの着信、一斉呼び出し、グループ呼び出し、タイムコール着信はオーバーフロー転送されません。
- ・オーバーフロー転送するための回線数、および転送先の内線番号はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。DSSユニット付き多機能電話機で登録することもできます。
- ・「強制呼び出し」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



● オーバーフロー転送する回線数の登録方法

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「機能」ボタンを押します。

3 「強制呼び出し」ボタンを押します。

4 「#」ボタンを押します。

5 回線数（2桁）を押します。
※ 入力する回線数が1桁の場合は、十の位として0を押します。
〈例〉5の場合は05となります。

外線／内線に共通な機能

Note

- 中継台インターセプトによるリコール状態（原因、呼び出し先番号、呼び出し元番号）がディスプレイに表示されます。
- あらかじめ中継台インターセプト不可に登録されている外線は中継台リコールされません。
- システムが夜間モードになっている場合は、中継台インターセプトは行われません。
- 中継台インターセプトでリコール着信する簡易中継台は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「リコール応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

中継台インターセプト

外線、専用線を簡易中継台に回すことができます。

- 外線着信に未応答の場合は、簡易中継台が呼び出しされ「リコール応答」ボタンが点滅します（外線の呼び出し先が未応答・話中・着信拒否中・未登録の場合、および外線の呼び出し先入力がない場合、外線が発信する外線が使用中・発信規制されている場合も同様です）。

着信音停止

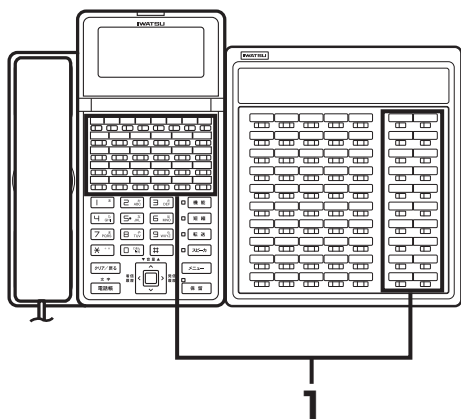
着信音を停止させることができます。

- 着信音を停止する方法

- 1 「着信音止め」ボタンを押します。

- 着信音の停止を解除する方法

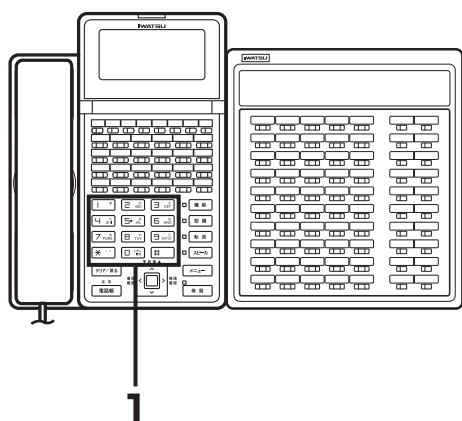
- 1 赤色に点灯している「着信音止め」ボタンを押します。



Note

- 他の電話機による音声呼び出しは行われません。
- 各ランプ表示、ディスプレイ表示は行われます。
- 停止できる着信音は外線・内線着信、外線・内線キャンプオン、外線・内線コールバック、外線・内線リコール、ドアホン着信、中継台リコール着信警報音です。
- 「着信音止め」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

内線に関する機能



Note

- 「クリアコール」、「シフトコール」は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

Note

- 「内線番号」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

クリアコール／シフトコール

相手が通話中か応答がない場合、続けて別の内線を呼び出すことができます。

1 そのままの状態ダイヤルし直します。

- クリアコールする場合
→別の内線番号（1～4桁）をダイヤルします。
- シフトコールする場合
→最初にダイヤルした内線番号の下一桁のみダイヤルをし、呼び出し先を変更します（この操作で呼び出し先が変更されます）。

2 お話します。

※クリアコールとシフトコールは同時に使用することはできません。

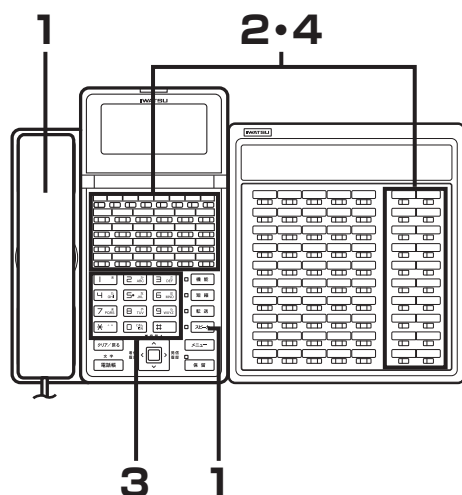
DSSのランプ表示

ランプ表示で他の電話機の状態を知ることができます。

- DSSユニットに割り付けた「内線番号」ボタンのランプにより、内線電話機の使用状態を知ることができます。
- キーランプは以下のように表示されます。

状 態	ランプ点灯優先順位	ラップパターン	ランプの色
空	5	点灯しない	DSS：赤 BLF：赤
通話中、外線着信、内線着信、キャンブオン（強制転送）	3	連続点灯	DSS：赤 BLF：赤
ドント・ディスターブ（着信拒否）、不在メッセージ、不在転送	2	点滅 	DSS：赤 BLF：赤
電話機パスワード、内線強制解放	1	点滅、滅灯の交互繰り返し 	DSS：赤 BLF：赤
メッセージウェイト、録音登録	4		DSS：緑 BLF：赤

内線に関する機能



Note

- 1台の電話機で4通りのメッセージウェイトを受けられます
- メッセージウェイトの登録、受け取りを行う電話機は、あらかじめデータ設定が必要です。
- 「メッセージウェイトコントロール」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

メッセージウェイトコントロール

不在または通話中で応答しない内線相手に、折り返し連絡してほしい旨のメッセージを伝えることができます。

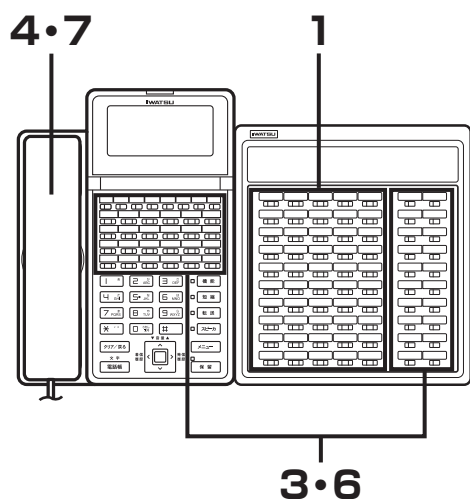
●メッセージウェイトの設定方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「メッセージウェイトコントロール」ボタンを押します。
- 3 登録先の内線番号を押します。
- 4 「接続」ボタンを押します。
相手の電話番号の「メッセージウェイト」ボタンが点滅します。

●メッセージウェイトの解除方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「メッセージウェイトコントロール」ボタンを押します。
- 3 登録先の内線番号を押します。
- 4 「切断」ボタンを押します。

外線に関する機能



Note

- 「内線番号」、「シリアルコール」、「リコール応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

シリアルコール

外線を転送したあとで、再びその外線と通話したい場合に便利な機能です。転送先との通話が終了した時点で、再び外線が転送元の電話機とつながります。

●外線、専用線の発信規制方法

- 1 外線と通話の状態で「内線番号」ボタンを押します。
 - 2 内線がつながったら「〇〇さん××番に電話です」のように連絡します。
※外線キャンブオンの場合は手順（2）の操作は省略します。
 - 3 「シリアルコール」ボタンを押します。
 - 4 受話器を置きます。
- #### ●シリアルコールの応答方法
- 5 転送先との通話が終わると「リコール応答」ボタンが赤色で点滅します。
 - 6 赤色で点滅している「リコール応答」ボタンを押します。
 - 7 受話器を取り上げます。
DSSユニットのディスプレイにシリアルコールと表示されます。
 - 8 転送した外線と再びつながったら、お話しします。

DSSユニットからシステムの機能を操作する

夜間切り替え／分散切り替え

DSSユニットで、昼間と夜間で着信音を鳴らす電話機および外線応答規制を、手動で切り替えることができます。

●夜間切り替え方法

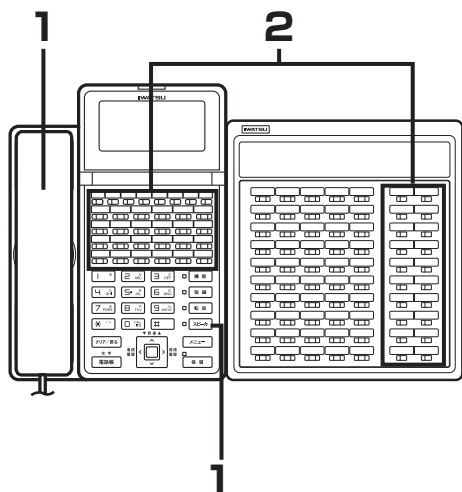
1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「夜間切り替え」ボタンを押します。
※切り替えが完了すると内線発信音が聞こえ、「夜間切り替え」ボタンが赤色で点灯します。



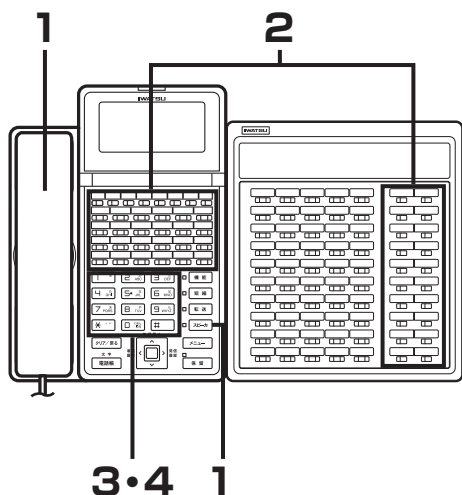
Note

- ・「夜間切り替え」ボタンは、データ設定によりあらかじめ登録が必要です。
- ・夜間切り替えの昼間／夜間モードは、あらかじめ登録したスケジュールによって、自動的に切り替えることができます。スケジュールの登録は、「メニュー」操作で行うことができます。
- ・スケジュールによって夜間モードになった場合、「夜間切り替え」ボタンが赤色で点滅します。



Note

- ・昼間モード、夜間モードの切り替え時間をデータ設定により、あらかじめ登録している場合は、システムが自動的に設定時刻で切り替えを行います。



Note

- ・昼間モード、夜間モードで着信音を鳴らす電話機は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

●分散切り替え方法

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「分散切り替え」ボタンを押します。

3 外線グループ番号（3桁）を押します。

4 モード番号（「1」または「2」ボタン）を押します。
※モード番号が「1」のときは昼間モード、「2」のときは夜間モードとなります。
※切り替えが完了すると確認音が聞こえます。



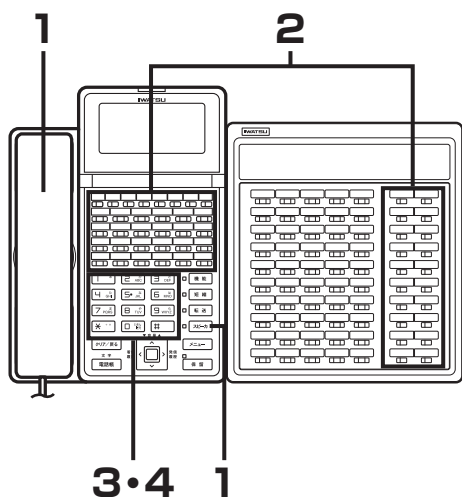
Note

- ・「分散切り替え」ボタンは、データ設定によりあらかじめ登録が必要です。
- ・手順（3）は、以下の方法でも登録できます。
 - 「外線応答」ボタン
 - 「外線」ボタン（「外線」が所属する「外線グループ」のモードが変わります）
 - 「ダイヤルイングループ応答」ボタン
 - 「ダイヤルイン」ボタン（「ダイヤルイン」が所属する「ダイヤルイングループ」のモードが切り替わります）
- ・分散切り替えの昼間／夜間モードは、外線グループまたはダイヤルイングループごとにあらかじめ登録したスケジュールによって、自動的に切り替えることができます。スケジュールの登録は、「メニュー」操作で行うことができます。

内線サービスクラス切り替え

電話機ごと、または内線グループごとの市外発信規制範囲を切り替えることができます。

サービスクラス	規制内容
0	規制はありません
1～4	指定外線に、あらかじめ設定された48桁以内の規制ダイヤルコードと一致する番号がダイヤルされた場合は、市外発信できます
5	システム短縮ダイヤルのみ発信できます
6	外線発信は全面的に禁止されます。ただし、外線着信には応答できます
7	外線発信、外線着信ともに全面禁止です。ただし、鳴音指定されている外線の着信および外線自動転送の着信には応答できます



Note

- 市外発信クラスは、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 内線電話機ごと、または内線グループごとに切り替えるかは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「サービスクラス切り替え」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

● 設定されている2つのサービスクラスの切り替え方法

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「サービスクラス切り替え」ボタンを押します。
内線グループごとの切り替えは「サービスクラス切り替え」ボタンを押し、続けて「＊」ボタンを押します。

3 切り替え対象の内線番号を押します。
内線グループごとの切り替えは、切り替え対象の内線グループ番号をダイヤルします。

4 モード番号（「1」または「2」ボタン）を押します。
※モード番号が「1」のときは昼間モード、「2」のときは夜間モードの市外発信クラスとなります。
※切り替えが完了すると確認音が聞こえます。

DSSユニットからシステムの機能を操作する

外線アクセス使用禁止制御

電話機の外線発信を禁止することができます。

●外線グループ単位での使用禁止方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「外線アクセス制御」ボタンを押します。
- 3 「*」ボタンを押します。
- 4 外線グループ番号（3桁）を押します。
- 5 「切断」ボタンを押します。

 Note

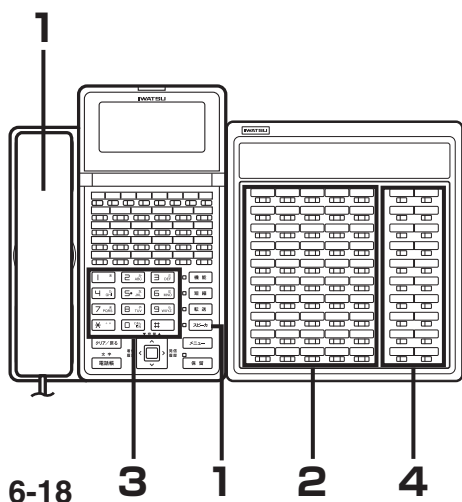
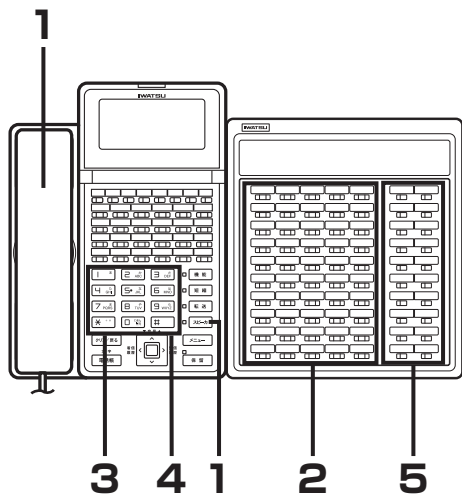
- 「外線アクセス制御」ボタン、「切断」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

●外線グループ単位での使用禁止の解除方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「外線アクセス制御」ボタンを押します。
- 3 「*」ボタンを押します。
- 4 外線グループ番号（3桁）を押します。
- 5 「接続」ボタンを押します。

●外線単位での使用禁止方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「外線アクセス制御」ボタンを押します。
- 3 外線番号を押します。
- 4 「切断」ボタンを押します。



● 外線単位での使用禁止の解除方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「外線アクセス制御」ボタンを押します。
- 3 外線番号を押します。
- 4 「接続」ボタンを押します。

電話機パスワード

電話機の外線発信を禁止することができます。

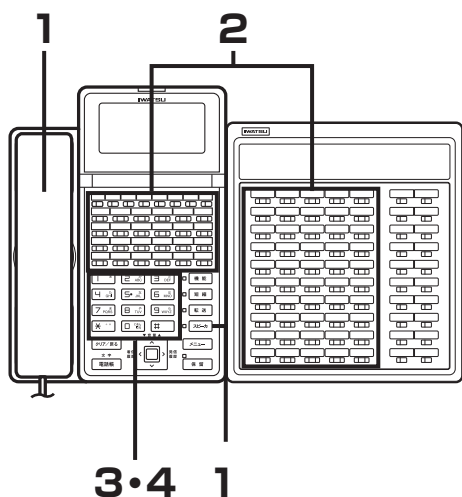
● 電話機単位での使用禁止方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「電話機パスワード」ボタン（または「機能」ボタン + 「4」「4」ボタン）を押します。
※ 発信規制を解除するときは、「電話機パスワード」ボタン（または「機能」ボタン + 「0」「4」「4」ボタン）を押します。
- 3 「#」ボタンを押します。
- 4 外線、専用線の発信を禁止する電話機の内線番号を押します。



Note

- DSSユニット付き多機能電話機は、パスワードをダイヤルしなくても、パスワード付き電話機による外線、専用線の発信を禁止することができます。
- 「電話機パスワード」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



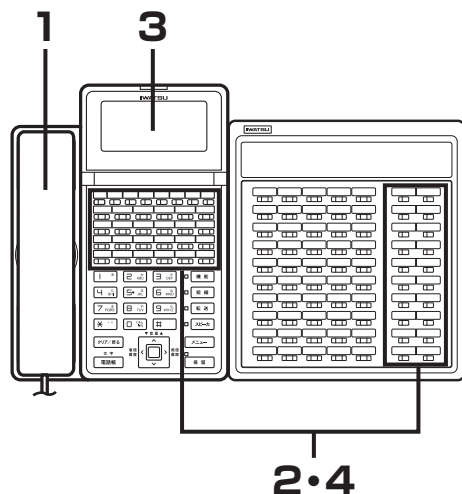
DSSユニットからシステムの機能を操作する

外線自動応答レベル切り替え

オプション

休日や営業時間外に流す音声メッセージを切り替えられます。

●メッセージの切り替え



1 受話器を取り上げます。

2 「応答メッセージ」 ボタンを押します。

3 ディスプレイにその時点での自動応答番号が表示されます。

4 応答番号を変更する場合は、さらに「応答メッセージ」ボタンを押します。

※「応答メッセージ」ボタンを押すごとに、応答1（ランプ点滅）、応答2（ランプ点灯）、応答OFF（ランプ消灯）に切り替わります。



Note

- 音声案内登録機能で録音できるメッセージ番号は01～50まであります。
- 外線自動応答用は06～09が応答1、10～13が応答2となります。
- 録音したメッセージを使用するか、固定メッセージを使用するかはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 応答する外線および応答するまでの時間は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 時間および曜日による使用メッセージは、4種類設定できます。
- 「応答メッセージ」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

外線や内線からかかってきた電話に対し、音声による案内サービスができます。

音声案内サービス概要

音声案内サービスには、以下のようなものがあります。

- 接続案内サービス
- 案内サービス
- ダイレクトインワードシステムアクセス（DISA）
- 局線への自動応答メッセージ
- 転送電話の相手応答メッセージ
- 迷惑電話防止の断りメッセージ
- 通話録音開始メッセージ

番号	状 態	メッセージ
01	案内サービス	可変メッセージのみ
02	DISA	こちらは、ダイレクトインサービスです。おかけの電話機が、プッシュホンでしたら発信音の後に、内線番号をダイヤルしてください。
03		こちらは、ダイレクトインサービスです。おかけの電話機が、プッシュホンでしたら発信音の後に、内線番号をダイヤルしてください。ただしコレクトコールではお呼び出しできません。
04		(予約)
05		ピー（発信音）
06～09	局線自動応答1	本日の業務は、終了致しました。恐れ入りますが、就業時間におかけ直してください。
10～13	局線自動応答2	恐れ入りますが本日は、定休日となっています。
14～17	転送電話	転送電話です。
18	話中音	ただいまお話中です。
19	警告音	おかけになった番号は、使われておりません。
20	ドントディスターブ	ただいまお呼び出しできません。
21	不在メッセージ	ただいま不在のため、お呼び出しできません。
22	モーニングコール	こちらは、モーニングコールサービスです。24時間制で時刻をダイヤルしてください。
23	モーニングコール応答	こちらは、モーニングコールサービスです。お時間になりました。
24	音声案内録音	録音を開始します。メッセージをどうぞ。
25	音声案内録音取消	録音を取り消しました。
26	音声案内登録不可	ただいま録音できません。
27	音声案内登録終了	録音を終了します。
28	音声案内録音再生	録音を再生します。
29	登録完了	登録を受け付けました。
30	登録取消	登録を取り消しました。

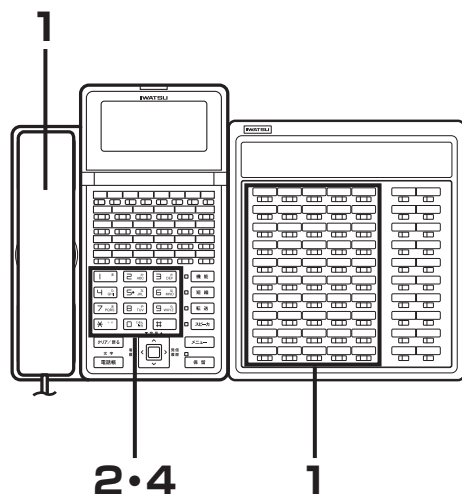
DSSユニットからシステムの機能を操作する

音声案内登録

オプション

音声案内の録音、消去ができます。

●メッセージの録音方法



1 受話器を取り上げ「音声案内録音」ボタンを押します。

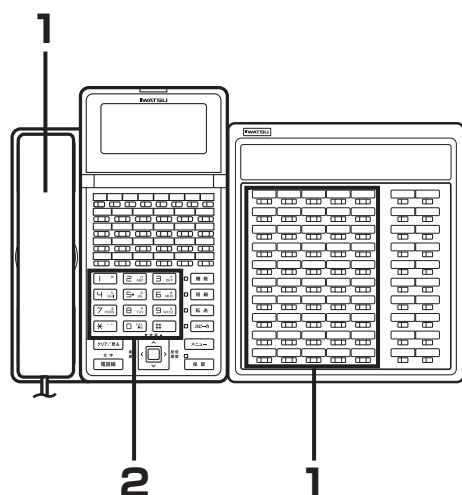
2 登録するメッセージ番号(01～50)を押し、続けて「1」ボタンを押します。

3 録音する案内を120秒以内で話します。

4 「#」ボタンを押します。

Note

- 登録できるメッセージ番号は01～50までありますが、外線自動応答用は06～09がレベル1、10～13がレベル2となります。
- メッセージは何度でも吹き替えることができます。
- 「音声案内録音」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



●メッセージの確認方法

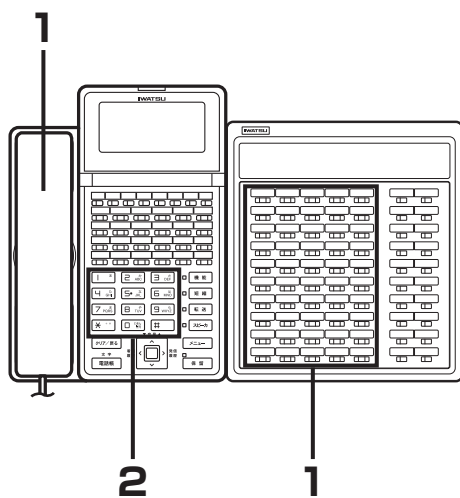
1 受話器を取り上げ「音声案内録音」ボタンを押します。

2 確認するメッセージ番号(01～50)を押し、続けて「2」ボタンを押します。

※メッセージ番号と「2」ボタンを押す代わりに、「#」ボタンを2回押すと、すべての可変メッセージを聞くことができます。

※メッセージ番号と「2」ボタンを押す代わりに、「#」「*」ボタンを押すと、すべての固定メッセージを聞くことができます。固定メッセージは、システムにあらかじめ登録してある音声案内です。

3 登録されている内容が聞こえます。

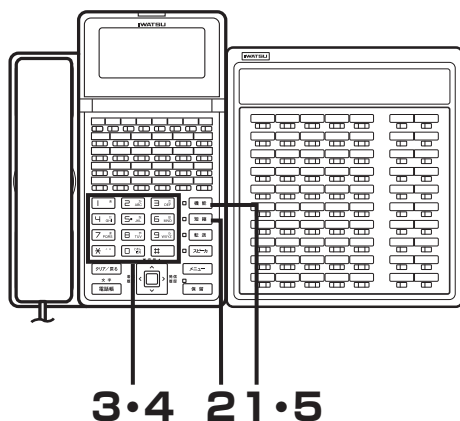


Note

- 「音声案内録音」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

●メッセージの消去方法

- 1 受話器を取り上げ「音声案内録音」ボタンを押します。
- 2 消去するメッセージ番号(01～50)を押し、続けて「3」ボタンを2回押します。
- 3 登録されている内容が消去されます。



Note

- システム全体の共通短縮番号(00～89)または(000～899)は簡易中継台、データ設定で登録します。
- システム電話確認方法は2-9ページを参照してください。
- 個別短縮番号(90～99)は電話機ごとに登録できます。
- 1つの短縮番号には32桁以内のダイヤル、16桁以内文字が登録できます。
- システム全体の共通短縮番号を9000件(0000～8999)に拡張することが可能です。拡張するためには、データ設定によりあらかじめ登録が必要です。お問い合わせの販売店にお問い合わせください。
- IX-24KT-N/IX-12KT-N/IX-24KTAPF-Nで、本操作による短縮登録を行うには、あらかじめ登録が必要です。お問い合わせの販売店にお問い合わせください。
- IX-24KT-N/IX-12KT-N/IX-24KTAPF-Nの場合、短縮ダイヤルを電話帳登録操作で登録することもできます。電話帳登録操作は、「電話帳を登録する」(3-20ページ以降)をご参照ください。

短縮ダイヤル登録 ①

システム短縮番号(00～89)または(000～899)を登録することができます。※Noteをご参照ください。

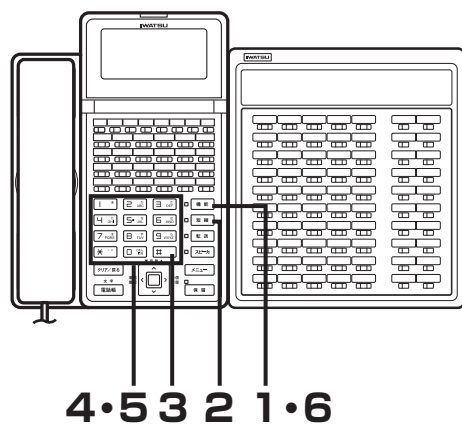
- 1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。
- 2 「短縮」ボタンを押します。
- 3 登録する短縮番号(00～89または000～899)を押します。
※Noteをご参照ください。
- 4 相手の電話番号(32桁以内)を押します。
※以下の登録もできます。
 1. ダイヤルするまでの待ち時間(ポーズ時間)
「保留」ボタンを押し、続けて「1」～「9」ボタン(ポーズの秒数)を押します。
 2. プッシュホンサービスの番号
「保留」、「*」ボタンを押し、続けてプッシュホンサービスの番号を押します。
 3. 他の短縮ダイヤル
「保留」、「短縮」ボタンを押し、続けて他の短縮番号を押します。

- 5 再び電話機の「機能」ボタンを押します。

DSSユニットからシステムの機能を操作する

短縮ダイヤル登録 ②

●外線グループ番号の登録方法



1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。

2 「短縮」ボタンを押します。

3 「#」ボタンを押します。

4 登録する短縮番号 (00～89または000～899) を押します。

※ Noteをご参照ください。

5 使用する外線グループ番号 (001～060) を押します。

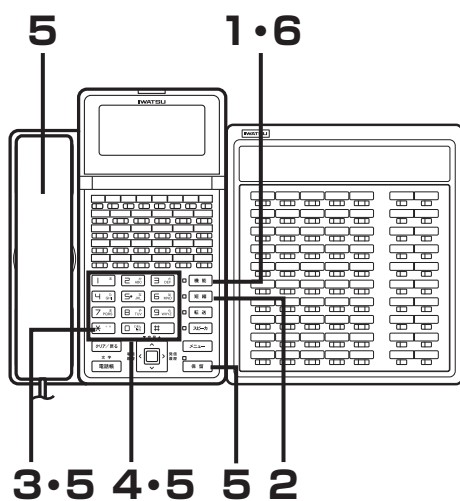
6 「機能」ボタンを押します。

Note

- システム全体の共通短縮番号 (00～89) または (000～899) は、中継台、簡易中継台、データ設定で登録します。
- 使用できる外線グループ番号は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- システム全体の共通短縮番号を9000件 (0000～8999) に拡張することが可能です。拡張するためには、データ設定によりあらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- IX-24KT-N/IX-12KT-N/IX-24KTAPF-Nで、本操作による短縮登録を行うには、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- IX-24KT-N/IX-12KT-N/IX-24KTAPF-Nの場合、短縮ダイヤルを電話帳登録操作で登録することもできます。電話帳登録操作は、「電話帳を登録する」(3-20ページ以降)をご参照ください。

Note

- 外線発信グループ番号は、主装置がMタイプの場合「00～60」、主装置がLタイプの場合「000～230」となります。主装置のタイプについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



Note

- システム全体の共通短縮番号（00～89）または（000～899）は、中継台、簡易中継台、データ設定で登録します。
- 1つの短縮番号には、32桁以内のダイヤルと16桁以内の文字が登録できます。
- システム全体の共通短縮番号を9000件（0000～8999）に拡張することが可能です。拡張するためには、データ設定によりあらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

● 相手先名の登録方法

- 1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。
- 2 「短縮」ボタンを押します。
- 3 「*」ボタンを押します。
- 4 登録する短縮番号（00～89または000～899）を押します。
※Noteをご参照ください。
- 5 必要な文字（16桁以内）を入力します。
 - 1.「*」ボタンでカタカナ入力モード、英数字入力モードを選択します（最初は英数字モードになっています）。
 - 2.ダイヤルボタンで文字を選択し、1文字ごとに「保留」ボタンで確定します。
 - 3.再度「保留」ボタンを押すと1つ前の文字が取り消されます。
※入力したすべての文字を取り消す場合は、受話器を上げ下げしてください。
※文字対応表は、下記を参照してください。
- 6 「機能」ボタンを押します。

■ 文字対応表

数字（0～9）を押すごとに、対応する表示文字が変わります。例えば、英数字モードのとき「2」ボタンを押すと、「A→B→C→2」の順に、カタカナモードのとき「2」ボタンを押すと「カーキ→ク→ケ→コ→2」の順に表示が変わります。

ABC2			
1	①	②	③ DEF3
JKL5			
GHI4	④	⑤	⑥ MNO6
TUV8			
PQRS7	⑦	⑧	⑨ WXYZ9
-. ■ & 0			
カタカナモードへの切り替え	* ⑩	⑪	大文字／小文字切り替え

カキクケコ2			
アイウエオ1	①	②	③ サシスセソ3
ナニヌネノ5			
タチツテト4	④	⑤	⑥ ハヒフヘホ6
ヤユヨ8			
マミムメモ7	⑦	⑧	⑨ ラリルレロ9
ワヅン° * -0			
英数字モードへの切り替え	* ⑩	⑪	大文字／小文字（アウイエオ）の切り替え

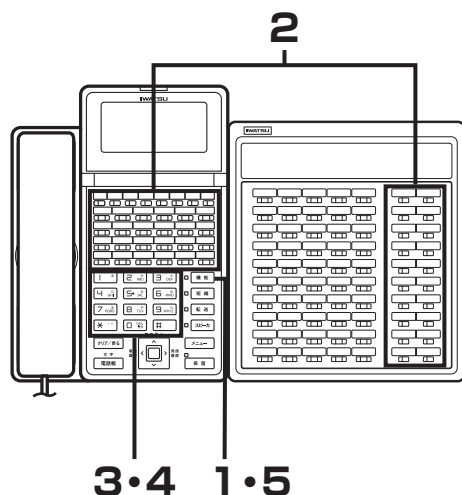
※■は、スペースです。

DSSユニットからシステムの機能を操作する

ナンバー・ディスプレイ登録

ナンバー・ディスプレイ（NTTとの契約が必要です）を利用して相手先の名称を表示することができます。

● 相手先の電話番号の登録方法



1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。

2 「呼び返し」ボタンを押します。

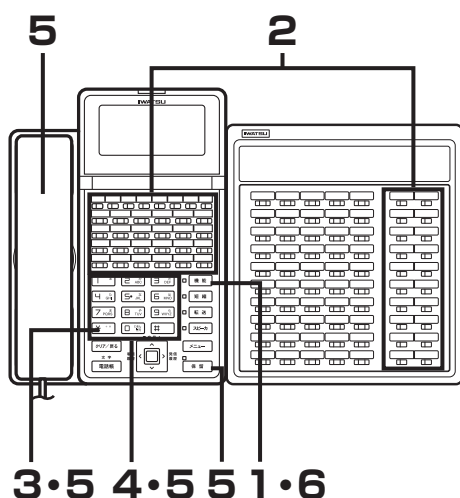
3 登録番号（001～999）を押します。

4 相手の電話番号（12桁以内）を押します。
相手の電話番号は市外局番を含めて入力してください。
〈例〉相手先が大阪の場合は、「0」「6」ボタンを押します。

5 「機能」ボタンを押します。
続けて「相手先の登録方法」にしたがって相手先名を登録してください。

Note

- 相手先の電話番号および相手先名は指定電話機で登録します。指定電話機はお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 夜間切り替え（6-16ページ）で夜間モードのときに対象とする相手先の電話番号および相手先名は登録番号501～999で登録します。
- 手順（3）で登録番号の代わりに「**井**」ボタンを押すと、空いている登録番号が自動的に検索されディスプレイに表示されます（空きがない場合は000が表示されます）。空き登録番号が検索できたら、その登録番号で手順（1）から登録してください。
- 「呼び返し」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



● 相手先名の登録方法

1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。

2 「呼び返し」ボタンを押します。

3 「*」ボタンを押します。

4 登録番号（001～999）を押します。

5 相手先名（16文字以内）を入力します。

1. 「*」ボタンでカタカナ入力モード、英数字入力モードを選択します（最初は英数字モードになっています）。
 2. ダイヤルボタンで文字を選択し、1文字ごとに「保留」ボタンで確定します。
 3. 再度「保留」ボタンを押すと1つ前の文字が取り消されます。
- ※入力したすべての文字を取り消す場合は、受話器を上げ下げしてください。
- ※文字対応表は、6-25ページを参照してください。

6 「機能」ボタンを押します。

コールフォワード強制解放

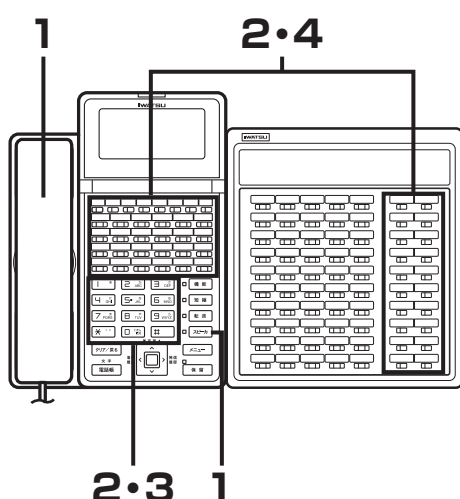
他の電話機に登録されている不在転送、話中転送、未応答転送、着信拒否を解除できます。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「強制解放」ボタンを押し、続けて「3」ボタンを押します。

3 不在転送中、話中転送中、未応答転送中、着信拒否中である電話機の内線番号を押します。

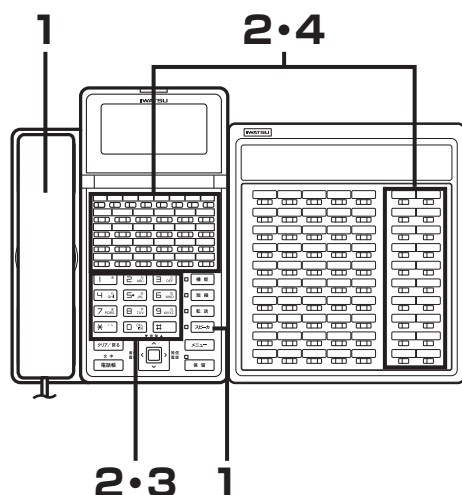
4 「切断」ボタンを押します。



Note

- 着信拒否、不在転送、話中転送、未応答転送は、多機能電話機のさらに便利な使い方（5-23、5-34ページ）を参照してください。
- 「強制解放」、「切断」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

DSSユニットからシステムの機能进行操作する



 Note

- 「強制解放」、「切断」、「接続」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

トランク強制解放

外線または外線グループを強制解放することにより、他の電話機による外線または外線グループの、発着信を禁止することができます。

●外線／または外線グループの強制解放の設定方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「強制解放」、「2」ボタンの順に押します。
- 3 該当するボタンと必要な番号を押します。
 - 外線の場合
→ 外線番号を押します。
 - 外線グループの場合
→ 「＊」ボタンを押し、外線グループ番号（3桁）を押します。
- 4 「切断」ボタンを押します。

●外線／または外線グループの強制解放の解除方法

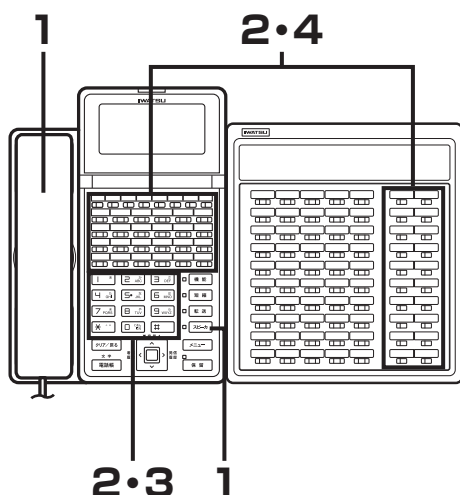
- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「強制解放」、「2」ボタンの順に押します。
- 3 該当するボタンと必要な番号を押します。
 - 外線の場合
→ 外線番号を押します。
 - 外線グループの場合
→ 「＊」ボタンを押し、外線グループ番号（3桁）を押します。
- 4 「接続」ボタンを押します。

ステーション強制解放

強制解放することにより、その電話機による外線および内線の発着信を禁止することができます。

● 強制解放の設定方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「強制解放」、「1」ボタンの順に押します。
- 3 強制解放する内線番号を押します。
- 4 「切断」ボタンを押します。



Note

- 「強制解放」、「切断」、「接続」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

● 強制解放の解除方法

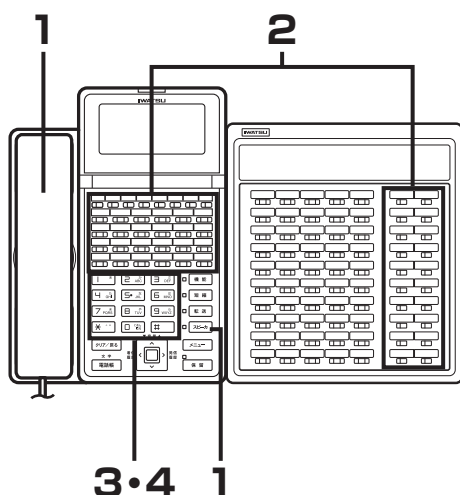
- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「強制解放」、「1」ボタンの順に押します。
- 3 強制解放する内線番号を押します。
- 4 「接続」ボタンを押します。

DSSユニットのシステムに関するその他の機能

モーニングコール

依頼されたモーニングコールの内容を相手先の内線電話機に設定することができます。

●時刻の設定



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「モーニングコール」ボタン（または「機能」+「4」「6」ボタン）を押します。

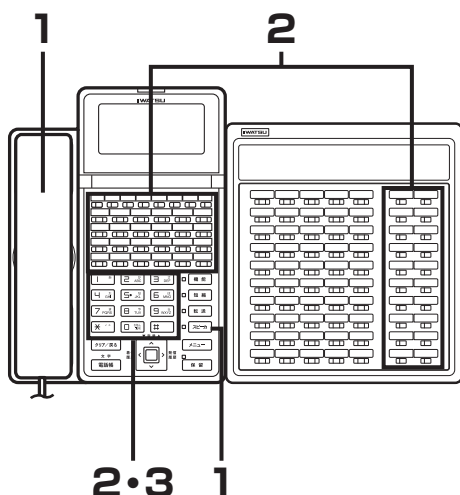
3 呼び出す電話機（依頼元）の内線電話番号を押します。

4 24時間表記で時刻を押します。
〈例〉午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」ボタンを押します。



Note

- ・設定時刻の5分前にブービーという内線着信音が鳴ります。応答しない場合は、設定時刻に再び内線着信音が鳴ります。
- ・応答のない場合に着信音を鳴らしておく時間は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- ・「モーニングコール」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



●設定時刻の解除方法

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「モーニングコール」、「*」ボタンの順（または「機能」+「0」「4」「6」ボタン）に押します。

3 モーニングコールを取り消す電話機の内線番号を押します。



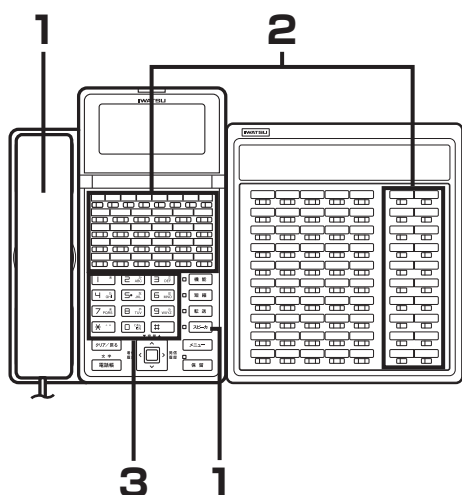
Note

- ・「モーニングコール」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- ・グループモーニングコール（6-31ページ）と併用した場合は、あとから操作した機能が有効になります。

グループモーニングコール

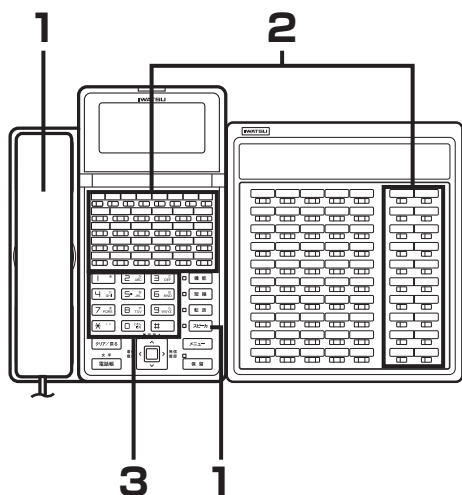
依頼されたモーニングコールの内容をグループに所属する内線電話機に対して一斉に設定することができます。

●時刻の設定



Note

- 「グループモーニングコール番号」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



Note

- 「グループモーニングコール番号」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「グループモーニングコール番号」ボタン（または「機能」+「4」「7」ボタン+グループ番号3桁）を押します。

3 24時間表記で時刻を押します。
〈例〉午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」ボタンを押します。

●設定時刻の解除方法

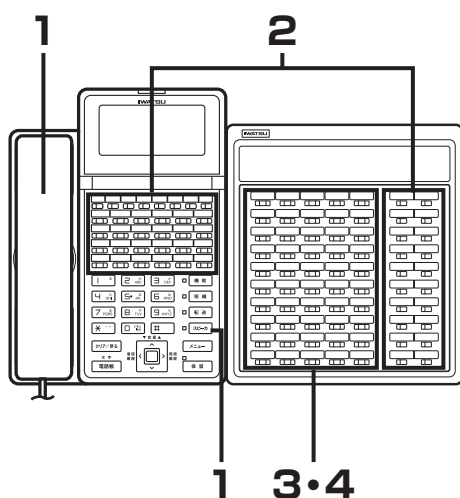
1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「グループモーニングコール番号」ボタン（または「機能」+「4」「7」ボタン+グループ番号3桁）を押します。

3 「*」ボタンを押します。

DSSユニットのシステムに関するその他の機能

(前ページの続き)

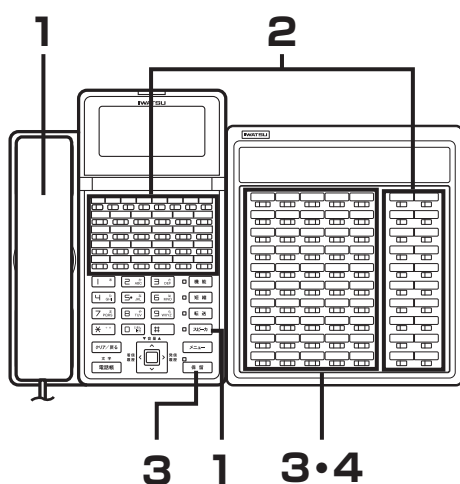


Note

- 「グループモーニングコール番号」ボタン、「内線番号」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 他のグループに所属済みの内線電話機は別のグループに登録できません。

●グループに所属する内線電話機の登録／解除

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「グループモーニングコール番号」ボタンを押します。
グループに所属している内線電話機の有無が「内線番号」ボタンにランプ表示されます。
赤点灯：所属している／消灯：所属していない
- 3 所属を登録または解除させたい内線電話機の「内線番号」ボタンを押します。
「内線番号」ボタンのランプが、登録されると赤点灯、解除されると消灯に変わります。
- 4 続けて登録または解除させたい内線電話機があれば、手順（3）をくり返し行ないます。

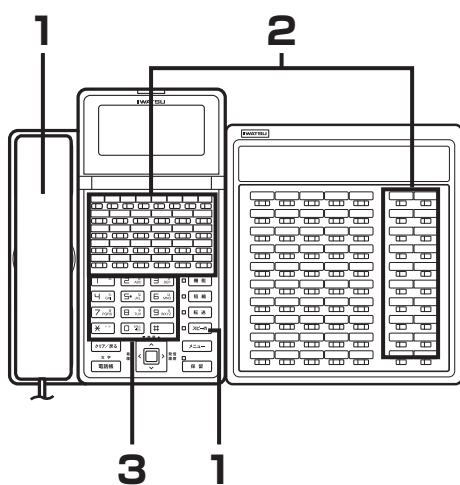


Note

- 「グループモーニングコール番号」ボタン、「内線番号」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- どのグループにも所属登録されていない内線電話機も、本操作で所属登録できます。

●他のモーニンググループに所属する内線電話機の所属変更

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「グループモーニングコール番号」ボタンを押します。
- 3 「保留」ボタン、所属変更させたい内線電話機の「内線番号」ボタンの順に押します。
登録されると「内線番号」ボタンのランプが赤点灯になります。
- 4 続けて所属変更させたい内線電話機があれば、手順（3）をくり返し行ないます。



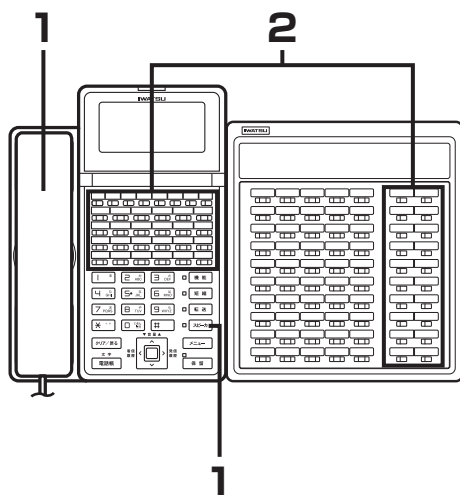
● モーニンググループに所属している内線電話機の一括解除

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「グループモーニングコール番号」ボタンを押します。
- 3 「#」ボタンを押します。
解除されると所属していた「内線番号」ボタンのランプが消灯します。



Note

- 「グループモーニングコール番号」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



● グループモーニングコール時刻・所属内線電話機の確認

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「グループモーニングコール番号」ボタンを押します。
グループモーニングコール時刻がディスプレイ表示されます。
グループに所属する「内線番号」ボタンが赤色点灯でランプ表示されます。



Note

- 「グループモーニングコール番号」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



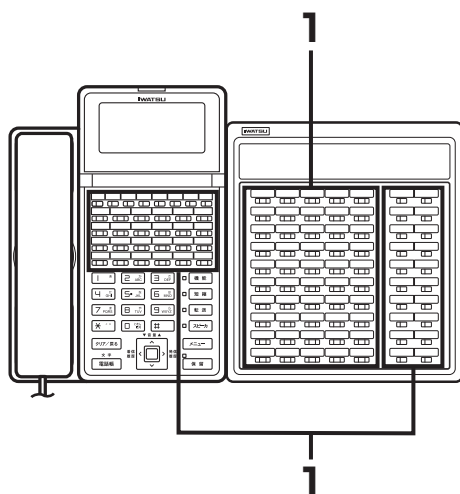
Note

- モーニングコール（6-30ページ）と併用した場合は、あとから操作した機能が有効になります。
- 「グループモーニングコール番号」ボタンの代わりに「グループモーニングコール」ボタン（または「機能」+「4」+「7」）に続けて、グループ番号（001～060）を押しても操作できます。
- 「グループモーニングコール」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

DSSユニットのシステムに関するその他の機能

ホテル在室表示

DSSユニットの「内線番号」ボタンのランプを利用して、空室、クリーニング中、外出中、在室中などの状態を表示することができます。



1 「内線番号」ボタン、該当するボタンの順に押します。

●空室になった場合

→「空室」ボタンを押します。

「内線番号」ボタンの緑色ランプが消灯し、赤色ランプが高速点滅します。

●クリーニング中の場合

→「清掃」ボタンを押します。

「内線番号」ボタンのランプが赤色で高速点滅します。

●外出中の場合

→「外出中」ボタンを押します。

「内線番号」ボタンのランプが緑色で点滅します。

●在室中の場合

→「在室中」ボタンを押します。

「内線番号」ボタンのランプ緑色で点灯します。



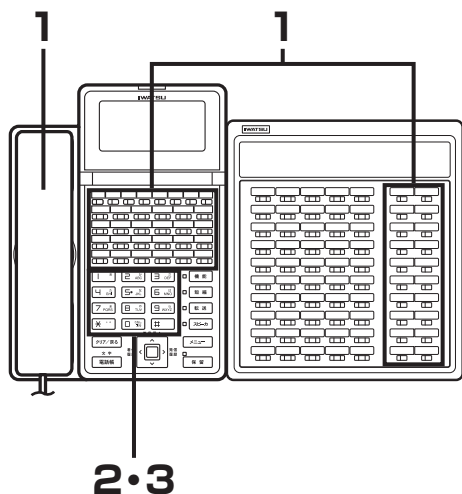
Note

- 各室の電話機から、クリーニング終了特番をダイヤルすると、清掃確認状態になります。「内線番号」ボタンの赤色ランプが低速点滅します。
- 各室の電話機からクリーニング確認特番をダイヤルすると、清掃済み状態になります。「内線番号」ボタンの赤色ランプが消灯します。
- 「内線番号」ボタン、「空室」ボタン、「清掃」ボタン、「外出中」ボタン、「在室中」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

通話料金使用率表示

内線グループごとの通話料金予算額の設定と使用率を表示することができます。

● 通話料金予算額の設定方法



1 受話器を取り上げ「グループ予算」ボタン（または「機能」ボタン+「7」「5」ボタン）を押します。

2 通話料金予算額を設定する内線グループ番号（3桁）を押します。

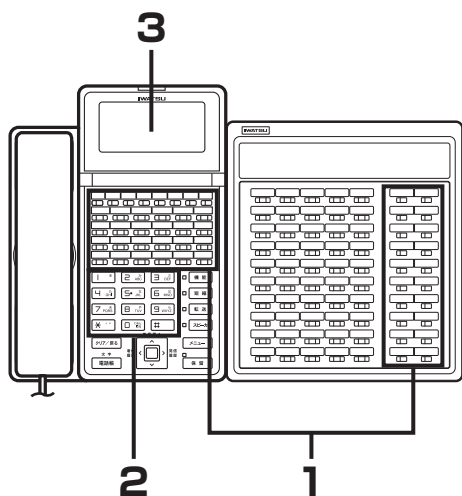
3 通話料金予算額（4桁）を押します。



Note

- 受話器を置いた状態で、「グループ予算」ボタンを押し、手順（2）の操作を行ったあと、「＊」ボタンをダイヤルすると、通話料金グループ使用額がクリアされます。
- 「グループ予算」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

● 予算額に対する使用率の表示方法



1 受話器を置いた状態で「グループ予算」ボタン（または「機能」+「7」「5」ボタン）を押します。

2 通話料金予算額を表示する内線グループ番号（3桁）を押します。

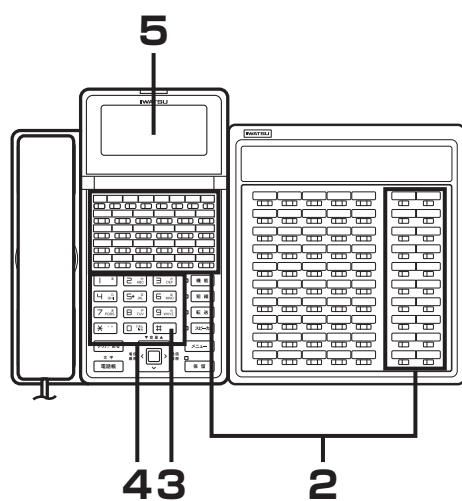
3 ディスプレイに通話料金予算額に対する使用率が表示されます。



Note

- 通話料金予算額はDSSユニット付き多機能電話機で設定します。
- 通話予算額が0の場合は、使用率は表示されません。
- 内線グループごとの予算額は100円から999,900円まで設定できます。
- 予算額超過の場合は、使用率200%まで表示できます。
- 通話料金予算額管理のための内線グループは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「グループ予算」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

DSSユニットのシステムに関するその他の機能

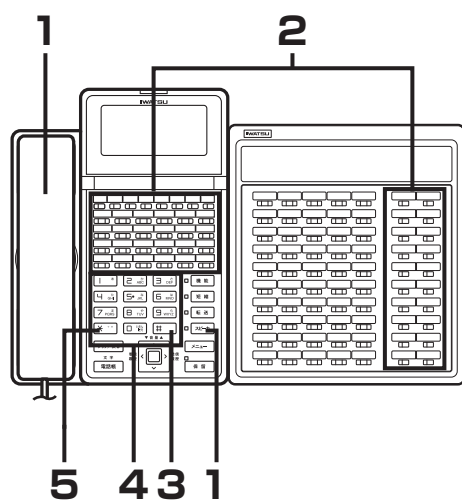


Note

- 本日は当日0時以降が集計範囲です。
- 今月分の集計結果は、その集計時点で先月分に積算されます。
- 集計日(1~28)、集計時刻(00~23時)は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「前回」、「本日」、「今月」、「先月」ボタンは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

⚠ 注意

- 表示される通話料金は、電話局の通話料金と異なることがあります。異なった場合でも、公式データとして電話局などに提出・申し立てすることはできません。
- 通話料金の改訂などに伴うプログラム変更などは有償となります。



通話料金集計

DSSユニット付き多機能電話機は、内線番号を指定することで電話機ごとの前回分、本日分、今月分、先月分の通話料金を集計することができます。

※通話料金は、1,000,000円を超えると0表示に戻ります。

● 集計方法

1 受話器は置いた状態にします。

2 該当するボタンを押します。

- 前回分の場合
→ 「前回」ボタン(または「機能」+「7」「1」ボタン)を押します。
- 本日分の場合
→ 「本日」ボタン(または「機能」+「7」「2」ボタン)を押します。
- 今月分の場合
→ 「今月」ボタン(または「機能」+「7」「3」ボタン)を押します。
- 先月分の場合
→ 「先月」ボタン(または「機能」+「7」「4」ボタン)を押します。

3 「#」ボタンを押します。

4 料金表示を行いたい内線電話機の内線番号を押します。

5 ディスプレイに通話料金が表示されます。

● 他の電話機の集計額をクリアする(0に戻す)方法

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。 「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 該当するボタンを押します。

- 前回分の場合
→ 「前回」ボタン(または「機能」+「7」「1」ボタン)を押します。
- 本日分の場合
→ 「本日」ボタン(または「機能」+「7」「2」ボタン)を押します。
- 今月分の場合
→ 「今月」ボタン(または「機能」+「7」「3」ボタン)を押します。
- 先月分の場合
→ 「先月」ボタン(または「機能」+「7」「4」ボタン)を押します。

3 「#」ボタンを押します。

4 料金表示を行いたい内線電話機の内線番号を押します。

5 「*」ボタンを押します。

7. 回線機能編

オプション

マークがついている項目は、機器の追加が必要です。

LEVANCIOでご利用になれる回線

- NTT一般回線
- NTTダイヤルイン回線
- セントレックス回線（ビル電話）
- PBX内線
- DISA（ダイレクトインワードシステムアクセス）回線
- LD／SR専用線
- 総合デジタル通話回線（ISDN）〔回線交換（基本・一次群）〕
- IP電話サービス
- IPNET（専用線相当）
- フレッツひかりネクスト（ファミリー・ハイパーファミリー）

ISDN回線

基本サービス

NTTのISDN回線「INSネット64」および「INSネット1500」を収容すると、電話をかけるだけでなく、高精細なファックス通信、高速データ通信も行えます。また、かけてきた相手の電話番号や相手の名前を表示したり、サブアドレスと呼ばれる番号を付加してダイヤルすることによって内線呼び出すなど、便利なサービスが利用できます。

その他にもNTTと契約すれば様々な付加サービスを利用することができます。

- **ISDN回線の特長**：「INSネット64」回線は、2つの情報チャンネル（Bチャンネル）と1つの信号チャンネル（Dチャンネル）により構成されています。
「INSネット1500」回線は、23の情報チャンネル（Bチャンネル）と1つの信号チャンネル（Dチャンネル）により構成されています。
INSネット64の1本の回線には2つの情報チャンネルがありますので、2つの外線を持つことになります。
INSネット1500の1本の回線には23の情報チャンネルがありますので、23の外線を持つことになります。
- **発信者番号通知**：着信の場合、かけてきた相手の電話番号が電話機に表示されます（ただし、相手から発信者番号が通知された場合のみです）。
発信者番号が通知された場合、発信者番号に対応した名称表示がデータ設定されていれば、その名称表示を行います。
また、本システムからかける場合、相手にこちらの電話番号を表示するかは工事段階で設定しますが、かける際の操作によって184（発信者番号非通知）、186（発信者番号通知）を相手電話番号の前につけることによって、その電話に限ってこれを切り替えることができます。
- **サブアドレス通知**：発信の際、サブアドレスと呼ばれる相手先の各端末に付けられた番号を付加してダイヤルすることで、内線を個別に呼び出すことができます。サブアドレスは、相手先電話番号をダイヤルしたあとに、「＊」ボタンに続けてサブアドレスをダイヤルし、「＃」ボタンを最後にダイヤルします。



Note

- 相手が一般回線でかけてきた場合の発信者番号表示は、NTTとの契約が必要になります。
- 相手先にISDN回線が収容されていない場合、サブアドレスによる個別呼び出しはできません。また相手が一般電話でかけてきた場合、サブアドレスによる本システムの内線を個別に呼び出すことはできません。

ISDN回線

ISDN機器の接続

「IX-ISUB64」ユニットには、G4FAXやターミナルアダプタなどのISDN機器を接続することができます。ISDN機器の接続に関しては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

付加サービス

ISDN回線を収容すると、基本サービス以外にも以下の付加サービスが利用できます。

- ダイヤルインサービス
- グローバル着信サービス
- INSフレックスホンサービス（INSフレックスホンサービスの契約をした場合、通話中転送機能、三者通話機能、着信転送機能の各サービスが利用できます。）
- INSボイスワープサービス
- i・ナンバーサービス
- ナンバー・ディスプレイ

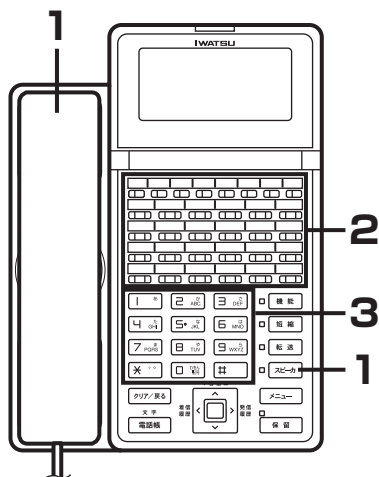
※これらの付加サービスを利用するには、各サービスごとにNTTとの契約が必要になります。

- ダイヤルインサービス : 契約電話番号とは別の電話番号（ダイヤルイン番号）を使用できます。使用できる数は最大1000個です。
ダイヤルイン番号へ電話がかかってきた場合、ダイヤルイン番号ごとにそれぞれ特定の電話機を呼び出すことができます。
- グローバル着信サービス : 複数のダイヤルイン番号を使用しているシステムで、1つのダイヤルイン番号に着信があると、各ダイヤルイン番号によって個別呼び出しするようにデータ設定した電話機すべてを呼び出すことができます。
- 通話中転送機能 : 通話を別の相手に転送することができます。
- 三者通話機能 : 通話中に別の相手を呼び出して、三者間で通話相手を切り替えてお話しすることができます（切替モード）。
通話中に別の相手を呼び出して、三者で通話することができます（ミキシングモード）。
- 着信転送機能 : かかってきた電話を、この電話機にあらかじめ登録してある他の電話番号に自動的に転送することができます。
- i・ナンバーサービス : 契約電話番号（ポート1）とは別の電話番号（ポート2、ポート3）で特定の電話機を呼び出すことができます。
- ナンバー・ディスプレイ : 電話をかけてきた相手方の電話番号がディスプレイに表示されます。

着信転送

転送先の電話番号をあらかじめ登録することにより、ダイヤルインでかかってきた着信に应答しないで、転送することができます。

● 着信転送動作を登録するとき



Note

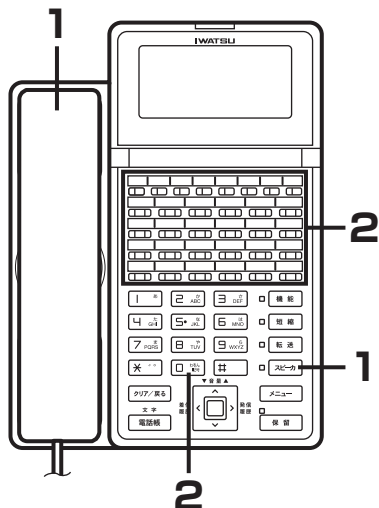
- 「着信転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 「着信転送」ボタンを押します。

3 転送メッセージ登録番号（1～4）を押します。

● 着信転送動作を解除するとき



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 「着信転送」、「0」ボタンの順に押します。

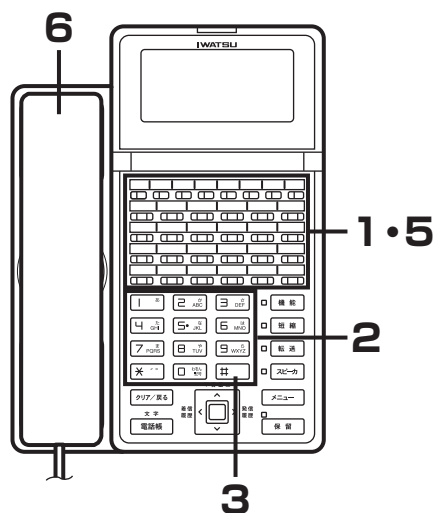
Note

- フレックスホンサービスの着信転送サービスの場合、他の転送電話の場合と違い、転送先へは本システムからではなく、局から発信します。したがって、工事段階で転送電話の発信側に指定されている外線は、着信転送時の発信に使用されません。
- 転送先の番号は着信転送を登録した電話機の短縮98が使用されます。あらかじめ短縮98に転送先の電話番号を登録してください。
- 着信転送を登録した電話機へダイヤルインの設定を行ってください。
- 着信転送が登録されているときは「着信転送」ボタンが点灯します。
- 網が提供する転送メッセージには以下の種類があります。

登録番号	被転送先	転送先
1	メッセージなし	メッセージなし
2	メッセージあり	メッセージなし
3	メッセージなし	メッセージあり
4	メッセージあり	メッセージあり

- 「着信転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

ISDN回線



Note

- 「ショートフラッシュ」、「通話中転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

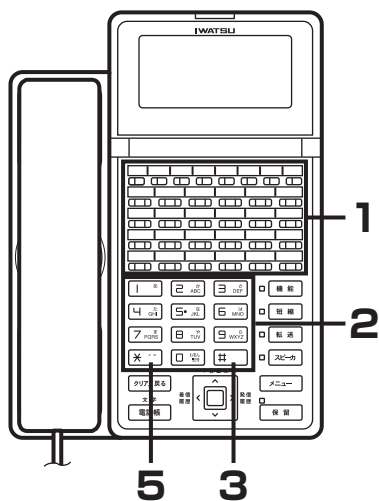
通話中転送

相手からかかってきた外線通話を、システム外の別の外線に転送することができます。

- 1 外線と通話の状態で「ショートフラッシュ」ボタン（または「機能」＋「1」「2」ボタン）を押します。
- 2 転送先の電話番号をダイヤルします。
ディスプレイに電話番号が表示されます。
- 3 「#」ボタンを押します。
- 4 相手とつながったら転送することを伝えます。
※ 相手が通話中の場合、いったん受話器を置くと着信音が鳴りますので、再び受話器を取り上げればもとの通話に戻ります。
- 5 「通話中転送」ボタンを押します。
通話が転送されます。
- 6 受話器を置きます。

三者通話

外線と通話中に、別の外線を呼び出して3人で通話することができます。



Note

- 「ショートフラッシュ」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

- 1 外線と通話の状態で「ショートフラッシュ」ボタン（または「機能」＋「1」「2」ボタン）を押します。
- 2 通話に加えたい相手の電話番号をダイヤルします。
ディスプレイに電話番号が表示されます。
- 3 「#」ボタンを押します。
- 4 相手とつながったら3人で通話することを伝えます。
※ 相手が通話中の場合、いったん受話器を置くと着信音が鳴りますので、再び受話器を取り上げればもとの通話に戻ります。
- 5 「*」ボタンを押します。
3人で通話します。

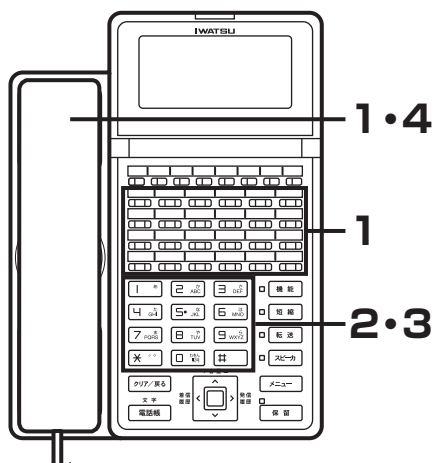
ISDN回線

INSボイスワープ

かかってきた電話を、あらかじめ登録した電話番号へ自動的に転送するサービスです。

詳しくは、NTTの「INSボイスワープ使用説明書」をご参照ください。

●INSボイスワープ開始操作



1 受話器を取り上げ、サービス契約のあるISDN回線の「外線」ボタンを押します。
「ツーン」という発信音が聞こえます。

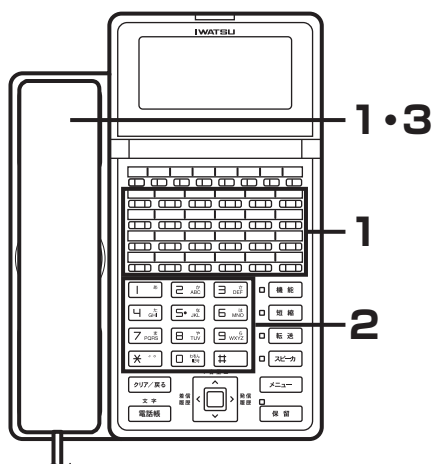
2 「1」「4」「2」「1」ボタンを押します。

3 転送方法を指定する番号（1～4）と「#」ボタンを押します。
局からアナウンスが聞こえます。

4 受話器を置きます。

Note

- 転送方法を指定する番号と動作は、以下のとおりです。
「1」：無条件転送
「2」：無応答時転送
「3」：話中時転送
「4」：無応答時および話中時転送
- 「外線」ボタンは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。



●INSボイスワープ停止操作

1 受話器を取り上げ、サービス契約のあるISDN回線の「外線」ボタンを押します。
「ツーン」という発信音が聞こえます。

2 「1」「4」「2」「0」「#」ボタンを押します。
局からアナウンスが聞こえます。

3 受話器を置きます。

Note

- 「外線」ボタンは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。



- 本操作では局の転送先リスト「0」に登録されます。
転送先電話番号の登録方法は、短縮のほかに転送先電話番号を通話中ダイヤル操作でも行えます。この場合、アナウンスを聞いてから転送先電話番号をダイヤルし、最終ダイヤルから一定時間経過後に局へ転送先電話番号を通知します。
- 「外線」ボタンは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。



- 「外線」ボタンは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

4 受話器を置きます。

ISDN回線

ナンバー・ディスプレイ



Note

- 「INSネット64」回線間の発信者を除いてナンバー・ディスプレイ表示はNTTとの契約が必要になります。
- 相手先の名前を表示するには、相手先の電話番号に対応した名前の登録があらかじめ必要です。登録方法は「ナンバー・ディスプレイ」(7-31ページ)をご参照ください。
- 相手先の名前(または番号)が11桁を超える場合は'アイテサキ'の文字は表示されません。

外線着信で相手から発信者番号が通知されたときは、かかってきた相手の電話番号や名前を表示します。

かかってきた相手先の番号

アイテサキ 06XXXX5678

かかってきた相手先の番号と名前

アイテサキ イワツウーニシニホン
06XXXX5678

i・ナンバー

NTTのi・ナンバーサービスを利用できます。呼び出す内線電話機、内線代表番号をあらかじめ指定します。



Note

- i・ナンバーサービスへの加入が必要です。
- 呼び出す電話機はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

NTTダイヤルイン

NTTのダイヤルインサービスを利用することができます。

呼び出す内線電話機、内線代表番号、内線グループをあらかじめ指定することができます。



Note

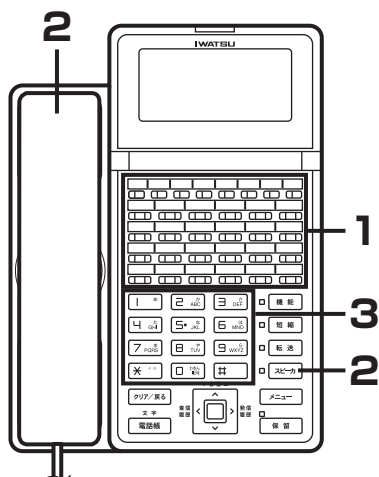
- NTTダイヤルインサービスへの加入が必要です。

ISDN回線

●ダイヤルインボタンでの発信

ダイヤルインボタンを使用して外線に発信することができます。また、ダイヤルインキーに割り付けられた発信番号を通知することもできます。

●ダイヤルインボタンによる方法



1 「ダイヤルイン」 ボタンを押します。

2 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
空いている外線を捕捉すると「ツー」という発信音が聞こえます。
※ グループ内のすべての外線が使用中の場合は、「ツーツー」という話
中音が聞こえます。この場合は、しばらく待って再び、上記手順（1）
から操作してください。

3 相手の電話番号をダイヤルします。
※ ISDN回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。

4 お話しします。

**Note**

- ダイヤルインボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 発信者番号通知はISDN回線、IP回線に限ります。

● 索線ダイヤルイン／ダイヤルイングループ発信ボタンでの発信

索線ダイヤルイン／ダイヤルイングループ発信ボタンを使用して外線に発信することができます。

また、該当キーに割り付けられた発信番号を相手に通知することもできます。

● 索線ダイヤルイン／ダイヤルイングループ発信ボタンによる方法

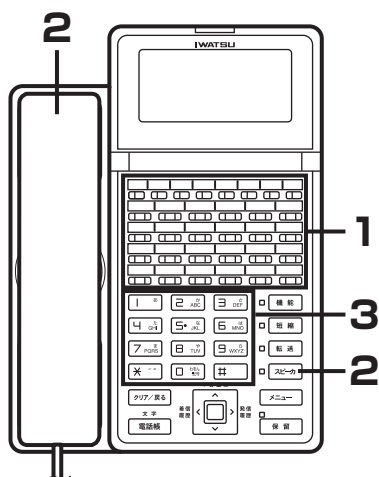
1 使用するダイヤルイングループの「索線ダイヤルイン」／「ダイヤルイングループ発信」ボタンを押します。

2 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
空いている外線を捕捉すると「ツー」という発信音が聞こえます。

※ グループ内全てのダイヤルインキーが使用中の場合は、「ツーツー」という話中音が聞こえます。この場合は、しばらく待って再び、上記手順（1）から操作してください。

3 相手の電話番号をダイヤルします。
※ ISDN回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。

4 お話しします。



Note

- ダイヤルイングループ発信ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- ダイヤルイングループ発信ボタンを使用して外線発信するには、対応するダイヤルインボタンのフレキシブルボタンへの登録は不要です。

Note

- 索線ダイヤルインボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 索線ダイヤルインボタンを使用して外線に発信するには、対応するダイヤルインボタンのフレキシブルボタンへの登録が必要です。

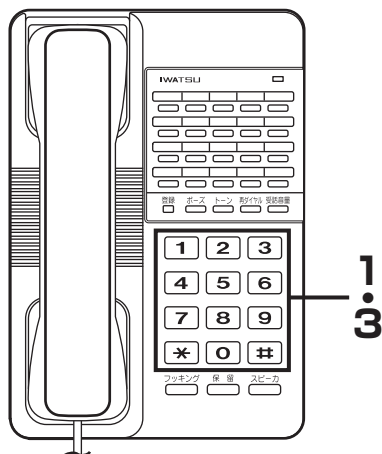
ダイレクトインワードシステムアクセス〈DISA〉

外からプッシュ信号でシステムの機能をコントロールすることができます。

一般のアクセス方法

外出先から、DISA外線にダイヤルするとシステムが自動応答し内線電話機を直接呼び出すことができます。

パスワードを設定して部外者からのアクセスを制限することもできます。



1 外出先からプッシュホン電話機でDISA外線にダイヤルします。

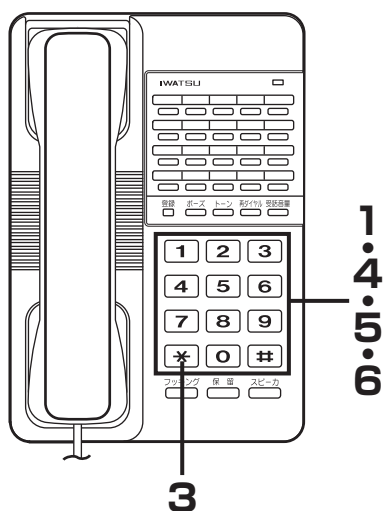
2 「ピピ」というリクエスト音（または音声案内）が聞こえます。

3 呼び出し先の内線番号をダイヤルします。

4 特定の内線と直接通話ができます。

Note

- かけた内線電話機が話中だった場合、強制呼び出しができます。強制呼び出しを行うには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 話中の状態で「*」ボタンを押します。
- 話中の内線電話機に強制呼び出し音が鳴ります。
- DISAを行うにはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



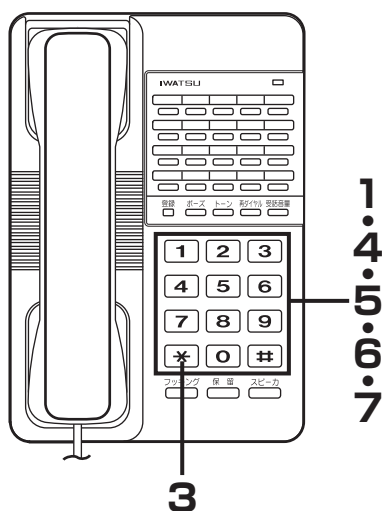
Note

- 一斉呼び出し、グループ呼び出し、ページング呼び出しを行うには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外出先から内線電話機の一斉呼び出し、グループ呼び出し、ページング呼び出し方法

- 1 外出先からプッシュホン電話機でDISA外線にダイヤルします。
- 2 「ピピ」というリクエスト音（または音声案内）が聞こえます。
- 3 そのままの状態ですべての「*」ボタンを押します。
- 4 パスワードを登録してある内線電話機の番号を押します。
- 5 パスワードを押します。
※このとき「#」ボタンを2回押すと、手順（2）の状態に戻ります。ただし、やり直しは3回以内です。
- 6 「一斉呼び出し特番」、「グループ呼び出し特番」、「ページング呼び出し特番」の1つを押します。
- 7 「〇〇さん、応答願います」のように呼びかけます。
- 8 呼び出し相手が応答したら、お話しします。

ダイレクトインワードシステムアクセス〈DISA〉

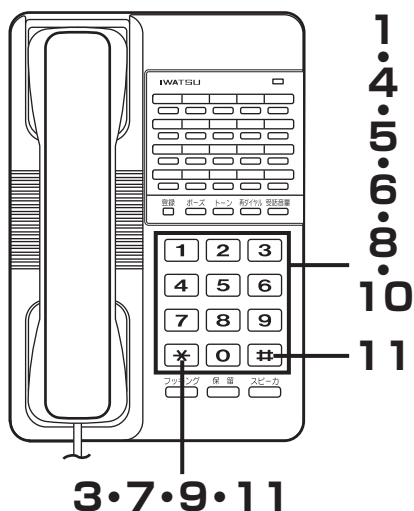


Note

- 電話機パスワード、外線アクセス番号、外線グループアクセス番号を行うには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

内線電話機を介して外線発信またはグループ外線発信方法

- 1 外出先からプッシュホン電話機でDISA外線にダイヤルします。
- 2 「ピピ」というリクエスト音（または音声案内）が聞こえます。
- 3 そのままの状態ですべての「*」ボタンを押します。
- 4 パスワードを登録してある内線電話機の番号を押します。
- 5 パスワードを押します。
※このとき「#」ボタンを2回押すと、手順（2）の状態に戻ります。
ただし、やり直しは3回以内です。
- 6 外線アクセス番号または外線グループアクセス番号を押します。
内線を介してつながった外線発信音が聞こえます。
- 7 相手の電話番号（または短縮番号）を押します。
- 8 相手とつながったら、お話しします。



Note

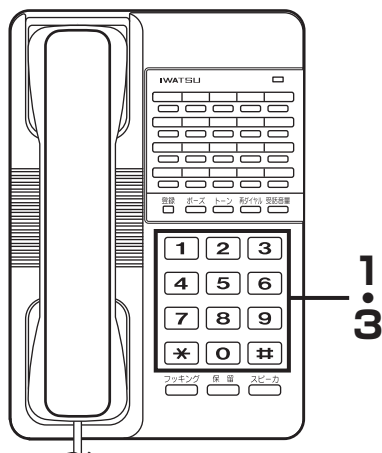
- 電話機パスワード、リモート特番、転送電話グループナンバーを行うには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

DISA外線から転送電話を登録する方法

- 1 外出先からプッシュホン電話機でDISA外線に押します。
- 2 「ピピ」というリクエスト音（または音声案内）が聞こえます。
- 3 そのままの状態ですべてのボタンを押します。
- 4 パスワードを登録してある内線電話機の番号を押します。
- 5 パスワードを押します。
※このとき「#」ボタンを2回押すと、手順（2）の状態に戻ります。ただし、やり直しは3回以内です。
- 6 「リモート特番」を押します。
※このとき「#」ボタンを2回押すと、内線発信音に戻ります。
- 7 そのままの状態ですべてのボタンを押します。
- 8 転送電話グループナンバー（1～4）を押します。
- 9 「*」ボタンを押します。
- 10 転送先の電話番号を押します。
- 11 そのままの状態ですべてのボタンを押します。

Bizモバイルリンク（システム機能アクセス）

特定の許可された外部電話機から、プッシュ信号にてシステムの機能を利用することができます。



Note

- Bizモバイルリンクを行うには、あらかじめご利用になる外線電話機の電話番号などをシステムに登録する必要があります。
- システム全体の共通短縮を（0000～8999）または（000～899）にデータ設定する必要があります。
- 登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

内線電話機を呼び出す

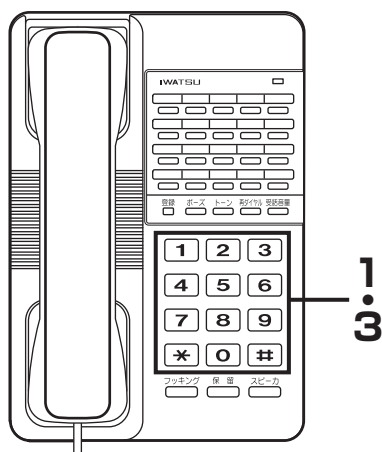
Bizモバイルリンク対象回線に外からダイヤルすると、システムが自動応答して内線電話機を直接呼び出すことができます。

- 1 外出先からBizモバイルリンク対象回線にダイヤルします。
- 2 「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 3 呼び出し先の内線番号をダイヤルします。
※このとき「#」ボタンを2回押すと、内線発信音に戻り、呼び出しをキャンセルすることができます。
- 4 呼び出し相手が応答したら、お話しします。

Note

- Bizモバイルリンク機能を使用するためには機能ライセンスが必要です。

内線電話機の一斉呼び出し、グループ呼び出し、ページング呼び出しを行う



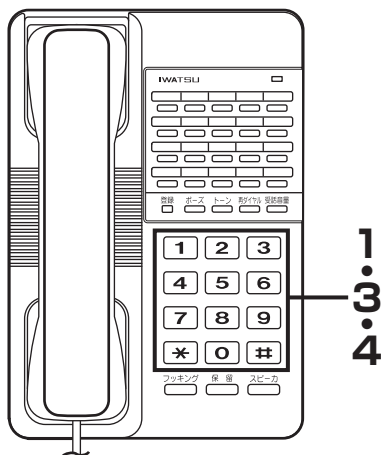
Note

- Bizモバイルリンクを行うには、あらかじめご利用になる外線電話機の電話番号などをシステムに登録する必要があります。
- システム全体の共通短縮を（0000～8999）または（000～899）にデータ設定する必要があります。
- 一斉呼び出し、グループ呼び出し、ページング呼び出しを行うには、データ設定により、あらかじめ登録の必要があります。
- 登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

- 1 外出先からBizモバイルリンク対象回線にダイヤルします。
- 2 「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 3 「一斉呼び出し特番」、「グループ呼び出し特番」または「ページング呼び出し特番」をダイヤルします。
※このとき「#」ボタンを2回押すと、内線発信音に戻り、呼び出しをキャンセルすることができます。
- 4 呼び出し相手が応答したら、お話しします。

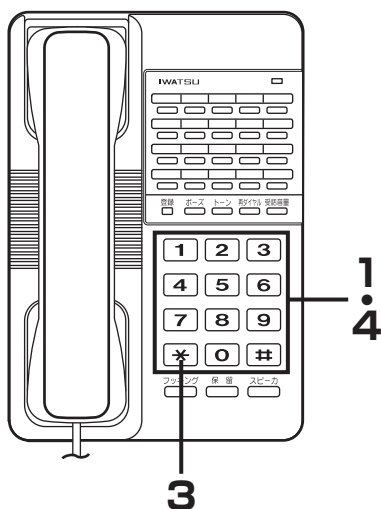
Note

- Bizモバイルリンク機能を使用するためには機能ライセンスが必要です。



Note

- Bizモバイルリンクを行うには、あらかじめご利用になる外線電話機の電話番号などをシステムに登録する必要があります。
- システム全体の共通短縮を（0000～8999）または（000～899）にデータ設定する必要があります。
- 外線アクセス番号、外線グループアクセス番号を行うには、データ設定により、あらかじめ登録の必要があります。
- 登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



Note

- Bizモバイルリンクを行うには、あらかじめご利用になる外線電話機の電話番号などをシステムに登録する必要があります。
- システム全体の共通短縮を（0000～8999）または（000～899）にデータ設定する必要があります。
- 短縮番号は、システム全体の共通短縮（0000～8999）と（000～899）、個別短縮（9000～9499）と（900～999）がご利用になれますが、データ設定よりあらかじめ登録の必要があります。
- 登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線発信またはグループ外線発信を行う

- 1 外出先からBizモバイルリンク対象回線にダイヤルします。
- 2 「ツツツツツ」 という内線発信音が聞こえます。
- 3 外線アクセス番号または外線グループアクセス番号をダイヤルします。
- 4 相手の電話番号をダイヤルします。
- 5 呼び出し相手が応答したら、お話しします。

Note

- Bizモバイルリンク機能を使用するためには機能ライセンスが必要です。

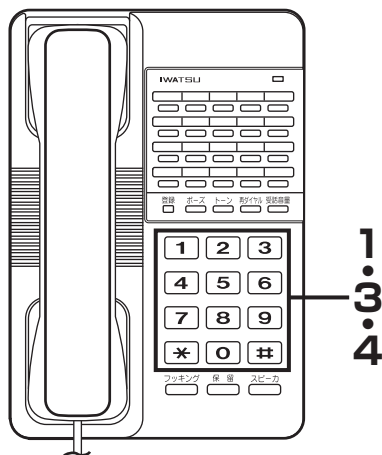
外線短縮発信を行う

- 1 外出先からBizモバイルリンク対象回線にダイヤルします。
- 2 「ツツツツツ」 という内線発信音が聞こえます。
- 3 そのままの状態ですべて「*」をダイヤルします。
- 4 つづいてシステム短縮番号または個別短縮番号をダイヤルします。
- 5 呼び出し相手が応答したら、お話しします。

Note

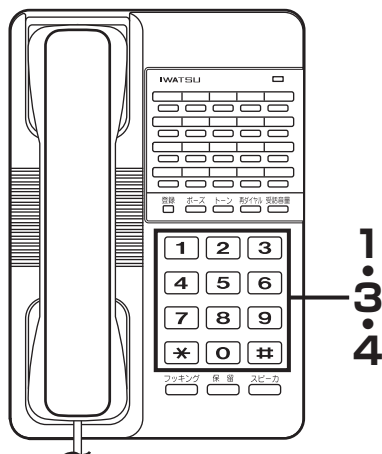
- Bizモバイルリンク機能を使用するためには機能ライセンスが必要です。

Bizモバイルリンク（システム機能アクセス）



 Note

- Bizモバイルリンクを行うには、あらかじめご利用になる外線電話機の電話番号などをシステムに登録する必要があります。
- システム全体の共通短縮を（0000～8999）または（000～899）にデータ設定する必要があります。
- グループ内代理応答特番、拡張グループ内代理応答特番は、データ設定により、あらかじめ登録する必要があります。
- 登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



 Note

- Bizモバイルリンクを行うには、あらかじめご利用になる外線電話機の電話番号などをシステムに登録する必要があります。
- システム全体の共通短縮を（0000～8999）または（000～899）にデータ設定する必要があります。
- パークオービット番号はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- パークオービット番号は、主装置がMタイプの場合最大60個、主装置がLタイプの場合最大250個が登録できます。主装置のタイプについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

着信代理応答を行う

- 1 外出先からBizモバイルリンク対象回線にダイヤルします。
- 2 「ツツツツツ」 という内線発信音が聞こえます。
- 3 グループ内代理応答特番または拡張グループ内代理応答特番をダイヤルします。
- 4 お話します。

 Note

- Bizモバイルリンク機能を使用するためには機能ライセンスが必要です。

グループパーク保留応答を行う

- 1 外出先からBizモバイルリンク対象回線にダイヤルします。
- 2 「ツツツツツ」 という内線発信音が聞こえます。
- 3 パークオービット番号をダイヤルします。
- 4 お話します。

 Note

- Bizモバイルリンク機能を使用するためには機能ライセンスが必要です。

専用線に関する機能

LD／SR（OD）専用線

オプション

LD、SR（OD）専用回線を収容することができます。

- 専用線トランクユニットを付け加えることにより、発信時は外線として、着信時は内線として扱うことができます。
- LD／SR（OD）専用線経由で本システムを呼び出す方法は、単独電話機の機能を参照してください。

**Note**

- 専用線トランクユニットは、あらかじめ取付が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

専用線タンデム接続

オプション

専用線を用いてタンデム中継を行うことができます。

**Note**

- タンデム変換ダイヤルは最大400テーブルを設定できます。各変換テーブルに、専用線からの受信ダイヤル桁数、使用する外線グループ番号、および24桁以内の変換ダイヤルを登録します。
- 変換ダイヤルデータには、「0」～「9」、「＊」ボタン、「＃」ボタン、およびポーズを登録できます。
- タンデム変換を行う変換テーブルは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

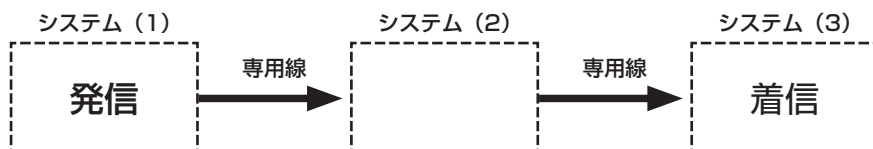
専用線に関する機能

閉番号方式

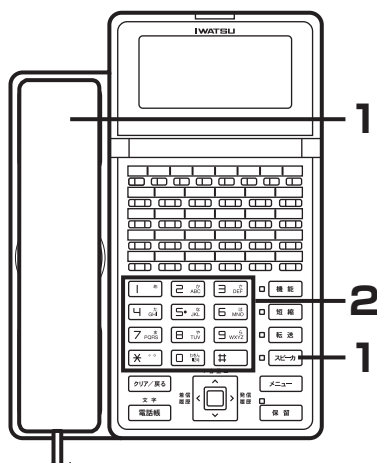
オプション

専用線で接続されているLEVANCIOシステム間で内線通話ができます。

- 専用線で接続されているLEVANCIOシステムの内線どうしは、呼び出す相手の内線番号をダイヤルするだけで通話することができます。
- 3つのシステムが専用線で接続されている例



- システム (1) の内線電話機から、システム (3) の内線電話機を呼び出す場合は、以下の手順で行います。



1 システム (1) の内線電話機の受話器を取り上げるか、「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」 という内線発信音が聞こえます。

2 呼び出したいシステム (3) の内線番号をダイヤルします。

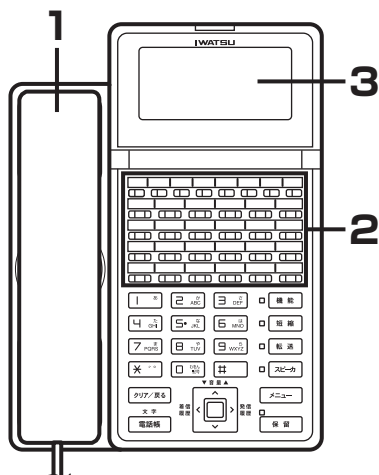
3 相手とつながったら、お話しします。



Note

- ・「専用線タンドム接続」と同様なデータ設定が必要となります。

特定の回線の着信を外線に転送する〈転送電話〉



転送先電話番号の確認方法

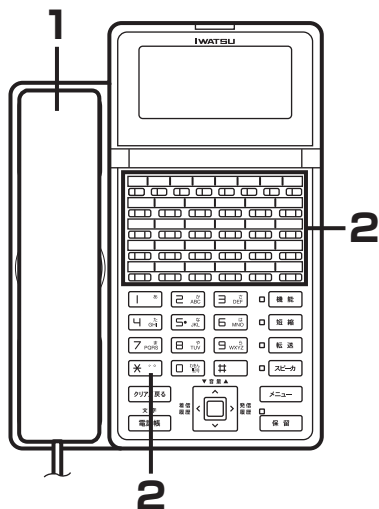
- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「転送電話」 ボタンを押します。
- 3 ディスプレイに転送先の電話番号が表示されます。



Note

- 「転送電話」 ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

転送電話の取り消し方法



- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「転送電話」、「*」 ボタンの順に押します。
※取り消しが完了すると確認音が聞こえます。

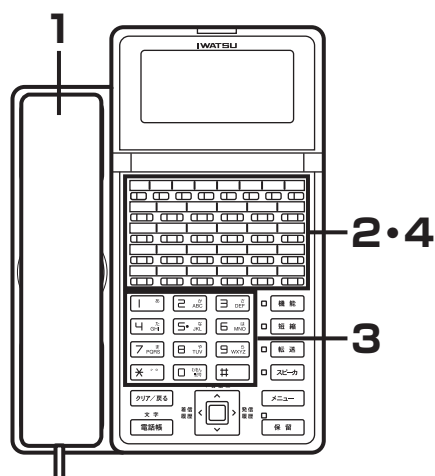


Note

- 転送先電話番号の確認は、登録を行った多機能電話機からしかできません。
- 転送電話の取り消しは、登録を行った多機能電話機からしかできません。
- 転送電話登録中は「転送電話」ボタンが赤色に点灯します。
- 「転送電話」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

ダイヤルインの着番号に従って着信を外線に転送する〈着番号毎転送〉

NTTのダイヤルインサービスを利用して、外部のある電話機に転送することができます。



転送先の登録方法

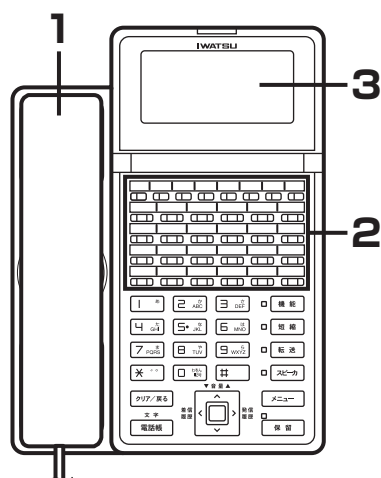
- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「DIN転送」 ボタンを押します。
- 3 転送先の電話番号（48桁以内）を押します。
※ 短縮ダイヤルの場合は「短縮」ボタンを押し、続けて転送先の共通短縮番号をダイヤルします。
※ 相手の電話番号の他にポーズ（休止）時間を秒単位（1～9）で設定することもできます。「保留」ボタンを押し、続けて秒数に該当する「1」～「9」の数字ボタンを押します。
- 4 「DIN転送」 ボタンを押します。



Note

- 登録が完了した場合、確認音と「DIN転送」ボタンが赤色に点灯します。
- 以降かかってきた電話は転送されます。
- 転送できるためにはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- NTTダイヤルインサービスへの加入が必要です。
- 「DIN転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

転送先電話番号の確認方法



- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「DIN転送」 ボタンを押します。
- 3 ディスプレイに転送先の電話番号が表示されます。

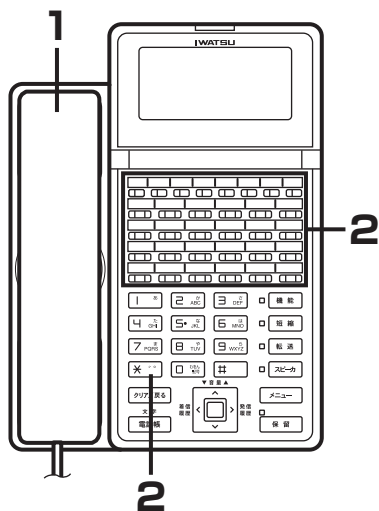


Note

- 上記手順操作以降に転送先電話番号を変更したい場合は、続けて「転送先の登録方法」手順（3）以降の操作で変更します。
- 「DIN転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

ダイヤルインの着番号に従って着信を外線に転送する〈着番号毎転送〉

転送先電話番号の取り消し方法



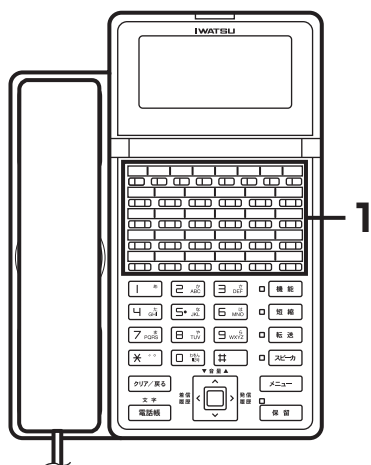
1 受話器を取り上げます。

2 「DIN転送」、「*」ボタンの順に押します。

Note

- 取り消しが完了した場合、確認音が聞こえ、「DIN転送」ボタンが消灯します。
- 取り消しが行えるのは、登録されている場合のみです。
- 「DIN転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

転送の一時解除方法



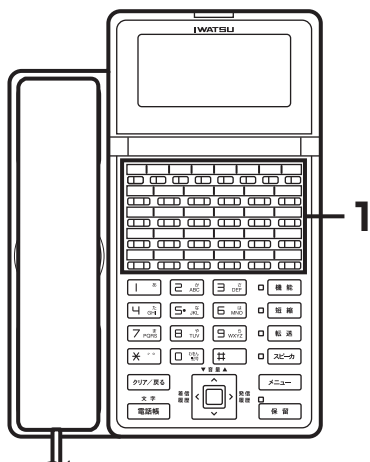
1 赤色に点灯中の「DIN転送」ボタンを押します。

Note

- 一時解除が完了した場合、「DIN転送」ボタンが消灯します。
- 一時的に転送することをやめますので、以降かかってきた電話は転送されません。
- 一時解除が行えるのは、登録されている場合のみです。
- 外出先から帰ってきたときに便利です。
- 「DIN転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

転送の開始方法

- 1 消灯している「DIN転送」ボタンを押します。



Note

- 転送開始が完了した場合、「DIN転送」ボタンが赤色に点灯します。
- 以降かかってきた電話は転送されます。
- 転送開始が行えるのは、登録されている場合のみです。
- 外出するときに便利です。
- 「DIN転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

ダイヤルインの着番号に従って着信を外線に転送する〈着番号毎転送〉

外出先から転送先変更／登録方法

- 1 外出先のサブアドレス発信ができる電話機から、転送登録されている電話番号を押します。
- 2 「サブアドレス」ボタン（電話機によって異なります）を押します。
- 3 「リモート特番」を押します。
- 4 「2」ボタン（登録種別＝転送先変更・登録）を押します。
- 5 転送先の電話番号を押します。
- 6 「発信」ボタン（電話機によって異なります）を押します。



Note

- 「リモート特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- ISDN公衆電話等からご利用になれません。

外出先から転送先の取り消し方法

- 1 外出先のサブアドレス発信ができる電話機から、転送登録されている電話番号を押します。
- 2 「サブアドレス」ボタン（電話機によって異なります）を押します。
- 3 「リモート特番」を押します。
- 4 「3」ボタン（登録種別＝転送先取り消し）を押します。
- 5 「発信」ボタン（電話機によって異なります）を押します。



Note

- 「リモート特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

外出先から転送の一時解除方法

- 1 外出先のサブアドレス発信ができる電話機から、転送登録されている電話番号を押します。
- 2 「サブアドレス」ボタン（電話機によって異なります）を押します。
- 3 「リモート特番」を押します。
- 4 「0」ボタン（登録種別＝転送一時解除）を押します。
- 5 「発信」ボタン（電話機によって異なります）を押します。



Note

- 「リモート特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

ダイヤルインの着番号に従って着信を外線に転送する〈着番号毎転送〉

外出先から転送の開始方法

- 1 外出先のサブアドレス発信ができる電話機から、転送登録されている電話番号を押します。
- 2 「サブアドレス」ボタン（電話機によって異なります）を押します。
- 3 「リモート特番」を押します。
- 4 「1」ボタン（登録種別＝転送開始）を押します。
- 5 「発信」ボタン（電話機によって異なります）を押します。

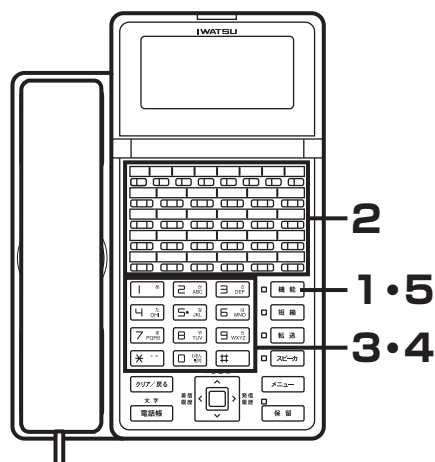


Note

- 操作が正常に完了した場合、呼出音となります。またできなかった場合は話中音となります。
- この操作はISDN回線に限り行えて、携帯電話等からは行えません。
- 登録操作するためには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「リモート特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイサービス（NTTとの契約が必要です）を利用して相手先の名称を表示することができます。



相手先の電話番号の登録方法

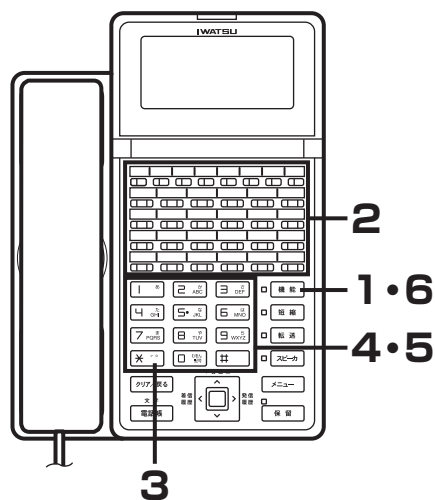
- 1 受話器を置いたまま「機能」ボタンを押します。
- 2 「呼び返し」ボタンを押します。
- 3 登録番号（001～999）を押します。
- 4 相手先の電話番号（12桁以内）を押します。
相手先の電話番号は市外局番を含めて入力してください。
〈例〉相手先が大阪の場合は、「0」「6」…と押します。
- 5 「機能」ボタンを押します。
続けて「相手先名の登録方法」に従って相手先名を登録してください。



Note

- ・「呼び返し」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- ・相手先の電話番号および相手先名は指定電話機で登録します。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ・夜間切り替え（6-16ページ）で夜間モードのときに対象とする相手先の電話番号および相手先名は登録番号501～999で登録します。
- ・手順（3）で登録番号のかわりに「#」ボタンを押すと、空いている登録番号が自動的に検索されディスプレイに表示されます（空きが無い場合は000が表示されます）。空き登録番号が検索できたら、その登録番号で手順（1）から登録してください。
- ・ISDN回線の場合は、短縮ダイヤルに登録されている相手先名も表示することができます。

ナンバー・ディスプレイ



Note

- 相手の電話番号および相手先名は、指定電話機で登録します。指定電話機は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

相手先名の登録方法

- 1 受話器を置いたまま「機能」ボタンを押します。
- 2 「呼び返し」ボタンを押します。
- 3 「*」ボタンを押します。
- 4 登録番号（001～999）を押します。
- 5 相手先名（16文字以内）を入力します。
※ 文字入力の詳細については、「文字の入力方法」（3-30ページ）を参照してください。
- 6 「機能」ボタンを押します。

迷惑電話防止

システムに拒否番号として登録された番号からの着信を拒否します。

拒否された番号からの着信があると、電話機が鳴音することなく、システムがおことわりメッセージを自動再生するか、相手に対して話し中状態に接続することで、迷惑電話に対応する必要がなくなります。

迷惑電話の登録方法

- 通話中の相手を登録するには

- 1 外線と通話の状態で「迷惑電話防止」ボタンを押します。

- あらかじめ電話番号がわかっている時の登録方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

- 2 「迷惑電話防止」ボタンを押します。

- 3 「9」を3回押します。

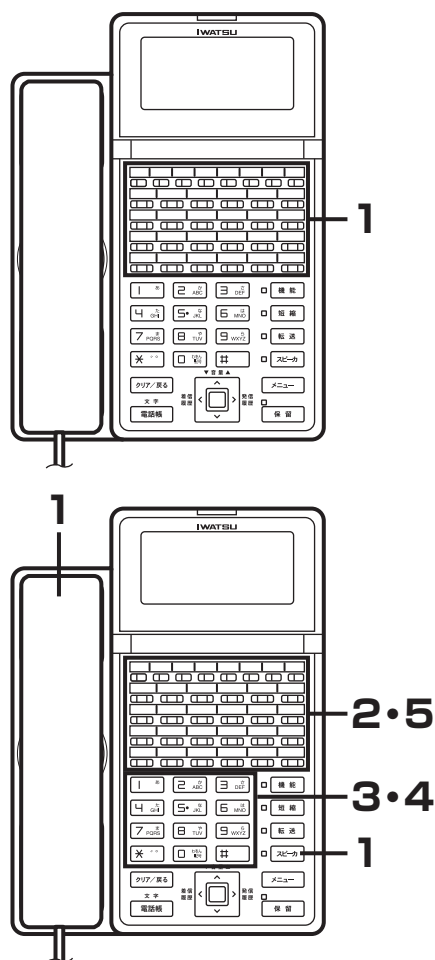
- 4 登録する電話番号をダイヤルします。
※ 登録できるダイヤルは16桁までです。

- 5 「迷惑電話防止」ボタンを押します。



Note

- ・ NTTのナンバー・ディスプレイ契約が必要となります。
- ・ 外線との通話状態でボタン電話機のLCDに相手番号が表示されている場合のみその操作が有効となります。
- ・ 相手から電話番号が通知されない着信を拒否したい場合は、あらかじめデータ設定が必要です。
- ・ 「迷惑電話防止」ボタンは、データ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



迷惑電話の確認方法

- 1 受話器を置いた状態で、「迷惑電話防止」ボタンを押します。

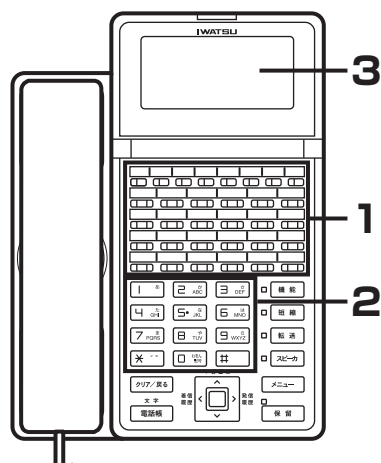
- 2 登録番号 (001~200) 3桁を押します。

- 3 ボタン電話機のLCDに、登録番号 (001~200) と、登録電話番号が表示されます。

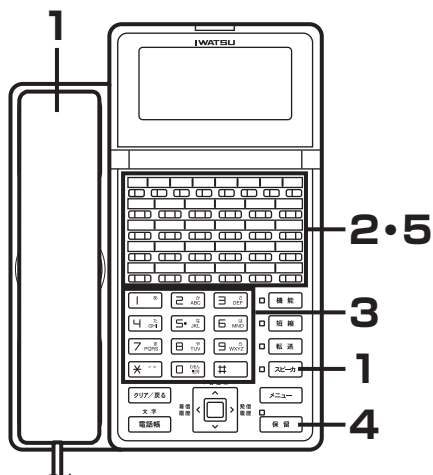


Note

- ・ 登録番号が不明な場合は、最若登録番号 (001) を押した後、「(※)」ボタンを押すことで、次情報が表示されます。
- ・ 「(＃)」ボタンを押すことで、前情報が表示されます。



迷惑電話防止



迷惑電話の取り消し方法

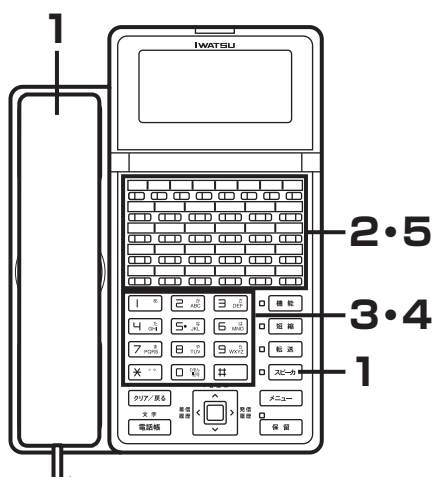
- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「迷惑電話防止」ボタンを押します。
- 3 登録番号（001～200）3桁を押します。
- 4 現在、登録されている電話番号が表示されている状態で、「保留」ボタンを押します。
- 5 上記操作で、LCD上の電話番号がクリアされた状態で、「迷惑電話防止」ボタンを押します。



Note

- 迷惑電話登録した電話番号をすべて消去する場合、「迷惑電話防止」ボタンを押した後、「9」「8」「7」をダイヤルします。その後ディスプレイに“ゼンジョウ”と表示されますので「迷惑電話防止」ボタンを押してください。

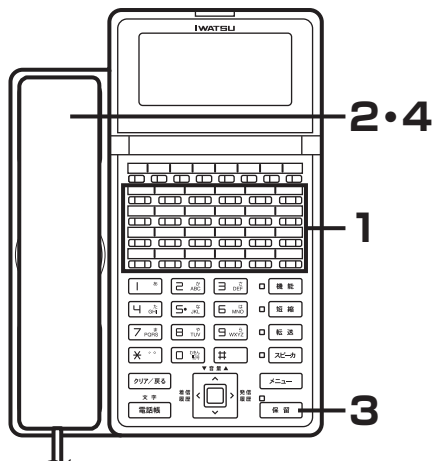
迷惑電話の上書き方法



- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「迷惑電話防止」ボタンを押します。
- 3 登録番号（001～200）3桁を押します。
- 4 現在、登録されている電話番号が表示されている状態で、登録する電話番号を再ダイヤルします。
- 5 上記操作で、再登録されている電話番号が表示されている状態で、「迷惑電話防止」ボタンを押します。

擬似話中返し

ISDN回線を利用しているユーザにて、夜間など着信数を減らしたい場合、着信拒否したい局線を設定することにより、着信数を制限することができます。



擬似話中の登録方法

- 1 空いている「外線」ボタンを押します。
「外線」ボタンが緑色に点滅します。
- 2 受話器を取り上げます。
「ツー」という発信音が聞こえます。
※手順(2)→(1)の順でもかかります。
- 3 「保留」ボタンを押します。
- 4 受話器を置きます。

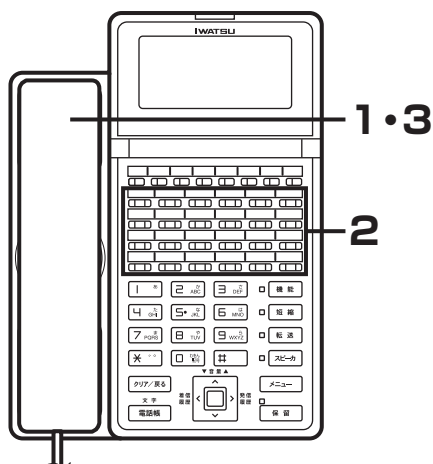


Note

- 擬似話中の局線は、通常の局線保留中と同じ表示になります。

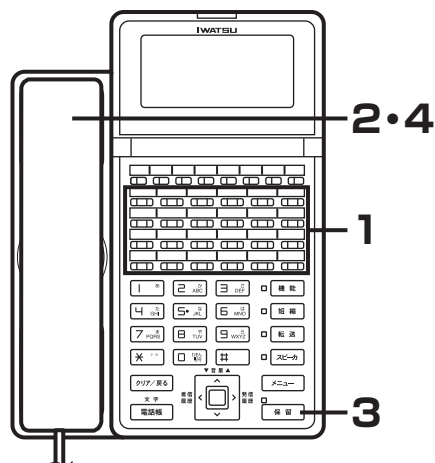
擬似話中の解除方法

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 擬似話中の「外線」ボタンを押します。
- 3 受話器を置きます。



ダイヤルイン回線擬似話中

ISDN／IP回線、ダイヤルイン回線を利用しているユーザにて、夜間など着信数を減らしたい場合、着信拒否したいダイヤルインキーを設定することにより、着信数を制限することができます。



ダイヤルイン回線の擬似話中の登録方法

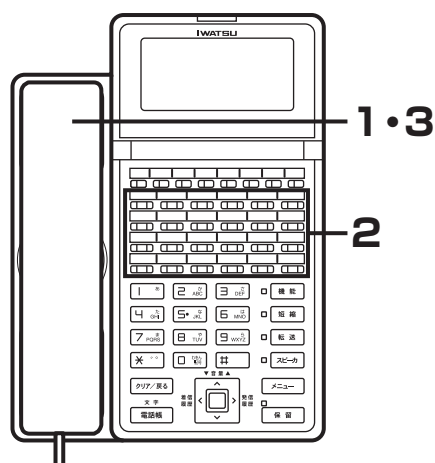
- 1 空いている「ダイヤルイン」ボタンを押します。
「ダイヤルイン」ボタンが緑色に点滅します。
- 2 受話器を取り上げます。
「ツー」という発信音が聞こえます。
※手順2→1の順でも可能です。
- 3 「保留」ボタンを押します。
登録が完了すると確認音が聞こえます。
- 4 受話器を置きます。



Note

- 擬似話中のダイヤルインボタンは、通常の局線保留中と同じ表示になります。

ダイヤルイン回線擬似話中の解除



- 1 受話器を取り上げます。
- 2 擬似話中の「ダイヤルイン」ボタンを押します。
解除が完了すると確認音が聞こえます。
- 3 受話器を置きます。

オフフックトランクキューイング

捕捉しようとした外線が使用中の場合に、受話器を取り上げた状態のままや、「スピーカ」ボタンを押した状態のままで、外線が空くのを待つことができます。



Note

- データ設定により、あらかじめ登録された時間を経過すると、自動的に解除されます。

プライムステーション

鳴音電話機がない場合にも、外線着信に応答することができます。鳴音電話機がない場合は、プライムステーションが鳴ります。

※プライムステーションについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線着信鳴音指定／外線代表着信／スライド着信

外線着信音を鳴らす電話機を指定することができます。

● 外線着信鳴音指定

各外線ごとに外線の着信を鳴らす電話機を指定することができます。

Note

- 着信音を鳴らす電話機は、1つの外線に対して夜間モード、昼間モードの各モードで最大32台までです。
- 通話中、内線呼び出し中、不在転送設定中、着信拒否中、不在メッセージ登録中または強制切断の場合は、外線着信鳴音指定されている電話機でも鳴りません。
- 鳴音する電話機は、外線代表着信やスライド着信が設定されているときでも鳴り続けます。

● 外線代表着信

内線グループ内の空いている電話機を選択して、外線の着信音を鳴らすことができます。

Note

- 着信鳴音設定されている電話機は、本機能に関係なく着信時に鳴ります。
- 着信音を鳴らす代表着信グループは、外線ごとの夜間モード、昼間モードの各モードで1つだけです。
- 通話中、内線呼び出し中、不在転送設定中、着信拒否中、不在メッセージ登録中または強制切断の場合は、外線代表着信指定されている同一グループの電話機でも鳴りません。
- 外線ごとに着信させる代表着信グループ番号を、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

● スライド着信

指定した電話機が応答しない場合に、他の電話機に着信を回すことができます。外線着信鳴音指定した電話機が一定時間以上応答しない場合に、最大32台の電話機に着信を回すことができます。

Note

- スライド着信できるのは、一般着信およびダイヤルイン着信（複数の電話機への着信）だけです。
- スライド着信で鳴音する電話機は、一般回線の場合は回線ごと、ダイヤルイン回線の場合はダイヤルイン番号ごとに指定することができます。また、昼間モード・夜間モードのそれぞれで指定することもできます。
- 通話中、内線呼び出し中、不在転送設定中、着信拒否中、不在メッセージ登録中または強制切断の場合は、外線着信鳴音指定されている電話機でも鳴りません。
- スライドするまでの時間、およびスライド着信先の電話機を、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線着信方式

外線の着信先を簡易中継台に集めたり、内線電話機に分散したり、あるいは両方に着信させることができます。

着信鳴音優先順位

呼び出し機能には以下のような優先順位がきめられています。ただし、同じ呼び出しが同時に入っている場合は、着信順となります。

優先順位	呼び出し状態	優先順位	呼び出し状態
0	優先内線着信（音声）	8	外線着信
1	優先内線着信（トーン）	9	内線キャンプオン
2	内線音声呼び出し	10	外線コールバック
3	タイムコール	11	内線コールバック
	モーニングコール	12	内線トーン呼び出し
4	転送保留リコール	13	ドアホン
5	外線リコール	14	ページング
6	外線着信アラーム	15	BGM
7	外線キャンプオン		



Note

- ・強制呼び出しができる内線電話機の呼び出しは最優先します。

簡易着信呼均等分配（簡易ACD）

外線着信に対し設定した応答時間を超えると、システムが自動的に応答してメッセージを流すようにすることができます。



Note

- 簡易ACDを行う外線、応答時間は、データ設定により、登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



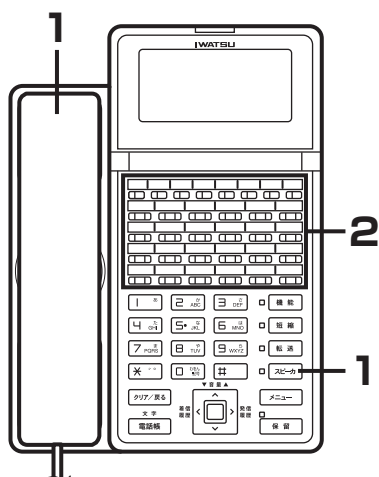
注意

- 切断信号が検出されない外線では、データ設定された時間で強制切断されますのでご注意ください。

夜間切り替え／分散切り替え

- データ設定により、あらかじめ登録されている時刻に着信音を鳴らす電話機および外線応答規制を切り替えられます。
- 指定電話機で着信音を鳴らす電話機および外線応答規制を手動で切り替えられます。

夜間切り替え方法



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「夜間切り替え」ボタンを押します。
※切り替えが完了すると、「ププププッ」という確認音が聞こえます。

●夜間モード状態のとき

「夜間切替」ボタンが赤色で点灯し、ディスプレイにナイトモードマークが表示されます。

●昼間モード状態のとき

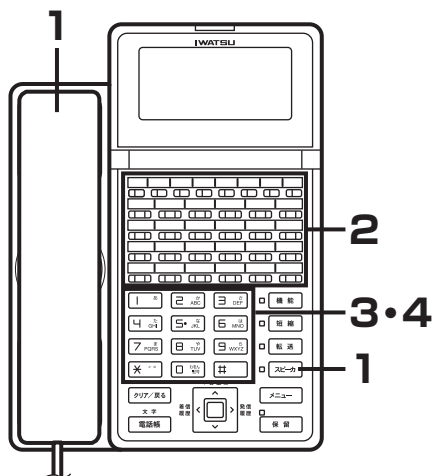
「夜間切替」ボタンが消灯し、ディスプレイのナイトモードマークの表示が消えます。



Note

- ・あらかじめ登録した時間により自動的に切り替えを行うことができます。
- ・外線使用中にモードを変更すると、その外線が空になった時点で、新しい設定モードに切り替わります。
- ・「夜間切り替え」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- ・夜間切り替えの昼間／夜間モードは、あらかじめ登録したスケジュールによって、自動的に切り替えることができます。スケジュールの登録は、「メニュー」操作で行うことができます。

分散切り替え方法



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「分散切り替え」ボタンを押します。

3 外線グループ番号（3桁）を押します。

4 モード番号（「1」または「2」ボタン）を押します。

●昼間モード → 「1」ボタン

●夜間モード → 「2」ボタン

※切り替えが完了すると確認音が聞こえます。

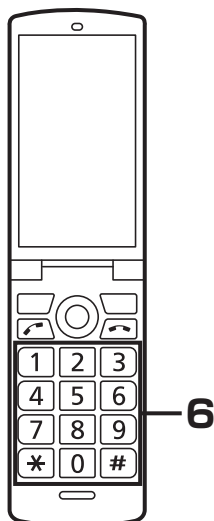


Note

- ・昼間モード、夜間モードで着信音を鳴らす電話機は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ・夜間切り替えと分散切り替えを併用する場合、夜間切り替えが昼間モードのときのみ、分散切り替えの昼間／夜間モードの切り替えが有効になります。
- ・外線使用中にモードを変更すると、その外線が空になった時点で、新しい設定モードに切り替わります。
- ・「分散切り替え」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- ・分散切り替えの昼間／夜間モードは、外線グループまたはダイヤルイングループごとにあらかじめ登録したスケジュールによって、自動的に切り替えることができます。スケジュールの登録は、「メニュー」操作で行うことができます。

ワン切りコールバック（システム機能アクセス）

特定の許可された外部電話機から、プッシュ信号にてシステムの機能を利用することができます。



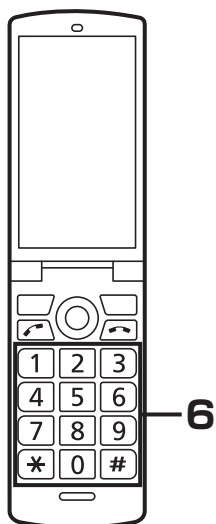
Note

- ワン切りコールバックを行うには、あらかじめご利用になる外線電話機の電話番号などをシステムに登録する必要があります。
- システム全体の共通短縮を（0000～8999）または（000～899）にデータ設定する必要があります。
- 登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 発番号非通知設定の外線電話機からは186を付与してBizモバイル対象回線にダイヤルしてください。
- 手順（2）で呼び出しを継続した場合は、一定時間経過後、網側から切断されます。
- 手順（5）で何も操作しないときの動作は、データ設定で指定することが出来ます。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

内線電話機を呼び出す

Bizモバイルリンク対象回線に外からダイヤルし、呼出音が聞こえたら電話を切ります。その後、システムからのコールバックに应答すると、内線電話機を直接呼び出すことができます。

- 1 外出先からBizモバイルリンク対象回線に発信します。
- 2 外線呼出音が聞こえたら電話を切ります。
- 3 Bizモバイルリンク対象回線から外出先の電話機に着信がかかります。
- 4 外出先の電話機で着信に应答します。
- 5 「ツツツツツ」 という内線発信音が聞こえます。
- 6 呼び出し先の内線番号をダイヤルします。
※ このとき「#」ボタンを2回押すと、内線発信音に戻り、呼び出しをキャンセルすることができます。
- 7 呼び出し相手が应答したら、お話しします。



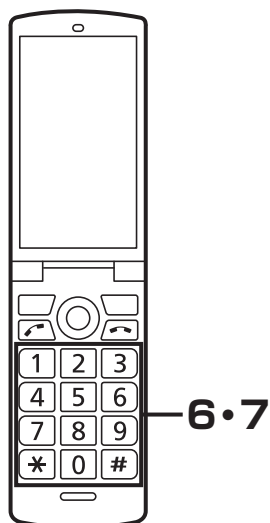
Note

- ワン切りコールバックを行うには、あらかじめご利用になる外線電話機の電話番号などをシステムに登録する必要があります。
- システム全体の共通短縮を（0000～8999）または（000～899）にデータ設定する必要があります。
- 一斉呼び出し、グループ呼び出し、ページング呼び出しを行うには、データ設定により、あらかじめ登録の必要があります。
- 登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 発番号非通知設定の外線電話機からは186を付与してBizモバイル対象回線にダイヤルしてください。
- 手順（2）で呼び出しを継続した場合は、一定時間経過後、網側から切断されます。
- 手順（5）で何も操作しないときの動作は、データ設定で指定することが出来ます。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

内線電話機の一斉呼び出し、グループ呼び出し、ページング呼び出しを行う

- 1 外出先からBizモバイルリンク対象回線に発信します。
- 2 外線呼出音が聞こえたら電話を切ります。
- 3 Bizモバイルリンク対象回線から外出先の電話機に着信がかかります。
- 4 外出先の電話機で着信に応答します。
- 5 「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 6 「一斉呼び出し特番」、「グループ呼び出し特番」または「ページング呼び出し特番」をダイヤルします。
※ このとき「#」ボタンを2回押すと、内線発信音に戻り、呼び出しをキャンセルすることができます。
- 7 呼び出し相手が応答したら、お話しします。

ワン切りコールバック（システム機能アクセス）

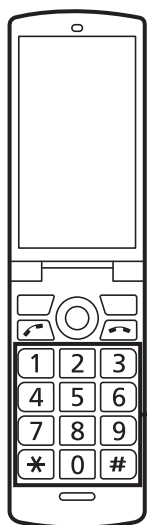


Note

- ワン切りコールバックを行うには、あらかじめご利用になる外線電話機の電話番号などをシステムに登録する必要があります。
- システム全体の共通短縮を（0000～8999）または（000～899）にデータ設定する必要があります。
- 外線アクセス番号、外線グループアクセス番号をダイヤルするには、データ設定によりあらかじめ登録必要があります。
- 登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 発番号非通知設定の外線電話機からは186を付与してBizモバイル対象回線にダイヤルしてください。
- 手順（2）で呼び出しを継続した場合は、一定時間経過後、網側から切断されます。
- 手順（5）で何も操作しないときの動作は、データ設定で指定することが出来ます。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線発信またはグループ外線発信を行う

- 1 外出先からBizモバイルリンク対象回線に発信します。
- 2 外線呼出音が聞こえたら電話を切ります。
- 3 Bizモバイルリンク対象回線から外出先の電話機に着信がかかります。
- 4 外出先の電話機で着信に応答します。
- 5 「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 6 外線アクセス番号または外線グループアクセス番号をダイヤルします。
- 7 相手の電話番号をダイヤルします。
- 8 呼び出し相手が応答したら、お話しします。



6・7

Note

- ワン切りコールバックを行うには、あらかじめご利用になる外線電話機の電話番号などをシステムに登録する必要があります。
- システム全体の共通短縮を（0000～8999）または（000～899）にデータ設定する必要があります。
- 短縮番号は、システム全体の共通短縮（0000～8999）と（000～899）、個別短縮（9000～9499）と（900～999）がご利用になれますが、データ設定により、あらかじめ登録の必要があります。
- 登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 発番号非通知設定の外線電話機からは186を付与してBizモバイル対象回線にダイヤルしてください。
- 手順（2）で呼び出しを継続した場合は、一定時間経過後、網側から切断されます。
- 手順（5）で何も操作しないときの動作は、データ設定で指定することが出来ます。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

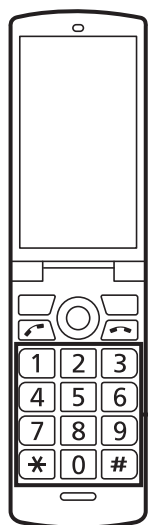
外線短縮発信を行う

- 1 外出先からBizモバイルリンク対象回線に発信します。
- 2 外線呼出音が聞こえたら電話を切ります。
- 3 Bizモバイルリンク対象回線から外出先の電話機に着信がかかります。
- 4 外出先の電話機で着信に応答します。
- 5 「ツツツツツ」 という内線発信音が聞こえます。
- 6 そのままの状態ですべての「*」をダイヤルします。
- 7 つづいてシステム短縮番号または個別短縮番号をダイヤルします。
- 8 呼び出し相手が応答したら、お話しします。

7

外線機能編

ワン切りコールバック（システム機能アクセス）



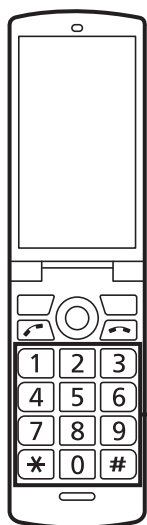
6・7

 Note

- ワン切りコールバックを行うには、あらかじめご利用になる外線電話機の電話番号などをシステムに登録する必要があります。
- システム全体の共通短縮を（0000～8999）または（000～899）にデータ設定する必要があります。
- グループ内代理応答特番、拡張グループ内代理応答特番は、データ設定により、あらかじめ登録する必要があります。
- 登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 発番号非通知設定の外線電話機からは186を付与してBizモバイル対象回線にダイヤルしてください。
- 手順（2）で呼び出しを継続した場合は、一定時間経過後、網側から切断されます。
- 手順（5）で何も操作しないときの動作は、データ設定で指定することが出来ます。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

着信代理応答を行う

- 1 外出先からBizモバイルリンク対象回線に発信します。
- 2 外線呼出音が聞こえたら電話を切ります。
- 3 Bizモバイルリンク対象回線から外出先の電話機に着信がかかります。
- 4 外出先の電話機で着信に応答します。
- 5 「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 6 グループ内代理応答特番または拡張グループ内代理応答特番をダイヤルします。
- 7 お話します。



6・7

Note

- ワン切りコールバックを行うには、あらかじめご利用になる外線電話機の電話番号などをシステムに登録する必要があります。
- システム全体の共通短縮を（0000～8999）または（000～899）にデータ設定する必要があります。
- パークオービット番号はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- パークオービット番号は、主装置がMタイプの場合最大60個、主装置がLタイプの場合最大250個が登録できます。主装置のタイプについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 発番号非通知設定の外線電話機からは186を付与してBizモバイル対象回線にダイヤルしてください。
- 手順（2）で呼び出しを継続した場合は、一定時間経過後、網側から切断されます。
- 手順（5）で何も操作しないときの動作は、データ設定で指定することが出来ます。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

グループパーク保留応答を行う

- 1 外出先からBizモバイルリンク対象回線に発信します。
- 2 外線呼出音が聞こえたら電話を切ります。
- 3 Bizモバイルリンク対象回線から外出先の電話機に着信がかかります。
- 4 外出先の電話機で着信に応答します。
- 5 「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 6 パークオービット番号をダイヤルします。
- 7 お話しします。

音声応答自動振分機能（IVR）

オプション

音声応答自動振分機能（IVR）概要

外線着信に対して音声応答自動振分機能（IVR：Interactive Voice Response）（以下、「IVR」と称します）による案内サービスをご利用いただくことができます。

システムが自動応答したあとに、操作ダイヤルをプッシュ信号によりダイヤルすることで、様々な用途の機能をご利用いただけます。

LEVANCIOのIVRは、次の機能を使用することができます。

● 自動応答

外線からの着信に自動的に応答します。

● シナリオ実行

次の項目で構成されたシナリオを実行します。

※ 最大50種類のシナリオが使用できます。また、階層（段数）の制限なく自由にシナリオを組み合わせることができるので、様々な用途で本機能をご利用いただけます。

• 音声案内

音声ガイダンスを再生し、操作を案内します。

• 操作受付

発信者が操作したダイヤルを受け付け、ダイヤルに設定された機能を実行します。音声ガイダンス再生中に操作を受け付けることもできます。

• 無操作監視

一定時間ダイヤル操作がなかった場合に設定された機能を実行します。

● 機能実行

操作受付／無操作監視で実行できる機能は次のとおりです。

• 内線呼び出し

内線電話機を呼び出します。内線代表呼び出しや、複数の内線電話機を同時に呼び出すこと（複数台内線呼び出し）もできます。

• 外線転送（短縮発信）

システム短縮発信機能を利用して、着信を外線に転送することができます。

※ 特定の用件の着信を他の営業所に転送する場合などに便利です。

• シナリオ実行

次のシナリオの実行や、直前に実行したシナリオの再実行を行うことができます。

※ シナリオの機能実行から他のシナリオを実行することで、階層による案内を行うことができます。

• 切断

音声で「終了しました」と案内したあと、外線を切断します。

● 受付操作表示

内線呼び出しによる着信時、発信者がダイヤル操作によって選択したシナリオの番号と最後に操作したダイヤルを、電話機のディスプレイで確認できます。

※ ディスプレイに表示されるシナリオ番号と最終操作ダイヤルを、シナリオの内容を示す資料と照らし合わせることで、発信者の用件がわかります。電話対応を簡略化でき、かつ的確な対応を行うことができます。

※ 受付操作表示が行える電話機は、LEVANCIO KT のみです。

● 留守録関係

呼び出しを受ける内線電話機が話し中の場合や離席中などで呼び出しに応答できなかった場合に、ボイスメールの留守録に音声で用件を残していただくことができます。

●スケジュール

曜日ごとにIVR を利用する時間帯を登録することで、自動的にIVR 機能を開始／停止させることができます。

※ 営業時間などに合わせて時間帯ごとに異なるシナリオを実行させることもできるので、細やかなサービスを提供できます。

●音声ガイダンス登録

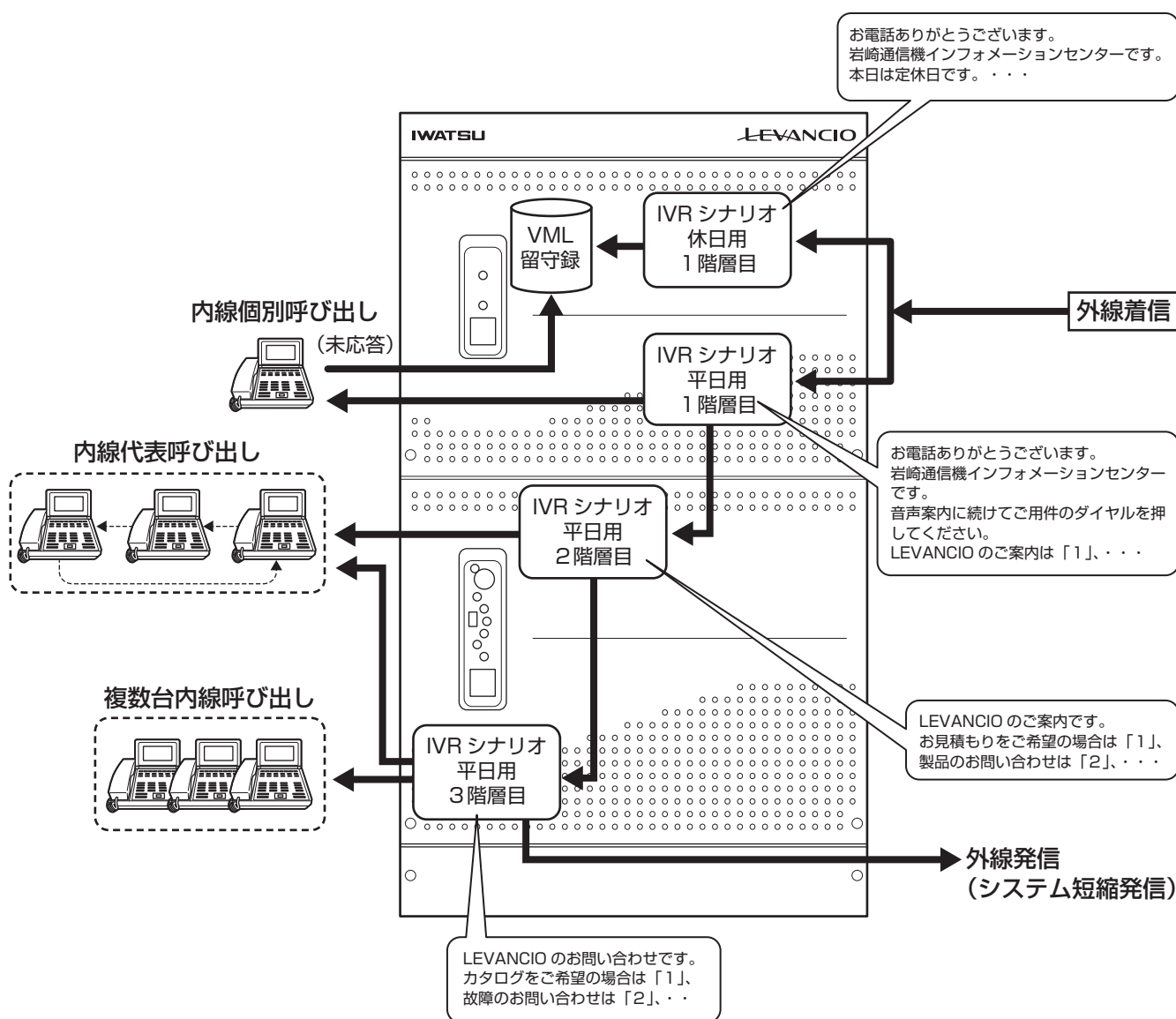
音声ガイダンスを録音することができます。(1ガイダンス最大2分)

※ ユーザ様の用途に応じた独自の音声ガイダンスをご利用いただけるので、オリジナルな操作案内を提供することができます。

操作を案内するガイダンスは、ユーザ様に適した可変ガイダンスをあらかじめご準備いただき、ご利用ください。

なお、操作結果をお知らせする固定ガイダンスは用意されています。

IVRの動作例



Note

- IVR 機能を使用するためには、IVR チャンネルライセンスが必要です。また、可変ガイダンスの録音を行うためにはVML 録音時間ライセンス、留守録連携を行うにはVML チャンネルライセンスおよびVML 録音時間ライセンスが必要です。各ライセンスについては、お買い求めの販売店にお問合せください。

音声応答自動振分機能（IVR）

オプション

IVR可変ガイダンス

IVR用に次の固定ガイダンスが用意されています。

可変ガイダンスをご利用の場合は、「可変ガイダンスの録音方法」（5-6ページ）に従って、各ガイダンスに対応するガイダンスを録音してください。

● 固定ガイダンス一覧

操作結果	固定ガイダンス	可変ガイダンスのメッセージ番号と 可変ガイダンスの内容
呼出開始	ただいま呼び出しを行っていますので、 恐れ入りますがそのままの状態 しばらくお待ちください。	
呼出失敗 (不正番号)	おつなぎできませんでした。	
呼出失敗 (呼出不可)	おつなぎできませんでした。	
呼出失敗 (呼出タイムアウト)	おつなぎできませんでした。	
呼出失敗 (リトライアウト)	ただいま大変電話がこみあっています。 後ほどお掛け直してください。	
未定義操作	番号が違います。	
サービス提供不可	このサービスは、ご利用になれません。	
強制終了	終了しました。	

**Note**

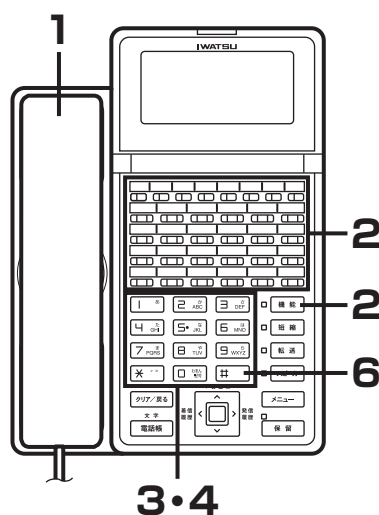
- 可変ガイダンスの録音を行うためにはVML 録音時間ライセンスが必要です。ライセンスについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 可変ガイダンスのメッセージ番号は、可変ガイダンスを録音／再生／消去する際に入力が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

可変ガイダンスを登録する

可変ガイダンスの録音／再生／消去ができます。

Note

- 可変ガイダンスの登録（録音／再生／消去）は、簡易中継台および一般ボタン電話機で操作することができます。
- 可変ガイダンスの登録は、複数の電話機で同時に行うことはできません。他の電話機が可変ガイダンスの登録を行っているときに可変ガイダンスの登録操作を行うと、警告音が生じます。
- 着信に対して可変ガイダンスを送出しているときは、可変ガイダンスの登録を行うことはできません。また、可変ガイダンス登録中にIVR が動作すべき着信を受けた場合、着信に対して可変ガイダンスが送られませんのでご注意ください。
- 可変ガイダンスの登録は、IVR 停止状態のときに行ってください。
- 停電時などシステムがバッテリーで稼働しているときにIVRが動作すべき着信を受けた場合、IVRは動作せずプライムステーションへの着信になります。



●可変ガイダンスの録音方法

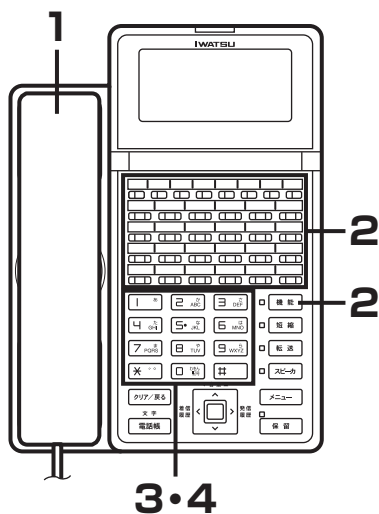
- 1 受話器を取り上げます。**
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「機能」ボタン、「IVRn」ボタンの順に押します。**
- 3 管理者パスワードを押します。**
管理者パスワードが登録されていない場合、管理者パスワードの入力は不要です。
- 4 登録するメッセージ番号(01～50)を押し、続けて「1」ボタンを押します。**
- 5 録音する案内を120秒以内で話します。**
- 6 「#」ボタンを押します。**

Note

- 可変ガイダンスは何度でも吹き替えることができます。
- 「IVRn」ボタンおよび管理者パスワードは、データ設定によりあらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 可変ガイダンスを録音しているときに受話器を置くと、それまでの録音内容は破棄され、録音は終了します。
- 可変ガイダンスを録音しているときに録音上限時間（120秒）に達すると、それまでの録音内容は保存され、録音は終了します。

音声応答自動振分機能 (IVR)

オプション



●可変ガイダンスの確認方法

- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「機能」ボタン、「IVRn」ボタンの順に押します。
- 3 管理者パスワードを押します。
管理者パスワードが登録されていない場合、管理者パスワードの入力は不要です。
- 4 登録するメッセージ番号(01～50)を押し、続けて「2」ボタンを押します。
- 5 録音されている可変ガイダンスを聞くことができます。
可変ガイダンスが録音されていない場合、「録音されていません」と案内されます。

●可変ガイダンスの消去方法

- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「機能」ボタン、「IVRn」ボタンの順に押します。
- 3 管理者パスワードを押します。
管理者パスワードが登録されていない場合、管理者パスワードの入力は不要です。
- 4 登録するメッセージ番号(01～50)を押し、続けて「3」ボタンを2回押します。
- 5 録音されている可変ガイダンスが消去されます。
可変ガイダンスが録音されていない場合は、「録音されていません」と案内されます。



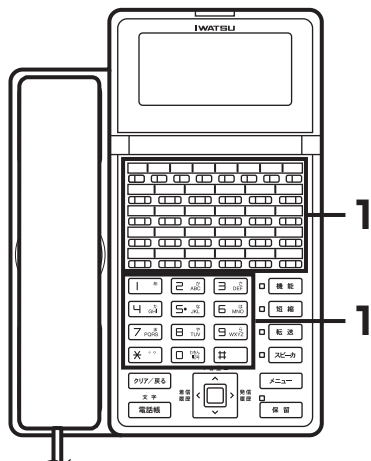
Note

- 「IVRn」ボタンおよび管理者パスワードは、データ設定によりあらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

IVRサービスを開始／停止する

IVRグループごとにIVRサービスの開始／停止を設定できます。

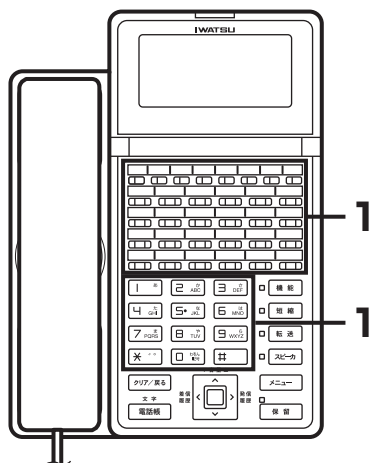
● IVRサービスを開始する



- 1 「IVRn」 ボタンが消灯しているときに受話器を置いた状態で、「IVRn」 ボタン、管理者パスワードの順に押します。

「IVRn」 ボタンが赤色に点灯し、IVRサービスが開始状態になります。
管理者パスワードが登録されていない場合、管理者パスワードの入力は不要です。

● IVRサービスを停止する



- 1 「IVRn」 ボタンが赤色で点灯しているときに受話器を置いた状態で、「IVRn」 ボタン、管理者パスワードの順に押します。

「IVRn」 ボタンが消灯し、IVRサービスが停止状態になります。
管理者パスワードが登録されていない場合、管理者パスワードの入力は不要です。

Note

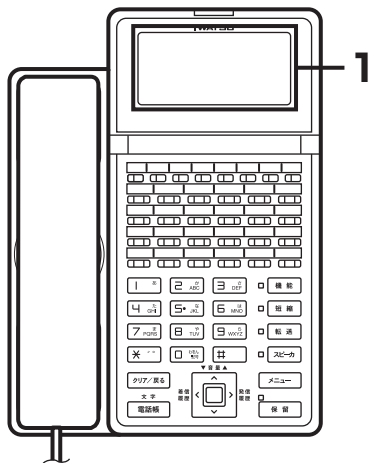
- 「IVRn」 ボタンは、データ設定によりあらかじめ登録が必要です。
- IVR サービス動作中は「IVRn」 ボタンが赤色で点灯し、IVRサービス停止中は「IVRn」 ボタンが消灯します。
- IVR機能の動作スケジュールをデータ設定であらかじめ登録することで、IVRサービスを自動的に開始／停止させることもできます。スケジュールの登録についてはお問い合わせの販売店にお問い合わせください。
- 「IVRn」 ボタンの操作でIVRサービスを開始した状態では、スケジュールによるIVRサービスの開始／停止は動作しません。IVRサービスの開始／停止は次の表のとおりに動作します。

IVRの状態と、 「IVRn」 ボタンの ランプ表示		動作状態の切り替え		
		「IVRn」 ボタン を押す	スケジュールの 開始時間になる	スケジュールの 停止時間になる
停止状態	消灯	手動開始状態	自動開始状態	停止状態継続
自動開始状態 (スケジュールで 開始した状態)	赤色 点滅	停止状態	自動開始状態 継続	停止状態
手動開始状態 (「IVRn」 ボタン で開始した状態)	赤色 点灯	停止状態	手動開始状態 継続	手動開始状態 継続

音声応答自動振分機能 (IVR)

オプション

発信者が選択したシナリオを確認する



1 内線呼び出しによる着信時、発信者がダイヤル操作によって選択したシナリオの番号と最後に操作したダイヤルを、電話機のディスプレイで確認できます。

ディスプレイに表示されるシナリオの番号と最後に操作したダイヤルを、シナリオの内容を示す資料と照らし合わせることで、発信者の用件がわかります。

電話対応を簡略化でき、かつ的確な対応を行うことができます。

受付操作表示が行える電話機は、LEVANCIO KTのみです。

ディスプレイ表示イメージ

アイテサキ 岩 崎 通 信 機

03XXXX1111

IVR: [01>03>02]>1

シナリオ番号

最終操作ダイヤル

- ・ シナリオ番号
発信者が選択したシナリオの番号が表示されます。
4階層以上のシナリオを経由した場合、最後から3階層分のシナリオの番号が表示されます。
- ・ 最終操作ダイヤル
発信者が最後のシナリオで操作したダイヤルが表示されます。

8.IP関連機能編

ご利用いただく前に

■IP多機能電話機/IPNETのセキュリティについて

暗号化などのセキュリティ機能はありません。ルータなどのセキュリティ機能をお使いください。

■音声の品質について

通話中に音声の途切れ、ノイズ、エコーなどがあっても故障ではありません。

- 次の場合、エコーやノイズ、通話の途切れが気になる事があります。
 - ・ ネットワークのデータトラフィックが増大した場合。
 - ・ インターネット経由の場合。
 - ※契約しているプロバイダなどの環境にも影響されます。(ベストエフォート)
 - ・ ADSL回線をお使いの場合。
 - ※回線を提供しているキャリアにご相談ください。最悪、通話が切れる事もあります。
 - ・ 他の多機能電話機やコードレス電話機を音声で呼出し、内線ハンズフリー応答機能が働く場合。
 - ・ ドアホン通話の場合。
 - ・ 会議通話の場合。
 - ・ ボイスメール装置で通話録音を行う場合。
 - ・ アナログ系の外線や専用線をお使いの場合。
 - ・ 通話中の相手の方が保留した場合の保留音。
 - ・ 転送電話でIP以外の回線で通話した場合。
- お話しが終わって切るときや、外線ボタンを押し替えたときに、異音が瞬間的に出る場合があります。
- IP多機能電話機ではアナログ回線をハンズフリーで発信操作する場合のダイヤルトーンが途切れる事があります。
 - ※マイクOFF、またはミュートボタンを押してお使いください。
- お話している相手の方の周囲騒音が著しく大きいとき、こちらの音声がとどかない事があります。

■IPNETについて

- 通話中に、まれに「ピッ」と音になる事があります。
- FAXをお使いの場合、ネットワーク環境により画像が歪んだり、線が入ったり、改ページが正常でない事などがあります。
- 音声圧縮にG.729をお使いの場合、音声以外（FAX、保留音、PB信号、各種トーン）は歪んで聞こえます。また、FAXやモデムでの通信はできません。

■IP電話サービスについて

- IP電話サービスのための専用ユニットはルーター機能を搭載しています。LAN側に接続したパソコンでインターネット接続が可能ですが、電話機能を優先しているためWANが高速であってもインターネットのデータ通信速度が遅くなる事があります。
- IP電話サービス、IWATSU NET、およびピア・ツー・ピアを「外線」ボタンに割り付けてある場合、イーサケーブルが外れたり、ADSLモデムの電源が切れたとき、対象となるすべての「外線」ボタンが赤色で点灯します。

IP電話サービス

IP電話サービス提供会社と契約することで一般公衆回線と同様に「外線」ボタンに登録し、外線発信、着信保留転送などの各種サービス機能をご利用できます。

- 電話をかけるときは、ISDN回線と同様にダイヤルの最後に「井」ボタンをダイヤルします。また、ダイヤルは市外局番からダイヤルしてください。
- 対応しているIP電話サービス提供会社の情報など、各種情報は次のホームページなどでご確認ください。
<http://www.iwatsu.co.jp/>
- ご契約したIP電話サービス提供会社のホームページなどで、以下の内容をご確認ください。
 - ・発信できないダイヤル（例：110、119などの緊急番号、その他）などの情報。
 - ・その他の注意事項。
- 多機能電話機などに表示される課金は目安であり、正確な内容を表示していません。



Note

- ・IP電話サービスを利用するには、プロバイダ、ADSLなどの回線、IP電話サービスの契約が必要です。
- ・「110番」、「119番」などIP回線で発信しても電話番号により発信できない場合は、あらかじめ登録した外線グループの空き外線を自動的に使用して発信されます。
この場合、一般公衆回線であるため課金されます。また最初に表示していた「外線」ボタンのランプは消灯し、他の「外線」ボタンのランプが緑色で点滅します。
- ・IP電話サービスユニットはあらかじめ取り付けが必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

IWATSU NET

あらかじめダイナミックDNSサービスに電話番号を登録する事で、IP電話サービスの契約がなくてもIWATSU NETに対応した製品どうしでお話しができます。

発信者番号はデータ設定により、あらかじめ登録することで着信表示することができます。



Note

- ・IP電話サービスを利用するには、プロバイダ、ADSLなどの回線の契約、ダイナミックDNSの登録が必要です。
- ・相手先がIWATSU NETに登録されていないとIWATSU NETを使用した発信はできません。相手先が登録していない場合には、あらかじめ登録した外線グループの空き外線を自動的に使用して発信されます。
一般公衆回線を使用した場合は課金されます。また最初に表示していた「外線」ボタンのランプは消灯し、他の「外線」ボタンのランプが緑色で点滅します。
- ・あらかじめ専用のユニットの取り付けが必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

ピア・ツー・ピア

お話ししたい相手の機器のIPアドレスが判明しているとき、かつIPアドレスが変更されることがない場合は、あらかじめ登録したIPアドレス宛に発信することができます。電話番号はデータ設定により、あらかじめ登録しておく必要があります。



Note

- ・IP電話サービスを利用するには、プロバイダ、ADSLなどの回線の契約が必要です。
- ・あらかじめ専用のユニットの取り付けが必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

IPNET

IP網で専用線のようにシステム間で通話ができます。
 発信時は外線として、着信時は内線として扱うことができます。
 専用線に関する機能（7-21ページ）を参照してください。



Note

- IPNETユニットはあらかじめ取り付けが必要です。IP網の条件についてもお買い求めの販売店にお問い合わせください。

IP多機能電話機

IPで接続される電話帳機能の付いた多機能電話機を収容できます。

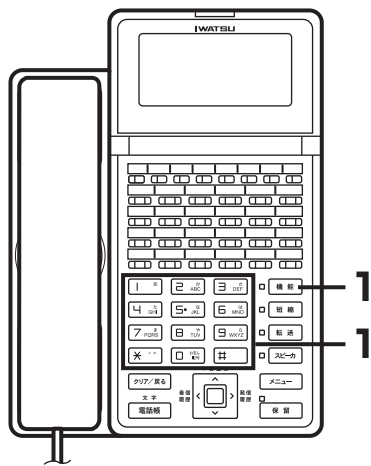


Note

- あらかじめ専用のユニットの取り付けが必要です。IP網の条件についてもお買い求めの販売店にお問い合わせください。

システム情報を確認する

システムのIPアドレス情報（メンテナンスポートやシグナリングポート）を表示できます。



Note

- システム情報は、ボタン電話機のディスプレイに10秒間表示されます。
- 操作した時点で実際にLANポートの設定されている値を表示します。

● メンテナンスポートのIPアドレス情報を表示する

1 受話器を置いたまま、「機能」 + 「9」「1」 ボタンを押します。

2 メンテナンスポートのIPアドレス情報が表示されます。

IX-MCU-N (M-ST) およびIX-MCU-N (L) の場合は、LAN1のアドレスが表示されます。

IX-MCU-N (M-EX) の場合は、LAN6のアドレスが表示されます。

● シグナリングポートのIPアドレス情報を表示する

1 受話器を置いたまま、「機能」 + 「9」「2」 ボタンを押します。

2 シグナリングポートのIPアドレス情報が表示されます。

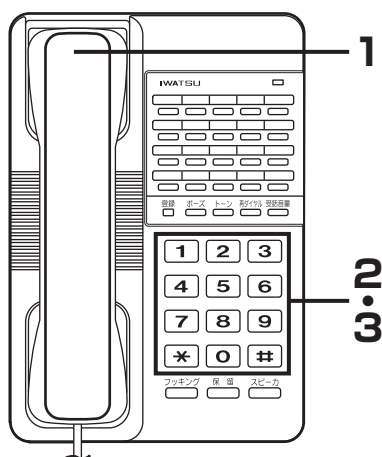
IX-MCU-N (M-ST) およびIX-MCU-N (L) の場合は、LAN2のアドレスが表示されます。

IX-MCU-N (M-EX) の場合は、LAN5のアドレスが表示されます。

9.单独電話機

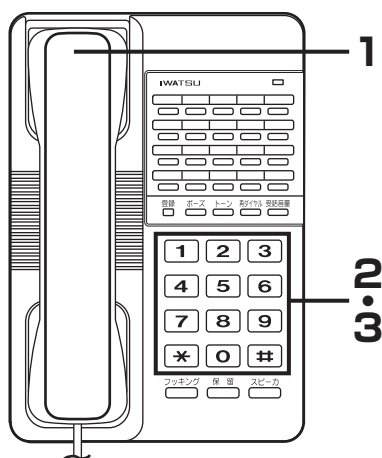
基本操作編

外へ電話をかける〈内線専用機の外線発信〉



Note

- 外線アクセス番号は、外線をアクセスするための番号で、局番とは別に外線ごとに割り当てられます。
- 外線グループアクセス番号とは、グループ分けされている複数の外線全体に割り当てられる番号です。
- 使用できる外線アクセス番号、外線グループアクセス番号は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



Note

- 短縮番号発信用の特番は、データ設定により、登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線発信／グループ外線発信でかけるとき 〈外線発信／グループ外線発信〉

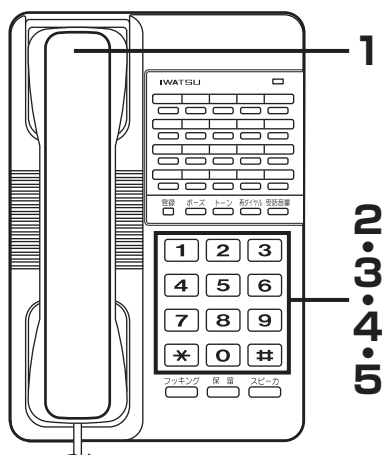
- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 該当する番号を押します。
 - 外線発信の場合
→使用する外線アクセス番号（1～4桁）を押します。
 - グループ外線発信の場合
→使用する外線グループ番号（1～4桁）を押します。「ツー」という発信音に切り替わります。
※該当する外線（グループ内のすべての外線）が使用中の場合は、「ツーツー」という話中音が聞こえます。その場合は受話器を戻し、少し待ってから再び、上記手順（1）から操作してください。

- 3 相手の電話番号をダイヤルします。

- 4 お話します。

短縮ダイヤルでかけるとき〈短縮ダイヤル発信〉

- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「短縮発信特番」を押します。
- 3 相手の短縮番号をダイヤルします。
登録されている電話番号が自動ダイヤルされます。
- 4 お話します。



Note

- 外線グループアクセス番号のある電話機の場合は「グループ有」の特番、外線グループアクセス番号のない電話機の場合は「グループ無」の特番になります。
- 短縮番号登録用の特番は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 個別短縮番号については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

短縮ダイヤルを登録／変更するとき〈短縮ダイヤル登録〉

●登録するとき

1 受話器を取り上げます。

2 「短縮番号登録特番」を押します。

3 登録する短縮番号（90～99）を押します。
※ この短縮番号は電話機ごとに登録できます。
※ システム短縮のデータ設定により、個別短縮番号が異なります。

4 外線グループアクセス番号（1～4桁）を押します。

5 相手の電話番号を押します。
※ 1つの短縮番号には32桁以内で登録ができます。
※ ISDN回線で短縮ダイヤルを利用する場合、押しボタンダイヤル（PB）式をご使用のときは、相手の電話番号のあとに「#」ボタンを登録してください。

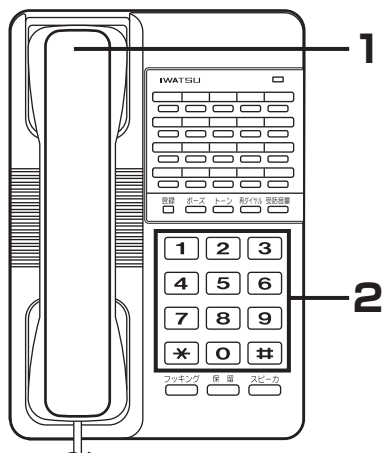
●登録を変更するとき

登録方法の手順を繰り返すことで、自動的に前の登録内容が書き換えられます。

さらに便利な使い方

- 3人または4人で通話できます。〈外線会議通話〉〈複数外線会議通話〉〈外線間会議通話〉…………… 9-15、9-16ページ
- 空いている外線を自動的に探せます。
〈空外線自動捕捉〉〈トランクキューイング〉〈タイムドトランクキューイング〉…………… 9-17、9-19、9-20ページ
- 最後に電話した相手に自動的に発信できます。〈ラストナンバリダイヤル〉…………… 9-18ページ
- ダイヤルしないで特定の相手先に自動的に発信できます。〈外線自動発信〉…………… 9-21ページ

外からの電話を受ける〈外線着信〉



外からの電話を受けるとき〈外線着信指定応答〉

- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 着信している外線アクセス番号を押します。
※外線アクセス番号とは、外線をアクセスするための番号で、局線とは別に外線ごとに割り当てられます。
- 3 お話します。



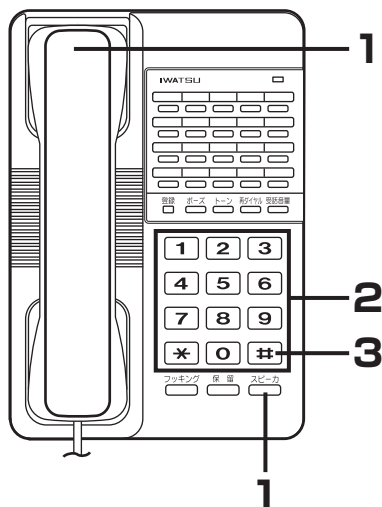
Note

- 外線アクセス番号はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

さらに便利な使い方

- 着信音の鳴る前に電話機を鳴らすことができます。〈プレシグナル〉 9-32ページ
- 受話器を取り上げるだけで応答できます。〈外線着信自動応答〉 9-17ページ
- 通話中でも他からの呼出音を鳴らすことができます。〈話中着信〉 9-14ページ
- 鳴り方で外線を区別できます。〈外線別着信音色指定〉 9-22ページ
- ダイヤルイン方式の着信に他の電話機でも応答できます。〈着信代理応答〉 9-22ページ
- 他の電話機にかかってきた外線に応答できます。〈外線着信グループ応答〉 9-23ページ
- 着信を指定した電話機に転送できます。〈不在転送／話中転送／未応答転送〉 9-27ページ

内部の人を呼び出す〈内線発信〉

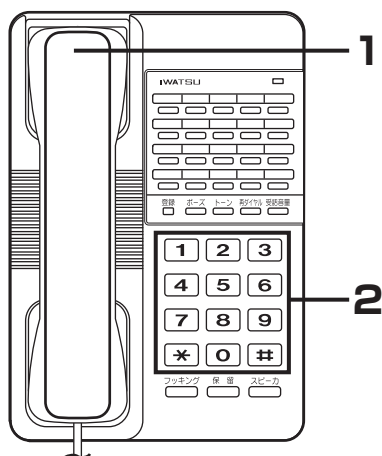


Note

- 内線番号の登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 他の内線電話機を音で呼び出すか、声で呼び出すかは、データ設定により、あらかじめ登録できます。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

内線呼び出し、呼び出しモード変更（トーン／音声）

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」 という内線発信音が聞こえます。
- 2 相手の内線番号（1～4桁）をダイヤルします。
- 3 声で呼び出す場合は「#」ボタンを押します。
※ 受話器で「〇〇さん」のように呼びかけます。
※ 声での呼び出しは、相手が多機能電話機の場合のみ使用できます。
- 4 相手が応答したらお話しします。



Note

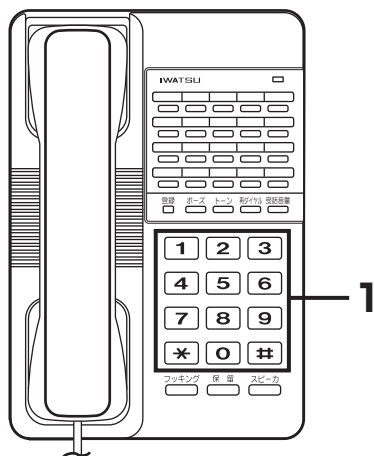
- 内線グループは最大60グループ以内、1グループの電話機は最大32台以内です。
- 主装置がMタイプの場合、内線グループ番号は「最大60」、Lタイプの場合は「最大250」となります。
主装置のタイプについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 内線グループごとの代表番号は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

呼び出したい部署の空いている電話機を呼び出すとき〈内線代表呼び出し〉

- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」 という内線発信音が聞こえます。
- 2 相手の内線グループ（部署など）の代表番号（1～4桁）をダイヤルします。
- 3 内線グループの空き電話機を呼び出します。
- 4 お話しします。

内部の人を呼び出す〈内線発信〉

相手が通話中か応答がなく続けて別の内線を呼び出すとき〈クリアコール／シフトコール〉



1 そのままの状態

- クリアコールの場合
→別の内線番号（1～4桁）をダイヤルします。
- シフトコールの場合
→最初にダイヤルした内線番号の下一桁のみダイヤルし直し、呼び出し先を変更します。

2 お話します。

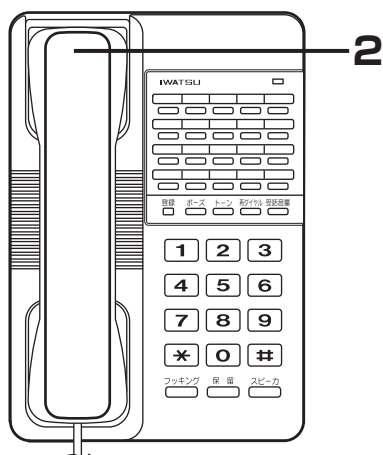
Note

- クリアコールまたはシフトコールは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- クリアコールとシフトコールの両方を登録することはできません。

さらに便利な使い方

- 電話機および外部スピーカ（ドアホンなど）を、一斉に呼び出すことができます。〈一斉呼び出し〉 9-24ページ
- グループ分けした電話機のみを一斉に呼び出すことができます。〈グループ呼び出し〉 9-24ページ
- 外部スピーカを一斉に呼び出すことができます。〈ページング呼び出し〉 9-24ページ
- ダイヤルしないで特定の内線電話機を呼び出すことができます。〈内線ホットライン〉 9-25ページ
- 通話中の内線の通話が終了したことを知ることができます。〈内線コールバック〉 9-26ページ
- 着信拒否や通話中の内線を強制的に呼び出すことができます。〈オーバーライド〉 9-27ページ
- 連絡を待っている内線に自動的にダイヤルできます。〈メッセージウェイト〉 9-33ページ
- ドアホンを呼び出すことができます。〈ドアホン接続〉 9-34ページ

内部からの呼び出しを受ける〈内線応答〉



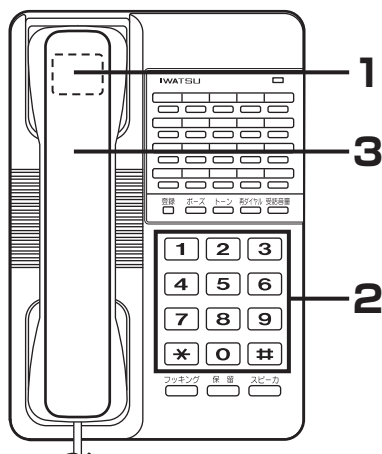
受話器を取り上げて応答するとき〈内線自動応答〉

- 1 着信音が鳴ります。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話します。

さらに便利な使い方

- 着信音の鳴る前に電話機を鳴らすことができます。〈プレシグナル〉 9-32ページ
- 忙しいときに、着信を拒否できます。〈ドント・ディスターブ（DND）〉 9-14ページ
- 外部スピーカの呼び出しに応答できます。〈ミート・ミー応答〉 9-25ページ
- 着信を指定した電話機へ転送できます。〈不在転送／話中転送／未応答転送〉 9-27ページ
- 設定した時刻に電話機を鳴らすことができます。〈モーニングコール〉 9-32ページ

お待ちいただくとき／再びお話しするとき〈保留／応答〉



外線の保留／再びお話しするとき〈外線保留／応答〉

● 外線の保留〈外線自己保留〉

1 通話の状態でフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

※ダイヤル回線でご使用の場合、この操作をしないで直接保留応答のための特番をダイヤルする方法がデータ設定により、登録できます。

2 「保留応答特番」を押します。

3 受話器を置きます。

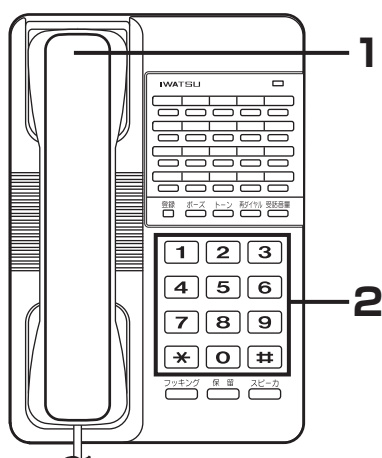
保留中は受話器を置いても外線はつながっています。また保留中は、相手には保留音のみが聞こえます。

※保留警報機能がデータ設定により、あらかじめ登録されている場合は、保留状態が設定時間を超えると「ブルブルブル」と警報が鳴ります。その後、共通保留となり、他の電話機による応答が可能になります。



Note

- データ設定により、保留警報時に複数の電話機に警報を鳴らすことができます。



● 保留した外線の応答〈保留外線応答〉

1 受話器を取り上げます。

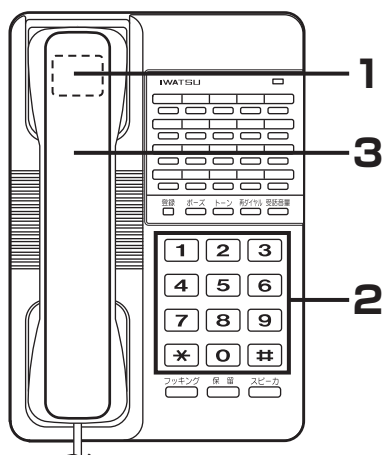
2 「保留応答特番」を押します。

3 お話しします。



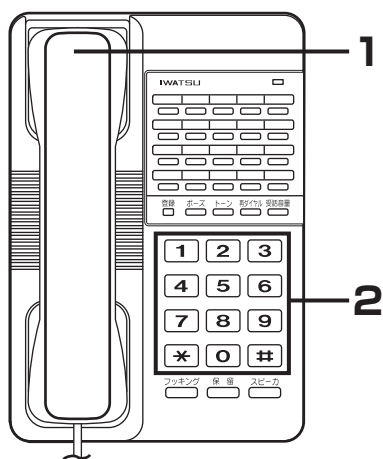
Note

- 単独電話機で自己保留できる外線は1つだけです。フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「保留応答特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



Note

- フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「保留応答特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



Note

- 「保留応答特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

内線の保留／再びお話しするとき〈内線保留／応答〉

● 内線の保留〈内線自己保留〉

- 1 通話の状態でフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。
- 2 「保留応答特番」を押します。
- 3 受話器を置きます。
保留中は、受話器を置いても内線はつながっています。また保留中は、相手には保留音のみが聞こえます。

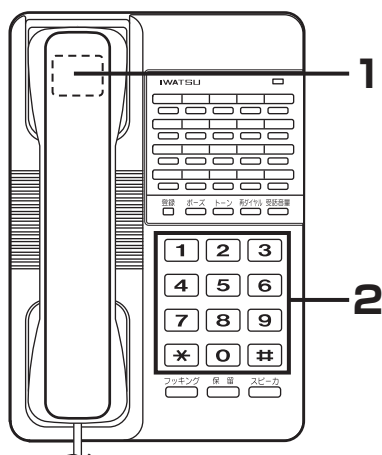
● 保留内線の応答〈保留内線応答〉

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「保留応答特番」を押します。
- 3 お話しします。

お待ちいただくとき／再びお話しするとき〈保留／応答〉

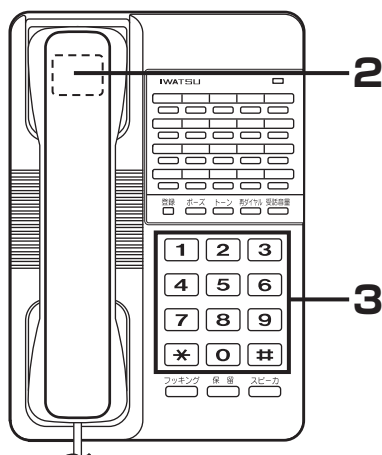
保留した電話を他の人が受けないようにするとき〈個別パーク保留〉

●外線または内線を個別パーク保留するとき〈個別パーク保留〉



1 通話の状態でフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

2 「個別パーク保留応答特番」を押します。
個別パーク保留となり、他の電話機から応答できなくなります。



●個別パーク保留して通話相手を変えるとき

1 他の外線または内線で通話します。

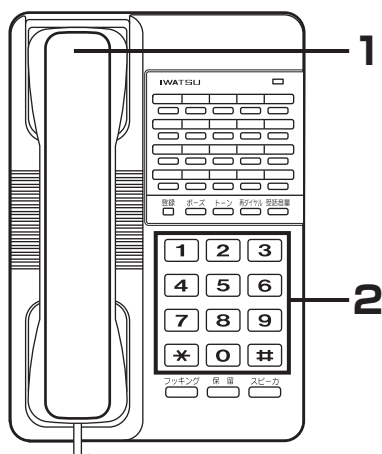
2 新規の相手と通話の状態でフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

3 「個別パーク保留応答特番」を押します。

4 もとの通話相手とつながります。

今度は新規の通話相手が個別パーク保留されます。

※ 上記手順（2）～（4）の操作を繰り返すことにより、2つの通話相手との保留、応答が瞬時に切り替えられます。

●個別パーク保留した外線または内線に応答するとき
〈個別パーク応答／個別パークリモート応答〉

1 受話器を取り上げます。

2 該当する特番または必要な番号を押します。

●個別パーク保留した電話機で応答する場合

→ 個別パーク保留応答のための特番を押します。

●他の電話機から個別パーク保留に応答するリモート応答の場合

→ 1. 個別パークリモート応答のための特番を押します。

2. 個別パーク保留した電話機の内線番号を押します。

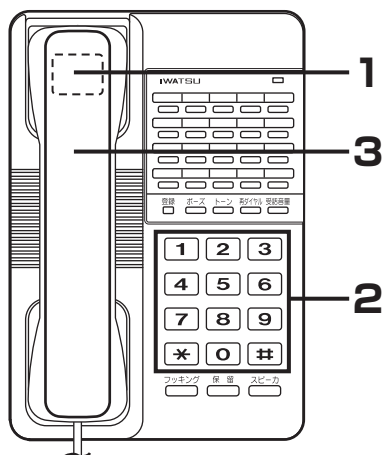
3 お話しします。



Note

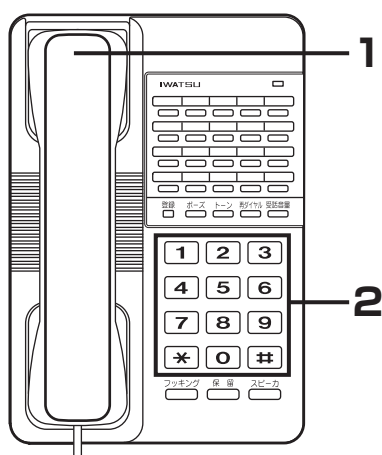
- ・単独電話機で個別パーク保留できる外線または内線は、1つだけです。フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- ・「個別パーク保留応答特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

内線グループで保留した電話を他のグループの電話機で応答できないようにするとき〈グループパーク保留〉



● グループパーク保留を行うとき〈グループパーク保留〉

- 1 通話の状態ですフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。
- 2 使用するパークオービット番号を押します。
グループパーク保留となり、内線グループ外の電話機から応答できなくなります。
- 3 受話器を置きます。



● 再びお話しするとき〈グループパーク保留応答〉

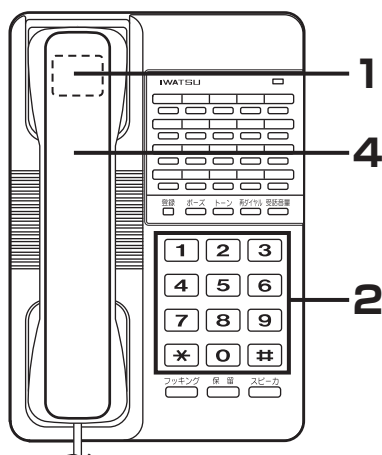
- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 パークオービット番号を押します。
- 3 お話しします。

Note

- フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- パークオービット番号はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- パークオービット番号は、主装置がMタイプの場合最大60個、主装置がLタイプの場合最大250個が登録できます。主装置のタイプについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 内線通話をグループパーク保留するときは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

通話を他の人に回す〈外線転送〉

特定の内線電話機に回すとき〈外線自動転送／外線キャンプオン〉



1 通話の状態でフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

「ツツツツツ」という内線発信音に切り替わります。

※ダイヤル回線でご使用の場合、データ設定によりフッキングをしないで直接転送先の電話番号をダイヤルする方法もあります。

2 転送先の内線番号をダイヤルします。

※専用線に転送する場合は、タンデム変換ダイヤルまたは専用線アクセス番号、転送先番号の順にダイヤルします。

※強制的に転送する場合（外線キャンプオン）は、このあと受話器を置きます。転送先が別の通話をしているときは、転送を知らせる音が聞こえます。あらかじめ登録されているキャンプオン着信音監視時間を経過しても、転送先が応答しない場合は、他の電話機でも応答できるようになります。

3 外線がつながったら、「〇〇さん、電話です」のように連絡します。

※転送できない場合は、受話器を置くと「ブブブ」という呼出音が鳴ります。受話器を取り上げて応答すると、転送保留した外線と通話できます。

4 受話器を置きます。

転送された人は、そのままお話しできます。

Note

- ・転送保留機能、外線キャンプオン機能を使用する単独電話機は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- ・あらかじめ内線グループ分けのデータ設定で、保留中の外線が外線応答規制されている電話機には転送できません。内線グループ分けの登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ・フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

さらに便利な使い方

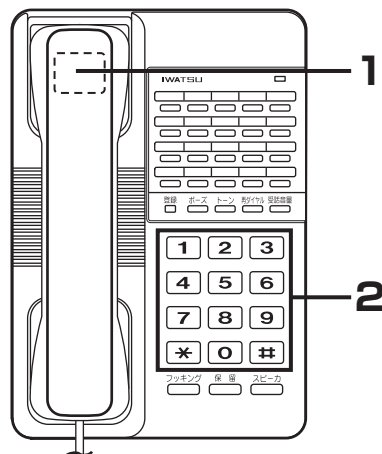
- ・通話中の内線を強制的に他の内線へ転送できます。〈内線キャンプオン〉 9-29ページ
- ・着信音の鳴る前に電話機を鳴らすことができます。〈プレシグナル〉 9-32ページ
- ・忙しいときに、着信を拒否できます。〈ドント・ディスターブ（DND）〉 9-14ページ
- ・外部スピーカの呼び出しに応答できます。〈ミート・ミー応答〉 9-25ページ
- ・着信を指定した電話機へ転送できます。〈不在転送／話中転送／未応答転送〉 9-27ページ

機能特番の使い方

機能特番とは、システムに入っている機能をアクセスしたいときにダイヤルする番号です。

以下の機能は工事によって登録する必要があります。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

機能特番をダイヤルするとき



1 通話中の場合はフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

※使用していない場合は、受話器を取り上げます。「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 機能特番を押します。

以下の機能の機能特番が使用できます。

Note

- フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 特番はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

■以下の機能の機能特番が使用できます

表の特番空欄部には、登録したダイヤル番号を書き込みます。

※ダイヤル番号は、データ設定により登録されます。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

特 番	機 能	特 番	機 能
	キャンセル特番 短縮番号発信特番 短縮番号登録特番（グループ無） 短縮番号登録特番（グループ有） ラストナンバリダイヤル特番 トランクキューイング特番 タイムドトランクキューイング特番 保留応答特番 グループ内代理応答特番 グループ外代理応答特番 個別代理応答特番 個別パーク保留応答特番 個別パークリモート応答特番 ロングフラッシュ特番 ショートフラッシュ特番 複数外線会議特番 コールバック特番 メッセージウェイト特番 転送先変更特番 転送モード切り替え特番 転送特番 ドント・ディスターブ特番 ミート・ミー応答特番		案内サービス特番 モーニングコール特番 電話機パスワード登録特番 中継台呼び出し すべての外線グループに対応する応答特番 8者会議参加特番 8者会議呼び出し特番 8者会議音源接続特番 8者会議全終話特番 クリーニング終了特番 クリーニング確認特番 局線グループ指定応答特番 指定端末アクセス特番 グループ内秘書応答特番 グループ外秘書応答特番 拡張グループ内代理応答特番 一時動作リレー制御特番

外線／内線に共通な機能

話中着信

通話中でも他の呼出音を鳴らすことができます。

通話中に他の着信があると、「プププ」という小さな着信音が受話器から聞こえます。



Note

- ・話中着信機能をさせたくない電話機を、データ設定により、登録することができます。
- ・内線からの話中着信機能を使用するには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

ドント・ディスターブ（DND）

一時的に着信を拒否することができます。

● 設定方法

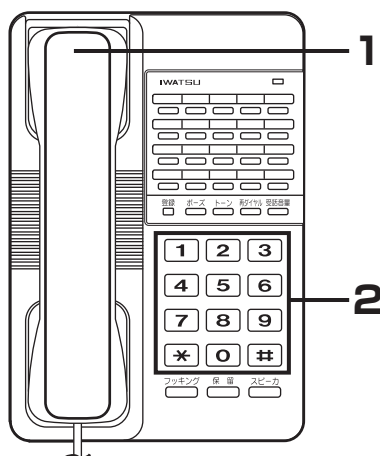
1 受話器を取り上げます。

2 「ドント・ディスターブ特番」を押します。
※ 設定が完了すると確認音が聞こえます。

● 解除方法

1 受話器を取り上げます。

2 「キャンセル特番」、「ドント・ディスターブ特番」の順に押します。
※ 設定が完了すると確認音が聞こえ、通常の状態になります。

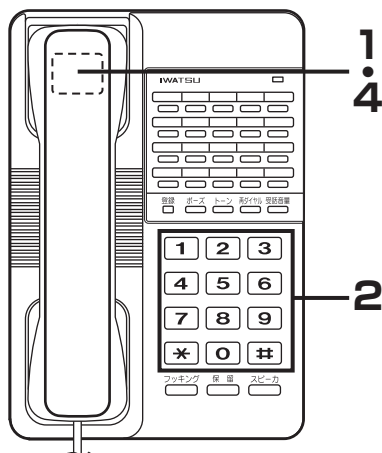


Note

- ・着信拒否中でも、リコールは着信拒否できません。
- ・着信拒否中の電話機に内線電話した場合は、発信電話機に「プープープープ」という着信拒否音が聞こえます。
- ・着信拒否中の電話機でも発信に関する制約はありません。
- ・着信拒否の設定、解除をするための特番は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ・「ドント・ディスターブ特番」、「キャンセル特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

外線会議通話

外線と通話中に他の内線電話機を呼び出して3人または4人で通話することができます。



4人で通話するとき

1 通話の状態ですッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

「ツツツツツ」という内線発信音に切り替わります。

2 会議通話に参加させたい内線電話番号をダイヤルします。

3 つながったら「会議通話に参加してください」のように連絡します。

4 内線通話の状態ですべてフッキングをします。

会議通話の準備ができると、外線および内線に「ブー」というお知らせ音が聞こえます。

5 会議通話を始めます。

※この状態で、さらに上記手順（1）～（4）の操作を行うと、4人での会議通話が行えます。

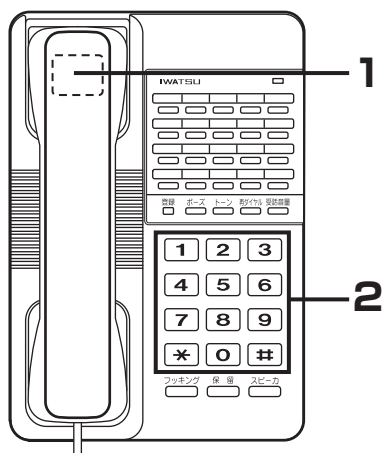
※会議通話は合計4人まで参加できます。

Note

- フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 内線グループが完全に分かれている場合を除き、外線応答規制されている内線電話も会議に参加させることもできます。内線グループの登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

複数外線会議通話

外線と通話中に他の外線呼び出して3人または4人で通話することができます。



4人で通話するとき

1 外線の自己保留があり、さらに別の外線と通話の状態にあるとき、フッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

2 「複数外線会議特番」をダイヤルします。

3 会議通話を始めます。

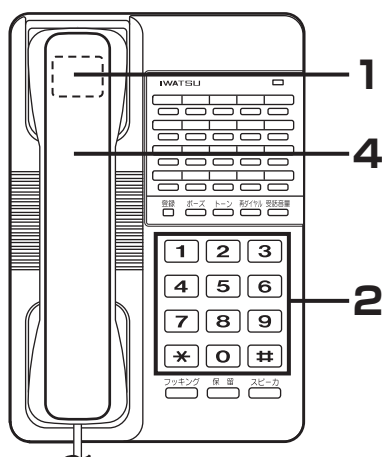
※この状態で、さらに内線を呼び出すと、2外線、2内線による4人の会議通話ができます。

※会議通話は合計4人まで参加できます。

Note

- 内線グループが完全に分かれている場合を除き、外線応答規制されている内線電話も会議に参加させることもできます。内線グループの登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 複数外線会議特番はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

外線／内線に共通な機能



外線間会議通話

会議通話終了後に外の人（外線）どうして通話していただけます。

- 1 複数外線会議（外線2人、内線1人）の通話の状態でフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

外線どうしは通話状態のままです。

- 2 「保留応答特番」をダイヤルします。

- 3 外線どうしでお話ししていただけます。

自分の電話機は保留状態になります。

※外線どうしで通話中に「保留応答特番」を押すと、再び会議に参加できます。

- 4 受話器を置きます。



Note

- 通話終了の信号が検出できない外線の場合は、あらかじめ通話終了を判断するための登録が必要です。
- フッキングはデータ設定により、登録が必要です。
- 「保留応答特番」は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

応答保留

通話中に他の着信（話中着信）があったとき、現在の通話を保留にして話中着信に応答することができます。

- 1 通話中に他の着信（話中着信）があり、それに応答した場合は、フッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

通話中の通話は保留されます。

- 2 次の着信に応答し、相手とお話しします。

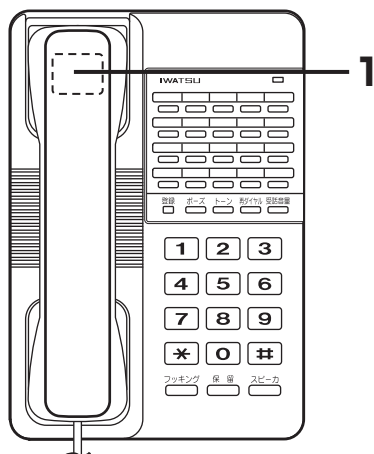
※このあと通話状態のときに再びフッキングすると、保留していた最初の相手とお話しを再開することができます。

ただし話中着信の相手は保留にならず切断されます。



Note

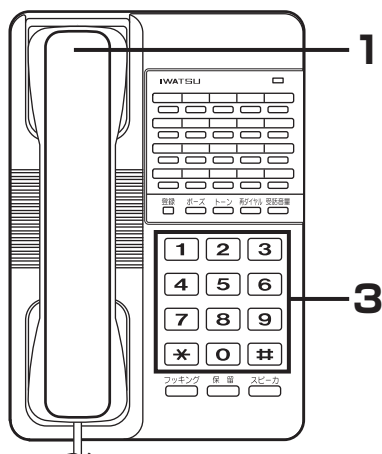
- 応答保留する場合はデータ設定が必要です。



外線に関する機能

空外線自動捕捉

受話器を取り上げるだけで自動的に空いている外線を探すことができます。



1 受話器を取り上げます。

2 空いている外線が自動的に捕捉されます。

「ツー」という外線発信音が聞こえます。

※すべての外線が使用中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえます。

3 電話番号をダイヤルします。

※ISDN回線で押しボタンダイヤル（PB）式をご使用の場合は、最後に「#」ボタンを押します。

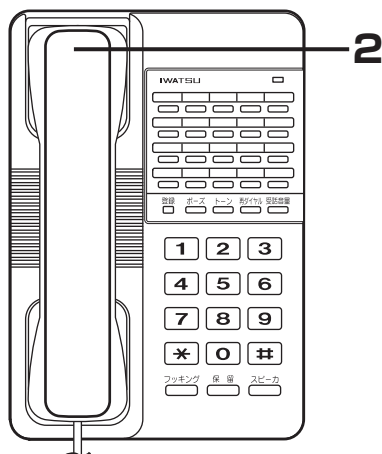


Note

- 空外線自動捕捉機能を使用する場合は、電話機ごとに、使用する外線アクセス番号、または外線グループアクセス番号は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線着信自動応答

受話器を取り上げるだけで自動的にかかってきた外線に応答することができます。



1 着信鳴音指定されている外線に着信があると、着信音が鳴ります。

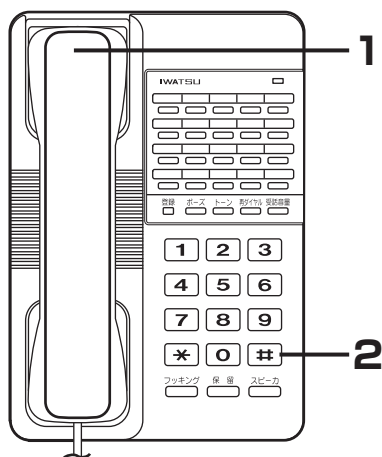
2 受話器を取り上げます。

3 お話します。

外線に関する機能

ラストナンバリダイヤル

簡単な操作で最後に電話した相手に再びかけ直すことができます。



1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「#」 ボタンを押します。
ダイヤル回線でご使用の場合は「ラストナンバリダイヤル特番」をダイヤルします。

3 自動的にダイヤルされます。
※最後にダイヤルした外線アクセス番号、外線グループアクセス番号に該当する外線につながりますので、該当する外線が使用中の場合は「ツーツー」という話中音が聞こえます。この場合は通話先がお話し中とは限りません。

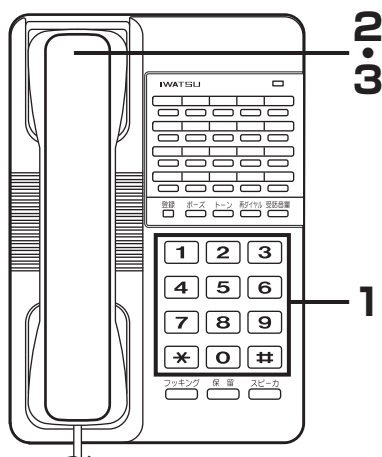


Note

- この機能は常に最後にダイヤルした電話番号が対象となります。
- 転送中、通話中のダイヤルは、ラストナンバリダイヤルの対象とはなりません。
- 記憶される有効ダイヤル桁数は48桁以内です。
- 「ラストナンバリダイヤル特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

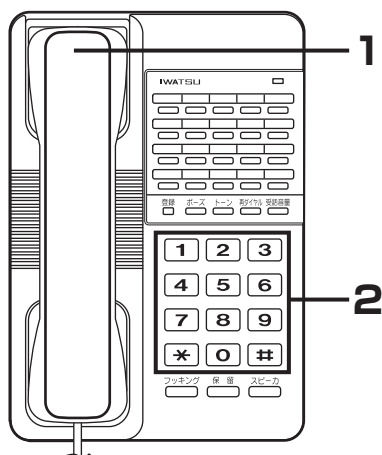
トランクキューイング

外線が空いたことを知ることができます。



Note

- お知らせ音が鳴ったら、あらかじめ設定してある時間内に応答してください。
- トランクキューイングおよび後述のタイムドトランクキューイングは、電話機ごとに1つしか予約できません。
- 複数の電話機が同一外線の予約をしている場合は、あらかじめデータ設定されている電話機の優先順に、外線の空きが知らされます。
- 「キャンセル特番」、「トランクキューイング特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



● 外線の予約方法

1 外線発信し、話中音が聞こえている状態で「トランクキューイング特番」を押します。

※ 設定が完了すると確認音が聞こえます。

2 受話器を置きます。

3 「プルプル」 というお知らせ音が鳴ったら受話器を取り上げます。

※ お知らせ音は、指定した外線が空くか、外線グループに空き外線が見つかったと鳴ります。

※ 短縮ダイヤルまたはラストナンバーダイヤルを行い、外線が空いていなかったためこの操作をした場合は、お知らせ音に応答しただけでその番号を自動ダイヤルします。

● 外線予約の解除方法

1 受話器を取り上げます。

「ツツツツツ」 という内線発信音が聞こえます。

2 「キャンセル特番」、「トランクキューイング特番」の順に押します。

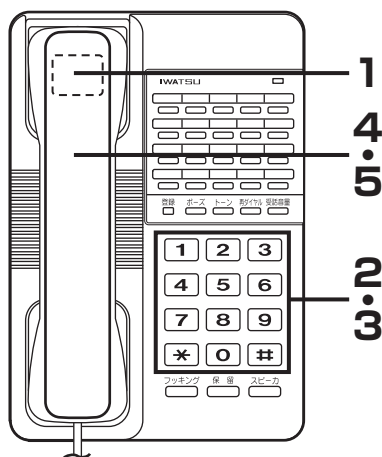
※ 解除が完了すると確認音が聞こえます。

外線に関する機能

タイムドトランクキューイング

指定時間後に外線を使用する予約をすることができます。

● 外線時間予約方法



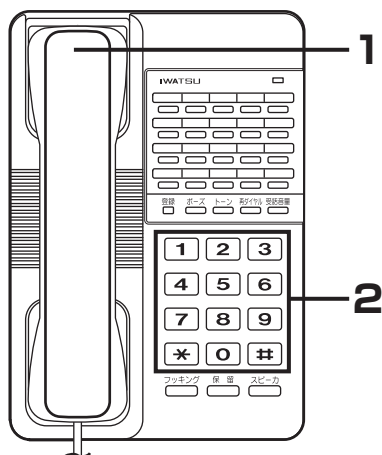
1 電話をかけた相手が通話の状態または応答しないとき、そのままの状態ですフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

2 「タイムドトランクキューイング特番」をダイヤルします。

3 何分後（1～9分）に知らせてもらうかを、該当する数字ボタンで押します。
※ 設定が完了すると確認音が聞こえます。

4 受話器を置きます。

5 「ブルブルル」というお知らせ音が鳴ったら受話器を取り上げます。
お知らせ音は、指定した外線が空くか、または外線グループに空き外線が見つかったと鳴ります。



● 外線時間予約の解除方法

1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「キャンセル特番」、「タイムドトランクキューイング特番」の順に押します。
※ 解除が完了すると確認音が聞こえます。

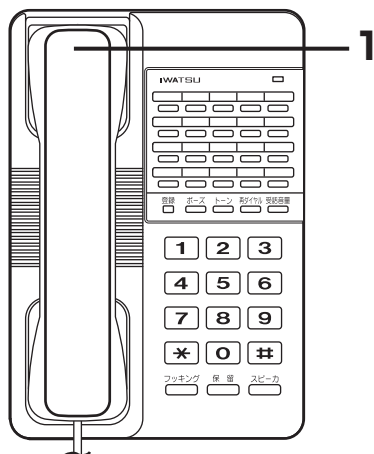


Note

- ・お知らせ音が鳴ったら、あらかじめ設定してある時間内に応答してください。
- ・タイムドトランクキューイングおよび前述のトランクキューイングは、電話機ごとに1つしか予約できません。
- ・複数の電話機が同一外線の予約をしている場合は、あらかじめ登録されている電話機の優先順に、外線の空きが知らされます。
- ・「キャンセル特番」、「タイムドトランクキューイング特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- ・フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

外線自動発信

受話器を取り上げるだけで、特定の相手に自動的に発信することができます。



1 受話器を取り上げます。

2 個別短縮番号（99）に登録されている電話番号が自動的にダイヤルされます。

※ 外線自動発信を行う電話機はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線に関する機能

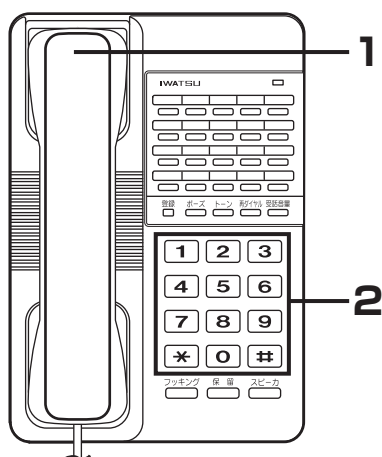
外線別着信音色指定

着信音の鳴り方を外線ごとに分けられます。別の内線グループが近くにあっても、鳴り方で区別できます（3種類まで）。

※ あらかじめ外線ごとの鳴り方はデータ設定されます。鳴り方は「単独電話機の鳴る音」（9-36ページ）をご参照ください。

着信代理応答

個別着信に対し他の電話機で応答することができます。



1 受話器を取り上げます。

2 該当する特番と必要な番号を押します。

- グループ内への着信の場合
→「グループ内代理応答特番」
- 他の内線グループ（部署など）への着信の場合
→「グループ外代理応答特番」と、着信している電話機のグループ番号（3桁）
- 着信している電話機の内線番号を指定して応答する場合
→「個別代理特番」と、着信している電話機の内線番号

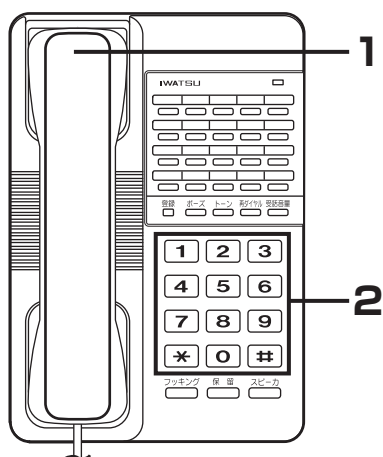
3 お話しします。

Note

- あらかじめ外線応答規制されている外線には代理応答できません。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「グループ内代理応答特番」、「グループ外代理応答特番」、「個別代理応答特番」と、内線番号は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線着信グループ応答

他の電話機にかかってきた外線に応答することができます。



1 受話器を取り上げます。

2 「すべての外線グループに対応する応答特番」を押します。

3 お話します。



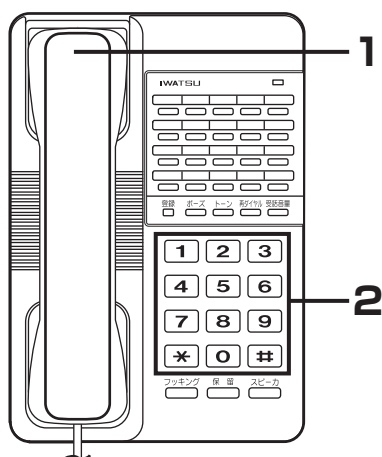
Note

- 複数の着信がある場合は、先着順の応答となります。
- すべての外線グループに対応する応答特番はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

内線に関する機能

空内線自動捕捉

内線を自動的に捕捉することができます。



1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 内線番号をダイヤルします。



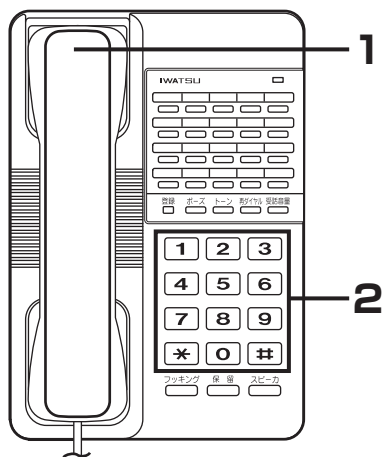
Note

- 外線と接続中のときは、フッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をすることで内線につながります。
フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

一斉呼び出し／グループ呼び出し／ページング呼び出し

多機能電話機のスピーカおよび外部スピーカに一斉に呼びかけることができます。

呼び出し対象となる多機能電話機と外部スピーカに、データ設定により選択したページング予告音を送出することができます。



1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 該当する特番をダイヤルします。

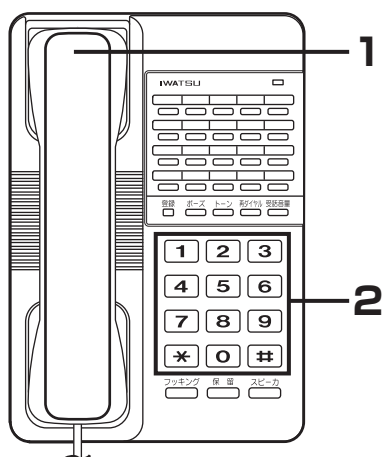
- 電話機および外部スピーカを一斉に呼び出す場合
→「一斉呼び出し特番」
- グループ分けした電話機を対象に呼び出す場合
→「グループ呼び出し特番」
- 外部スピーカを対象に呼び出す場合
→「ページング呼び出し特番」

3 「〇〇さん応答してください」のように呼びかけます。



Note

- 各呼び出しの対象となる多機能電話機と外部スピーカは、データ設定により登録が必要です。
- グループ呼び出しの対象として登録できる多機能電話機は、最大30グループ、1グループあたり最大64台の電話機となります。
- ページング呼び出しの対象として登録できる外部スピーカは、最大30グループ、1グループあたり最大64のスピーカとなります。
- 主装置がMタイプの場合、グループ呼び出し、ページング呼び出しは「最大30」、Lタイプの場合は「最大125」となります。
主装置のタイプについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「一斉呼び出し特番」、「グループ呼び出し特番」、「ページング呼び出し特番」は、データ設定により登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- これらの呼び出しにはミート・ミー応答でしか応答できません。



外部スピーカからの呼び出しに応答する〈ミート・ミー応答〉

外部スピーカの呼び出しに応答することができます。

1 近くにある単独電話機の受話器を取り上げます。

2 「ミート・ミー応答特番」を押します。
呼び出しもとの電話機とつながります。

3 お話します。



Note

- ミート・ミー応答機能は、一斉呼び出し、ページング呼び出しに応答するためのものです。使用する電話機は、どの呼び出しに応答するかデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「ミート・ミー応答特番」は、データ設定により、登録が必要です。

内線ホットライン

受話器を取り上げるだけで、特定の内線電話機を呼び出すことができます。

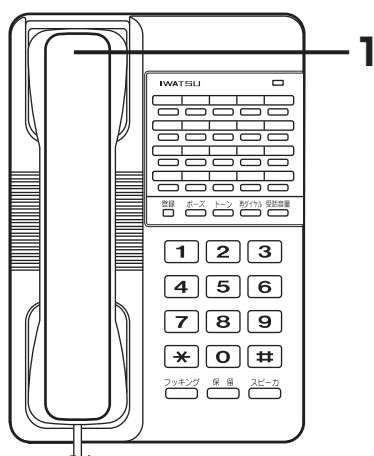
1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 登録されている内線番号を自動的に呼び出します。



Note

- 内線ホットライン機能を使用するには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。内線番号、パイロット番号、一斉呼び出し番号、グループ呼び出し番号、ページング呼び出し番号を登録できます。

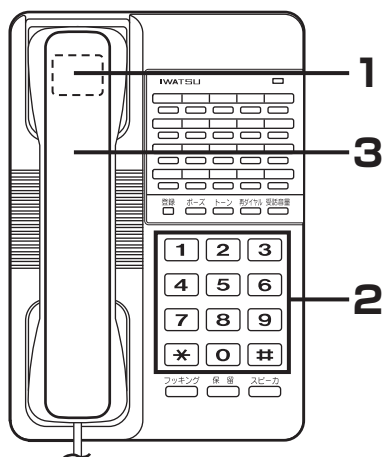


内線に関する機能

内線コールバック

通話中の内線が終了したことをお知らせします。

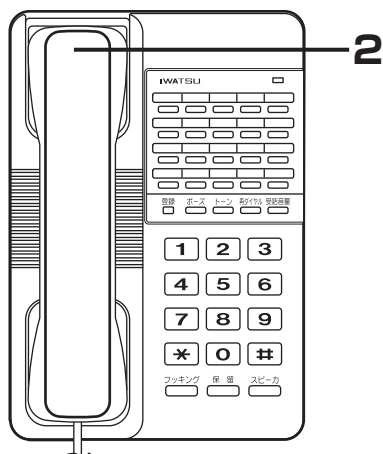
● 設定方法



1 内線の相手が通話の状態の場合に、フッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

2 「コールバック特番」を押します。
※ 設定が完了すると確認音が聞こえます。

3 受話器を置きます。

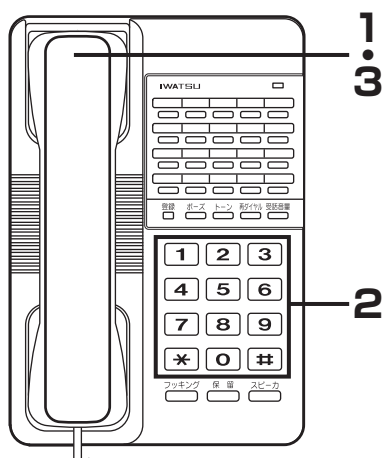


● 呼び返しが来たら

1 内線コールバック音が鳴ります。

2 受話器を取り上げます。
「トルルトルル」という呼出音に切り替わります。
※ あらかじめ登録された時間内に応答しないと、取り消されます。

3 相手とつながったら、お話しします。



● 解除方法

1 受話器を取り上げます。

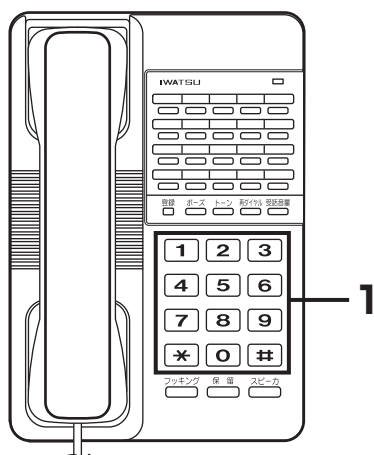
2 「キャンセル特番」、「コールバック特番」の順に押します。
※ 解除が完了すると確認音が聞こえます。

3 受話器を置きます。



Note

- ・フッキングはデータ設定により、登録が必要です。
- ・「コールバック特番」、「キャンセル特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



オーバーライド

応答しない内線電話機（着信拒否、通話中）を強制的に呼び出せます。この機能はオーバーライド可のデータ設定をされた電話機で利用することができます。

- 1 呼び出したい内線番号をダイヤルします。
- 2 相手が通話の状態でも呼び出しを行います。



Note

- オーバーライドを行う単独電話機にはオーバーライド可の登録があらかじめ必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

不在転送／話中転送／未応答転送

自席に不在中または通話中のときなど、かかってきた電話を指定した電話機へ自動的に転送することができます。この機能は不在転送可の設定がされた電話機で利用できます。

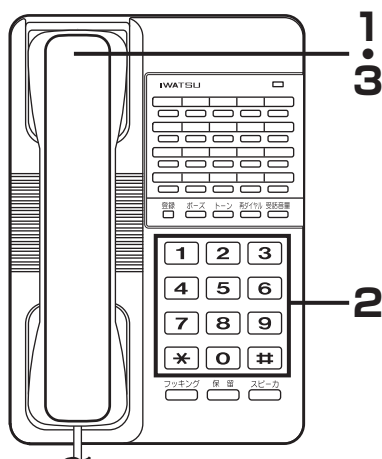
● 転送先の登録方法

- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「転送特番」、転送先の内線番号の順に押します。
※ 登録が完了すると確認音が聞こえます。

● 転送モードの切り替え方法

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「転送モード切り替え特番」を押し、続けて該当する数字ボタンを押します。
 - 不在転送モード → 「1」ボタン
 - 話中/未応答転送モード → 「2」ボタン
 - 未応答転送モード → 「3」ボタン
 ※ 登録が完了すると確認音が聞こえます。

- 3 受話器を置きます。

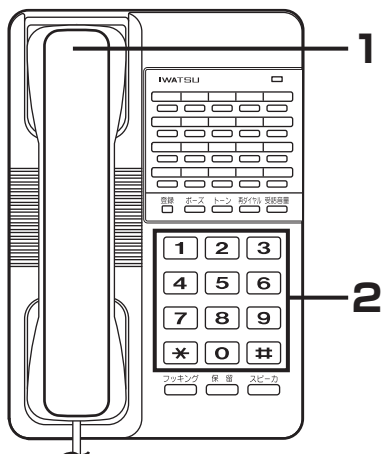


Note

- 「転送特番」、「転送モード切り替え特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

内線に関する機能

(前ページの続き)

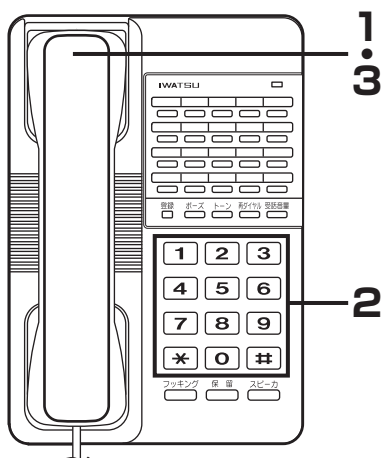


● 転送の取り消し方法

- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「キャンセル特番」、「転送特番」の順に押します。
※ 取り消しが完了すると確認音が聞こえます。

Note

- 「キャンセル特番」、「転送特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



● 不在転送先を、操作した電話機に変更する方法

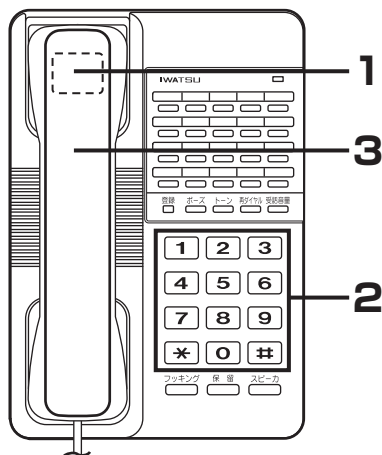
- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「転送先変更特番」、転送を登録している電話機の内線番号を押します。
※ 登録が完了すると確認音が聞こえます。
- 3 受話器を置きます。
転送変更の操作を行った電話機が新しい転送先になります。

Note

- 不在転送、話中／未応答転送、未応答転送機能を使用する電話機は、あらかじめ不在転送可の登録が必要です。
- 未応答転送機能を使用する電話機は、あらかじめ未応答時間の登録が必要です。
- 内線通話規制されている電話機へは転送できません。
- 「転送先変更特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

内線キャンブオン

通話中の内線を、他の電話機に強制的に転送することができます。
この機能はオンフックキャンブオンにあらかじめ登録された電話機で利用できます。



Note

- フッキングはデータ設定によりあらかじめ登録が必要です。

1 内線通話の状態でもフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

※ 回転ダイヤル式でご使用の場合は、この操作をしないで直接転送先の電話番号をダイヤルする方法をデータ設定により、登録できます。

2 転送先の内線番号をダイヤルします。

※ 専用線に転送する場合は、タンデム変換ダイヤルまたは専用線アクセス番号、転送先番号の順にダイヤルします。

3 受話器を置きます。

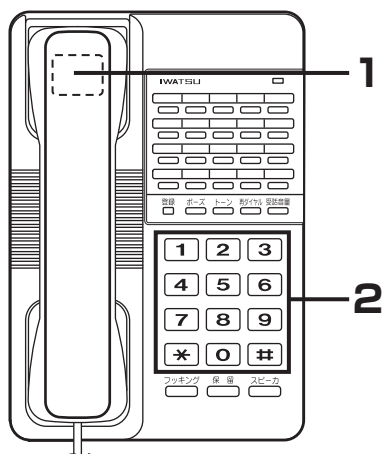
内線フラッシュ

内線番号のダイヤル途中で電話をかけ直すことができます。

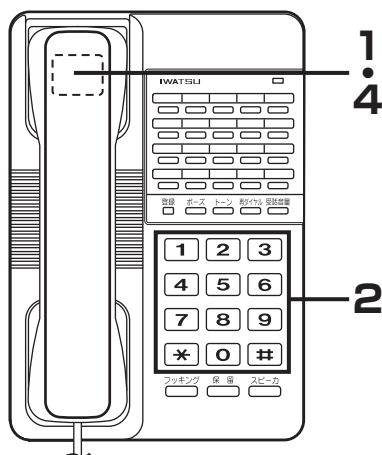
1 そのままの状態でもフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

発信状態に戻り「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 相手の電話番号をダイヤルし直します。



内線に関する機能



Note

- 単独電話機がフッキングにより内線転送保留を行うには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

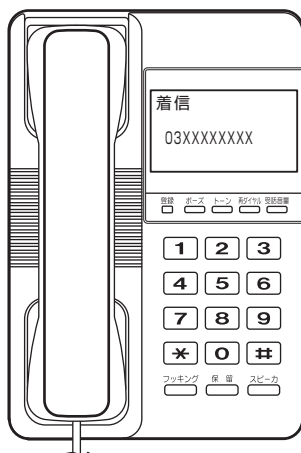
内線会議通話

内線通話中に他の内線電話機を呼び出して、3人または4人で会議通話することができます。

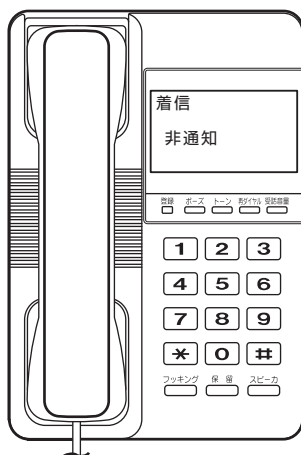
- 1 内線通話の状態ですッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。
「ツツツツツ」という内線発信音に切り替わり、内線転送保留状態になります。
- 2 会議通話に参加させたい内線電話番号をダイヤルします。
- 3 つながったら「会議通話に参加してください」のように連絡します。
- 4 内線通話の状態ですべてフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。
会議通話の準備ができると、「プー」というお知らせ音が聞こえます。
- 5 内線会議通話を始めます。
※ この状態で、会議に参加している単独電話機のいずれかで、さらに上記手順（1）～（4）の操作を行うと、4人による内線会議通話が行えます。
※ 会議通話は合計4人まで参加できます。

ナンバーディスプレイ対応 電話機収容

外線着信を受ける

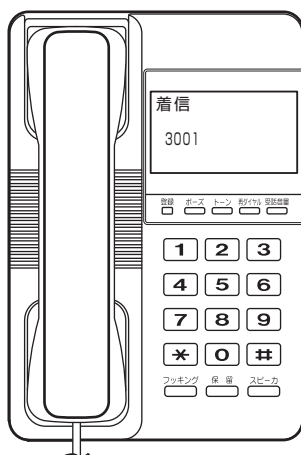


- 外線からの着信で、相手から発信者番号が通知されたときは、相手の電話番号が表示されます。
注：表示内容は、電話機によって異なります。



- 外線からの着信で、相手から非通知理由が通知されたときは、非通知理由などが表示されます。
注：表示内容は、電話機メーカーにより異なります。

内線着信を受ける



- 内線電話機からの着信のとき、相手の内線番号を表示します。
注：表示内容は、電話機によって異なります。

その他の機能

プレシグナル

着信することを事前にお知らせします。実際に着信音が鳴る2～4秒前に、短い着信音を鳴らすことができます。

モーニングコール

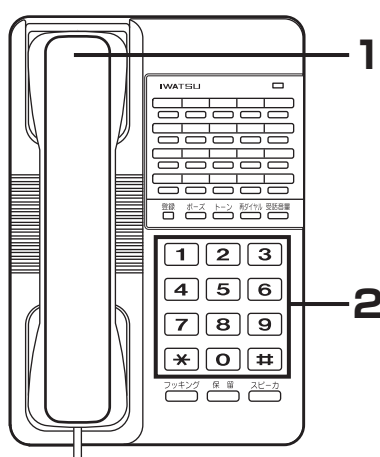
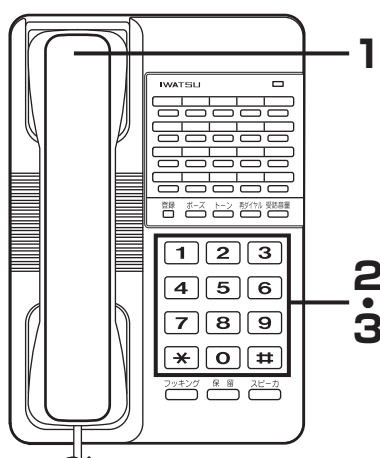
登録した時刻に電話機を鳴らし、メッセージを流すことができます。

●時刻の登録方法

- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「モーニングコール特番」を押します。
- 3 24時間表記で時刻を押します。
〈例〉午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」ボタンを押します。
※ 設定が完了すると確認音が聞こえます。
- 4 登録した時刻に着信音が鳴ります。
登録時刻の5分前に「プープー」という内線着信音が鳴ります。応答しない場合は、登録時刻に再び内線着信音が鳴ります。
※ 応答がない場合に着信音を鳴らしておく時間は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

●登録時刻の解除方法

- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「キャンセル特番」、「モーニングコール特番」の順に押します。
※ 解除が完了すると確認音が聞こえます。



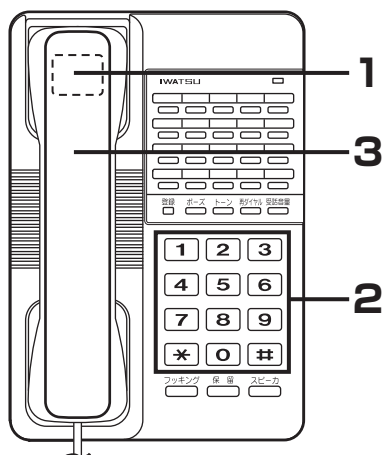
 Note

- ・「モーニングコール特番」、「キャンセル特番」は、データ設定により、登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

メッセージウェイト

不在または通話中で応答しない内線相手に、折り返し連絡してほしい旨のメッセージを伝えることができます。

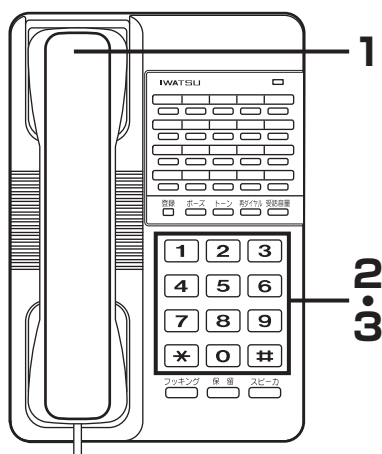
●メッセージウェイトの設定方法



1 呼び出したい相手が通話の状態または応答しないとき、そのままの状態、フッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

2 「メッセージウェイト特番」を押します。
※ 設定が完了すると確認音が聞こえます。

3 受話器を置きます。

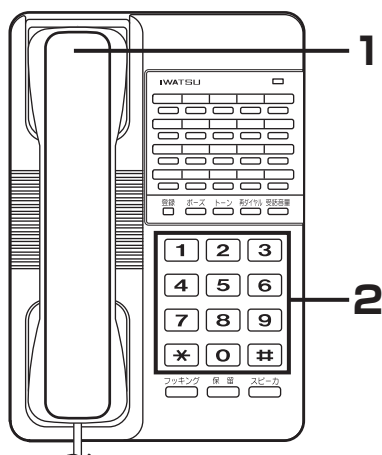


●メッセージウェイトの解除方法

1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「キャンセル特番」、「メッセージウェイト特番」の順に押します。

3 メッセージウェイトを登録した先の内線番号を押します。
※ 解除が完了すると確認音が聞こえます。



●連絡を待っている相手の呼び出し

1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

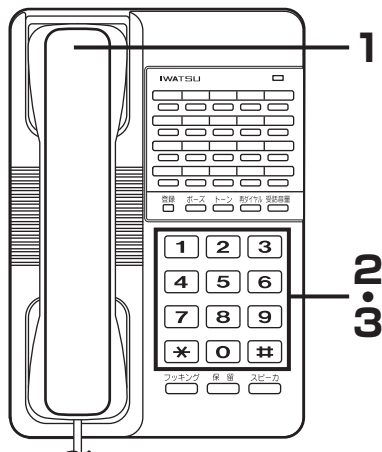
2 「メッセージウェイト特番」を押します。
連絡を待っている相手の内線が自動的に呼び出されます。



Note

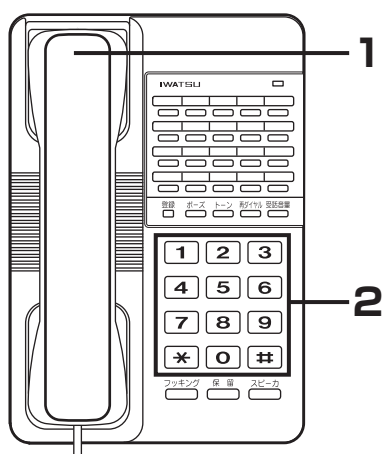
- ・1台の電話機に対して4通のメッセージウェイトを記憶させることができます。
- ・「メッセージウェイト特番」、「キャンセル特番」受け取りを行う電話機は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

その他の機能



Note

- 電話機ごとのパスワード（最大6桁以内の番号）は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「電話機パスワード登録特番」、「キャンセル特番」およびパスワードは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



Note

- ドアホンと通話するには、データ設定により、あらかじめドアホンごとに内線番号の登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

電話機パスワード

外線の無断使用をパスワードで規制することができます。

● 外線、専用線の発信規制

- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「電話機パスワード登録特番」を押します。
- 3 決められたパスワード（最大6桁）を押します。
その電話機からは外線の発信ができなくなります。
※ 設定が完了すると確認音が聞こえます。

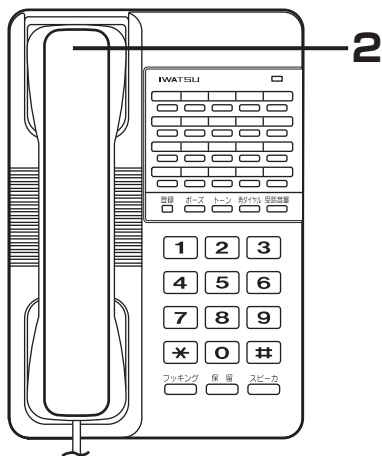
● 発信規制の解除方法

- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「キャンセル特番」、「電話機パスワード登録特番」の順にダイヤルします。
- 3 決められたパスワード（最大6桁）を押します。
発信規制が解除され、その電話機からの外線発信が可能になります。
※ 解除が完了すると確認音が聞こえます。

ドアホン接続

● 内線からドアホン呼び出す

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 呼び出すドアホンの内線番号をダイヤルします。
- 3 お話します。



● ドアホンからの呼び出しを受ける

- 1 ドアホンの呼び出しボタンが押されると、着信音が鳴ります。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話しします。

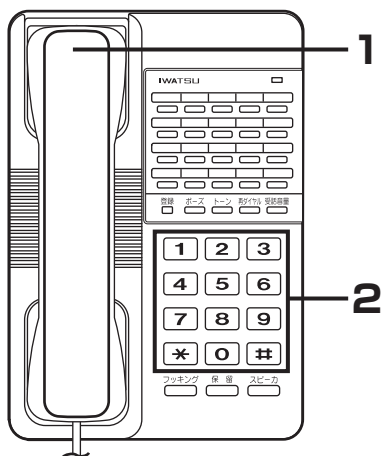


Note

- ドアホン1台ごとに、呼び出せる内線電話機は16台までです。
- データ設定によりあらかじめ登録することで、昼間モード、夜間モードごとに呼び出せる内線電話機を変えることができます。

ドアホングループ呼び出し

内線電話機から複数のドアホンに、一斉に呼びかけることができます。データ設定により、呼び出すドアホンにページング予告音を送出することができます。



- 1 受話器を取り上げます。
- 2 呼び出すドアホングループの呼び出し番号をダイヤルします。
- 3 音声呼び出しバースト音が終了したら、呼びかけます。



Note

- ドアホングループ呼び出しを行うには、データ設定によりあらかじめ、ドアホンのグループ登録およびグループ呼び出し番号の登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 内線電話機から一斉に呼び出せるドアホンは64台までです。

単独電話機の音について

単独電話機で受話器から聞こえる音

状 態	音色 (Hz)	鳴 り 方	こんなとき聞こえます
単独電話機の通話路に送出される外線による呼び出しに関する機能	800	プブ、プブ、・・・	通話中に外線から電話がかかってきたとき
単独電話機の通話路に送出される内線による呼び出しに関する機能	400	ツツツツ、ツツツツ・・・	通話中に内線から電話がかかってきたとき
確認音	800	プッププッ、	機能が完了したとき
長時間アラーム音	800	プブブ、	一定時間、通話したことをお知らせするアラーム音

単独電話機の鳴る音

状 態	音色 (Hz)	鳴 り 方	こんなとき聞こえます
モーニングコール	単独電話機の着信音色はすべて20Hz	ブルブル、ブルブル、・・・	設定時刻にシステムからのメッセージがあるとき
転送保留リコール・着信警報音・外線リコール・外線コールバック		トゥルトルトルトル、トゥルトルトルトル、・・・	警報着信がかかったとき
外線着信1／外線キャンブオン1		ブルルルル、ブルルルル、・・・	外線通話が転送、あるいは外線に電話がかかってきたとき
外線着信1／外線キャンブオン2		トゥルルルルツ、トゥルルルルツ、・・・	外線通話が転送、あるいは外線に電話がかかってきたとき
外線着信1／外線キャンブオン3		ブルブル、ブルブル、・・・	外線通話が転送、あるいは外線に電話がかかってきたとき
外線着信1／外線キャンブオン4		ブルルルル、ブルルルル・・・	外線通話が転送、あるいは外線に電話がかかってきたとき
内線リコール		トゥルトルトルトル、トゥルトルトルトル、・・・	内線通話の転送操作を途中でやめたとき
内線コールバック		ブルブル、ブルブル、・・・	通話中の内線通話が終了したとき
内線キャンブオン		ブルブル、ブルブル、・・・	呼び出し先の通話が終了したとき
内線着信		トゥルトルトルトル、トゥルトルトルトル、・・・	内線からの呼び出し
ドアホン着信1-4		ブルブル、ブルブル、・・・	ドアホンからの呼び出しがあったとき

10.オプション編

W-VPNサービス対応

W-VPNサービス対応

オプション

ウィルコム社が提供するW-VPNサービスに対応しています。

- W-VPNサービスを利用すると、会社でも外出先でもウィルコムのエリア内であれば全国どこでも内線番号で通話ができるようになります。



Note

- ウィルコム社が提供するW-VPNサービスに契約し、ウィルコム製のW-VPN対応電話機などを別途手配する必要があります。
- W-VPNサービス機能を使用するためには、機能ライセンスが必要です。

KDDIビジネスコールダイレクト対応

KDDIビジネスコールダイレクト対応

オプション

KDDI社が提供するKDDIビジネスコールダイレクトに対応しています。

- KDDIビジネスコールダイレクトを利用すると、会社でも外出先でもau携帯電話のエリア内であれば全国どこでも内線番号で通話できるようになります。



Note

- KDDI社が提供するKDDIビジネスコールダイレクトに契約し、au携帯電話などを別途手配する必要があります。
- KDDIビジネスコールダイレクト機能を使用するためには、機能ライセンスが必要です。

NTT docomoオフィスリンク対応

NTT docomoオフィスリンク対応

オプション

NTT docomo社が提供するオフィスリンクに対応しています。

- 全国のFOMAエリアで、携帯電話（FOMA）をお客様オフィスの内線電話としてご利用いただけるサービスです。
- グループ内の携帯電話（FOMA）と内線番号を利用した定額通話が可能です。



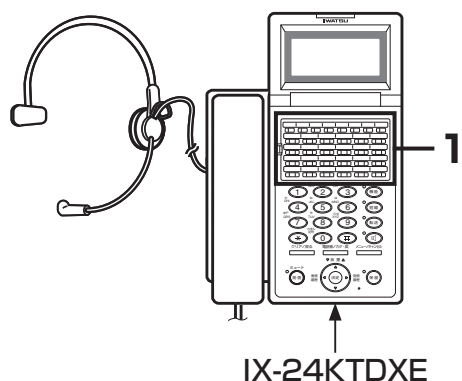
Note

- NTT docomo社が提供するオフィスリンクに契約し、NTT docomo携帯電話などを別途手配する必要があります。
- NTT docomoオフィスリンク機能を使用するためには、機能ライセンスが必要です。

ヘッドセット接続

オプション

ヘッドセットを使用して通話することができます。



1 「ヘッドセット」 ボタンを押します。
「ヘッドセット」 ボタンが点灯します。

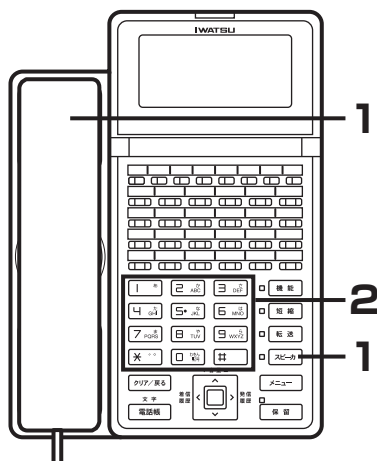
2 接続したヘッドセットを利用して、多機能電話機を使用します。

**Note**

- 「ヘッドセット」 ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- IX-24KT-N/IX-12KT-N/IX-24KTAPF-Nでは、ヘッドセットはご利用になれません。

ドアホン接続

オプション



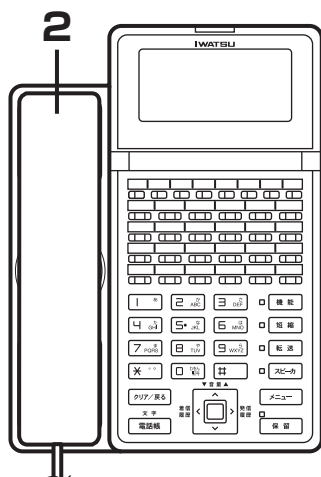
●内線からドアホンを呼び出す

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 呼び出すドアホンの内線番号をダイヤルします。
- 3 お話します。



Note

- ・ドアホンと通話するには、データ設定により、あらかじめドアホンごとに内線番号の登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



●ドアホンからの呼び出しを受ける

- 1 ドアホンの呼び出しボタンが押されると、着信音が鳴ります。
「内線」ボタンと着信ランプが赤色で点滅します。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話します。

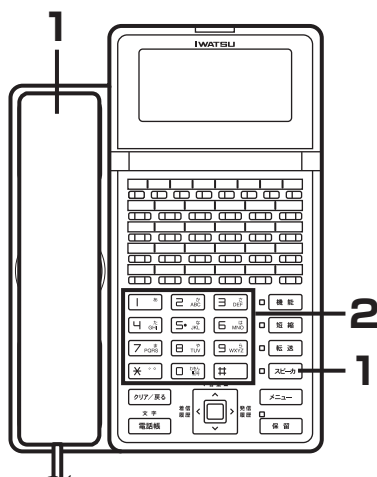


Note

- ・ドアホン1台ごとに、呼び出せる内線電話機は16台までです。
- ・データ設定によりあらかじめ登録することで、昼間モード、夜間モードごとに呼び出せる内線電話機を変えることができます。

ドアホングループ呼び出し

内線電話機から複数のドアホンに、一斉に呼びかけることができます。データ設定により、呼び出すドアホンにページング予告音を送出することができます。



- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 呼び出すドアホングループの呼び出し番号をダイヤルします。
- 3 音声呼び出しバースト音が終了したら、呼びかけます。



Note

- ・ドアホングループ呼び出しを行うには、データ設定によりあらかじめ、ドアホンのグループ登録およびグループ呼び出し番号の登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください
- ・内線電話機から一斉に呼び出せるドアホンは64台までです。

ナースコールシステム機能

ナースコールシステム

オプション

ナースコールシステム機能では、アイホン製ナースコール制御機とケアコム製ナースコール制御機の2種類のメーカーに対応しています。

● 必要機器

- ・アイホン／ケアコム用ライセンス
- ・IX-4CSUB-R／IX-6CSUB(S5)
- ・IX-ISUB64（ナースコール制御機との接続に必要）
- ・IX-DCDCM-L（IX-4CSUB-R/IX-6CSUB(S5) /IX-ISUB64収容時に必要）
- ・DC-BS6-S／DC-BS6



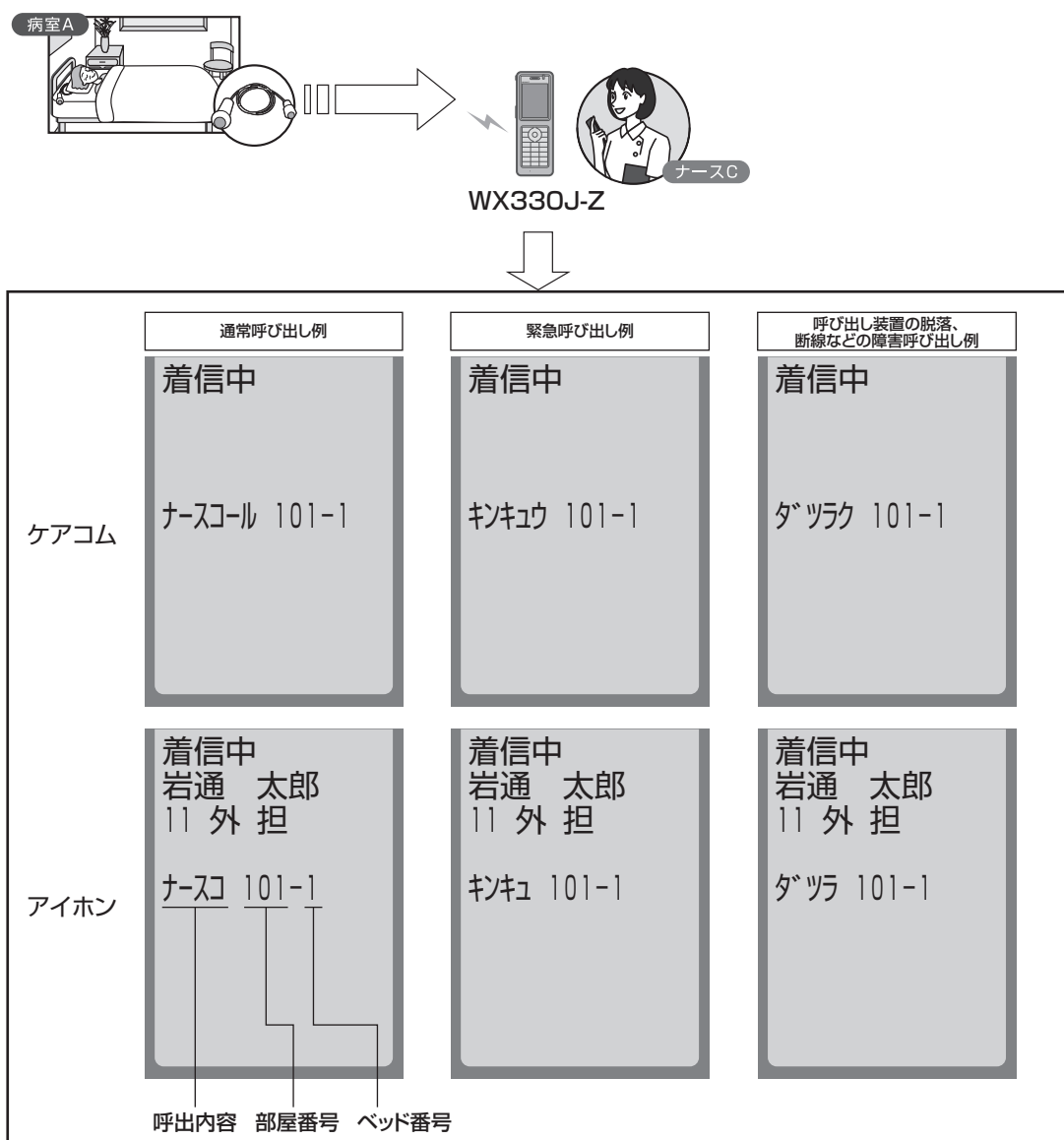
Note

- ・ナースコールシステム機能を使用するためには、機能ライセンスが必要です。

● 機能説明（アイホン製／ケアコム製 共通機能）

（1）患者からのナースコール呼び出し操作により、あらかじめ設定された端末を呼び出すことができます。

例 WX330J-Z の場合



※表示内容は、ナースコール制御機の設定により異なりますので、接続システムにより異なる場合があります。



Note

- ・ナースコールシステムに接続できる端末（接続検証済みの端末）については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

(2) WX330J-Z端末を使用し、ナースから患者を呼び出すことができます。

例) 401 号室 1 番ベットを呼び出す場合

操作 : *401*1*通話キー

「病室番号」 「ベッド番号」

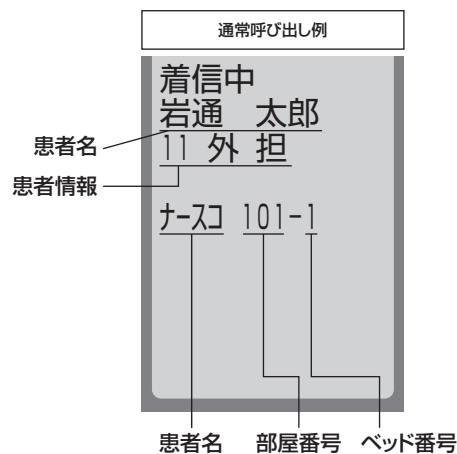
(3) WX330J-Z端末を使用し、ナースから病室への一斉放送を行うことができます。

例) 自分が登録されているナースコール制御装置の配下に一斉放送する場合

操作 : *9999*通話キー

●機能説明 (アイホン製専用機能)

(1) 患者からのナースコール呼び出し操作により、WX330J-Z端末が呼び出されたとき、呼び出された端末には、あらかじめ登録された患者名を漢字でディスプレイに表示させることができます。



※表示内容は、ナースコール制御機の設定によります。

(2) WX330J-Zを使用し、ドアホンとの通話中にナースコール制御装置に接続されている電気錠をリモートで操作できます。

例) ドアホンとの通話中にドアを開錠する場合

操作 : #1234#

「開錠アクセス番号」

※開錠アクセス番号は、ナースコール制御機の設定によります。

Note

- ・ナースコールサービスを利用するには、アイホン/ケアコム製のナースコール制御機などを別途手配する必要があります。
- ・アイホン/ケアコム製のナースコール制御機側の設定方法に関しては、該当メーカーの販売店にお問い合わせください。

センサーで検知して多機能電話機のスピーカから一斉放送を聞く〈センサー検知一斉放送〉 オプション

緊急地震速報機などの外部機器を接続し、センサー検出時に、指定した多機能電話機のスピーカから一斉放送（緊急地震速報など）を聞くことができます。

- 一斉放送中は、電話機のスピーカが最大音量になります。また、着信ランプが赤色に点滅します。
- 一斉放送は、多機能電話機を使用していないときに聞くことができます。お話し中や着信を受けている場合など、多機能電話機の使用中は聞けません。
- 一斉放送を聞くことができる多機能電話機の台数は同時に200台まで可能です。



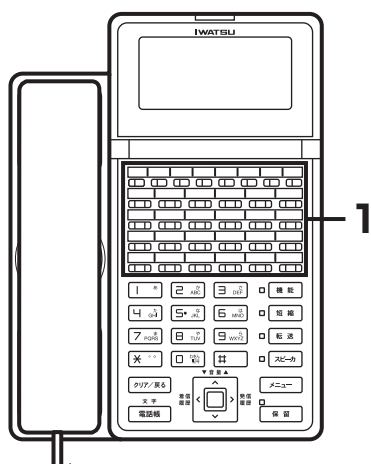
Note

- BGM（3-19ページ）とは、併用できません。
- 外部スピーカで一斉放送を流すこともできます。この場合、ページングアンプが必要になります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外部スイッチを動かす〈リレーコントロール〉

オプション

ドアロックの解除など、電話機から別のユニットの電源などのON／OFFをすることができます。



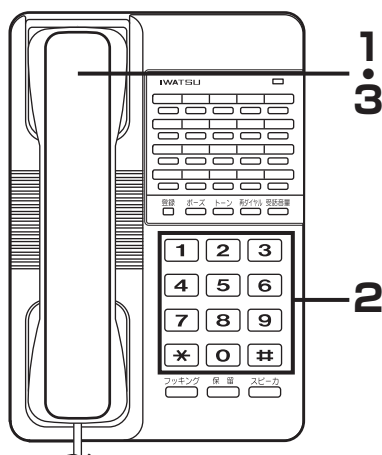
1 「リレー番号」 ボタンを押します。
「リレー番号」ボタンが、ONのときは赤色で点灯し、OFFのときは消灯します。

2 該当するリレースイッチがON／OFF、または一定時間ONになります。

**Note**

- 操作できるリレーは、主装置がMタイプの場合最大4個、主装置がLタイプの場合最大8個です。
主装置のタイプについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- リレーのスイッチ番号は、データ設定により、登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- リレーを一定時間ONにする場合は、あらかじめ時間をデータ設定します。
- 「リレー番号」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 単独電話機／SIP電話機から外部スイッチを動かす



1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「一時動作リレー制御特番」、「リレー番号（１～８）」の順にダイヤルします。
リレー動作が行われると確認音（長音）が聞こえます。

3 受話器を置きます。

**Note**

- 一時動作リレー制御特番は、データ設定によりあらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 単独電話機が制御できるリレー種別は一時動作リレーのみです。
- 誤ったリレー番号をダイヤルすると、意図したリレーではないリレーが動作してしまうので、ご注意ください。

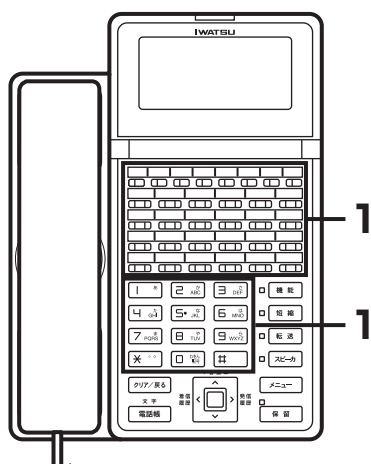
構内放送

一斉呼び出し／グループ呼び出し／
ページング呼び出し

オプション

多機能電話機のスピーカおよび外部スピーカに、一斉に呼びかけることができます。

呼び出し対象となる多機能電話機と外部スピーカに、データ設定により選択したページング予告音を送出することができます。



1 内線または外線と通話の状態で番号をダイヤル、または該当するボタンを押します。

●一斉に呼び出す場合

→一斉呼び出し番号をダイヤル（または「一斉」ボタンか「ページング」ボタン）を押します。

●グループ分けした電話機を対象に呼び出す場合

→グループ呼び出し番号をダイヤル（または「内線グループ番号」ボタン）を押します。

●外部スピーカを対象に呼び出す場合

→ページング呼び出し番号をダイヤル（または「ゾーン番号」ボタン）を押します（オプション）。

2 「〇〇さん応答してください」のように呼びかけます。

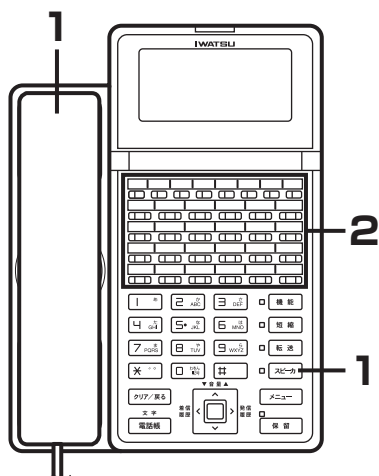


Note

- 各呼び出しの対象となる多機能電話機と外部スピーカは、データ設定により、登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- グループ呼び出しの対象として登録できる多機能電話機は、最大30グループ、1グループ当たり最大64台の電話機となります。
- ページング呼び出しの対象として登録できる外部スピーカは、最大30グループ、1グループ当たり最大64台のスピーカとなります。
- 主装置がMタイプの場合、グループ呼び出し、ページング呼び出しは「最大30」、Lタイプの場合は「最大125」となります。
主装置のタイプについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- これらの呼び出しにはミート・ミー応答でしか応答できません。
- 「一斉」、「ページング」、「内線グループ」、「ゾーン番号」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

外部スピーカからの呼び出しに電話機で応答する〈ミート・ミー応答〉

外部スピーカの呼び出しに応答することができます。



1 近くにある電話機の受話器を取り上げるか、「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「ページ応答」ボタン（または「機能」＋「3」「5」ボタン）を押します。
呼び出しもとの電話機とつながります。

3 お話します。



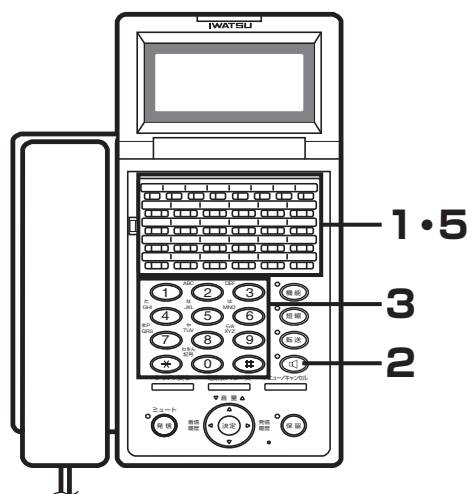
Note

- ミート・ミー応答機能は、一斉呼び出し、グループ呼び出し、ページング呼び出しに応答するためのものです。使用する電話機は、どの呼び出しに応答するか、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「ページ応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

ビルトインスピーカホン

オプション

受話器を置いたまま外線と通話できるようになります。



Note

- この機能を利用するためには、あらかじめビルトインスピーカホンユニットを取り付ける必要があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- IX-24KT-N/IX-12KT-N/IX-24KTAPF-N 端末は、初実装のためオプションは必要ありません。
- 「マイク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 「マイク」ボタン（または「機能」+「6」「1」ボタン）を押します。

電話機内蔵マイクがONとなり、「マイク」ボタンが赤色で点灯します。

2 「スピーカ」ボタンを押します。

3 相手の電話番号をダイヤルします。

※ ISDN回線の場合は、最後に「#」ボタンを押します。

4 相手とつながったら、そのままの状態でお話します。

※ 受話器を取り上げると内蔵マイクは自動的にOFFとなり、受話器での通話となります。

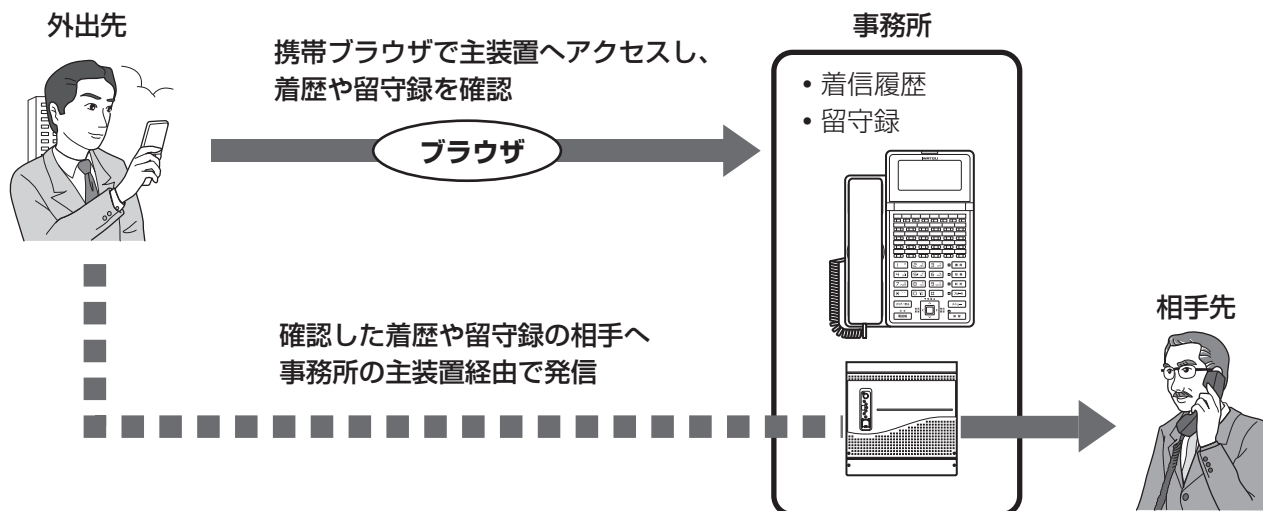
5 通話が終了したら「マイク」ボタン（または「機能」+「0」「6」「1」ボタン）を押します。

内蔵マイクがOFFとなります。

ケータイWebリンク

● 概要説明

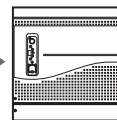
外出先から携帯電話のブラウザ操作で事務所の電話機の着信履歴や留守録を確認することができます。着信履歴や留守録を確認後、その相手に対して主装置経由で折り返し電話をかけることもできます。



携帯ブラウザから留守録や
不在転送の設定変更もできます



ブラウザ



留守録設定

不在転送設定



Note

- あらかじめ携帯電話番号やパスワードなどの登録が必要です。
- 携帯電話やスマートフォンによっては、ブラウザに正しく表示されない場合があります。
- ケータイWebリンク機能を使用するためには、機能ライセンスが必要です。

ケータイWebリンク

● 操作説明

(1) お知らせメール確認後に、相手先に発信する場合

- ① 事務所の自ボイスメールBOXにメッセージが録音されると、録音お知らせメールとして、携帯電話へメールを送信します。

② 録音お知らせメールを確認後、「ケータイWebリンク」のURLへアクセスします。

録音お知らせメール 通話録音
メールBOX 20に通話録音が入っています。

ABC商事新宿支店 岩崎様	お客様名
080XXXX5678	お客様電話番号
2月2日09時30分	録音日時
・録音時間：00分25秒	録音時間
・アクセス先	会社電話番号
03XXXX9999	メッセージ確認電話番号
03XXXX8888	新着数
・新着：計1件	コメント
2009年度目標：お客様が笑顔になるような対応を心がけよう	

携帯電話画面イメージ

- ③ ログイン画面で「簡単ログイン」を押してログインします。

ケータイWebリンク
ログイン

簡単ログイン

携帯電話番号

パスワード

ログイン

ログイン画面

- ④ メニュー画面から【1】ボイスメールを選択します。

ケータイ Web リンク

【1】ボイスメール
【2】着信履歴
【3】不在転送
【0】ログイン設定
【#】システム設定

メニュー画面

- ⑤ ボイスメール画面
【1】録音メッセージ
を選択します。

ボイスメール

【1】録音メッセージ
【2】留守録設定

ボイスメール画面

- ⑥ 録音メッセージ一覧
から確認したいメッセージを選択します。

録音メッセージ一覧

【1】8月21日 18時50分
新着
ABC(株) 佐藤様

【2】8月21日 18時20分
新着
いろは(株) 田中様

【3】8月21日 12時30分

メッセージ一覧画面

- ⑦ 録音メッセージ詳細
画面から「メッセージを聞く」を選択します。

録音メッセージ詳細

8月21日 18時50分
新着
ABC(株) 佐藤様
090-XXXX-5555
【1】メッセージを聞く
【2】システムから発信
【3】携帯電話から発信

メッセージ詳細画面

- ⑧ システムから携帯電話に着信が入るので、応答後に音声ガイダンスに従って録音メッセージを確認します。



- ⑨ 録音メッセージ確認後、終話ボタンで終話します。



- ⑩ 録音メッセージ詳細画面へ戻るので「システムから発信」を選択します。

録音メッセージ詳細

8月21日 18時50分
新着
ABC(株) 佐藤様
090-XXXX-5555
【1】メッセージを聞く
【2】システムから発信
【3】携帯電話から発信

録音メッセージ詳細画面

- ⑪ システムから携帯電話に着信が入り、応答すると相手先に発信します。
(呼出中は保留音が流れます。)



- ⑫ 相手先が応答したら通話を開始します。



(2) 事務所の着信履歴から、相手先に発信する場合

- ① 携帯電話から、「ケータイWebリンク」のURLへアクセスします。



- ② ログイン画面で「簡単ログイン」を押してログインします。

ケータイWebリンク
ログイン

簡単ログイン

携帯電話番号

パスワード

ログイン

ログイン画面

- ③ メニュー画面から【2】着信履歴を選択します。

ケータイ Web リンク

【1】ボイスメール
【2】着信履歴
【3】不在転送
【0】ログイン設定
【#】システム設定

メニュー画面

- ④ 着信履歴一覧画面から、折り返し発信したい履歴を選択します。

着信履歴一覧

【1】 8月21日 18時50分 未
ABC(株) 佐藤様
【2】 8月21日 18時20分 未
いろは(株) 田中様
【3】 8月21日 12時30分
ABC(株) 山田様

着信履歴一覧画面

- ⑤ 着信履歴詳細画面から、【1】システムから着信相手に発信を選択します。

着信履歴詳細

8月21日 18時50分
ABC(株) 佐藤様
090-XXXX-5555
【1】システムから着信相手に発信
【2】携帯電話から着信相手に発信

着信履歴詳細画面

- ⑥ システムから携帯電話に着信する。

システムから
着信中



- ⑦ 携帯電話で着信に応答します。



- ⑧ システムから着信相手に発信を行います。(携帯電話には、保留音が聞えます。)

相手先



- ⑨ 着信相手の応答により、携帯電話との通話となります。



SIP電話機

オプション

SIP電話機を収容し、単独電話機に準ずるサービスを使用できます。

●接続が確認されているSIP電話機については、お買い求めの販売店にお問い合わせ下さい。

●単独電話機との機能差分は以下のとおりです。

機能	単独電話機との差分
話中着信	通話中のSIP電話機を呼び出すことはできません。
複数の着信	着信中のSIP電話機を呼び出すことはできません。 着信中の呼び出しより、着信鳴音優先順位の高い呼び出しを行った場合でも呼び出しできません。
保留音	SIP電話機内の音源を使用します。 外部保留音は聴取できません。
受話器から聞こえる音	SIP電話機内の音源を使用します。
着信時に鳴る音	SIP電話機内の音源を使用します。
発信方法	発信操作（※）を行った後にダイヤルを入力する機能は使用できません。 全てのダイヤルを入力した後に発信操作（※）を行ってください。 例） 内線3002を呼び場合 3002＋発信操作 局線に発信(0発信＋相手番号03xxxx1234)する場合 003xxxx1234＋発信操作 モーニングコール(特番8番)を午前7時30分に受けたい場合 80730＋発信操作 ※発信操作は電話機の機種によって異なります。代表的な発信操作は以下のとおりです。 1. フックをあげる 2. 発信ボタンを押す 3. ダイヤル入力後、一定時間待つ など
会議通話	会議通話はできません。(内線会議、外線会議、複数外線会議、外線間会議) ただし、他の人から会議に召集される場合は会議通話できます。
機能特番	SIP電話機では、以下の機能特番および機能特番にひも付く機能を使用できません。 トランクキューイング特番 タイムドトランクキューイング特番 案内サービス特番 モーニングコール特番 ロングフラッシュ特番 会議特番 コールバック特番 メッセージウェイト特番 クリーニング終了 クリーニング確認 リモート特番 共通保留応答特番 (ISDN電話機専用の特番) 局線共通保留特番 (ISDN電話機専用の特番)
SIP電話機未応答 (着信失敗)	LANケーブル抜け等、通信できないSIP電話機を呼び出した場合、以下の動作になります。 ・転送設定（※）がない場合 呼び出せません。 ・転送設定（※）がある場合 転送先を呼び出します。 ※転送設定：不在転送、または外線への自動転送機能。 また、転送設定はデータ設定によりあらかじめ登録が必要です。

その他の機能の詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

1 1. 管理者編

オプション

マークがついている項目は、機器の追加が必要です。

システム障害に関して

- システムに障害が生じた場合は、簡易中継台またはDSSユニットのディスプレイに表示します。
または、基本主装置のPOWERにSTATUS表示およびランプ表示します（システム障害表示）。

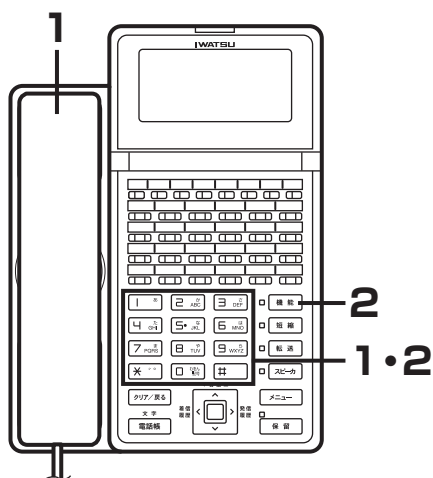
システムのデータ設定に関して

- システムのデータ設定を簡易中継台から行うことができます〈システムデータ設定〉。
お問い合わせの販売店にお問い合わせください。
- インターネットを経由してLアシストサーバを介した遠隔地からデータ設定を行うことができます〈リモートメンテナンス〉。
サービス機能の動作を変えたい場合に、軽微なデータ変更で対応が可能な場合は、販売店が訪問することなくスピーディに対応できるケースがあります。
なお、通信はHTTPSによる暗号通信を用いるため、インターネットを利用した遠隔操作を行っても安全性が確保されます。

リモートメンテナンス

オプション

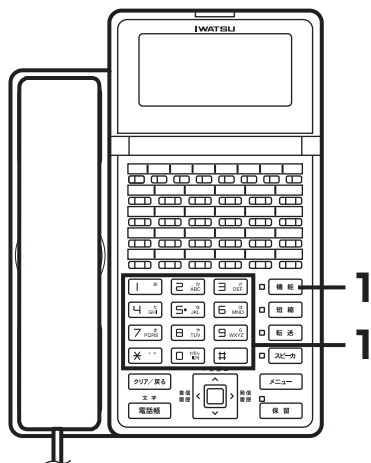
- リモートメンテナンスでの設定を許可する



- 1 受話器を取り上げ、販売店に電話します。

- 2 販売店が応答したら販売店の案内に従って、「機能」ボタン+「9」「3」ボタンを押し、続けて認証コード（4桁のダイヤル）を押します。
認証コードは、販売店からお知らせします。
リモートメンテナンスが行える状態になると、確認音が聞こえます。

- リモートメンテナンスを強制切断する

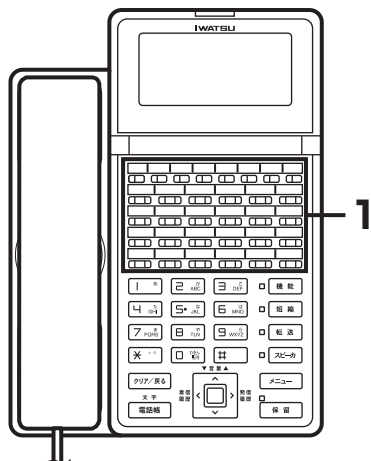


- 1 外線と通話中に、「機能」ボタン+「0」「9」「3」ボタンの順に押します。
リモートメンテナンスが切断されると、確認音が聞こえます。
空きのときに受話器を取り上げて内線を捕捉しているときも操作することができます。

発信規制を行う〈Call JUDGE（発信規制ダイヤル）〉

システムに登録された発信規制番号について、その番号への外線発信を拒否します。勧誘やアポイントなど、お客様に電話をかける業務で、一度かけたお客様から再度の電話を拒否されたとき、再度の発信を防止できます。

発信規制ダイヤルの登録方法



- 1 外線と通話の状態で「規制ダイヤル登録」ボタンを押します。



Note

- 外線との通話状態で電話機のLCDに相手番号が表示されている場合のみ登録操作が有効となります。
- 発信規制ダイヤルボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 登録したダイヤルに発信した場合は警告音が出ます。
- 登録可能なダイヤルは32桁で、10,000件まで可能です。
- 登録したダイヤルはCall JUDGEデータ設定ツールを使用してデータをダウンロード／アップロードすることでCSVファイル上でも編集が可能です。
- Call JUDGE機能を使用するためには機能ライセンスが必要です。

市外発信クラス切り替え／市外発信規制

電話機ごとに外線発信できる範囲を、以下のように規制することができます。

サービスクラス	規制内容
0	規制はありません
1～4	指定外線に、あらかじめ設定された48桁以内の規制ダイヤルコードと一致する番号がダイヤルされた場合は、市外発信できます
5	システム短縮ダイヤルのみで発信できます
6	外線発信は全面的に禁止されます。ただし、外線着信には応答できます
7	外線発信、外線着信ともに全面禁止です。ただし、鳴音指定されている外線の着信、および外線自動転送の着信には応答できます



Note

- 電話機ごとに、市外発信クラスは1つまたは2つをデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

番号計画に関して〈フレキシブルナンバリングプラン〉

内線電話番号、機能特番を登録することができます。

- 内線番号（1～4桁）を登録することができます。
お買い求めの販売店にお問い合わせください。

内線グループ分け〈内線テナント〉

各電話機を内線グループに分けることができます。内線テナントグループに分けられた電話機は、同一グループ間での電話機との通話は可能ですが、他グループの電話機との通話できません。

- 最大32個の独立した内線テナントグループに分けることができます。
- 内線テナント番号「0」に設定された電話機では、すべての内線と通話が可能になります。

内線通話規制

内線の通話を規制することができます。

- 電話機によって内線相互の通話、ホットライン、不在転送、話中転送、未応答転送を規制することができます。ただし、規制されていない電話機とは通話できます。



Note

- 内線通話規制されている電話機間で通話したい場合は、内線通話規制されていない電話機による自動転送、会議通話、その他内線キャンポン、不在転送、話中転送、未応答転送などで通話することができます。
- 内線通話規制する電話機はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

外線グループ分け

部署ごとに発信できる外線を決めることができます。

- 最大40個に分けた外線グループの中から、使用できる外線グループを決めておくと、内線グループ（部署など）ごとの使用通話料が管理しやすくなります。



Note

- 電話機ごとの外線発信規制は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 外線グループ番号は、主装置がMタイプの場合「最大40」、主装置がLタイプの場合「最大230」となります。主装置のタイプについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線応答規制

外線ごとに応答できる内線グループ（部署など）を指定することができます。

● 内線グループ分け（テナント）することにより、電話機を以下のように指定することができます。

- ・ 外線ごとに自由に発着信できる電話機
- ・ 着信が一部規制される電話機
- ・ 着信が全面的に禁止される電話機

● グループ分け（テナント）したときの多機能電話機表示は、以下のようになります。

局線テナント種別	可視表示	
	テナント内多機能電話機	テナント外多機能電話機
テナントフリー	通常表示	通常表示
着信テナント	通常表示	着信はビジー表示
発着信テナント	通常表示	保留のみ表示
完全テナント	通常表示	表示なし

● グループ分け（テナント）の種別により、以下のように電話機のグループ間の発着信が規制されます。

	着信テナント	発着信テナント	完全テナント
着信応答	×	×	×
保留応答	○	○	×
キャンプオン応答	○	○	×
転送	○	○	×
秘話解除・応答	○	○	×
他端末へのリコール応答	×	×	×
バーヂ・イン	○	○	×
スライド着信応答	○	○	○

○：応答規制なし ×：応答規制の対象

通話料金に関する機能

通話明細出力

オプション

電話機ごとに通話明細をプリンタで印刷、またはパソコン等に出力することができます。

- 通話の通し番号、日付、内線電話機番号、通話開始時刻、使用外線番号、通話時間、発信ダイヤル、通話料金などの明細をプリンタで印刷、またはパソコン等に出力することができます。

**Note**

- 通話明細の連続番号は001～999の繰り返しです。
- 日付が変わると改ページされます。
- 通話明細出力の指定、出力条件は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 通話明細データをパソコン等に出力する場合、データ設定により、LAN（ローカルエリアネットワーク）経由で出力させることができます。
- 通話明細出力機能を使用するためには、機能ライセンスが必要です。

課金装置接続

オプション

通話明細データを解析し、課金管理を行うことができます。

- 課金管理を行う装置については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

**Note**

- 接続できる課金装置は1台のみです。
- 通話明細データの出力先はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 課金装置接続機能を使用するためには、機能ライセンスが必要です。

予算オーバー発信規制

あらかじめ登録したグループ予算額を超えたとき、その内線グループの発信を規制することができます。対象とする電話機をデータ設定により、登録することで規制することができます。

モーニングコール応答レポート

オプション

モーニングコールの呼び出し時間、内線電話機番号、応答結果をプリンタに出力して印刷することができます。

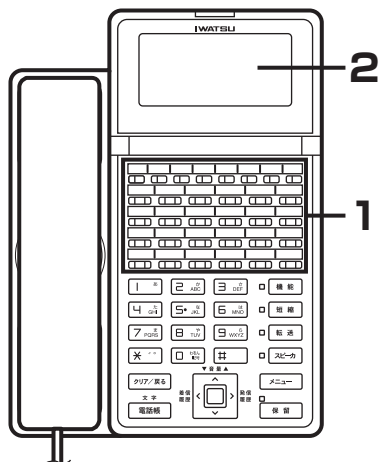


Note

- モーニングコール応答レポートの出力先はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- プリンターはRS-232Cシリアルポートを持っているプリンターが必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- モーニングコール応答レポート機能を使用するためには、機能ライセンスが必要です。

通話料金集計表示

各電話機ごとに前回分、本日分、今月分、先月分の通話料金を表示することができます。



● 前回分の集計方法

1 「前回」ボタン（または「機能」＋「7」「1」ボタン）を押します。

2 直前にかけた通話料金が表示されます。

通話料金

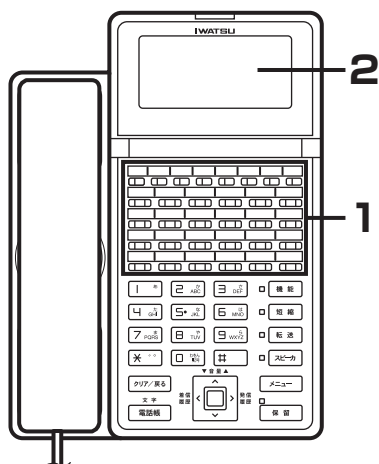
ゼンカイ

80円



Note

- DSSユニット付き多機能電話機の場合は、内線番号を指定することで他の電話機の通話料を集計できます。
- 通話料金は、999,999円を超えると999,999円表示のままとなります。
- 集計日（1～28日）、集計時刻（00～23時）はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「前回」、「本日」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



● 本日分の集計方法

1 「本日」ボタン（または「機能」＋「7」「2」ボタン）を押します。

2 その日の通話ごとの料金集計が表示されます。

ホンジツ

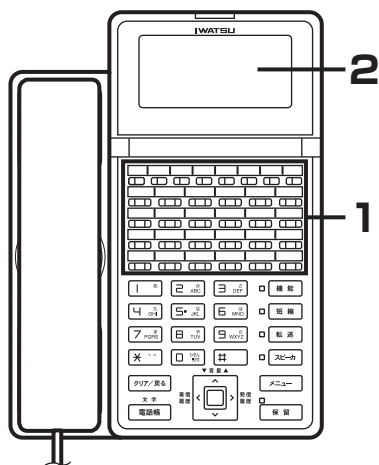
2480円



Note

- 当日0時以降が集計範囲です。

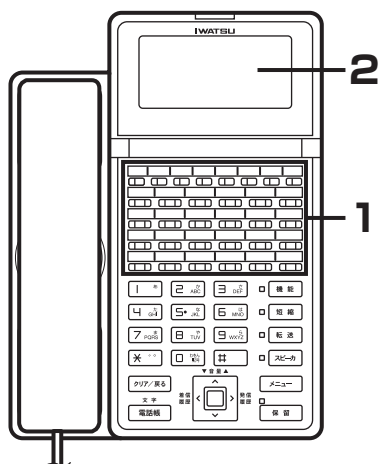
通話料金集計表示



● 今月分の集計方法

- 1 「今月」ボタン（または「機能」＋「7」「3」ボタン）を押します。
- 2 定時に集計した今月分の通話料金集計が表示されます。

コンゲ ツ 23480円



● 先月分の集計方法

- 1 「先月」ボタン（または「機能」＋「7」「4」ボタン）を押します。
- 2 決められた集計日、集計時刻まで1か月分の通話料金集計が表示されます。

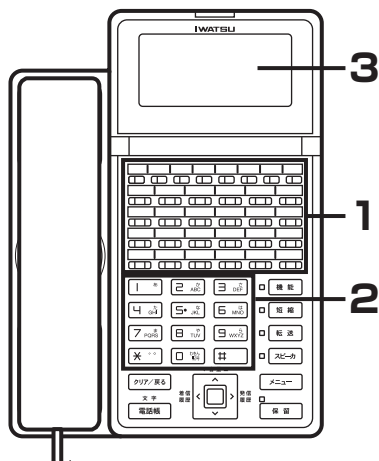
センゲ ツ 32840円

**Note**

- 「今月」、「先月」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

通話料金使用率表示

部署ごとなどに通話料金予算額を設定できます。また、それに対する使用率を表示することができます。



1 「グループ予算」ボタン（または「機能」＋「7」「5」ボタン）を押します。

2 グループ番号（001～060）を押します。
※システム電話機以外の電話機では、本手順を省略し、手順（3）を行ってください

3 通話料金予算額に対する使用率が表示されます。

G03 90000円 180%



Note

- 通話料金予算額は指定電話機で設定します。予算額は百円単位で100円～999,900円まで設定できます。
- 通話予算額が0の場合は、使用率は表示されません。
- 予算額超過の場合は、使用率200%まで表示できます。
- 通話料金予算額管理のための内線グループ（部署などの分け方）は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 指定電話機は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「グループ予算」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

停電のとき

停電用専用ユニット

オプション

- 停電したときは、停電用専用ユニットの付いている電話機から外線発信、着信応答することができます。
- 停電になったときは、停電用専用ユニットの付いている電話機が自動的に使用できる状態に切り替わります。
 - 外線発信
電話機の受話器を取り上げて、ダイヤルボタンを押して発信します。
 - 着信応答
「ブルルルル、ブルルルル」という着信音が鳴ったら受話器を取り上げてお話しします。
- 停電が復旧したときは、自動的に多機能電話として使用できる状態に戻ります（ただし、通話中に停電が復旧した場合は受話器を置くまで停電用電話機として通話を継続することができます）。
- 停電したときは、VoIP機能はご利用できません。

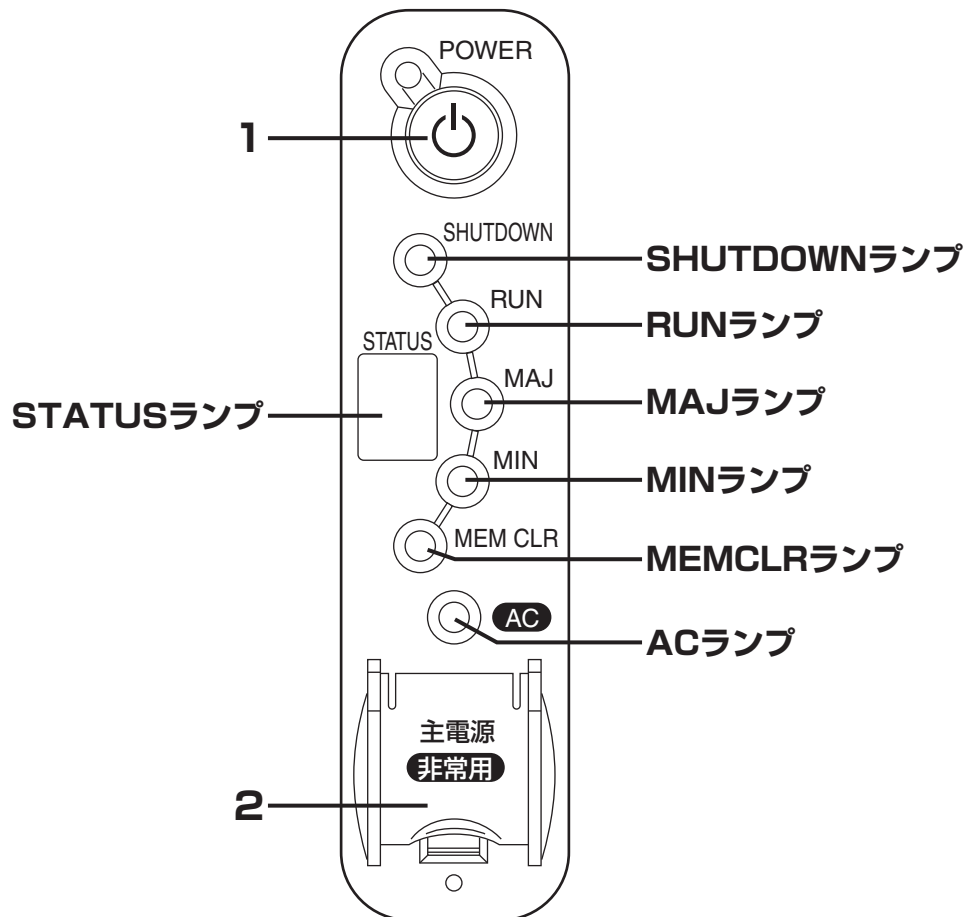


Note

- あらかじめ専用ユニットの取り付けが必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

主装置電源について

主装置電源のスイッチとランプ表示について、以下に説明します。



■電源スイッチの役割

No.	名称	説明
1	POWERスイッチ	通常使用時のスイッチです。電源を切るときには5秒以上長押ししてSHUTDOWNランプが点滅したら手を離します。
2	主装置（非常用）スイッチ	システムに異常が発生した場合にスイッチをきります。

主装置電源について

■ランプ表示

ランプ	状態	意味
SHUTDOWN	Flashing	シャットダウン処理中
	Off	上記以外の状態
RUN	On	通常動作状態
	Flashing	立ち上げ状態
	Off	上記以外の状態
MAJ	On	メジャーアラーム状態
	Off	上記以外の状態
MIN	On	マイナーアラーム状態
	Off	上記以外の状態
MEMCLR	On	システムリセット時にメモリクリアボタンが押された状態。その後消灯
	Flashing	自動認識中
	Off	上記以外の状態
AC	On	AC動作状態
	Off	上記以外の状態
POWER	On	通常動作状態（DC給電中）
	Off	上記以外の状態

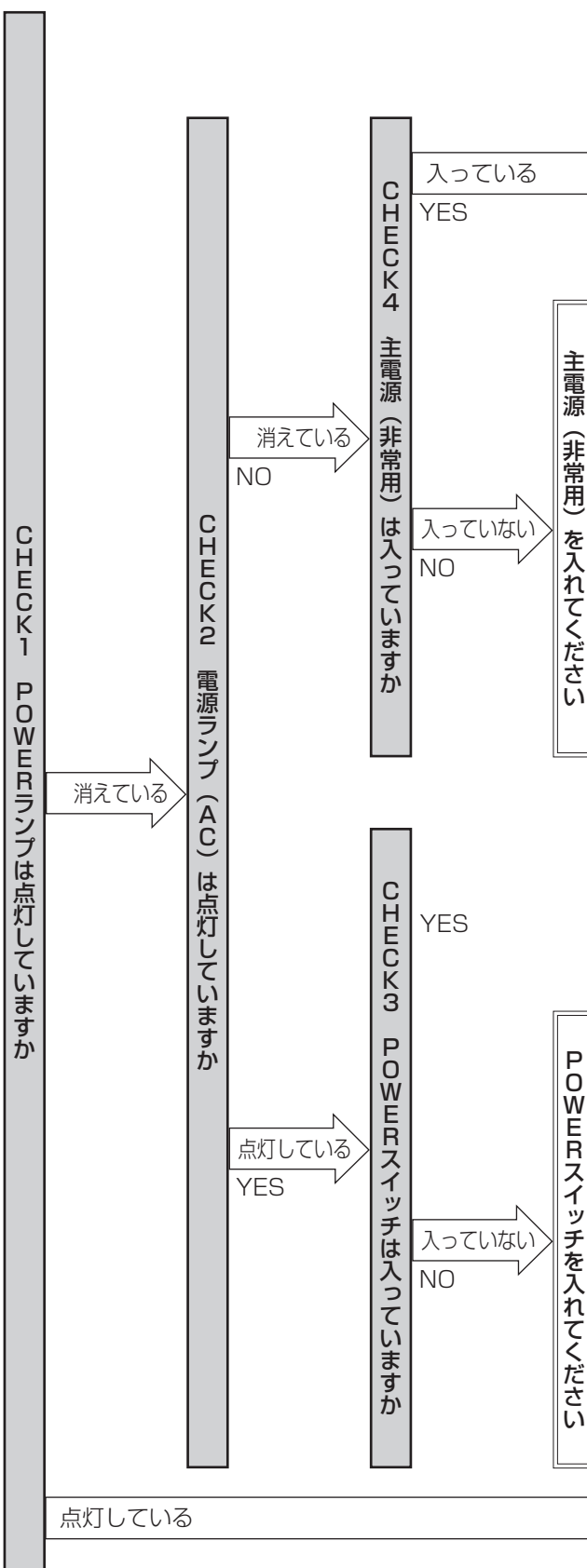
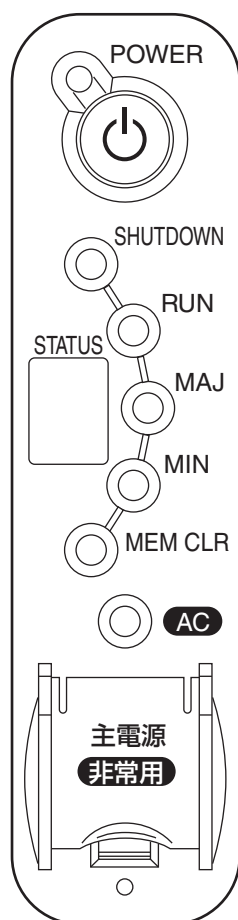
困ったときは

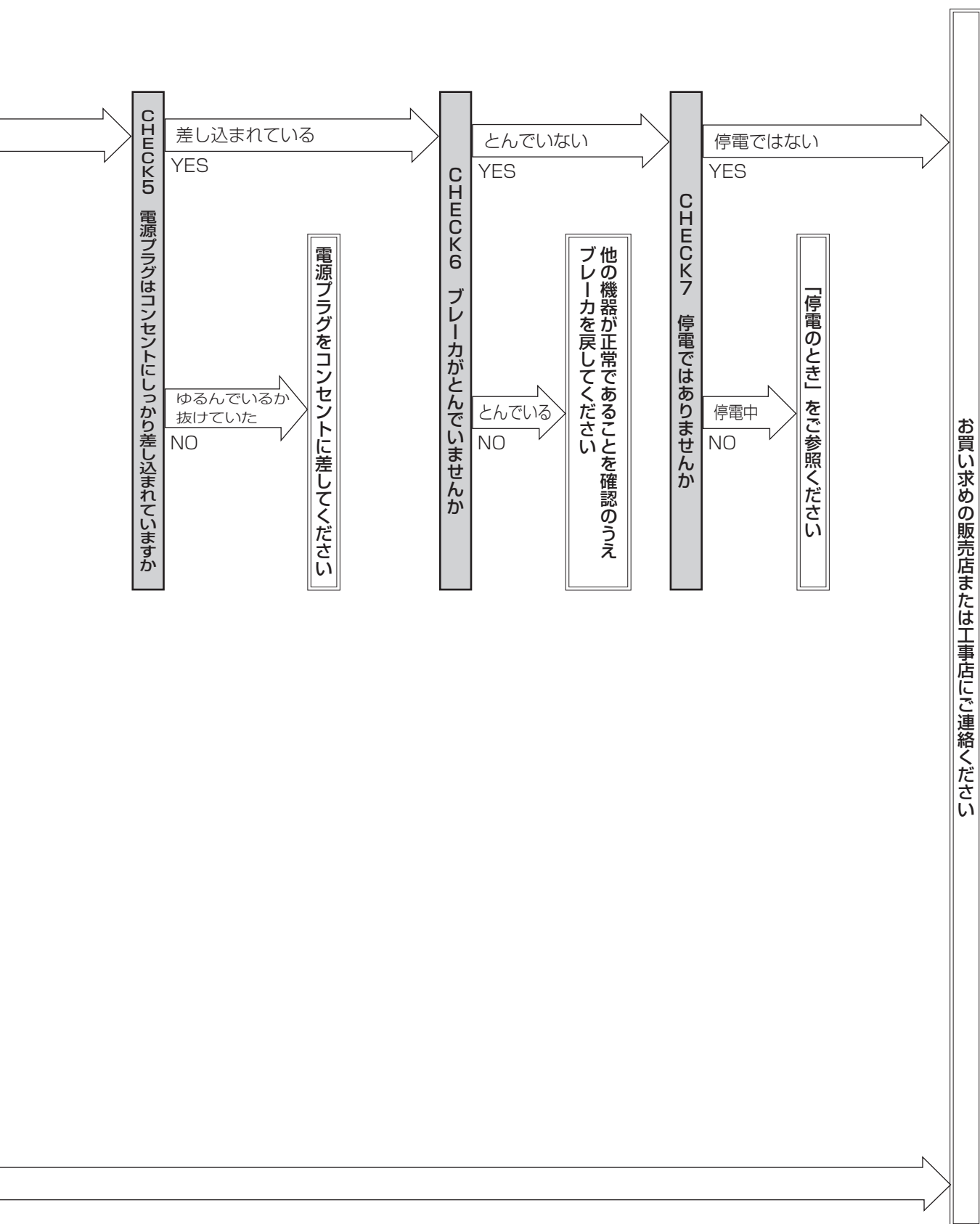
修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。
それでも直らない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここを確認してください	操作	参照ページ
電話をかけられない 電話を受けられない	各機器間の接続ケーブルが外れていませんか？	モジュージャックを正しく接続してください。	2-2
	ドント・ディスターブ（DND）や、不在転送、フレックスホン（着信転送）、等の自動転送を設定していませんか？	設定を解除すれば、電話を受けられます。	5-34、9-14
着信音が鳴らない	電話機の外線着信音量、内線着信音量がオフになっていませんか？	音量調節をしてください。	3-9
「再発信」ボタンを押してもラストナンバリダイヤルできない	外線が全てお話し中になっていませんか？	外線が空きしだい、再度操作し直してください。	—
保留できない	ハンズフリー応答をしていませんか？	オンフックして着信に応答してください。	4-30、5-14
一斉・グループ呼び出しができない	保留中またはお話中ではありませんか？	保留またはお話を終えてから操作し直してください。	—
	グループ呼び出し番号を設定していますか？	取り付け時の設定です。確認してください。	—
システム電話帳などを登録できない	システム電話帳は、システム電話機で操作していますか？	システム電話機以外では登録することはできません。	3-20、2-9
名前が登録できない	登録可能な文字数を超過していませんか？	それぞれの入力可能な文字数を超過すると入力できません。 新規に名前を登録するときや、名前を変更するときは、フックスイッチまたは「クリア」ボタンを押して、文字を消去してから入力してください。	3-20
電話番号が登録できない	登録可能な桁数を超過していませんか？	それぞれの登録可能なケタ数以内で登録してください。 フックスイッチを押して、番号を消去してから入力してください。	3-20
名前を入力中に入力モードを変更できない	登録可能な名前の文字数を超過していませんか？	フックスイッチまたは「クリア」ボタンを押して、表示されている文字を消してから入力モードを変更してください。	3-20
システム電話帳に名前を登録しているのに電話がかかってきても名前表示されない	PBXアクセスダイヤルの後に電話番号が市内局番なしで登録されていませんか？	PBXアクセスダイヤルの後に市内局番から電話番号を登録してください。	—
システム電話帳や個別電話帳に名前を登録したのに、電話帳で名前を検索できない	名前の前にスペースが入っていませんか？	スペースを入れないで登録してください	3-20
システムが使えない	主装置の電源スイッチのランプが点灯していますか？	ランプが消えている場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。	—
多機能電話機のLCDに“リコール”と着信表示される	通話を保留のまま放置していませんか？ 通話を転送しようとして転送操作が失敗していませんか？	グループ内代理応答操作を行なう。 1) 受話機を取り上げる 2) 「機能」+「3」「1」ボタンを押す 3) 通話を行う	2-12、5-13

故障！とお考えになる前に

次の診断シートに従って主装置を点検してください。





アフターサービスについて

●この商品には保証書があります。保証期間はご購入求めの日から1年間です。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

なお、以下の記載内容についてご確認ください。

- ・設置されている電話機の台数が記載されていること
- ・ご購入求めの日が記載されていること
- ・お客様のご住所とお名前が記載されていること
- ・販売店の住所と名前が記載されていること

●保証期間はご購入求めの日から1年間です。

なお保証期間中でも有料になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

●アフターサービスはご購入求めの販売店、もしくは工事店が行います。

万一の故障の修理、移動、増設、移設はすべてご購入求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

●保証期間経過後の修理はご購入求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

・補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、最低7年間保有しています。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ご購入求めの販売店、もしくは工事店にお問い合わせください。

・電子情報の消去について

お客様または第三者等が本商品のお取り扱いを誤ったとき、本商品のメモリなどが静電気ノイズの影響を受けたとき、また故障修理などのときに、まれに記憶内容が変化および消失することがあります。重要な内容は必ず控えを取っておいてください。記憶内容が変化および消失したことによる損害については、弊社に重大な過失、故意がない限り、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

アフターサービスについてご不明な点はおご購入求めの販売店、もしくは工事店にお問い合わせください。

索引

<数字・アルファベット>

50音訓検索	4-9、4-11
BGM音量	3-14
Bizモバイルリンク	7-18
i・ナンバーサービス	7-4、7-11
IP機器について	8-2
KDDIビジネスコールダイレクト対応	10-2
NTT docomoオフィスリンク対応	10-3
VoIP機能	8-3、8-4、11-14
W-VPNサービス対応	10-2

<あ行>

アイホン	10-6、10-7
相手先名	4-6、7-30
相手電話番号	7-31
空内線自動捕捉	5-9、9-24
アクセス方法	7-14
アテンダントリコール	6-8
アナウンス	7-8、7-9
アナログ回線	1-2
アフターサービス	11-20
アラーム音	3-16、5-42、9-36
暗号化	8-2
案内サービス特番	9-13
一斉放送	10-7、10-8
インターネット	8-2
ウィルコム	10-2
英字記号モード	3-30、3-32、3-34
液晶表示部	3-35
エコ	8-2
エコモード	5-48
エリア	10-2、10-3
応答結果	11-10
応答方法	5-19、6-10、6-15
応答保留	9-16
応答メッセージ	6-20
オートリピートダイヤル	4-8
オーバーフロー転送	6-11
オーバーライド	2-15、5-11、9-27
オフィスリンク	10-3
オプション	10-1
オフフックダイヤル	4-2
オフフックトランクキューイング	7-37
音声圧縮	8-2
音声案内	6-21
音声案内録音	6-22
音声着信	2-12、2-15、4-27
音声メッセージ	2-12、2-15、6-20
音量調整	3-9

<か行>

カーソル	2-3、3-34
会議関連	5-29
会議通話	2-14、3-15、5-29、5-30、5-32、5-33、9-15、9-16、9-30
開錠アクセス番号	10-7
外線アクセス使用禁止制御	6-18
外線応答	2-14、4-26、4-31
外線応答規制	6-16、7-41、11-8
外線会議通話	5-29、5-30、9-15
外線間会議通話	9-16
外線キャンブオン	3-16、6-3、9-12、9-36
外線グループ発信	5-3
外線コールバック	3-16、7-39、9-36
外線時間予約方法	5-6、9-20
外線自己保留	4-32、9-8
外線自動応答	6-20
外線自動応答レベル	6-20
外線自動転送	6-17、9-12、11-5
外線自動発信	5-8、9-21
外線スピーカ音量	3-9
外線代表着信	7-38
外線短縮発信	7-19
外線着信	6-3、9-4
外線着信音	3-6
外線着信音量	3-12
外線着信グループ応答	5-16、9-23
外線着信指定応答	9-4
外線着信自動応答	5-12、9-17
外線着信方式	7-39
外線着信鳴音指定	7-38
外線転送	9-12
外線発信	4-2、5-2、6-5
外線別着信音色指定	9-22
外線ボタン	2-3、2-5、4-2
外線保留	4-31、9-8
外線リコール	9-36
外部スイッチ	10-9
外部スピーカ	9-25、10-11
外部保留音	3-19
課金管理	11-9
課金装置	11-9
確認音	3-15、9-36
角度調節脚	2-6、2-7
可視表示	11-8
カタカナ	3-30、3-34
カレンダー	3-35
簡易着信呼均等分配	7-40
完全テナント	11-8
キーシート	2-8
キータッチトーン	3-5
擬似話中返し	7-35
規制ダイヤルコード	6-17、11-5

索引

規制ダイヤル登録	2-16、11-4
機能特番	9-13
機能ボタン	2-3
基本サービス	7-3
共通短縮	2-14
強制解放	6-27、6-28、6-29
強制転送	6-13
局線テナント種別	11-8
切替モード	7-4
キャンセル特番	9-13
キャンプオン	4-33、5-27、6-3、9-12、9-29
キャンプオン着信音監視時間	9-12
緊急地震速報機	10-8
緊急番号	8-3
クイックオペレーション	5-2
クリアコール	4-28、6-13、9-6
クリアボタン	2-3、3-34
グループ外線発信	7-16、7-19、9-2
グループ外代理応答特番	2-12、9-13
グループ内代理応答	2-12、2-15、9-13
グループパーク	5-20、9-11
グループモーニングコール	2-12、2-16、6-31
グループ予算額	2-12、2-15、11-9
グループ呼び出し	6-9、6-10、7-15、7-18、 9-24、10-10
グローバル着信サービス	7-4
ケアコム	10-6、10-7
ケアコム用ライセンス	10-6
警告音	3-15
携帯電話	10-3
ケータイWebリンク	10-13
検索モード	4-9
高速データ通信	7-3
構内放送	10-10
コールパークピックアップ	2-12、2-15、6-10
コールバック特番	9-13、9-26
コールフォワード強制解放	6-27
個別代理応答	2-12、2-14、9-13
個別短縮番号	4-5
個別電話帳	3-20
個別パーク応答	2-12、2-15、5-22、9-10
個別パーク保留	2-15、5-20、5-21、9-10、 9-13
個別パークリモート応答	9-10、9-13

<さ行>

サービスクラス	6-17、11-5
再応答する	4-31、5-20
再発信	2-15、4-3
索線ダイヤルイン	2-16、5-2、7-13
索線番号	2-14、5-3
サブアドレス	7-3、7-28
サブアドレス通知	7-3
サブアドレス発信	7-28、7-29、7-30
サブメニュー画面	3-28、3-29
三者通話	7-4、7-7
市外発信	6-17、11-5
市外発信クラス	6-17、11-5
市外発信規制	6-17、11-5
時刻調整	2-12、3-3
自己保留	4-32、6-8、9-8、9-9
システム管理者	1-3、2-9
システム機能アクセス	7-18
システム障害	11-2
システム障害表示	11-2
システム短縮ダイヤル	3-24、6-17、11-5
システム短縮番号	6-23、7-19
システム電話機	1-5、2-9
システム電話機確認方法	2-9
システム電話帳	3-20
自動自己保留	6-8
自動転送	4-33、5-25、5-28、6-3、9-12
シフトコール	4-28、6-13、9-6
手動お待たせメッセージ	5-17
受話音量	2-3、3-11
受話器	2-3
上下左右ボタン	1-5、2-3
情報チャンネル	7-3
ショートフラッシュ	2-12、2-15、7-6
使用率	2-15、11-13
シリアルコール	6-2、6-15
数字モード	3-30、3-33、3-34
スクロール発信	4-7、6-5
スピーカ	2-3
スピーカボタン	2-3
スプリットボタン	6-2
スライド着信	7-38
制御コード	3-33
セブナンバリダイヤル	2-12、2-15、5-37
セキュリティ	8-2
センサー	10-8
センサー検知一斉放送	10-8
セントレックス回線	7-2
専用回線	7-21
専用線	7-21
専用線タンデム接続	7-21
専用線トランクユニット	7-21
総合デジタル通話回線	7-2
ゾーン番号ボタン	6-9、10-10

＜た行＞

ターミナルアダプタ	7-4
ダイナミックDNS	8-3
タイムコール	2-12、2-15、3-16、5-42
タイムドランクキューイング	2-12、2-15、5-6、9-13、9-20
ダイヤルイン	2-16、7-2、7-4、7-11、7-12、7-25、7-36
ダイヤルイン回線擬似話中	7-36
ダイヤルイングループ	2-16、7-13
ダイヤル回線	5-4
ダイヤル信号	3-33、5-4
ダイヤルトーン	3-15
ダイヤルボタン	2-3
ダイヤルリバース	2-12、2-15、3-33、5-4
代理応答	2-12、2-14、2-15、2-17、5-13、9-13、9-22
多機能電話機	1-3、2-2
短縮ダイヤル	2-14、2-15、3-24、4-5、6-5、6-23、6-24、9-2、9-3
短縮ダイヤル登録	6-23、6-24、9-3
短縮ダイヤル発信	3-20、4-7、9-2
短縮番号	3-20、3-24
短縮番号登録特番	9-13
短縮番号発信特番	9-13
タンデム中継	7-21
タンデム変換	7-21
単独電話機	1-3、9-2
着信音	3-6、3-7、3-8、6-12、9-22、9-36
着信音停止	6-12
着信音量	2-3、3-12、3-13
着信拒否	6-7
着信警報音	3-16、9-36
着信代理応答	5-13、9-22
着信転送	7-4、7-5
着信鳴音優先順位	7-39
着信ランプ	2-5
着信履歴	3-27、4-15、4-16、4-20
着番号毎転送	7-24
中継台インターセプト	6-12
中継台パーク保留	6-10
長時間アラーム音	9-36
通信中転送機能	7-4
通話時間	3-36、3-38
通話中転送	7-6
通話明細	11-9
通話モニタ	2-15、5-35
通話料金	2-12、2-15、3-36、6-35、6-36、11-9、11-11、11-13
通話録音	2-15
ディスプレイ	2-3、3-38
停電用専用ユニット	11-14
停電用電話機	11-14

デジタルコードレス	1-3
テナント	11-6、11-8
電気錠	10-7
電源スイッチ	11-15
転送機能	2-3、5-23
転送先	5-23、5-25、6-11、7-23、7-24、7-25、7-28、7-29、9-27
転送先電話番号	7-9、7-24、7-25、7-26
転送先変更	7-28、9-13
転送先変更特番	9-13、9-28
転送電話	2-14、7-17、7-23、7-24
転送特番	9-13、9-27
転送保留リコール	3-16、7-39、9-36
転送メッセージ	7-5
転送モード	5-23、9-13、9-27
電話機内蔵マイク	5-14、10-12
電話機パスワード	2-12、2-15、5-40、6-19、9-34
電話機パスワード登録特番	9-13、9-34
電話機番号表示	2-9
電話帳	2-3、3-20、4-9、4-10、4-13、4-14
電話帳グループ	3-20、4-9
電話帳登録	3-20、3-21
ドアホン	1-3、9-34、10-5
ドアロック	10-9
登録時刻	5-42、9-32
トーン着信	2-12、2-15
ランクキューイング	2-12、2-14、5-7、7-37、9-19
ランク強制解放	6-28
ドント・ディスターブ	2-15、5-34、6-13、9-14

＜な行＞

ナースコールサービス	10-7
ナースコールシステム	10-6
ナースコール制御機	10-6
ナースコール制御装置	10-7
内線相手	3-35
内線応答	4-32、6-4、9-7
内線会議通話	5-33、9-30
内線キャンブオン	3-17、5-27、7-39、9-29、9-36
内線強制解放	6-13
内線グループ	2-12、2-14、2-15、3-20、3-24、11-6
内線グループ電話帳	3-20
内線グループ番号	5-39、6-9
内線コールバック	2-12、2-14、3-17、5-46、7-39、9-26、9-36
内線サービスクラス	6-17
内線自己保留	9-9
内線自動応答	4-30、9-7

索引

内線スピーカ音量…………… 3-10
内線専用機…………… 9-2
内線代表呼び出し…………… 2-14、4-28、5-39、9-5
内線着信…………… 2-12、2-15、3-16、3-38、6-4、
6-13、9-36
内線着信音…………… 3-8
内線着信音量…………… 3-13
内線通話規制…………… 11-7
内線テナント…………… 11-6
内線トーン…………… 7-39
内線ハンズフリー…………… 5-14
内線フラッシュ…………… 9-29
内線電話機…………… 5-11、5-15、6-3、6-4、7-15、
7-16、7-18、9-12
内線発信…………… 5-9、9-5
内線発信音…………… 3-15
内線番号…………… 2-9、2-14、5-39
内線保留…………… 4-31、9-9
内線ホットライン…………… 5-10、9-25
内線リコール…………… 3-17、7-38、9-36
内蔵マイク…………… 5-14
内着モード…………… 2-12、2-15
ナンバー・ディスプレイ…………… 6-26、7-4、7-10、
7-31
入力モード…………… 3-30、3-34

<は行>

パーク応答…………… 2-12、2-15、5-22
パークオービット番号…………… 5-21、9-11
パーク保留…………… 2-12、2-14、2-15、5-20、9-10
バージ・イン…………… 5-36、11-8
パイロット番号…………… 5-10、9-25
パスワード…………… 5-40、6-19、9-34
発信音…………… 3-15
発信規制…………… 2-12、2-15、2-16、5-40、6-15、
9-34、11-4、11-5、11-9
発信グループ…………… 3-20
発信先…………… 3-20
発信者番号通知…………… 7-3
発信履歴…………… 2-3、3-26、4-15、4-17、4-18、
4-19
番号計画…………… 11-6
ハンズフリー応答…………… 5-14
ハンドセット…………… 2-3
ピア・ツー・ピア…………… 8-3
秘書応答…………… 5-15
ピックアップオービット番号…………… 6-10
ビルトインスピーカホン…………… 10-12
昼間モード…………… 6-16、6-17、7-38、7-41
秘話解除…………… 2-12、2-15、5-47、11-8
秘話解除・応答…………… 11-8
秘話設定…………… 5-47
非通知…………… 4-21

表示圏外…………… 4-21
表示内容…………… 2-12、2-14、3-38
ファミリー・ハイパーファミリー…………… 7-2
付加サービス…………… 7-4
複数外線会議…………… 5-30、9-13、9-15
不在転送…………… 2-14、5-23、6-13、9-27
不在メッセージ…………… 2-14、3-15、3-37、3-38、
5-45、6-13
フッキング…………… 9-8
フック…………… 2-12、2-15
フックスイッチ…………… 2-3、9-8
ブッシュ信号…………… 2-12、2-15、5-4
プライベートライン…………… 5-34、6-11
プライムステーション…………… 7-37
プリセットダイヤル…………… 4-4
プリセクション…………… 5-39
フレキシブルナンバリングプラン…………… 11-6
フレキシブルファンクション…………… 2-3
フレキシブルボタン…………… 1-5、2-13
プレシグナル…………… 9-32
フレックスホン…………… 7-4
プログラミングボタン…………… 6-2
ページ応答…………… 2-12、2-15、10-11
ページング…………… 2-15、3-17
ページングアンブ…………… 10-8
ページング予告音…………… 3-17、6-9、9-24、10-10
ページング呼び出し…………… 6-9、6-10、7-15、7-18、
9-24、10-10
閉番号方式…………… 7-22
ベストエフォート…………… 8-2
ヘッドセット…………… 10-4
ボイスメール装置…………… 8-2
ポーズ…………… 3-33
ホットライン…………… 5-10、9-25
ホテル在室表示…………… 6-34
保留応答…………… 4-32、9-13、11-8
保留音…………… 3-15、3-18、3-19
保留外線応答…………… 4-31、9-8
保留外線自動応答…………… 2-15、4-32
保留状態…………… 2-15、3-16、4-31
保留内線応答…………… 9-9

<ま行>

マイク……………2-3、2-12、2-15、5-14
ミート・ミー応答……2-12、2-15、9-13、9-25、
10-11
未応答転送……………5-23、9-27
ミキシングモード……………7-4
右ボタン……………2-3
迷惑電話……………2-16、7-33、7-34
迷惑電話防止……………2-16、7-33、7-34
メインメニュー画面……………3-2、3-4、3-6、
3-7、3-8、3-9、3-10、3-11、3-12、3-13、
3-14、3-18、3-21、3-29
メッセージウェイト……2-15、5-43、6-2、6-14、
9-33
メッセージ番号……………6-20、6-22、6-23
メニュー機能……………2-3
メモダイヤル……………2-12、2-15、5-38
モーニンググループ……………6-32、6-33
モーニングコール ……2-12、2-15、2-16、3-16、
5-41、6-2、6-30、6-31、9-32、11-10
文字入力……………3-31
文字ボタン……………1-5、2-3、3-30、3-34
モデム……………8-2
モニタ……………2-15、3-35、5-35

<や行>

夜間モード ……6-12、6-16、6-17、6-26、7-31、
7-38、7-41
有効ダイヤル桁数……………9-18
優先着信表示……………5-17
優先内線着信……………3-17、7-38
ユニット……………6-2、7-4、7-21、8-2、8-3、8-4、
10-9、10-12、11-14
予算オーバー発信規制……………11-9
呼出音……………3-15
読み仮名検索……………4-9、4-10

<ら行>

ライセンス ……7-18、7-19、7-20、10-2、10-3、
10-6
ラストナンバリダイヤル……………2-15、4-3、9-13、
9-18
ランプ……………2-4、2-5、6-13
ランプ表示……………2-5、6-13
リクエスト音……………7-14
リコール……………3-16、3-17、6-2、6-8、9-36
リモート応答……………5-21、5-22、9-10
リモート特番……………7-17、7-28、7-29、7-30
リモートメンテナンス……………11-3
料金表示……………2-12、3-36、6-36
リレーコントロール……………2-15、10-9
リレースイッチ……………10-9

リレー番号……………2-15、10-9
ロングフラッシュ……………2-12、2-15、3-33、4-3、
4-27、9-13

<わ行>

話中音……………3-15
話中着信……………5-12、9-14
話中転送……………5-23、7-6、9-27
ワンタッチ……………2-14、5-16

このたびはLEVANCIOをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も本製品のそばなど、いつもお手元に置いてお使いください。

ご不明の点がございましたら、岩崎通信機お客様相談センタへお気軽にご相談ください。

＜お客様相談センタ：☎ 0120-186102＞

お客様メモ

お買い求めになった年月日、店名等をご記入ください。
修理を依頼される時やお問い合わせの時に大変便利です。

設置年月日	年 月 日
設置店名	
住所	
電話番号	